



にも白紋を有す。翅透明。腹背には灰白の三帯を装ひ第二、三及び四節の後縁は灰白。脚黄色。體長五分。これは織形科植物の花上に普通なり。  
分布 北海道、本



第三節を藏く。胸背に金色毛を装ふ。翅淡黄、半透明。平均棍毛を(殊に尾端に)密生す。脚赤黄、基節及び腿節の基部銅褐色。體長五分五厘。早春花上に稀ならず。  
分布 北海道、本州、歐洲。

ホシアシフトハナアブ  
*Helophilus pentadentus* I.  
サツボレンシス形  
*H. saponensis* Mats.  
體黄色。頭に暗褐色を具へ、同色毛を装ふ。顔黄白、同色短毛あり。觸角橙黄色。口吻は暗褐色。顔及び胸背の縦條は黒色、前者に黄毛多し。胸面黒褐色、側片灰白、稜



狀部體甲様の黄褐色、黒毛を具へ、兩側に黄白毛を装ふ。平均棍毛白。翅透明、灰色を帯ぶ。腹部暗褐色、第二、三節の兩側に黄褐色、後者の中央に黄白紋、第四、五節に黄白帯あり。脚暗褐色、黄紋を有す。體長三分八厘。これは樺太にて花上に普通なり。  
分布 樺太、北海道、歐洲。

キベリアシフトハナアブ  
*Helophilus interalis* Mats.  
體黒褐色。頭金色。顔に黄毛、觸角に暗褐色あり

州。

アカガネナガハナアブ



體灰褐色、赤銅色の光澤を帯ぶ。頭黄白。觸角黄色、第二節大形風狀を呈し、其の中央に小なる



黄色、第一、二節に跨る工字形の一紋、第三及び第四節の中央にある一帯は黒色。脚黒褐色、黄紋あり。體長四分五厘。東京地方に普通なり。

シマアシフトハナアブ  
*Helophilus flaviceps* Mats.

體黄色。顔は金光を放つ。口吻黒褐色。觸角黄褐色。第三節は褐色。複眼赤褐色。胸背に天鷲紋様の三黒縦條を装ふ。稜狀部暗黄。翅透明。腹部



り、顔に黒條を呈す。觸角黄褐色。前胸背兩側は黄色、黄白毛を装ひ、稜狀部黄褐色。平均棍毛白。翅透明、灰色を帯ぶ。腹部の斑紋及び各節の後縁は黄色、腹面は暗黄。脚黒褐色、黄色部あり、後腿節は太し。體長四分内外。札幌地方に稀ならず。  
分布 北海道。



第二腹節は黄色。前者の中央灰色、後者前縁の中央に黒紋を具へ、後縁に近く黒帯あり。脚に黄紋を有す。體長五分内外。普通なり。  
分布 北海道、本州。

アシフトハナアブ



體黒色。顔黄白、紺緑の光澤を帯び、中央に太き黒縦條あり。觸角黒色、第三節及び端刺は黄色。雌にては第三節は暗褐色。胸背暗色、兩側黄色、稜狀部黄色。翅透明。第一及び

ネグロアシフトハナアブ  
*Helophilus zaitinus* Mats.



前種と異なる所は、腹部黒色、第一、二節の兩側黄色、同色毛を生ず、第二節に一灰黄紋を装ひ、第三、四、五節の中央に灰黄帯を具へ、第一腹節黒色なるにあり。  
分布 本州。

トゲヒラタアブ  
*Ischnura leucosticta* Mats.



體黒色、短黄毛を装ふ。顔淡黄、短白毛あり。頭頂黒色。觸角橙黄色、暗色紋あり。口吻暗褐色。胸背の兩側に黄色條あり。稜狀部黄色。翅透明。平均棍は黄色。中胸側灰褐色。腹部の斑紋黄色。脚黄色、暗色紋あり。體長三分五厘内外。これは父鳥にて捕獲せるが少なし。  
分布 小笠原島。

ミヤケヒラタアブ  
*Ischnura rufipes* Internatus Mill.

體暗褐色。頭黄白、同色毛を装ひ、黒紋あり。觸角及び腹部は黒色。複眼は黄白毛を装ふ。胸背は少しく綠色を帯び、肩部黄白。翅透明。腹部に黒毛を密生し



紋あり。脚黄色、黒褐紋あり。體長四分内外。  
これは樺太地方に稀ならず。  
分布 樺太、本州、歐洲、北米。

ムツホシヒラタアブ

*Lasiopterus solentis* Meig.



體暗褐。頭及び脚は黄色。觸角暗黄、基部黄色。胸背兩側に黄色の軟毛を密生す。稜状部は半圓形、暗黄、黄色及び灰褐毛を裝ふ。翅透明。腹部黒色、第一、二、四節の兩側に各一個の黄紋を裝ひ、第五節の基部も亦黄色。腿節の基部黒色。體長四分内外。これは早春何れ地方にも稀ならず。  
分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

ツマクロハナアブ

*Leucostoma leucon* L.



體暗褐。頭黄色、雌の頭頂黒褐。顔に黄白の短毛を密生す。觸角黄褐、端刺黄色。前中胸背の後縁は灰白、全體黄白毛を裝ふ。翅透明、翅底及び中央は褐色を帯ぶ。腹部は黄褐、第二、三節後縁に三角形の黒褐紋あり、第四節の中央は黒褐。脚黄褐、灰白部あり。體長四分内外。  
これは臺灣地方に普通なり。  
分布 沖縄、臺灣、支那、比島、印度。

オホハナアブ

*Megaspis zonalis* F.



頭は灰黄、胸背は天鵝絨様の黒褐毛を密生し、前縁及び兩側には黄褐毛を生ず。翅透明、翅底黒色。平均根淡黄。第二腹



透明、中央紋黒色。平均根は黄褐。第二及び三腹節の前縁は黄白、同色毛を有し、他は黒毛を密生す。脚に黄白紋あり。體長四分内外。これは札幌地方には稀なり。  
分布 北海道、本州、歐洲。

ミケモモフトハナアブ

*Melolota (Pseudomelolota) tricolor* Laew



體黒色。頭に黄緑毛多し。觸角黄褐。胸背の後方に黒毛を密生し、稜状部は黄色、黄色毛多し。翅透明。平均根は暗褐第一、二腹節に黄毛を裝ひ、後者の後半に黒毛を密生し、この兩者の後縁に各一黄紋あり、第三節に黒毛多し、その

後縁及び第四、五節に淡黄褐毛多し。脚は黒色。雄にては初の二腹節に黄紋を缺き、灰白毛、第三節には黒毛を密生す。體長六分内外。これは花上に少なからず。  
分布 北海道、本州、歐洲。

タカサゴモフトハナアブ

*Melolota (Pseudomelolota) takasagoensis* Mats.



體は雄黒褐。顔灰白、黄白毛を密生す。頭に黒紋あり。觸角は黄褐。胸背灰色、黒毛及び黄白毛を裝ひ、黒色の四縱條あり。兩側及び稜状部に長黄毛多し。翅透明。平均根黄白。第一、二腹節の兩側は黄白、第五節の基部は黄褐、黄白短毛を具へ、各節後縁に黒毛を裝ふ。脚黒褐、黄色の長毛多し。雌にては體小、第二、三腹節の斜溝は黄褐。體長五分内外。これは中國及び九州に普通なり。  
分布 本州、九州。

タイワンオホハナアブ

*Melolota (Pseudomelolota) taiwanensis* Mats.



觸角黄色。胸部に黄毛を裝ふ。翅は透明。平均根は褐色。第二腹節に二紋、第三、四及び五腹節に各一雙の黄色紋あり。脚黄色。體長三分内外。これは餘り多からず。  
分布 本州。

エグリツヤヒラタアブ

*Melanostoma inornatum* Mats.



體は光澤ある黒綠色。頭黒色。觸角黄褐。胸背に黄褐毛多し。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。平均根は灰白、頭部灰色。第二腹節兩側の小紋、第三、四節の廣帯は黄色、腹面黄色。脚黄褐。體長四分内外。これは札幌地方に産するも稀なり。  
分布 北海道。



體黒色、縁色を帯ぶ。顔に短白毛を有す。觸角黒色。胸背に淡黄毛を裝ふ。翅透明。平均根橙黄色。腹部黒色、六個の赤黄紋を有し、腹面は暗色、黄斑あり。脚黄色、暗色紋を有す。體長三分内外。これは樺太に稀ならず。  
分布 樺太。

キハネツヤヒラタアブ

*Melanostoma flavipenne* Mats.

體黒色、金屬光澤あり。顔に淡黄褐毛を密生す



ムモンツヤヒラタアブ……………(五八)

*Melanostoma hornatum* Mats.

雌  
體光澤ある黒色、藍色を帯ぶ。顔灰白色、同色毛を装ふ。觸角黄色。胸部に黄褐色を具へ、光澤を帯ぶ。翅透明、翅底黄色。平均根長色。腹部淡黄褐色の短毛を具へ、斑紋を缺く。脚黄色。體長三分。

分。これは札幌地方に少なからず。  
分布 北海道。

エグリツヤヒラタアブ……………(五九)

*Melanostoma interruptum* Mats.

雌  
頭部及び胸部は黒縁、光澤あり。顔の兩側に灰色毛を具へ、頭頂に暗褐色を装ふ。觸角黄色。胸に黄毛を有す。翅は透明。平均根長黄色。腹部に八黄紋を有す。脚黄色。體長三分五厘。これは

札幌地方に稀ならず

分布 北海道。

モトドマリツヤヒラタアブ……………(六〇)

*Melanostoma motomariense* Mats.

雌  
體黒色、藍色光澤あり。顔灰色、白色毛を有す。觸角黒色。胸部に淡黄毛を装ふ。翅透明、中央部黄色を帯ぶ。平均根長黄色。腹部は黒色、六黄紋を具

ふ。脚黄色。體長三分内外。これは元泊地方に普通なり。  
分布 樺太。

オチアヒツヤヒラタアブ……………(六一)

*Melanostoma ochiatsumi* Mats.

雌  
體黒色。顔に灰白色及び黄毛を混生す。觸角黄色。翅透明。平均根長黄色。腹部に六黄紋あり。脚黄色。體長三分内外。これは岩手地方に稀ならず。  
分布 本州。

ツヤヒラタアブ……………(六二)

*Melanostoma orientale* Wind.

雌  
體黒縁色。顔に灰白色及び黄毛を混生す。觸角黄色。翅透明。平均根長黄色。腹部に六黄紋あり。脚黄色。體長三分内外。これは早春花間に普通なり。  
分布 北海道、本州、九州、西比利亞、歐洲。

ルリホシツヤヒラタアブ……………(六七)

*Melanostoma urakawense* Mats.

雌  
體黒色、光澤ある藍色を帯ぶ。顔灰白、同色短毛を有す。觸角褐色。胸部に暗黄毛あり。翅透明。平均根長黄色。腹部に青白色の六斑紋あり。脚黄褐色、暗色紋

カラフトツヤヒラタアブ……………(六五)

*Melanostoma zebalinense* Mats.

雌  
體黒縁。顔に灰白色毛を装ふ。觸角黄色。胸部に黄毛を有す。翅透明。平均根長黄褐色。腹部暗褐色、八黄紋あり。腹面は黄色。脚黄色、黒斑を有す。體長三分五厘内外。これは樺太に少なからず。  
分布 樺太。

セスチツヤヒラタアブ……………(六六)

*Melanostoma scalare* F.

雌  
體黒縁。灰白短毛を密生す。頭黒褐色。雌は頭頂及び觸角直上に光澤ある大黒紋を装ふ。觸角黒褐色。口吻褐色。翅透明、少しく暗色を帯び、光線の具合により



オホタニツヤヒラタアブ……………(六四)  
*Melanostoma okanense* Mats.  
體黒縁色。顔に灰色毛を具へ、白色毛を混生す。觸角褐色。翅は透明、少しく暗色を帯ぶ。平均根長黄色。腹部に八黄紋を有す。脚黄色、暗色紋を装ふ。體長三分五厘内外。これは大谷地方に少なからず。



雌  
體黒縁。顔に灰白色毛を具へ、白色毛を混生す。觸角褐色。翅は透明、少しく暗色を帯ぶ。平均根長黄色。腹部に八黄紋を有す。脚黄色、暗色紋を装ふ。體長三分五厘内外。これは大谷地方に少なからず。

類似するも、腹は胸と同幅、第二、三腹節は最も廣く、他の腹部紋とその形を異にす、腹面は暗褐色、黄紋を具ふ。體長三分内外。これは落合地方に稀ならず。  
分布 樺太。

ヲガサハラツヤヒラタアブ……………(六三)

*Melanostoma ogasawarae* Mats.

雌  
體光澤ある黒色。顔灰白、白毛を装ふ。觸角黄色。胸部に細毛あり。翅透明。平均根長黄色。腹部には八黄紋を具へ、腹面は黒色、黄色紋を有す。脚黄色。體長三分内外。これは岩手地方に稀ならず。  
分布 本州。



オモナガハナアブ……………(六八)

*Meropoidius japonicus* Mats.

體光澤ある黒色。顔の兩側に白色の短毛を密生





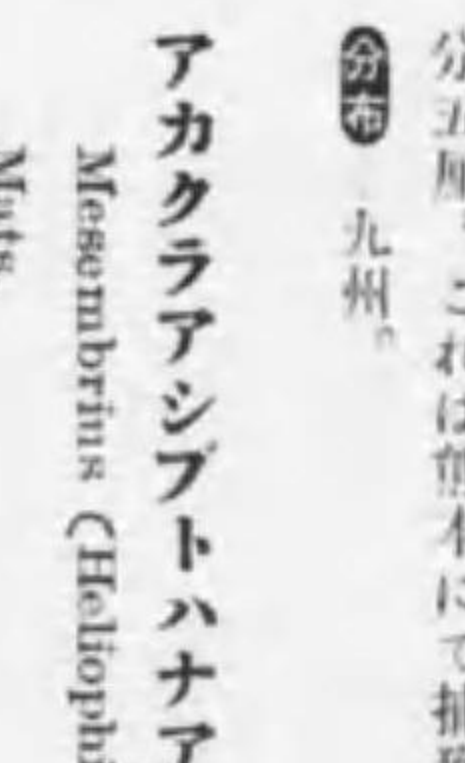
す。後頭灰白、白毛多し。觸角褐色、第三節は三角形。胸背に灰白の二縱條を具へ、黄白毛を裝ひ、中央には暗褐色を混ず。翅透明、黄褐色を帶ぶ。腹部の斑紋は灰白、第二節以下各節の後縁は灰白、同色毛を裝ふ、各腹面節の基部は灰白。雄にては胸背に太き黄白の三縱條を具へ、雌にては灰白なりし部分黄白。體長四分内外。これは札幌地方に産するも少なし。

〔分布〕 北海道。



カハムラモモフトハナアブ……………(六九)  
Microton kawamurae Mats.

體黒褐、銅色の光澤を有す。顔に灰白の短毛多し、頭頂に黒毛を裝ふ。觸角は褐色を復眼に灰白毛多し。胸背に暗褐色を裝ふ。翅は透明を帶ぶ。翅は透明を帶ぶ。平均體長五厘。腹部に黄褐色及び暗褐色を帯ぶ。



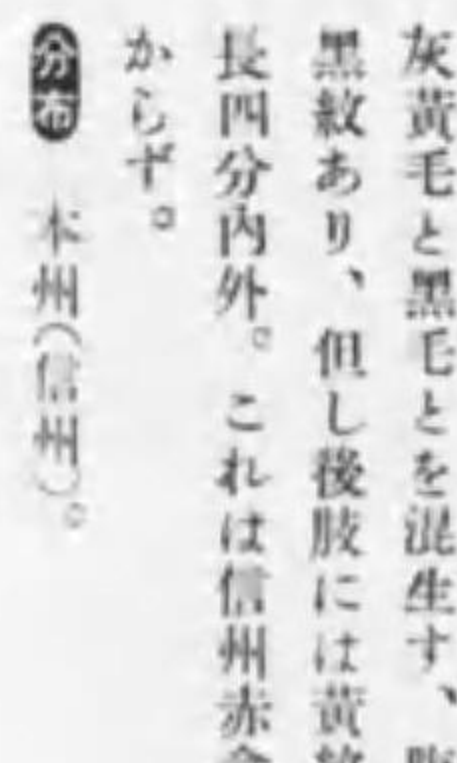
第二節基部兩側に黄褐色、第三、四節の中央に灰白帯あり、第五節後縁の中央は黄色。體長三分五厘。これは熊本にて捕獲せるが少なし。

〔分布〕 九州。

アカクラアシフトハナアブ……………(七〇)  
Microton (Heliophilus) akakurenensis Mats.

體灰黄色。頭頂に黒條を具ふ。顔黄白、白色を裝ふ。觸角は黒褐。胸背に三黒條あり。灰黄毛多し、胸側は灰黄。翅は透明を帶ぶ。平均體長五厘。腹部は黄褐色、基部の兩側は黄褐、第一節並びに各節の後縁及び兩側は黄白灰黄毛と黒毛とを混生す、腹面褐色。脚は暗褐色あり、但し後肢には黄紋及び白紋あり。體長四分内外。これは信州赤倉地方に産するも多からず。

〔分布〕 本州(信州)。



キンアリスアブ……………(七一)  
Microton japonica Yano

體黒色、緑色を帶ぶ。顔には黄白短毛を密生す。觸角暗褐。胸背に黄褐毛多く、紫色の四縱條あれども判然せず。稜狀部に灰黄毛多し。平均體黄色。翅透明。腹部に黒色短毛を裝ひ、第二、三及び四節後縁並に兩側に絹様の黄白毛を裝ふ、腹面に金色毛あり。脚は黒褐。體長四分内外。これは蟻の巢に寄生す。

〔分布〕 北海道。



Microton auricomus Coq.

體黒緑。頭緑青、黄白毛を裝ふ。觸角黒褐、雄にては黄褐色あり。胸背に淡黄毛を密生すれども、中央には黒毛を混ず。胸背に紫色の三縱條を具へ、その兩側は虹様の黄銅色。翅透明。平均體黄色。腹部には金色の軟毛を密生し、雄は第二、三節の基部に黒毛を混ず。脚黒褐。體長四分内外。蟻の巢に寄生す。多からざるが如し。

〔分布〕 本州。



フトオビアリスアブ……………(七二)  
Microton hirsutus Mats.

體黒色。顔には絹様の光澤ある灰白毛を密生す。胸背に灰黄短毛あり。平均體黄色。翅半透明、少しく暗褐色を帶ぶ。腹部は黒色短毛多く、第二、三節の後縁に金色の短毛を密生し、恰も黄帯を有するが如し。脚に灰色、暗褐色あり。體長八分。これは八重山に少からず。

〔分布〕 沖縄、臺灣。

アリスアブ……………(七三)  
Microton japonica Yano

體黒色、緑色を帶ぶ。顔には黄白短毛を密生す。觸角暗褐。胸背に黄褐毛多く、紫色の四縱條あれども判然せず。稜狀部に灰黄毛多し。平均體黄色。翅透明。腹部に黒色短毛を裝ひ、第二、三及び四節後縁並に兩側に絹様の黄白毛を裝ふ、腹面に金色毛あり。脚は黒褐。體長四分内外。これは蟻の巢に寄生す。

〔分布〕 北海道。



オホキンアリスアブ……………(七四)  
Microton taiwanus Mats.

體は黒綠色、背上に金色の短毛を密生す。觸角暗褐。複眼黄褐。翅半透明、脈栗色。腹面の基部及び第二節の後縁黄褐。脚黒色、脛節に



オキナハナガハナアブ……………(七五)  
Microton hirsutus Dyar

體黄金色。觸角淡黄褐。胸背の太き一線並に兩側の二大紋は暗褐色。翅黄褐、半透明。平均體長五厘。腹部は黄褐色、基部の兩側は黄褐、第一、二節の後縁に黄褐色あり。脚黄



ハナハチモドキアブ……………(七七)  
Nephomyia bombiformis Mats.

胸側紋は黄色。翅の後半稍々透明、前半は透明黄褐色を帶ぶ。平均體黄白。第二腹節の中央に山字形の黒紋ありて、其前縁は黄白、半透明、第三節の山字形紋の前縁は黄色、第四節黄褐。脚黄褐。體長七分内外。これは花上に捕へ得べきも餘り多からず。

〔分布〕 樺太、北海道、本州、九州。





體は黒緑、黄白長毛を密生す。顔は光澤ある黒色。觸角黄褐。複眼には黄褐の短毛多し。胸背にある長毛は他より濃色。翅は透明外半少しく黄色を帯ぶ。平均棍は淡黄褐色。腹部の長毛は胸背の如く密ならず、第一、二節の基部黄白。脚黒色、黄褐色あり。體長四分五厘内外。これは日光にて捕獲したる珍種なり。  
分布 本州。

チャウサンマメヒラタアブ……………(七八)

Paragus jozani Mats.



體黒色。顔黄色。觸角暗褐。後頭には銀色毛多し。胸背には黄褐の短毛を装ふ。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。平均棍黄白。第三腹節の基部に三角形の黄紋あり。脚黄色、暗褐色あり。體長二分。これは札幌地方に産するも稀れなり。  
分布 北海道。



ノヒラマメヒラタアブ……………(七九)  
Paragus quadrifasciatus Meig.  
體黒色。顔黄白、同色毛を生ず。觸角暗色、端刺は黄色。胸部には黄色の光澤あり。腹部黒色、三黄帯を具へ、第五、六節は黄色、同色毛を装ふ。脚は黄色黄白紋あり。平均棍黄白。體長三分内外。これは京都地方に産するも少なし。  
分布 本州、朝鮮、歐洲。

マメヒラタアブ……………(八〇)

Paragus fuscatus Coq.



體黒色。顔黄白、觸角黒褐、第三節褐色。稜状部の末端黄色。第二腹節の中央帯、第三節の基部(中央紋を除き)は黄色。脚黄色。腹節の基部、跗節の中紋及び跗節の基部は黒色。體長一分七厘。これは普通なり。



透明、中央に暗色紋あり。平均棍黄色。體長三分内外。これは札幌地方に産するも少なし。  
分布 北海道。

フタホシタマヒラタアブ……………(八五)

Pipizella biglumis Mats.

體光澤ある黒色。頭頂、前頭及び顔黒色、金屬様光澤あり、白毛を生ず。複眼に短毛を密生す。觸角褐色。胸は灰色。第二腹節に黄色の二透明紋あり、腹面は黒色、第二腹面節に二白色紋を有す。翅透明。平均棍は黄色。脚黒色、黄紋を装ふ。體長三分内外。これは札幌地方に産するも少なし。  
分布 本州、九州。



ふ。體長三分内外。これは札幌地方に産するも少なし。  
分布 本州、九州。

クラマイタマヒラタアブ……………(八六)

キアシマメヒラタアブ……………(八一)  
Paragus tibialis Fall.  
顔は黄色、中央は黒色、黄色毛を具ふ。頭頂黒色、黒毛を装ふ。觸角黒色。胸は光澤ある黒色、短毛を生ず。腹部黒色、短黄毛を装ひ、第三、四節の後縁は褐色。脚黄色、腹節の基部黒色。體長二分内外。普通なり。  
分布 樺太、本州、九州、朝鮮、沖繩、臺灣、支那、歐洲、阿弗利加、北米。



タマガハマメヒラタアブ……………(八二)

Paragus tamagawanus Mats.

顔黄色、黄毛を具へ、中央に黒條あり。觸角基部の二節は黄色、以下各節褐色。頭頂黒色。胸は光澤ある黒色、黄灰毛を生じ、兩側に白毛を装ふ。稜状部紫色を帯ぶ。腹部

體金緑色。觸角暗褐。胸部に點刻を密布し、胸背の兩縁に沿ひ二溝を具へ、中央には交又せる二溝あり。腹部は藍色を帯び、光澤あり。脚黄褐、腹節及び跗節の末端は黒色。平均棍黄色。翅透明。體長一分五厘内外。これは中國地方に産するも少なし。  
分布 本州。



モンキモモフトハナアブ……………(八七)

Psenobolus decipiens H. B.

雄は黒褐、頭灰白。觸角黄褐、第一及び第二節は黒色。胸背に淡黄褐色を密生し、前方に黒色の二條あれども判然せず。翅透明、中央に近く前縁に接して二暗褐色を装ふ。腹部黒色、黒毛を装ひ、第一及び第二節黄褐、後者の後縁及び中央の一條黒色、各節の後縁に黄褐色あり。脚黒褐。雌は少しく小形、



ふ。腹部黒色、黒毛を装ひ、第一及び第二節黄褐、後者の後縁及び中央の一條黒色、各節の後縁に黄褐色あり。脚黒褐。雌は少しく小形、

黄褐、初めの二節黒色、灰色毛を具ふ。翅透明。平均棍淡黄。脚黒色、黄紋あり。體長二分内外。これは東京地方に稀ならず。  
分布 本州。

クロコヒラタアブ……………(八三)

Pipiza inornata Mats.



エゾコヒラタアブに酷似すれども、體小形、體毛少なく、腹部黒色、第二節最も幅広く、斑紋を缺く、腹面暗色。體長二分内外。これは札幌地方の花上に稀ならず。

エゾコヒラタアブ……………(八四)

Pipiza yezoensis Mats.

體黒色。頭藍色を帯ぶ。顔に灰色毛を具ふ。複眼に長き灰色毛を装ふ。觸角黒色。口吻黄赤褐。胸背後縁に黄毛を有す。腹に灰色の長毛を装ひ、第二節にハ字形の二黄紋を具へ、各節後縁に黒毛を有す。脚黒色、橙黄色紋を有す。翅



稜状部黄褐、後腿節細く、基部淡黄褐。體長四分五厘内外。これは花上に捕へ得べし。

分布 北海道、本州。

ハナダカハナアブ

*Rhingia laevigata* Loew

體灰黒。複眼及び頭黄褐。觸角黄色。頭頂黒色。胸背前縁に灰色の判然せざる二縦線を裝ふ。翅透明、前縁及び基部は黄色を帯ぶ。鱗状部は灰黄、平均根及び腹背は黄色、尾端は光澤ある黒色、第二、三腹節にも黒色紋あり。脚黄色黒褐紋を裝ふ。これは札幌地方に普通にして、花上に捕へ得べし。



♀

分布 北海道、本州。

オホシマハナアブ

*Sarcophaga borealis* Fall.

體黒色、紺色を帯ぶ。顔は灰黄、中央に太き黒色の一縦線あり。觸角褐色、端刺に羽状毛あり。頭頂及び口吻は黒褐、胸背に黄色を生じ、中央には紺色毛を著生す。肢黒色に紺色。翅透明

背側側黄白、中央に三黒條を具へ、稜状部黄白、黄白及び黒褐毛を混す。平均根黄色。翅透明。腹部暗褐、斑紋は橙黄色、黒毛及び黄白毛を混生す。脚黄白。體長二分五厘内外。これは京都地方に産するも少なし。



♂

分布 樺太、北海道、本州、九州、西比利亞、支那、歐洲、北米。

ヲガサハラヒメヒラタアブ

*Sphaerophoria ogasawarenis* Mats.

體緑黒色。顔淡黄。觸角淡黄褐。頭頂黒色、後頭に灰白毛を有す。胸背の兩側に一白條あり。黄毛を裝ひ、稜状部は黄色。腹黒色、末端の半部は淡褐、第二、三及び四節に一黄帯あり。腹面は黄色、暗褐の二紋あり。脚黄色、褐紋を有す。平均根黄色。翅透明、縁紋は銀色。體長三分内外。これは父島にて捕獲せるが多からざるが如し。



♀

明、基部少しく黒褐。第二、三及び四腹節中央に各一個の黄帯を裝ふ。腹部の兩側及び尾端に黄灰毛を密生す。脚黄色。體長六分内外。これは札幌地方の花上に普通なり。

分布 北海道



♂

タイワンヒメヒラタアブ

*Sphaerophoria*

*Chindria* Gray



♀

分布 小笠原島。

ススキヒメヒラタアブ

*Sphaerophoria (Moltisreptus) suzuki* Mats.

顔黄色、中央に黒條あり。頭頂黒色、黒毛を生ず。觸角黄色。胸部緑黒、藍色の光澤あり、中胸背に三黒條を裝ひ、兩側に淡黄條を具へ。肩には銀色の光澤あり、稜状部淡黄色。腹は黒褐、三黄帯を具へ、第五、六節に各二黄紋を裝ふ。脚淡黄。翅透明。平均根黄色。體長三分内外。これは京都にて捕獲せり。

分布 本州。



♀

ヒメヒラタアブ

*Sphaerophoria tennista* Meigs.

體黒緑、頭淡黄。觸角は黄色、第三節の上方及び端刺暗色。口吻は黒褐、末端は黄色。胸背に濃色の三縦線を裝ふ。翅透明。腹部は黒色、第二節以下各節の中央に黄帯を具へ、第五及び六

コヒメヒラタアブ

*Sphaerophoria dimunta* Mats.

體黒色。顔淡黄、頭頂黒色。觸角黄色、第三節は多少暗褐。胸背の兩側は淡黄、稜状部は黄色、黒毛を生ず。腹に三黄帯あり、これに黄毛と黒毛を混生す。脚黄色、黒毛を有し、跗節の二末端節は褐色。翅透明、縁紋淡黄。體長二分内外。これは微小なる種類なれば捕へ損ふものなり。

分布 本州。



♀

ケヤウコヒメヒラタアブ

*Sphaerophoria menhastri* Tr.

節にあるものは中央にて分離す。腹面及び脚は黄色。體長三分内外。これは早春何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、西比利亞、歐洲。



♂

チヤウサンナガハナアブ

*Sphomyia jozankenna* Mats.

體暗褐。頭、前胸背の四紋、胸側の一紋、中胸背の五紋、平均根及び腹帯は橙黄色。頭に淡黄褐毛を密生す。觸角は淡黄褐。



♀

胸背の中央に灰黄の一縦線あり。翅半透明、中央に暗褐條あり。脚黄褐、暗褐紋を裝ふ。體長六分五厘内外。これは一見胡蜂に似たり。織形科植物の花上に普通なり。

分布 北海道。



スズキナガハナアブ……………(九七)

*Sphomyia suzuki Mats.*

體暗褐。頭黄色。觸角黄褐。胸部、その後方の

一點、側片、

胸背側の弓

状紋、後縁の

半圓形紋並に

稜状部の後縁

は淡黄褐。翅

半透明、翅底

及び中央の大紋は黄褐。平均根黄白。腹部の斑

紋は淡黄褐、腹面暗褐。脚淡黄褐。體長五分

外。これは京都地方に少なからず。

分布—本州。



♀

イツシキホソクロハナアブ……………(九八)

*Zenochelostia ishiki Mats.*

體暗褐。頭及び

胸背は銅色を帯

ぶ。觸角に黒褐

短毛多し。複眼

内側に黄褐短毛

を寄生す。頭心

中央に瘤状突起



♀

分布—北海道、本州、九州、印度、馬來、濠洲、西比利亞、歐洲。

ホソクビヒラタアブ……………(一〇一)

*Syrphus cinclivus Zett.*

體黑色。顔は黄色、黄毛を装ふ。頭頂暗灰色、光

澤ある二黒紋あり。觸角黄褐。胸背光澤を帯

び、黄毛を装ふ。稜状

部黄色、黄白毛あり。

平均根黄白。第二乃

至第五腹節の後縁は

黒色、第一節に黒條

あり、第六節は黒色

黄毛を具へ、黒色部には黒毛あり。脚黄色。體

長五分五厘内外。これは樺太に少なからず。

分布—樺太、西比利亞、歐洲。



♂

シハヒラタアブ……………(一〇二)

*Syrphus (Eusyrphus) cingulatus Mats.*

體暗色。顔黄色、觸角黒色、第三節に灰色毛を

有す。胸部に淡黄毛を密生し、稜状部黄色。翅

透明。平均根黄色。腹部黒色、灰色の三帯を具

へ、第二、三節の前縁、第四、五節の後縁は細

あり。口吻暗褐。胸背に金色短毛あり。翅透

明。腹部に黄褐短毛を装ひ、尾端黄褐。脚黄

色、暗褐紋あり。體長三分八厘内外。これは信

州地方の高原に少なからず。

分布—本州。

ハラホソヒラタアブ……………(九九)

*Stenopipiza bipunctata Mats.*

體黒綠色。顔に灰色毛、前頭及び頭頂に黄毛を

有す。口吻褐色

觸角褐色、黄紋

あり。胸部に黄

毛を装ふ。翅透

明。平均根白色。

腹部は暗褐、第

三節の兩側に黄

紋を有す。脚黄

色、黒紋を装ふ。體長二分内外。これは札幌地

方に稀ならず。

分布—北海道。



♀

ナカグロヒラタアブ……………(一〇〇)

*Syrphus (Dilochopus) aeneus Mats.*

體光澤ある黒色。顔黄白、一黒條を装ふ。觸角

は黄色、黄毛及び

白毛を寄生す。前

中兩腹節の大部は

黄色。體長三分内

外。これは花上に

捕へ得べきも少な

し。



♂

アシタロヒラタアブ……………(一〇四)

*Syrphus (Mesosyrphus) constrictus Mats.*

體黑色。顔橙黄色、光澤ある黒條を有す。頭頂

及び前頭は黒色、藍色

を帯び、雌はこの兩者

の間に黄條を有す。第

三觸角節褐色。複眼に

細毛を装ふ。胸部光澤

あり、淡黄毛を生じ、

兩側の毛は灰色にして長し、稜状部黄色、基部

藍黒、暗色毛を装ふ。翅透明、黄色を帯ぶ。平均

根暗色。腹部黒色、細き三黄帯あり、雄にては第

四、五節の後縁は黄色、黄毛及び暗色毛を生ず、

腹面黄色、各節の後縁暗色。脚黒色、前中腹節



♂

ナミヒラタアブ……………(一〇一)

*Syrphus (Egisyrrhus) balteatus Des.*

體黄色。胸暗緑。觸角黄色。翅透明、少しく暗

色を帯ぶ。腹部に黒帯

を装ひ、各節の後縁に

あるものは太く、前縁

のものは細し、時に第

一節黒色、第二節の中

央に黒紋を装ふものあ

り。基部黒褐。體長四

分五厘内外。これは何

れの地方にも普通なる

種類にして、幼蟲は専ら好蟲を捕食して有益な



♀

は黄色。體長二分五厘内外。これは札幌地方に

産するも少な

し。

分布—北海道。

フタホシヒラタアブ……………(一〇五)

*Syrphus (Metasyrphus) corollae F.*

體黒緑。頭黄色、頭頂黒色、黒色の短毛を装

ふ。觸角黄色、第二、三

節の末端並に端刺は褐

色。胸背の兩側に淡黄

毛を寄生す。翅は透明

縁紋は灰黄。腹部黒色

第二節の兩側及び第

三、四節の前縁の廣帯

は黄色。體長三分五厘

内外。これは早春、花

間に普通なり。幼蟲は

好蟲を捕食して有益なり。

分布—北海道、本州、西比利亞、歐洲。



♂

ニセホソヒラタアブ……………(一〇六)

*Syrphus (Egisyrrhus) fallaciosus Mats.*

ホソヒラタアブに似るも、體黒綠色、顔白色、顔

黒色、觸角淡黄褐、胸背に二灰色條を有し、兩





側に灰色毛を具へ  
翅透明、平均棍灰  
白色、腹部藍黑色  
少し紫色を帯び、  
七黄色帯を具へ、  
第五節は後縁にて  
第七節は基部にて  
黄色、暗色短毛を生じ、黄色毛を混ず、脚黄色  
後肢の跗節は第一節を除き暗色なるによつて區  
別せらる。體長三分五厘内外。稀ならず。  
分布—本州、九州。

ホシヒラタアブ……………(107)



Syrphus (Metasyrphus) frequens Mats.  
體黑綠色。顔淡黄、淡黄毛を具へ、中央に暗色  
條あり。觸角暗色、下  
面は淡色。雌にては頭  
頂黑色、前頭に人字形  
の黒紋を有す。胸に淡  
黄毛なり、兩側は黄色  
翅透明。腹部黑色、雄に  
ては藍色を帯び、六黄  
紋を具へ、腹面黄色。脚黄色、基部、轉節、腿  
節の基部、中脛節の中央及び跗節端は暗色。

ミカドヒラタアブ……………(111)



Syrphus mikado Mats.  
體金綠色。顔淡黄、同色毛を密生す。前頭黄金  
色にして、暗色條あ  
り。觸角暗色。胸側は  
黄色、中胸背に暗色  
の三條を有す。翅透  
明。平均棍淡黄。腹  
部に黄色の三條を有  
し、黄毛及び暗色毛  
を混生す、腹面黄色、第三及び四節に廣き暗色  
帯を有す。脚黄色、基部、轉節、腿節基部及び  
後脛節の中央は暗色。體長四分内外。これは札  
幌地方の花上に捕へ得べきも少なし。  
分布—北海道。

モトマリヒラタアブ……………(112)



Syrphus (Stenosyrphus) motoharu  
is Mats.  
ハラボソヒラタアブ  
に酷似するも體小  
形、雄は黒線、雌の  
前頭及び頭頂は藍黒  
色、灰黄の二紋あ

體長三分内外。これは花上に普通なり。  
分布—北海道、本州、九州。

ヤマトヒラタアブ……………(108)



Syrphus yamatensis Mats.  
オホフタホシヒラタアブに酷似するも、その異  
る所は、體大形、雌  
の第二及び三腹節  
の黄帯は後縁にて  
列られず、各腹面  
節に暗色紋を具へ  
第三及び四節の後  
縁は淡黄。後脛節  
は雌にては末端三分の一を除き暗色、基部に近  
く暗色毛を密生す。體長四分。これは札幌地方  
に少なからず。  
分布—北海道、本州。

カハグチホソヒラタアブ……………(109)

Syrphus (Metasyrphus) kaguchihosoi  
Mats.  
體黑綠色。顔黄色、綠色の光澤あり、眼の周圍  
及び頬は藍黑色、黄褐色を裝ふ。觸角黒褐。胸  
に黄紋を具へ、黄毛あり。翅透明。平均棍淡  
黄、腹部の黄紋は何れも側縁に連す。體長二分  
内外。これは元泊地方に産するも少なし。  
分布—樺太。

オキナハコヒラタアブ……………(113)



Syrphus (Macrosyrphus) okinawa  
Mats.  
體金綠色。顔淡黄。頭頂暗色。觸角黄色、背面  
及び末端は暗  
色。胸背に暗色  
の三條を具へ、  
兩側は黄色。平  
均棍淡黄。翅透  
明、中央は少し  
く暗色を呈す。  
腹部暗色、黄色の廣帯を裝ふ。脚黄色、跗節の  
末端及び後脛節の中央は褐色。體長四分内外。  
これは沖縄に普通なり。  
分布—九州、沖縄。

オキナハヒラタアブ……………(114)

Syrphus okinawensis Mats.  
體黄色。胸背黒線。頭頂黒褐。顔に黄毛、頭頂  
に暗褐毛あり。觸角黄褐。後頭の兩側に灰白毛



黄。腹部黑色、六黄紋  
を具へ、第四、五節  
の後縁は淡黄、黄毛  
と黒毛とを混生す、  
腹面淡黄、第三、四  
節に栗色紋あり。脚  
暗色、黄紋を裝ふ。體長二分五厘内外。これは  
樺太に少なからず。  
分布—樺太。

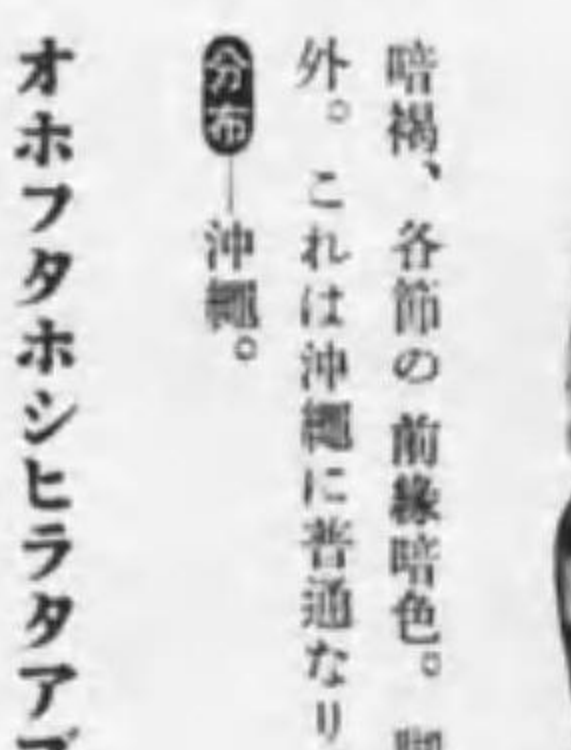
ホソムツモンヒラタアブ……………(110)



Syrphus lasiophthalmus Zett.  
體黑褐。顔黄色、黒毛を裝ふ。胸背には黄褐毛  
多く、稜状部は黄  
褐、黒褐の長毛を  
裝ふ。平均棍黄褐。  
翅透明、灰褐を帯  
ぶ。腹部に橙黄色  
の六紋ありて、二  
列に配列す、腹面  
暗灰色、黄褐毛多し。體長三分内外。これは樺  
太に普通なり。  
分布—樺太、西比利亞、歐洲。

を密生す。胸背兩  
側並に稜状部は黄  
褐、後者に黒褐の  
長毛あり。平均棍  
黄色。翅稍や透明。  
腹面は半透明、雌  
甲様の黄色、第二、  
四腹背節の後縁は  
暗褐、各節の前縁暗色。脚黄色。體長五分内  
外。これは沖縄に普通なり。  
分布—沖縄。

オホフタホシヒラタアブ……………(115)



Syrphus ribesii L.  
體暗綠。頭淡黄、觸  
角上方に三角形の黒  
褐紋を裝ふ。觸角黄  
褐、第二節及び端刺  
は褐色。胸背に濃色  
の三條を具へ、兩側  
に黄毛を密生す、稜  
状部黄色、黒褐毛を  
生ず。翅透明。腹部  
黒色、黄色の四帯を



具へ、第一節にあるものは中央にて分離す。脚黄色、跗節黒褐。體長四分五厘内外。これは早春札幌地方に普通なり。

分布—北海道、本州、西比利亞、歐洲。

クロヒラタアブ……………(一一六)

*Syrphus (Pectasyrphus) serarius* Wied.



體黑色。複眼赤褐。顔灰黄、觸角直上は光澤ある黑色、少しく綠色を帯び、端刺褐色。後頭に黄毛、頭下に灰色毛を密生す。胸背黒褐、黄褐色を裝ひ、三條の濃色線を具ふ。稜狀部暗黄。翅透明、中央少しく黄色。腹背に三黄白帯を裝ひ、第二節にあるものは藍色を帯び、他の二節にあるものは中央にて遮断せられ、腹面鉛色。脚黄褐。體長四分内外。これは花上に捕へ得べきも北國には少なし。

分布—本州、九州。

ケヒラタアブ……………(一一七)

*Syrphus (Easiophionus) torvus* O. K.

體灰綠色、光澤なし。顔黄色、少しく藍色の光澤を帯ぶ。頭頂及び觸角上に暗色線を具へ、同色毛を生ず。胸部に黄色長毛を裝ひ、稜狀部は

緑黄。翅透明。平均根黄色。腹部に三黄帯を具へ、第四、五節の後縁も亦細く黄色、腹面は淡黄脚黄色、基節、轉部、腿節の基部、跗節及び後脛節の中央は暗色。體長三分五厘内外。これは何れの地方にも稀ならず。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

ムツボシハチモドキハナアブ……………(一二八)

*Takomyia Gnauchata* Mats.



體黑色。後頭の兩側に短白毛を密生す。顔及び頬に灰白毛あり。觸角橙黄色。胸背の縱條は灰白、肩部に一褐色を具へ、稜狀部に灰白短毛を

裝ふ。前翅は灰黄、半透明。平均根は淡黄褐。腹部の斑紋は黄褐、全體に黄白短毛多し。脚黄色、後肢黒色、黄紋あり。體長四分内外。札幌附近の高原地方に産するも多からず。

分布—北海道。

ニトベナガハナアブ……………(一二九)

*Temnostoma homilyanus* F.

雄の體暗褐。頭黄白、顔の一條、頬及び觸角には黑色、但し雌にては顔及び頭頂に太き黒條あり。觸角淡黄褐。肩に黄紋を具ひ横溝及び側片紋は黄色。翅半透明、前半暗褐。第二、三及び四腹節に黄帯を具へ、第二及び三節のものは下方に弓曲し、雌に於ては中央にて遮断し、第五腹節は黄褐。脚暗褐。體長四分内外。これは青森地方に少なからず。

分布—北海道、本州。

ベツカフハナアブ……………(一三〇)

*Volucella jacksoni* Bigg.



體黄色。顔は黒褐。觸角黄褐、第二節黒褐。胸背及び稜狀部は體甲様の黄色。翅透明、翅底黄色、外縁の半ば灰色、末端は濃灰色。翅の中央に暗褐色あり。平均根褐色あり。前脚、第二節は暗黄、前縁の中央に稍や三角形の黒紋を具へ、全面に金色の短毛を密生す。脚は黑色。體長五分五厘内外。これは東京地方に稀ならず。繖形科植物の花上に捕へ得べし。

分布—本州。

クロフベツカフハナアブ……………(一三一)

*Volucella nigricans* Coq.



體黑色。頭及び

觸角は淡黄褐。雄は複眼に暗褐色毛を裝ふ。胸背前後の兩角は黄褐、同色の短毛を裝ふ。翅半透明、翅底の半部及び脈は體甲様の黄色、中央に黒褐紋、翅端に暗褐色を具ふ。平均根暗褐。腹部の斑紋は黄白。脚黑色、黄褐紋あり。體長六分五厘内外。本州に普通なるも北海道には産せざるが如し。

分布—本州、九州。

ニトベベツカフハナアブ……………(一三二)

*Volucella nitobei* Mats.



體黄褐。顔に褐色紋を具へ、頭に黄褐毛多し。胸背の中央に暗褐色の一條を具へ、兩側、後縁及び稜狀部に黑色の剛毛を有す、肩部に絹様の光澤ある黄白紋あり。翅前縁の前半は暗色、半透明、後半は透明。平均根黄色。腹部の紋は黄白、第二節に黄白毛、他節に黑色の短毛を密生す。脚は黄褐、腿節に黑色短毛あり。體長七分。これは稀なるが如し。

ムツボシベツカフハナアブ……………(一三一)

*Volucella Gnauchata* Mats.



體淡黄褐。頭頂、顔及び胸背の前縁、兩側並に後縁に黄褐色を密生す。胸背暗褐、前胸背に黄褐の二條を具へ、中胸背に黄白紋あり。翅半透明、翅底の半部は體甲様の黄色。平均根黄白。第一腹節暗褐。第二、三及び四腹節の兩側に黒褐紋を具へ、全面に光澤ある金色毛を密生し、黒褐紋上には黒褐毛を混生す。脚黄褐、黒毛を具へ、黄色の長毛を混生す。體長六分内外。これは近畿地方には稀ならず。

分布—本州。

スズキベツカフハナアブ……………(一三四)

*Volucella sasakii* Mats.

體黄褐。複眼暗褐。觸角褐色、端刺淡色、その





羽状毛は一層淡色。口吻黄褐。胸背の兩側、後縁及び稜状部に黄褐の剛毛を装ふ。翅淡黄褐、半透明。平均棍黄褐。腹部暗褐、暗褐及び金色の短毛多く、腹面は光澤ある褐色。脚黄褐。體長五分内外。これは京都地方に産するも少なし。  
分布—本州。

スカシベツカフハナアブ……………(二二五)

*Volucella talenoides* Motsch.

ヤゴニカ形

f. japonica Mats.



雄、體黑色。頭は淡黄褐。口部に黒短毛を粗生す。觸角は橙黄色、羽状毛は暗褐。複眼に暗褐毛を密生す。胸背は光澤あり、黒毛多し、稜状部褐色。翅は透明、翅底は少しく黄色。外縁の半部は脈と共に灰色。中央に暗褐紋を有す。平均棍黄色。第二腹節は

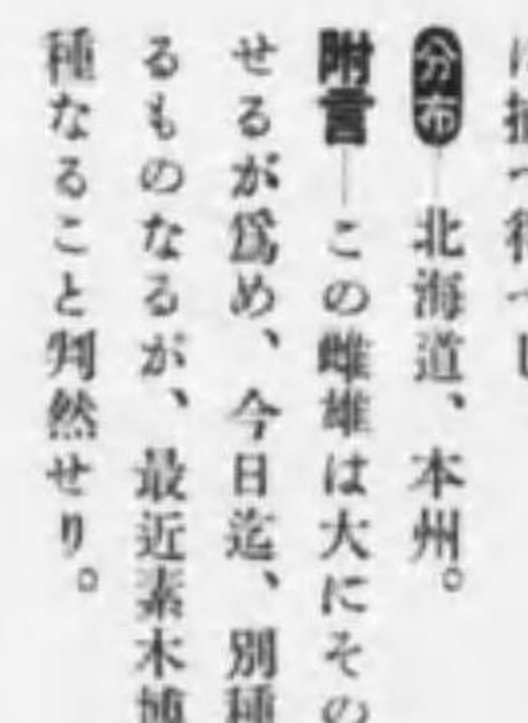
黄白。脚に黄褐紋あり。體長四分五厘内外。雌、體は黒褐。頭及び胸背は淡黄褐。顔は籠甲様の光澤を帯ぶ。觸角橙黄色。胸背に黒色の四條を具へ、前胸の兩側、後縁及び稜状部に黒色の剛毛を装ふ。翅透明、翅底の半部黄色、中央及び翅端に暗褐の大紋あり。平均棍黄白。腹黑色、第二節黄白、同色毛を具へ、後縁に黒毛を密生す。脚黒褐。體長六分内外。これは何れの地方にも普通の種類にして、雌雄共に繖形科植物の花上に捕へ得べし。



分布—北海道、本州。

テラウチベツカフハナアブ……………(二二六)

*Volucella formosana* Mats.



灰色を帯ぶ。腹部の斑紋は黄褐。脚黑色、觸節の末端及び脛節の基部は黄色。體長二分七厘。これは臺灣に稀ならず。  
分布—臺灣。



體黑色、緑色を帯ぶ。頭黒褐。第三觸角節は暗黄。胸背に灰黄毛を生ず。翅は透明。鱗状斑は灰白。平均棍は黄色。腹部に灰色の短毛多し。脚黑色。體長五分五厘内外。夏日札幌地方の花上に少なからず。  
分布—北海道、本州。

クロナガハナアブ……………(二二〇)

*Zelima longica* Corp.



體光澤ある籠甲様の淡黄褐。觸角黄褐。頭暗黄、黄毛を装ふ。複眼赤褐、黄褐短毛多し。胸背に黄褐毛多く、中胸背の兩側に黒褐の剛毛あり。稜状部黄色。翅透明、中央の一紋及び外縁は暗灰色。腹部暗褐、第一、二及び三節の後縁は細く黄褐。脚淡黄褐。體長五分。これは魚池地方に稀ならず。  
分布—臺灣。



體光澤ある籠甲様の淡黄褐。觸角黄褐。頭暗黄、黄毛を装ふ。複眼赤褐、黄褐短毛多し。胸背に黄褐毛多く、中胸背の兩側に黒褐の剛毛あり。稜状部黄色。翅透明、中央の一紋及び外縁は暗灰色。腹部暗褐、第一、二及び三節の後縁は細く黄褐。脚淡黄褐。體長五分。これは魚池地方に稀ならず。  
分布—臺灣。

ヨツボシツヤヒラタアブ……………(二二二)

*Xanthogramma contus* Harr.



體青銅色。顔黑色、淡黄毛を具ふ。觸角褐色、黄紋あり。口吻褐色。胸部に淡黄毛を装ふ。翅透明。平均棍淡黄。腹部黑色、

モモアカナガハナアブ……………(二二一)

*Zelima sapporoensis* Shiraki.



體黑色、光線によりて紺色を現はす。頭に黒毛を装ふ。觸角は黄色。胸背に黄褐毛を密生し、兩側に黒毛を混生す。翅は透明。平均棍黄色。腹部に灰白毛を装ひ、雌にては第五節細く、第一節に横紋多し。脚赤黄、黒紋あり。體長五分内外。これは樺太及び北海道に稀ならず。  
分布—樺太、北海道、朝鮮。

クロハキベリヒラタアブ……………(二二三)

*Xanthogramma fumipenne* Mats.



サツポロキベリヒラタアブに似るも前頭は黄色、長き暗色毛を密生す。複眼に灰色毛あり。胸黑色、胸背の兩側は稜状部に暗し、黒毛及び黄毛を混じり、後部及び稜状部に暗

同色毛を有し、斑紋は橙黄、腹面黄色。脚黄褐。雌の腹部は暗褐。體長四分五厘内外。これは樺太に産するも少なし。  
分布—樺太、北海道、臺灣、歐洲。

ネウスナガハナアブ……………(二二八)

*Zelima ignava* Parz.



體黑色。顔灰黄、網様の光澤あり。觸角は黒褐。胸背に黒毛及び黄毛を混生し、肩部灰白、胸側及び後縁に白毛あり、稜状部に黒色及び白色毛を装ふ。平均棍黄色。翅透明、

タイワンヨツボシナガハナアブ……………(二二九)

*Zelima formosana* Mats.

體黑色。顔は紺様の白色。頭頂に灰黄の長毛あり。觸角褐色。胸背に灰黄短毛多し。翅は透明



色毛を有す。稜状部は全部黄色、腹に暗色毛を  
装ひ、基部兩側に長黄毛を具へ、第五節の先端  
は黒色、脚淡黄、後腿節及び脛節の末端は暗  
色、翅半透明、少しく暗色を帯ぶ。體長三分内  
外。これは臺灣に少なからず。  
分布—臺灣。

キベリヒラタアブ……………(一三三)

*Oithosyrphus saiporensis* Mats.

體光澤ある黒線。頭、胸背の兩側、中後兩胸側



片の一紋、稜状部及  
び腹部の斑紋は橙黄  
色、雌にては單眼部  
暗褐。觸角淡黄褐。後  
頭に灰白毛あり。胸  
背に黄毛を密生し、  
胸側に黄縱條あり。

翅透明。平均棍黄褐。腹は天鵝絨様黒色、第五  
節黄色、黒褐紋を具へ、第四及び五節の後縁は  
黄褐、腹面黄白、黒褐紋を装ふ。脚淡黄褐。體  
長四分内外。これは札幌地方に普通なり。  
分布—北海道、本州。

附言—*Xanthogramma* 屬に類似するも、複眼  
に細毛を有するによりて區別せらる。

三 扁脚蠅科 *Platypezidae*

觸角は端直、前方に突出して相接近し、第三節  
には三節ある端刺を有す。口吻は隠れ、頭は  
大、胸部よりも廣きものあり。複眼は相分離す  
後肢は太く、跗節は廣くして平し。静止の時は  
翅を腹上に置く。本邦に學名を有するもの三種  
あり。小形なる藍色の種類にして、微小なるが  
爲め捕獲困難なり。

ルリツヒラタアシバ……………(一三六)

*Platypeza coeruleiceps* Mats.



藍色(乾燥標本は赤  
褐)。顔は暗色、觸角  
は黒色。胸背に斑紋  
を缺く。翅は透明、  
前縁及び第二脈は暗  
色、他は黄褐。平均

棍は橙黄色。各腹節の後縁に黒帶ありて、中央  
に三角形の突起を有す。脚は黄褐、脛節及び脛  
節の外半は暗色、初三跗節は肥大し、第一節は  
三角形を呈す。體長一分五厘。これは花上に捕  
へ得べきも稀なり。

二 頭虻科 *Pipunculidae*

頭は胸より廣し。口吻は隠る。觸角短く、第三  
節は卵形、三副節ある端刺は直立す。小腮鬚は  
環節をなさず。雄の眼は大、互に相接す。腹部  
細く、六節より成る。鱗狀辨は退化す。翅は腹  
部より長く、静止の時は屋斜狀に置く、第三縱  
脈は分支せず。幼蟲は主として浮塵子に寄生  
す。本邦に産するもの數種あり。

クマモトアタマアブ……………(一三四)

*Pipunculus kumamotoensis* Mats.



工合にて金色を  
現はす。顔に白  
粉を装ふ。第三  
觸角節は黄褐。  
翅透明、虹色を  
表す。各腹節後  
縁の兩端に灰白

粉を装ふ。脚黄色。體長一分五厘内外。これは  
熊本地方に産する普通種なり。  
分布—九州。

分布—北海道。

四 蚤蠅科 *Phoridae*

觸角球狀、口吻の直上に位し、一本の長剛毛を装  
ふ。小腮鬚は長く、棍棒狀。頭は下方を向く。  
胸背は穹狀に膨起し、横溝なし。翅大、脈少な  
く、前縁に太き二脈を有す。後腿節は甚だしく  
膨大し、跳躍に適す。寄生的の生活をなすもの  
と、腐敗物を食するものとあり。本邦に産するもの  
二十數種あるも、學名を有するもの少なし。

クロノミバ……………(一三七)

*Conicera japonica* Mats.



黄色。後頭に一横隆あり。觸角及び兩鬚は黄  
色。翅透明、少し  
く黄褐を帯ぶ。前  
肢黄色、但し腿節  
は末端を除き暗  
褐。平均棍の基部  
黄色。體長一分内  
外。これは草間に

稀ならず。能く跳躍し、脚を縮少して死を眞似  
す。札幌地方に多し。  
分布—北海道。



五 鎗蠅科 *Lochopteridae*

觸角太く、前方に突出し、第二節は白状を呈し、第三節は圓形、側扁、三副節ある長き端刺を有す。腹部六節。脚細長。翅は長尖狀、横脈なし。水邊に多く、濕石の近邊を飛行す。本邦に産するもの十數種あるも學名を有するもの少なし。

ハコネヤリバへ……………(一三八)

*Lochoptera hakonenis* Mats.

體淡黃。觸角暗褐、第一節の基部及び第三節は淡黃。額、複眼後方及び後頭に黃色剛毛あり。胸背に暗褐の三條を裝ふ。翅半透明。平均棍黃白。第一腹節及び各節の中央は暗褐、太き黒色短毛を裝ふ。腹面及び脚は黃白、黒毛あり。體長一分内外。これは箱根地方に稀ならず。



セスチヤリハへ……………(一三九)

*Lochoptera japonica* Mats.

體黃色。頭頂及び觸角は灰褐。前胸の前縁及び中央の一縱條は黃褐。腹部暗褐。翅半透明、少しく黃色を帶ぶ。脚は黃色、跗節端は褐色。後肢長し。これは水邊に捕獲し得べきも餘り多からず。體長一分内外。



分布—北海道、本州。

六 眼蠅科 *Conopidae*

觸角長く、第三節の上方には二節ある角片若くは端刺を有す。口吻細長、角質にして、膝狀に折れ、二剛毛を裝ふ。頭は胸より廣く、複眼は相隔離す。腹部は圓柱形、尾端は棍棒狀を呈し、下方に曲る。鱗狀瓣小なり。形蜂に似たり。成蟲は花蜜を吸收す。幼蟲は花蜂の巢に寄生す。本邦に産するもの約二十種あり。

キアシクロメバへ……………(一四〇)

*Conops curtus* Coq.

體黑褐。頭淡黃褐、額に天鵝絨絨の光澤あり。觸角暗褐。胸背に暗褐短毛多く、肩部及び稜狀部の末端は黃褐。平均棍黃色。翅半透明、暗褐を帶ぶ。腹部第二乃至五節の後縁黃褐、第二及び三節の兩側に灰白粉を裝ふ。脚暗褐。體長三分五厘内外。これは織形科植物の花上に捕へ得べし。



分布—本州。

*Conops nigricornis* Mats.

體赤褐。頭黃色、頭頂に赤褐の二帶あり。前胸は黑褐。兩側及び稜狀部は赤褐。翅の前半は暗褐、後半は少々透明。平均棍黃色。第二、三腹節の大部は雄にては黒色、第二節の後縁黃色。體長四分五厘内外。これは本邦に稀ならず。



分布—本州。

ナカホシメバへ……………(一四五)

*Myopa testacea* L.

體赤褐。顔白色、頭頂、觸角及び眼は赤褐。口吻は二重に折れ、黒褐。胸背の中央は黒褐。翅透明、脈は赤褐。平均棍白色。腹部黑褐、兩側は赤褐、白粉を散布せる如き觀を呈す。脚黃褐、腿節及び跗節に褐紋あり。體長二分五厘。これ



分布—本州、九州。

ハチモドキメバへ……………(一四四)

*Conops nigricornis* Mats.

も、白粉を有するを以て判然せず。胸背は暗褐。白粉を裝ふ。翅透明、翅底及び外縁は暗色。平均棍暗褐。腹部に黒毛を粗生し、兩側に白粉を裝ふ。體長五分。これは九州には稀ならず。花上に捕へ得べし。



分布—本州、九州。

ハチモドキメバへ……………(一四四)

*Conops nigricornis* Mats.

體黑褐。顔橙黃色、銀色の光澤あり。口吻は黒褐、觸角よりも長し。觸角黒褐。後頭に黃白毛を粗生す。肩は黃褐なれど

分布—北海道。

クロメバへ……………(一四三)

*Conops nigricornis* Mats.

體黑褐。頭橙黃色、銀色の光澤あり。口吻は黒褐、觸角よりも長し。觸角黒褐。後頭に黃白毛を粗生す。肩は黃褐なれど



も、白粉を有するを以て判然せず。胸背は暗褐。白粉を裝ふ。翅透明、翅底及び外縁は暗色。平均棍暗褐。腹部に黒毛を粗生し、兩側に白粉を裝ふ。體長五分。これは九州には稀ならず。花上に捕へ得べし。

分布—本州、九州。

ハチモドキメバへ……………(一四四)

*Conops nigricornis* Mats.

體黑褐色。頭黃色、後頭には暗甲色の大紋あり。觸角は口吻と同長。肩部の中央は黃褐。翅透明、暗褐を帶ぶ。平均



第五 雙翅目

チャウサンメバへ……………(一四二)

*Conops jozankennus* Mats.

體黒色。頭黃色、後頭には暗甲色の大紋あり。觸角は口吻と同長。肩部の中央は黃褐。翅透明、暗褐を帶ぶ。平均



ハナゾノメバへ……………(一四一)

*Conops hanzonensis* Mats.

體暗褐。頭、觸角、胸背兩側、肩、稜狀部、腹部の斑紋並に脚の大部は黃褐。顔は淡黃褐、天鵝絨絨の光澤あり。後頭に黒毛を裝ふ。胸背には黒毛あり。翅半透明、黃褐、後半少しく淡色。平均棍は淡黃褐。腹に黒毛を裝ひ、尾節の兩側に褐色帶あり。體長五分内外。これは京都地方に少なからず。



は札幌地方の花上に少なからず。

分布—北海道、歐洲。

フタヲレメバへ……………(一四六)

*Oecomyia nishitapensis* Mats.



體暗褐、頭頂及び顔は橙黄色。觸角黃褐。肩及び胸背の兩側は黃褐、黒毛を粗生す。平均棍長黃白。翅透明、少しく暗褐を帯ぶ。腹部の斑紋は黃褐、第四、五節に灰白粉を裝ふ。體長三分内外。これは札幌地方に稀ならず。

分布—北海道。

ラグマフタヲレメバへ……………(一四七)

*Oecomyia oguniae* Mats.



體黃褐。頭頂及び顔は橙黄色。後頭、頬並に觸角は黃褐。胸背に四黒條ありて、黒毛を具ふ。平均棍長橙黄色、翅透明灰色を帯ぶ。腹部に黒毛多く、第二

七 黃潛蠅科 Chloropidae

後肢の第一跗節は長くとも次節よりは太からず。翅の中室及び後底室は相癒着す、縁脈の第四縦脈の開口部に達するものと然らざるものとあり。顔は上方にのみ剛毛を具ふ。第三觸角節は球形。後腿節は肥大せず。本科に屬する蠅は黄色小形にして、植物の葉内に潛入し、主として麥稻に大害を加ふることあり。本邦學名を有するもの數種あり。

ムギモグリバへ……………(一四九)

*Chlorops circumdata* Meig.



體黄色。頭頂、前胸背及び腹部は黒色。前胸背に二個の黄縱條を裝ふ。翅は透明にして、少しく紅色を帯ぶ。體長一分五厘内外。幼蟲は麥其他禾本科植物の

葉中に潛入して有害なり。

分布—北海道、本州、歐洲。

オホムギモグリバへ……………(一五〇)

*Chlorops horridus* Mats.

八 黒潛蠅科 Oeciniidae

頭は半球形、額は廣く、平滑、時に數本の剛毛を裝ふ。觸角は一般に短く、第三節は球形。生殖器は全く隠る。翅は短し。脚は短く、腿節は稀れに膨大す。多くは小形の黒色種なり。幼蟲は植物の葉莖中に潛入して食害す。

イネモグリバへ……………(一五三)

*Oecinis oryzella* Mats.



體暗黒、少しく綠色を帯ぶ。觸角卵形、端刺に短毛あり。翅透明、少しく暗色を帯び、虹様の紅色を表はす。平均棍長白色。脚黒色、中肢の轉節は黃褐。體長八厘内外。稻の葉中に潛入して食害す。東北地方に少なからず。

分布—本州。

ヤノウモグリバへ……………(一五四)

*Oecinis yanoniella* Mats.

體は黒色。觸角は暗褐。複眼紫黒色。翅透明、少しく汚黄色を帯び、紅色を現はす、前縁脈は暗

節の基部に二黒紋を具へ、第三、四、五節に灰白粉を裝ひ、帯を現はす。脚は黃褐、黒毛を裝ふ。體長三分。これは樺太に稀ならず。

分布—樺太。

エゾハラホソメバへ……………(一四八)

*Physoccephala jezoensis* Mats.



體黒褐。顔黄色。頭に黒色の縱條あり。口吻は觸角より長し。肩の末端は黃褐、胸背に黒色の短毛を粗生す。翅は透明灰色を帯び、前縁の半部は暗色。平均棍黄色。第三腹節の基部兩側に一赤褐紋を具へ、第四、五、六節に灰色粉を裝ふ。脚は褐色基節に銀色の光澤を帯ぶ。體長四分五厘。これは札幌地方に少なからず。

分布—北海道。

り。四國地方に少なからず。

分布—四國。

イネキイロモグリバへ……………(一五二)

*Chlorops oryzae* Mats.



體黄色。頭頂の一紋及び後頭は黒色。胸背に三黒條を縱走し、その中央のものは胸背の中部に達す。翅透明、紫色の紅色を表はす。腹背暗黄、基部黒色。體長八厘内外。幼蟲は稻の葉中に潛入して有害なり。中國地方には少なからず。

分布—本州。

イネモグリバへ……………(一五三)

*Oecinis oryzella* Mats.

キアシモグリバへ……………(一五一)

*Chlorops hypostigma* Meig.



體淡黃褐。頭頂に暗褐紋あり。觸角は暗褐、黄白部あり。顔及び口吻は黄白。胸背に黒色の五條あり、後胸背の大紋は黒色、黒毛を粗生す。翅透明、紅色を現はす。平均棍長黄色。各腹節の後縁は褐色、黒色の短毛を裝ふ。體長一分内外。これは麥其他禾本科植物の葉中に潛入して有害なり。





色を帯び、翅底は淡黄褐色。平均根は黄白。脛節は黒褐色、跗節は褐色。體長八九厘。この幼蟲は麥の葉内に潜入して時に大害を加ふ。四國地方に少なからず。  
**分布**—本州、四國。

九 潛蠅科 *Azygonyzidae*

頭大、額は廣く、剛毛なし。觸角は短く、第三節は普通球形、時にその少しく長きものあり、端刺には毛を有するものと然らざるものとあり。翅は廣く、後底室を具へ、中室は前底室よりも長きか若くは同長なり。幼蟲は植物の葉中に潜入して有害なり。本邦學名を有するもの一種あり。

ナモグリバへ *Phytomyza nigricornis* Maeg. (一五五)

體灰黒色。頭黄色、頭頂に一暗色紋を裝ふ。觸角黒色。翅は大にして體長より長く、脈黄白。平均根白色。脚は黒色。腿節の末端は暗黄。體長六厘内外。幼蟲は豌豆及び十字科植物の葉中に潜入して大害を加ふ。  
**分布**—北海道、本州、歐洲。



中に潜入して大害を加ふ。  
**分布**—北海道、本州、歐洲。

一〇 猩猩蠅科 *Drosophilidae*

額に長毛を有す。觸角の第三節は卵形又は球形にして、初めの二節は小なり、端刺に長き細毛を生ず。腹部短し。翅の第一脈は一本にして分離せず。後肢の第一跗節は長しと雖も次節よりも長からず。中室及び後底室は癒合して一室となる。幼蟲は味噌、醬油及び酒に蕃殖す。本邦學名を有するもの數種あり。

ホシシヤウジヤウバへ *Drosophila histrio* Meig. (一五六)

エゾニカ形 雌 體は淡黄褐色。複眼赤褐色。  
*f. japonica* Meig. 腹部は黄色、初三節の兩側に各二個、四、五節の兩側に各一個の黒紋ありて、何れも三角形を呈し、光澤を帯ぶ。翅は少しく黄色を帯び、横脈の兩側は暗色、翅端も少しく暗色を帯ぶ。平均根は灰白。脚は汚黄色。顔及び頭下は淡色。觸角は少しく濃色。體長一分。これは厨房に普通なり。  
**分布**—北海道、本州。



横脈の兩側は暗色、翅端も少しく暗色を帯ぶ。平均根は灰白。脚は汚黄色。顔及び頭下は淡色。觸角は少しく濃色。體長一分。これは厨房に普通なり。  
**分布**—北海道、本州。

一一 斑蠅科 *Trypetidae*

頭半球形、口縁に長剛毛を裝ひ、口吻長し、額は幅廣く、兩側に細毛を生ず。觸角短く、稀に長きものあり。鱗状瓣は退化して、小なり。胸腹には多く剛毛を粗生し、後者は四乃至五節より成る。脚は長く、脛節端に刺を缺く。翅には普通斑紋を具へ、長大なり。幼蟲は多く食草性にして、或るものは植物の莖葉に潜入して食害し、又或るものは果實中に蠢入して大害を加ふ。本邦學名を有するもの數十種あり。小形なるもの多し。

ミスチミバへ *Dacus lewzi* Miy. (一五九)

體黒色。頭黄褐色、頭頂に數個の暗色紋を具へ、額に二紋あり。口吻褐色。觸角は黄褐色。内側は淡黄褐色。胸に黄色の三條あり。肩及び胸側紋は淡黄褐色。平均根黄色。翅透明。少しく黄色を帯ぶ。腹部黒色、第一節及び各節の後縁は黄褐色、第五、六節は黄褐色、第二



附言—これは翅端及び横脈上に暗色の曇状紋を有するによりて原種と區別せらる。

オビシヤウジヤウバへ *Drosophila funebris* F. (一五七)

體は暗褐色。胸背の前縁及び兩側は淡色。腹部は黒色、各節の前後縁は汚黄色、前縁帯は廣し、腹面は灰白。翅は透明、少しく汚黄色を帯び、脈は褐色、虹色を帯ぶ。平均根は灰白。複眼は赤褐色、顔の下面及び下唇は灰白に近し。脚は汚黄色、跗節は少しく暗色を帯ぶ。體長一分四厘。これは札幌地方の厨房に普通にして、味噌、醬油、酒等に蕃殖す。  
**分布**—世界共有。



附言—著者の所有する普通シヤウジヤウバへは前記の二種にして、從來同定せられたる *D. obscurus* Fall. 及び *D. melanogaster* Meig. の標本なき爲め妥に圖を掲げて説明することを得ず。而して著者の鑑定によれば札幌地方の狸々蠅は多く本種にしてメラノガステルにあらずるなり。



五節には灰黄毛多く、中央に暗褐色あり。脚黄色。體長三分内外。この幼蟲は果實に蠢入して大害を加ふ。

分布 本州、九州、臺灣、支那。

ヤハヤママシバヘ……………(一六〇)

*Dacnusa yayeyamans Mats.*

體淡黄褐色。顔の兩側に一個の黒紋あり。口吻褐色。前頭及び頭頂の兩側に褐色紋を具へ、灰白の微毛を装ふ。胸背に二黒條を具へ、中央に細き一暗色條を



装ひ、肩の後方に黒紋、中胸背後縁兩側に黒條あり、黄白毛を密生す。翅透明、一暗色條あり。平均棍黄白。腹に黄白毛多く、黒斑あり。脚淡黄。體長三分内外。この幼蟲も果實に蠢入す。沖縄に少なからず。

分布 沖縄。

イツシキハマダラバヘ……………(一六一)

*Microthosoma ishikii Mats.*



ひ、黒毛を粗生す。稜狀部紫色を帯び四剛毛あり。翅透明、虹色を現はす。三黒帶ありて、翅底の前縁にある黒縦條と相連続す。平均棍黄褐色。腹部緑色を帯び短黒毛多く、第一、二腹面節は黄褐色。脚黒色、黄紋を具へ、黒毛を装ふ。體長三分内外。これは札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

ヒラヤマアミメダラバヘ……………(一六五)

*Campylolosa hirayamae Mats.*



體灰褐色。頭淡黄褐色。口吻暗褐色。小腮腹白色、黒毛を装ふ。顔灰白。觸角は淡黄褐色。胸背前縁の二條及び肩は灰白、全面に短白毛を粗生し褐色粉を装ふ。翅黒色、透明の小白紋を散布す。腹部暗褐色、灰白の小毛を粗生す。脚黄褐色。體長一分五厘。これは東京地方に稀ならず。

分布 本州。



褐色、顔半透明にして、廣し。胸部剛毛は長く、黒毛多く、稜狀部に六本の剛毛を装ふ。翅透明、翅端の黒色部に二白紋あり。平均棍黄褐色。腹部濃色、終三節には濃色紋あり。脚黄色、黒毛多し。體長三分五厘。これは大和地方に稀ならず。

分布 本州。

オホマダラバヘ……………(一六三)

*Platyoema tegulare Loew*



體は暗灰色。頭頂淡褐色、兩側及び顔は灰白、顔は淡黄褐色、口吻暗褐色。觸角淡褐色。胸背に灰白の六縱條を具へ、灰白毛多し。翅透明、暗色紋を散在し、中央及び末端に近く一暗色帶あり。平

ヨモギマダラバヘ……………(一六六)

*Trypeta artemisiae W.*



體黄褐色。顔淡黄褐色、突起は褐色。觸角に黒毛を具ふ。頭頂に黒色剛毛多し。胸部に剛毛の外、細毛を粗生し、後胸背に二黒紋あり。翅半透明、黄褐色を帯び、後縁は淡色、中央に暗褐色二帶あり。翅端暗褐色。平均棍褐色。腹部褐色初めの二節及び尾端淡色、黒色剛毛及び細毛あり。脚黄色、黄毛及び黒毛を装ふ。體長一分五厘内外。これは樺太及び北海道に普通なる種類にして、幼蟲はヨモギに一種の蟲癭を形成す。

分布 樺太、北海道、西比利亞、歐洲。

ミカドマダラバヘ……………(一六七)

*Euphranta mikado Mats.*



體黄色。顔及び頭頂に黒毛を生

均棍黄色。腹部に灰白毛多く、第三節の兩側に淡黄褐色を具ふ。脚暗褐色。體長三分八厘内外。これは日光地方に稀ならず。

分布 本州、九州、歐洲。

サツボロハマダラバヘ……………(一六三)

*Schistopternum sapporensis Mats.*

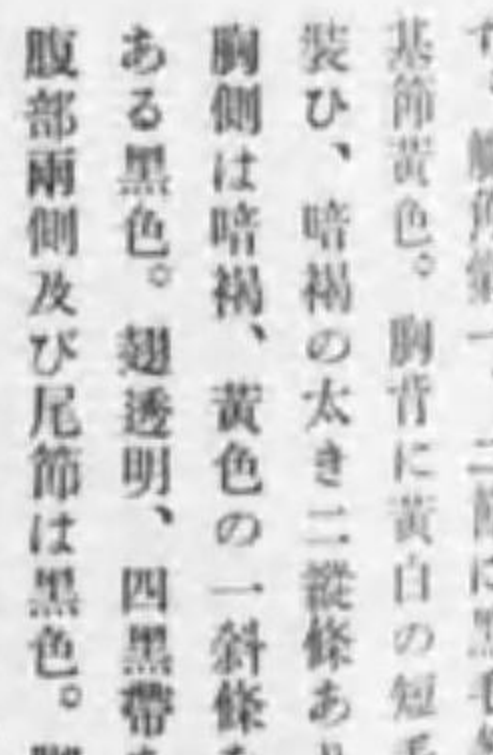


體暗褐色。顔及び複眼の周圍は黄色。觸角黄褐色。小腮腹は淡黄褐色。短黒毛を装ふ。胸背の小點刻より黒毛を生ず、肩及び背縁は暗黄、胸側に黄白紋あり。翅透明、翅端の半部は暗色、これに三白紋あり。平均棍暗黄。腹部黒色、光澤を帯び、黒毛を装ふ。腿黄白、黒毛多し。體長三分。これは札幌地方に産するも少なし。

分布 北海道。

クロハミスチバヘ……………(一六四)

*Spilograpta nigricans Mats.*



ず。觸角第一、二節に黒毛多く、觸角は暗色、基節黄色。胸背に黄白の短毛を密生し、白粉を装ひ、暗褐色の太き二縱條あり。稜狀部は暗色。胸側は暗褐色、黄色の一斜條を具へ、後胸は光澤ある黒色。翅透明、四黒帶あり。平均棍淡黄。腹部兩側及び尾節は黒色。脚淡黄、黒毛多し。體長三分内外。これは札幌地方に普通なり。

分布 北海道。

ミサキマダラバヘ……………(一六八)

*Euribia misakiana Mats.*



體黒色。頭黄色。觸角淡黄褐色。腹眼褐色。胸背に黒毛多く、灰黄粉を装ふ。肩、胸側及び稜狀部は黄色、後者に四本の剛毛あり。翅透明、白色、黒色の太き四帶あり。平均棍は黄色。腹は光澤を帯び、黒色の細毛多し。脚黄色、黒毛及び黄毛を具ふ。體長一分五厘。これは三崎にて捕獲せるが少なし。

分布 本州。



タテキマダラバへ……………(二六九)

*Aeroteruostola sexvittata* Handl.



體淡黃褐。第三觸角節は基部を除き褐色。頰、後頭及び小腮鬚に黒毛多し。胸背は兩側を除き褐色、灰白の微毛を粗生す、稜状部黄白。翅透明、翅端及び五帯は暗褐。平均棍黃白。腹部暗褐、第一、二節の兩側は褐色。脚は黄色、黒毛多し。體長二分内外。これは十和田地方に普通なり。

分布—北海道、本州。

エスマダラバへ……………(一七〇)

*Erypeta k-nigrum* Mats.



體淡黃褐。胸背前縁に二黒條、中央に灰色の一條を具へ、黒毛を粗生す、後胸背には太き二黒條あり、稜状部の

細蠅科 *Sepsidae*

觸角短、第三節は第二節より長、端刺は裸。下唇鬚は退化す。眼に細毛を缺く。胸部は稍々球形。腹部は廣く、基部は縮れ、少しく下方に彎曲す。脚は細長。鱗状鬚は退化す。翅の第一脈は明に一双より成る。多くは細長の種類にして、動物性の腐敗物に集まり、時に花上に捕へ得べし。本邦學名を有するもの數種あり。

カホジロホソバへ……………(一七三)

*Sepsis albifacies* Mats.



黒色。顔の下方は灰白。腹部は光澤を帯び、第一節は赤褐、第二節以下尾端に至る迄銅褐、少しく紫色を帯ぶ。脚は赤黄。翅は透明、前縁の基部及び翅端の前縁にある曇紋は黒色。體長一分五厘。これは小笠原島に稀ならず。

分布—小笠原島。附言—これは歐洲産の *M. punctum* W. に酷似

撞木蠅科 *Propechiidae*

この主なる特徴は、複眼は棒状の長柄を有し、(故に一名蟹蠅の名あり)、然かも複眼のみならずその末端に小形の觸角を有するにあり。前肢は鎌状を呈し、小蟲の捕獲に適す。本邦學名を有するもの二種あり。何れも臺灣に産し、成蟲は食肉性なり。

シユウモクバへ……………(一七五)

*Sphyrucophala quadrifurcata* Wk.



體は黒褐。複眼は暗褐、頭及び眼の長柄は赤褐、光澤を帯ぶ。胸部は光澤を欠き、稜状部に二長刺を具へ、胸側にも尙一短刺あり。腹部は棍棒状を呈し、末端は稍々球形、光澤あり。翅は透明、暗色の三帯ありて、外方のもの最も廣く、中帯と中央にて連続し、第三帯は判然せず。脚は

するも、灰白なるを以て容易に區別し得

カンシヨホソバへ……………(一七三)

*Sepsis formosanus* Mats.



體は黒色。頭は稍々球形。複眼暗褐。口吻は大下方に突出す。觸角暗色、端刺頗る細し。胸背は穹狀に隆起し、刺毛を有せず。腹部は胸部より細く、長さ胸部と稍々同長。體長一分五厘。これは臺灣の甘蔗園に普通なるが、或はその肥料を食するものにあらざるか。

分布—臺灣。

チースバへ……………(一七二)

*Piophilala cassei* Tr.



光澤ある黒色。前頭、顔の下方及び觸角は赤黄。前



黄褐、腿節の縱條及び脛節暗褐。前脛節は膨大し、刺齒を有す。體長二分。これは阿里山にて捕獲せるも少なし。

分布 臺灣。

一四 鎌切蠅科 Ephydriidae

頭は多少、又は時に著しく突起せるものあり。觸角短く、第一節は小、端刺には毛を有すものと、これを缺くものとあり。又時に長毛を櫛齒狀に排列するものあり。額片はよく發達す。腹部の形態は様々にして、雄は六節を有し、雌には七節あり。幼蟲は水草の莖に潛入して食害す。

カマキリバへ Oethera nantis I. (一七六)

體黒褐。觸角黒色。顔の下方灰白にして、末端に劍狀の短き突起あり。胸背に三個の不明なる縱條を裝ふ。翅透明。脚黒褐、前脛節は發達し、下面に小齒を列ね、同脛節の末端に長き一銳齒ありて、カマキリの脚の如し。體長一分五厘内外。水田に於て小蟲を捕食して、有益なり。



分布 北海道、本州、九州、歐洲。

一五 鼈甲蠅科 Sciomyzidae

頭は短く、胸幅と同じきか又はこれよりも廣し。觸角大、端刺を有す。腹部は細長にして、六節より成る。翅及び脚は長く、殊に前者は腹部よりも長し。本邦學名を有するもの數種あり。

ベツカフバへ Egidionetra formosa Wied. (一七九)

體は黄褐。觸角黄色。胸背に黒褐の三縱條を具



へ、兩側及び後方に黒色剛毛を裝ふ。稜狀部の中央黄色。翅暗甲色、四個の黒褐紋あり。雄の腹部褐色、基部黄褐。脚黄色。體長五分五厘内外。これは糞上に普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州、支那、印度。

一六 糞蠅科 Scatophagidae

頭は高さよりも少しく長し。複眼は球形又は卵形、細毛を缺き、雌雄共に分離す。額に剛毛を生ず。翅は比較的長大。腹部には四節以上あり。脚長大。體に軟毛を密生す。幼蟲は動物の糞尿を食とす。本邦學名を存するもの數種あり。

ヒメフンバへ Zetophaea stereoraria I. (一八〇)

體黄褐、黄毛を密生す。後頭綠黄。觸角黒色。



胸背は黄褐、濃色の判然せざる四縱條を裝ふ。翅は暗甲様の淡黄。平均根淡黄。腹部は黄褐、黄色の軟毛を密生す。脚黄色、黒色斑を有す。體長一分三分内外。これは主として人糞に集來するも亦、犬、牛、馬等の糞上にも認め得べし。

分布 世界共有。

イシタトカリバへ Trigonometopus schizae Mats. (一七八)

體淡黄褐。頭頂に黒毛多く、褐色の一條を具へ、其兩側に同色の一紋あり。顔は黄白。一黒紋を裝ふ。觸角は短し。胸背に暗褐の四條あり。翅



透明、褐紋あり。平均根黒褐。各腹節の後縁黒褐、黒毛を粗生す。脚灰白、黒毛を粗生す。體長一分二厘内外。

分布 本州。

ヒゲナガトカリバへ Tetanoera scutellata Mats. (一七九)

體灰褐、灰白粉を裝ふ。頭橙黄色、後頭の兩側淡褐。觸角に



黒毛を裝ふ。口吻褐色。小腮黄黄色。胸背に褐色小點を散在し、黒



附言—これにヒメベツカフバへの名稱ありたるも、鼈甲蠅科の獨立せる爲め不適當になりたるを以て爰に訂正せり。

キアシフンバへ……………(一八一)

*Zetophaga mellipes* Coq.



體暗灰色、少しく緑色を帯ぶ。前頭赤褐、前縁は橙黄色。頭淡黄褐、剛毛は黒色。小腮黄褐色。口吻暗褐。觸角黄褐。胸背に褐色四條あり。翅透明、鼈甲様黄色。平均棍灰黄。腹部第一節及び兩側に黄毛を具へ、他は黒毛を有す。脚黄褐、黒毛あり。體長三分内外。

分布—北海道、本州、四國。附言—同前。

一七 大根蠅科 Anthomyiidae

*Anthomyia*

家蠅科に酷似するも、金屬性の光澤を缺く。觸角の端刺は羽狀、細毛を有するも、時にこれを缺くものあり。複眼に微毛を有するものと、然らざるものとあり。腹節四乃至五節。體に剛毛を粗生す。幼蟲は植物性の腐敗物を以つて食するも、時に植物の根部を食して大害を加ふるものあり。

ダイコンバへ……………(一八三)

*Anthomyia flavoviolata* Mats.



體暗灰色。胸背に判然せざる暗色縦條を裝ふ。觸角及び脚は黒色。雄にては觸角上に一黄紋を裝ふ。雌の複眼内側は白色。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。雄の腹部に一黒條を縱走す。體長一分内外。幼蟲は十字花科植物及び苜蓿科植物の根部を食害し、特に大根に大害を加ふ。札幌地方に普通なり。

分布—本州、北海道。

ヒメイへバへ……………(一八三)

*Fannia canicularis* L.



體灰褐。複眼赤褐、内側に銀色條あり。顔及び觸角は黒褐。胸背に判然せざる黒褐の三縱條あり。腹部の中央を縱走する背線及び兩側の横紋は黒褐。體長二分内外。これは室内に普通なれども、高く飛翔し居るを以つて、イへバへの如く煩累ならず。幼蟲は厨房の流しに普通なり、楕圓形にして、長き刺狀突起を裝ふ。

分布—世界共有。

ヨツホシホソバへ……………(一八四)

*Sphogaster quadrum* F.



體は暗色。頭は見方により銀色を呈し、顔に三角形の黒紋を裝ふ。胸背に黒色の四縱條、腹背に四褐紋を裝ふ。脚黒色。觸節の末端及び脛節の中央は赤褐。體長三分内外。これは葉上及び花上に稀ならず。

分布—北海道、本州、歐洲。

一八 擬蜂蠅科 Oruliidae

これは實蠅科に酷似するも、その異なる所は前頭のみ剛毛を裝ふにあり。顔は雌雄共に廣く、顔片は著しく發達し、口吻は短大。腹部は雄にては五節、雌にては六節、雌雄共に初めの二節は相癒合す。脚は短大、翅には多く斑紋を具へ、翅脈は發達す。幼蟲に關しては未だ何ら知れ居らず。成蟲は樹液に捕獲し得べし。

オホモリハチモドキバへ……………(一八五)

*Eurygona omori* Mats.



オホハチモドキバへに酷似するも、體細く、淡黄褐、觸角溝は暗褐ならず、口吻は淡黄褐、顔に暗褐紋あり、觸角は淡黄褐、翅透明、平均棍黄褐。體長五分。盛岡地方に産するも稀内るが如し。

分布—本州。

オホハチモドキバへ……………(一八六)

*Eurygona hirotsuki* Coq.



體褐色。頭及び觸角は黄褐。第二觸角節に短毛多く、端刺黄色。口吻及び小腮は褐色。胸部暗褐、肩、中胸背の判然せざる二條、兩側及び枝狀部は黄褐。翅は鼈甲様の褐色、外縁の四分の一は暗色。平均棍黄褐。腹部黄褐、第一節は暗褐、同色毛多し。脚黄褐。體長五分内外。これは京都地方に産するもその數多からず。

分布—本州。

タイワンオホルリバへ……………(一八七)

*Toxonetra taiwana* Mats. (formosae Kert.)

體黒藍色。腹藍色。頭黄褐、顔の中央及び兩側は淡色、白粉を裝ふ。觸角淡黄褐。胸背に粗大の點刻を密布し、灰黄の一條を裝ふ。翅黒色、光線の具合により藍色を帯び、後縁に透明灰白の三紋あり。平均棍暗褐。胸片は暗黄褐。脚黒

標：體長四分。これは臺灣には稀ならず。分布—臺灣。



一九 飴蠅科

Sapromyzidae

體小形、頭は殆んど胸と同幅、額の兩側に一、二本の剛毛を装ふ。觸角は前方に直立し、端刺は羽狀、第三節は長大。腹部は短楕圓形若くは卵形。脚短し。翅には多く斑紋を装ふ。幼蟲は腐敗せる植物質を以て食となす。成蟲は樹液にて捕獲し得べし。

タイヒンアメバへ.....(一九八)

*Lonchaea taijinhensis* Mats.

體黒緑色。額の兩側は灰白、絹様の光澤あり。

觸角黄褐。胸背に細白毛を装ひ、鮫肌様の小刻あり、前縁中央及び兩側に白粉を装ひ、肩及び後縁に剛毛あり。稜狀部紫褐色。翅透明、暗色紋を有す。平均根白色。腹部に灰白の微毛多く、絹様の光澤あり。脚橙黄色。體長二分八厘。これは樹液に捕へ得べし。臺灣。



分布 臺灣。

ヒラヤマアメバへ.....(一九九)

*Sapromyza hirayamae* Mats.



體暗色。頭灰黄、顔灰白、觸角灰黄、口吻及び小腮鬚は灰白。胸背に黒毛を装ふ。翅暗色、半透明、暗褐色の帯紋を装ふ。平均根は灰黄。腹部は淡灰黄、黒毛多く、各節の後縁は暗褐。脚灰方に稀ならず。暗んで樹液に集まる。分布 本州。

二〇 瘦蠅科

Micropezidae

大蚊に似たる種類にして、體及び脚は細長。頭部は半球形、後頭は凹み、下唇鬚は退化す、複眼は小、頬及び後頭は廣し。觸角は長し。翅の第三、四脈は翅端にて細まり、稍々相合す。脛節は跗節より短かし。幼蟲は判然せず。成蟲は樹液に捕獲し得べし。

モンキアシナガヤセバへ.....(二〇〇)

*Nerius femoratus* Cop.

體灰褐。頭頂黒色、中央に一赤褐條を具へ、兩側淡黄



褐。觸角黄褐。口吻暗褐。複眼赤褐。胸背に

灰色二條あり。翅透明。平均根黄白。各腹節後縁黄白。脚暗褐、灰黄紋あり。體長三分内外。これは東京地方に稀ならず。樹液に捕へ得べし。

分布 本州。

スズキアシナガヤセバへ.....(一九一)

*Calolista suzukiana* Mats.

體黒褐色。頭頂の兩側は黒緑。顔褐色、兩側黄褐。口吻及び觸角は橙黄色



翅暗褐、半透明、翅端に近く灰白紋あり。平均根暗褐。腹部暗褐

各節の基部及び末端は淡色、第一節に灰白の長毛を簇生し、第五腹節に暗褐の二突起ありて、内方に彎曲す。脚橙黄色。體長三分内外。これは京都地方に産するも少なし。前種と同じく樹液に集まる。分布 本州。

二一 鈍蠅科

Celyphidae

甲蟲に似たる蠅にして、稜狀部甚だ大、翅及び腹の全部を蔽ふ。前頭は廣く、觸角は長し。本邦學名を有するもの一種ありて、臺灣に産す。

カンシヨロヒバへ.....(一九二)

*Celyphus kounanus* Mats. (Collectus Dalm.)

體光澤ある黒緑。顔褐色、藍色の光澤あり。觸角褐色。口吻は黄褐。胸背に灰白微毛を装ふ。稜狀部頗る大、殆んど全腹部を蔽ひ、光澤あり。翅淡黄褐、半透明。平均根暗褐。腹部に光澤あり。脚暗褐。體長一分内外。これは臺灣に少なからず、樹液その他動物性の腐敗物に捕へ得べし。分布 臺灣。



二二 家蠅科

Muscidae

第三觸角節は側扁、その上方に一個の長刺若くは羽狀刺を有す。口吻發達し、肉狀にして、二本の剛毛を装ふ。背上一横溝を有す。腹部四節乃至七節。幼蟲は無頭無脚にして、先端細く尾端截斷形を呈す。動物物の腐敗物を食するもの多く、時に糞尿中に生活するものあり。本邦學名を有するもの約五十種あり。

クロバへ(蒼蠅).....(一九三)

*Calliphora lata* Cop.



體暗黒。腹部は黒藍色。頭頂は黒色、その兩側及び顔は黄色。觸角黒褐。胸背に濃色の四縱條あれども判然せず。翅は透明、少しく暗色を帯び、脈黑色。腹は光線の方により斑紋を現はす。脚





は黒色。體長四分内外。これは夏日肉上に産卵し大害を加ふ。北海道にありては干鯛の大害蟲なり

オホイヘバヘ.....(一九四)



體は暗色。顔は見方に依り銀色を現す。觸角黒褐、基節赤黄。胸背に黒色の四縱條を裝ひ、後脚部の末端及び脚は赤褐。翅透明。腹



部灰褐、上方より見る時は各節に大紋あり。脚赤褐。イヘバヘに酷似するも、雄の腹側に赤褐紋を缺き、翅の第四縱脈は角度をなして第三脈の方に屈折せず。體長二分五厘内外。これは夏日家屋に普通なり。世界共有。

セマダラハナバヘ.....(一九五)



體灰黒。雌の顔は灰白、銀色の光澤あり。觸角黒褐。胸背は灰白、四個の黒縱條を裝ふ。稜状部の中央より胸背の中央に跨り紡錘

キンバヘ.....(一九六)

具へ、黒色の長毛及び短毛を裝ふ。翅透明。平均根淡黄。腹背灰白、三列の黒紋を列ぬ。雌は胸背に五縱條を具ふ。體長三分内外。花上に普通なる種類なり。北海道、本州、九州、歐洲。



體全綠色。顔及び觸角は黄色。胸背に剛毛少し。各腹節の末端に紺色帯あり。體長三分三厘内外。幼蟲は前種同様に生肉に寄生す。これは小笠原島に多く、早朝その群飛するものを捕へて依に詰め置き、肥料に利用す。小笠原島、臺灣。

オビキンバヘ.....(一九七)



黄褐、光線の工合にて紅色を表はす。體長二分内外。幼蟲は糞尿を食す。これは家屋内に飛來せず。世界共有。

イヘバヘ(家蠅).....(二〇〇)



具へ、黒色の長毛及び短毛を裝ふ。翅透明。平均根淡黄。第一腹節の基部、背線及び尾端は黒色、第二、三節に數個紺様の斑紋を具へ、これは光線の工合にてその形を變ず。體長三分内外。これは山間の牛舎に普通なり。世界共有。

エゾハナバヘ.....(二〇一)

體黒色。顔黄白。觸角黒色。胸背灰黒、黒色の四縱條あり。翅透明、暗色を帶び、觸角は淡黄。腹部暗色、雌に限り赤褐の側紋を有す。脚黒色。體長二分五厘内外。これは夏日最も普通なる種類にして、大家蠅と同様に色々の病原菌を傳播す。世界共有。



體黒色。前頭の兩側は黄金色。顔黄白、黒毛を具へ、頬及び後頭に灰白毛多し。觸角暗褐。口吻長く、褐色。小臑體は橙黄色。胸に光澤なく、黒毛を裝ふ。翅半透明、翅底及び平均根黄色。腹部淡黄褐、黒色の短毛を具へ、第三節兩側に暗色紋あり。脚淡黄褐。體長四分内外。これは花上に産するも多からず。北海道、本州。

クヤニヤバヘ.....(二〇二)



體黒色。顔は銀白色。觸角黒色。口吻暗褐、黒毛多し。胸背に灰白粉を具へ、前縁銀色、四黒色條を

クロイヘバヘ.....(一九九)



*Volletoides kyushinensis* Mats.

體は暗黄、光澤なし。顔灰黄、絹様の光澤を帯ぶ。觸角淡黄。小腮黄白。頰に灰白毛を装ふ。胸背に六條の暗色條を具へ、六本の剛毛を装ふ。翅は灰黄、稍々透明。平均根



♀

灰黄。腹に黒毛を具へ、各節の兩側に絹様の黄白紋あり、各節の後縁は暗色、中央に判然せざる暗色の一縱條あり。脚灰黄、黒毛あり。體長四分五厘内外。これは花上に捕獲せらる。  
**分布**—臺灣。

クラマホシバへ……………(二〇四)

*Gymnosoma kurumatum* Mats.

體淡黄褐。頭金色光澤あり。頰及び頬は黄白、後者に灰白毛多し。頭頂に淡褐の一條を具へ、天鵝絨様の光澤を放つ。觸角は暗褐。胸背に黒褐の四縱條あり、中胸背の後縁及び後縁部は黒色。平均根



♀

二二三 刺蠅科 *Tomomyzidae*

これは家蠅科に酷似すれども、蛹狀に下方に突出せる細長の口吻を具へ、これにて人畜を襲撃す。本邦學名を有するもの一種あり。雌雄共に人畜の血液を吸収し、その都度ツリバノソーマの病原體を移殖し、一種の睡眠病を發作せしむることあり。本邦學名を有するもの一種あり。

サシバへ(刺蠅)……………(二〇七)

*Stomoxys calcitrans* L.

體灰色。頭頂に馬蹄狀の黒紋あり。顔黄色、金光を放つ。胸背に四個の黒縱條あり。腹部は卵形に近く、七個乃至九個の大黒紋を散在す。脚



♀

は黒色、脛節の基部赤褐。體長二分五厘内外。成蟲は人畜を襲撃して大害あり。秋季普通なり。

**分布**—日本全土、支那、歐洲。  
附言—これは一見家蠅に酷似するも、垂直なる

橙黄色。各腹部の中央に一黒紋を具へ、尾節の兩側に一黒紋を装ひ、全面には黒毛あり。脚黒色。體長三分内外。これは京都地方にありては花上に稀ならず。  
**分布**—本州。

ツマグロホソハナバへ……………(二〇五)

*Rhitha discolor* F.



♂

體は黒色、綠色を帯ぶ。口吻暗褐。觸角は黄褐。胸部に小點刻を散在し、これより各一黒毛を生ず。翅は稍々透明。淡黄褐を帯ぶ。平均根

ツマグロハナバへ……………(二〇六)

*Stomoxys obscura* Wied.

體黒綠色、鏡物様の光澤あり。觸角暗褐。頰は灰黄、灰色の短毛多し。胸背に小點刻を密布

細長の口吻を有するによりて容易に區別するものと得べし。

二二四 大麻蠅科 *Sarcophagidae*

*Sarcophaga*

類は雄にては雌よりも狭く、觸角の第三節に端刺を具へ、これに羽狀毛を有すれども末端に達せず。腹部は四節より成る。翅の第一後室は常に狭く且つ閉塞す。脚に直立せる剛毛を具ふ。尾節の兩節に長剛毛を装ふ。幼蟲は食肉性にして、夏日生肉を食害し、又、他の昆蟲にも寄生することあり。胎生兒を産す。本邦學名を有するもの八種あり。

シヤバへ(大麻蠅)……………(二〇八)

*Sarcophaga carnaria* L.



♀

體灰色。顔灰黄、金色の光澤を現はす。觸角及び頭頂の縱條は黒褐。胸背に三黒縱條を装ふ。翅は透明。平均根は暗黄。腹部は光



線の工合にて黒褐の網状紋を現はす。尾節及び脚は光澤ある黒色。體長五分内外。これは夏日生肉に胎生兒を産下し、大害を加ふ。何れの地方にも普通なり。蟲形には大小ありて、その差大なり。  
〔分佈〕 世界共有。

二五 長針蠅科 Dexiidae

針蠅科に酷似すれども、第三觸角節の端刺は長毛若くは羽状毛を具へ、腹背に規則正しき剛毛を裝ふ。脚は長し。翅の第一後緣室は開口す。幼蟲は主として金龜子の幼蟲に寄生し、農林業上有益なり。本邦に産するもの數十種あれどもその經過の判然せるもの少なし。

トワダナガハリバへ……………(二〇九)

*Anisba towadensis* Mats.

體黑色、灰白粉を裝ふ。頭は光線の工合により



銀白色、頭頂は暗褐。觸角淡黃褐。口吻暗褐。胸背兩側に白粉多し。前縁に四黒色

條あり。翅透明。平均棍淡黃。第一及第二腹節は腹面に渡つて淡黃褐、第二節の兩側に一暗色紋を具へ、第三節の基部兩側に灰白の一大紋あり。脚に黒毛多し。これは青森地方に稀ならず。花上に捕へ得べし。  
〔分佈〕 本州。

セシチアシナガハリバへ……………(二一〇)

*Dexia flavipes* Coq.

體淡黃褐。頭胸には金色の光澤を有す。觸角橙



黄色。口吻淡黃。頰に黒毛と灰白毛を裝ふ。胸背に四黒條あり。翅透明。平均棍淡黃。腹部の中央に暗褐の一條あり、各節基部に金色の一條を具へ、第四、五節に剛毛多し。脚頗る長く、淡黃褐。體長四分内外。これは何れの地方にも稀ならず。花上に捕へ得べし。  
〔分佈〕 北海道、本州、四國、九州。

アカアシナガハリバへ……………(二一一)

*Metadexia canina* F.

體は黒色、光澤なし。頭及び胸背に金色の光澤ある微毛を密生す。觸角及び頰は黃赤褐、第三觸角の端刺には羽状の剛毛を密生す。胸背に四

二六 針蠅科 Tachinidae

頭は胸と殆んど同幅。複眼は大、時には有毛のことあり。觸角第一節は小、第二節は第三節よりも短、第三節は普通延長す、端刺は三節より成り、細毛なく、第一節は小、第二節は長く且つ曲る。口吻は細長。單眼を有す。胸、腹には多數の剛毛を簇生す、故に針蠅の名あり。腹部には四節又は五節あり。幼蟲は他の昆蟲の體內に寄生し、農林業上頗る有益なるもの多し。本邦學名を有するもの數十種あり。

ダイメウハリバへ……………(二一四)

*Alophora daimio* Mats.

體暗褐。少しく緑色を帯ふ。觸角暗褐。顔及び頰は黃白、眞珠様の光澤ある灰色毛を裝ふ。胸背の兩側に灰白粉を裝ひ、中央に黒色の四條を具へ、前半に黄毛、後半に黒毛を裝ひ、胸側には黄金色の長毛を簇生す。翅灰色、半透明、翅底黄色。中央に



は暗色を帯び、半透明。平均棍は白色。體長四分内外。花上に捕へ得べし。  
〔分佈〕 樺太、北海道。

クチナガハリバへ……………(二二二)

*Prosema sibirica* L.

體灰色。頭白色、少しく赤味を帯ぶ。口吻絲狀にして、長く、屈折す。胸背の前縁に四個の黒縱條を裝ふ。翅は透明。脈暗黃、鱗状斑は白色。平均棍黄色。雄の腹部兩側の基部は黄色。體長三分内外。夏日花上に稀ならず。幼蟲は金龜子に寄生す。  
〔分佈〕 北海道、本州、印度、瓜哇、歐洲。



アシナガハリバへ……………(二二三)



大暗色紋を具へ、翅端も亦暗色。平均棍は橙黄色。腹部は黒紫色、兩側及び末端は黄色、短黒毛を簇生す、腹面は淡黄褐色。脚黒色。體長四分内

外。

分佈 北海道。

タイワンルリハリハへ……………(三三五)

*Hionyolus cyanus* Mats.

體端暗色。頭橙黄色。觸角長く、褐色。口吻暗

褐色。小腮鬚

黄色、黒毛

を裝ふ。胸

腹に黒剛毛

多く、後者

は前者より

一層綠色味



♀

多く、第三及四節の後縁に剛毛を列ぬ。翅半透明、暗色。平均棍褐色。脚黒色、腿節は藍色若くは綠色を帶ぶ。體長六分内外。これは臺灣に稀ならずれども、如何なる毛蟲に寄生するや不明なり。

分佈 臺灣。

ツマアカハリハへ……………(三三六)

*Bombyliomyia apicalis* Mats.

體黒色、藍色光澤を帶ぶ。頭黄金色、黒色の剛

毛及び短毛を裝

ふ。顔、頬及び

後頭に黄色の軟

毛多く、口吻は

暗褐色。小腮鬚橙

黄色。胸背に灰

色の五縱條を具



♀

へ、肩に灰白粉を裝ふ。翅は半透明、翅底及び第一室黄色。平均棍黄色。腹部黒色、第二、三節の基部に灰白粉を裝ひ、各節の後縁に剛毛を具へ、第四及び五節は赤褐色、黒毛を疎生す。脚黒色。體長九分。これは臺灣に稀ならずれども、その宿主は判然せず。

分佈 臺灣。

ブルーコハリハへ……………(三三七)

*Carelia eximia* Fall.

體灰黄褐色、少しく

暗綠色を帶ぶ。觸

角暗褐色。顔及び頰

は灰白、光澤あり。



♀

オホツクロハリハへ……………(三三二)

*Gonia jacea* Mats.

體光澤ある黒褐色。頭暗褐色、頭頂の一點、後頭の

下方、複眼及び觸

角は黒褐色。胸背に

判然せざる五個の

細き黒縱條を裝

ふ。稜狀部は暗黄

後向せる剛毛多

し。翅透明、少し

く暗色を帶ぶ。脚

少しく淡黄。平均

棍黒褐色、基部黄色。體長四分内外。これはアラ

ンコケムシその他色々の粘蟻に寄生す。

分佈 北海道、

本州。



♀

オホツクロハリハへ……………(三三〇)

*Gonia fuscipes* Mats.

體灰褐色。頭頂暗黄。顔灰白、銀光を放つ。觸角

黒褐色、第一、二及び

三節の基部黄色。胸

背に濃色の四縱條を

裝ひ、稜狀部は黄色

翅透明。平均棍黄色

腹暗黄、中央に太き

黒褐色の一縱條を具へ

尾端に剛毛多し。脚

黒褐色。體長四分内外。これは森林に稀ならずる

種類にして、カシハケムシに寄生す。

分佈 北海道、本州。



♀

ルリハリハへ……………(三三三)

*Gymnocheila elegans* Mats.

體金綠色。複眼

赤褐色、細毛を生



♀

稜狀部は赤褐色。翅は透明、少しく暗色を帶び、基部は淡黄。鱗狀鬚は白色乃至黄白色。平均棍は



♀

セズチハリハへ……………(三二九)

*Echinomyia mhako* Kirby

體は黒褐色。頭頂は褐色、顔は黄色、金光の短毛

を密生す

觸角は黄

色、後頭

には黄色

毛を裝ふ

第三節及

び端刺は

黒褐色。胸

背の中央

には二個

の細き濃

色縱條を

具へ、其

兩側及び

カイコハリハへ……………(三二八)

*Grossosoma saricariae* Rond.

體灰黒。顔は灰白、銀光を放つ。顔に黒色の一

縱條を裝ふ。

觸角黒褐色。胸

背に判然せざ

る黒色の五縱

條あり、稜狀

部黄褐色。翅透

明、少しく暗

色を帶ぶ。腹

部の兩側に大

なる暗黄紋を

具へ、尾端に

剛毛多し。體



♀



ず。顔銀白色。觸角黒褐。頸及び後頭に黄白毛、胸背及び腹部に黒色剛毛多し。翅透明、暗色を帯ぶ。平均棍黄色。腹背の兩側及び腹面は銀光を放つ。脚黒色。體長四分内外。これは林間に稀ならず。定めてタケケムシに寄生するものならん。

分布 北海道。

クロヒゲナガハリバへ……………(三三)

*Hemyla nigrata* Male.

體黒色。顔銀白色、頭頂暗色、黒色の二條あり。口吻暗褐、頬及び後頭に灰白毛多し。胸部暗灰色、黒色の四



色、黒色の四、縦條あり。翅は黒色。半透明。平均棍褐色。腹部側面及び腹面は銀白色、光線の工合にて中央に銀色の一縦條を現はす。腿節に灰白粉を裝ふ。體長四分五厘。これは如何なる結斷に寄生するや不明なり。

分布 本州、四國、九州。

シロオビハリバへ……………(三三四)

*Laschia fasciata* Mats.

體天鵝絨様の黒色。頭銀白色、光線の工合により灰色を現はす。觸角



はす。觸角黒色。口吻暗褐。頬に灰白毛を裝ふ。胸は灰白、前縁に五黒縦條を具へ、中央には太き黒帯あり。翅透明。平均棍黄色。第二、三及四腹節灰白。體長二分内外。如何なる結斷に寄生するや不明なり。

分布 本州、四國、九州。

キンガホハリバへ……………(三三五)

*Nemora nuda* Meig.



體黒色、少しく光澤を帯ぶ。後頭には黄毛を寄生し顔には銀色の短毛を寄生す。觸角黒色。腹

眼に細毛を裝ふ。胸背及び腹部各節の基半部は灰黄色。稜状部は少しく綠色を帯ぶ。翅透明なれども、少しく暗色を帯ぶ。平均棍白色。脚黒色。體長三分内外。これは花上に捕獲し得べきも、未だその宿主は發見せられず。

分布 北海道、歐洲。

ヘウタンハリバへ……………(三三六)

*Ocyeta pandulata* Mats.



體黒色。頭黄金色、頭頂に黒條あり。觸角黒色、灰色粉を裝ふ。頬及び頭頂に灰白粉を散布す。胸暗褐、肩灰白、中央黄色。翅透明。平均棍黄色。

分布 本州。

ヒトリハリバへ……………(三三七)

*Pates javana* Meig.



具へ、黄色短毛と黒色の剛毛を疎生す。翅透明、翅底黄色。平均棍黄色。第二、三及び四腹節の基部黄色、黄剛毛あり。脚暗褐、黒剛毛多し。體長五分五厘。幼蟲は竹結斷に寄生するが如し。

分布 樺太、北海道、本州、四國、九州、西比利亞。

オホハリバへ……………(三三)

*Zervilia luteola* Coq.

體暗黄。顔黄色、金光を放ち、黒毛あり。觸角黄色、第三節及び端刺黒褐。胸背に黄色の細毛と黒色の剛毛を裝ふ。稜状部黄色、直立せる黒色の剛毛を生ず。翅透明、翅底黄色。腹背橙黄色、第一、二節の大部並に第三節以下尾端に至る太き一條は黄褐。兩側及び中央に金色毛を裝ひ、各節の後縁に黒色の剛毛を列ぬ。腹面黒色。脚黒褐。本邦最大の寄生蠅なり。これは竹結斷に寄生するが如し。體長五分五厘内外。花

體銀白色、光澤なし。複眼に細毛を寄生す。觸角黒色。頬及び顔は灰白。胸背に剛毛多く、前縁は少しく灰白。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。平均棍白色。



脚黒色、腿節の大部は暗黄褐。體長四分内外。サラサヒトリの幼蟲に寄生す。

分布 北海道、本州。

マガリハリバへ……………(三三八)

*Plania saiponensis* Mats.



體黒色。頭銀白、後頭黒色にして、灰白粉を裝ふ。頬に灰白毛多し。胸に灰白粉を密布し、肩にて特に著し。翅灰褐、半透明、翅底橙黄色。平均棍黄褐。腹橙黄色、基部に黒紋を裝ふ。脚に少しく灰白粉を有す。體長四分内外。これは花上に捕へ得べきも、未だその宿

主は判然せず。分布 北海道。

タイワンアカハラハリバへ……………(三三九)

*Ruthia splendidia* H. D.



體黒色、光澤なし。頭は小、觸角赤褐、顔灰黄色、後頭部に金色毛を寄生す。稜状部暗褐。腹部は胸幅よりも廣く、褐色なれども、中央に太き黒條あり。脚黒色。翅透明、少しく暗色を帯び、基部黄色。體長六分内外。これは花上に捕獲せられたり。その宿主は不明なり。

分布 臺灣。

コガネオホハリバへ……………(三三〇)

*Zervilia jakovlevi* Poris.

體は暗黄。腹部黒色。顔は灰白、同色の軟毛あり。觸角褐色。胸背の前縁に細き暗色の二條を





色の剛毛及び短毛を具へ、稜状部の兩側に黄紋あり。翅灰色、半透明。平均棍褐色。腹部の初二節に黒毛、後部の二節に黄褐色を具へ、剛毛は黒色、第二節に黄紋あれども判然せず。脚は暗褐色。體長六分内外。これは京都地方に産するも稀なり。未だその宿主は判然せず。  
分布 本州。

ヤドリハリバへ……………(三三三)

*Tachina harvarum* Fr.

上に捕へ得べし。

分布 北海道、本州。

スズキハリバへ……………(三三二)

*Servilia suzuki Mats.*



體黑色。顔に黄紋あり、白色軟毛を具へ、頭頂に黒毛を裝ふ、口吻暗褐色、觸角褐色。胸に黒

色を帶ぶ。第二腹節の基部兩側に大なる赤褐紋を具ふ。脚黒色。翅透明、平均棍白色。體長五分内外。この幼蟲はアランコケムシ、夜盜蟲其の他四十餘種の蝨蟻、裸蟲に寄生す。  
分布 北海道、本州、歐洲。  
ナカノハリバへ……………(三三四)



體黑色。前頭及び頭頂に金色光澤あり、顔は灰白、複眼に毛を缺く。觸角は黒褐色。前胸背に少しく金色の光澤を具へ、四黒縦條を裝ひ、稜状部は少しく褐色を帶ぶ。



體黑色。頭頂の兩側及び顔は黄金色、光線の工合により銀色を表はす。顔赤褐色、暗褐色あり、觸角は暗褐色。後頭に灰黄色多し。胸背に黄色粉を密布し、暗色の四縦條を具へ、稜状部は褐色。翅透明、翅底淡黄。平均棍褐色。第二、三及び四腹節の基部は灰黄、光線の工合により網様の光澤を放ち、第一、二腹面節の基部に灰白紋あり。脚に灰黄粉を裝ふ。體長四分内外。これも色々の蝨蟻に寄生するが如し。花上に捕獲せらる。  
分布 本州。

オホツカサンハリバへ……………(三三五)

*Tricholyga bombyreum* Bechl.

體灰黑色。頭は光澤ある灰白色、觸角黒色。胸背に細き四黒縦條あり、稜状部は淡褐色。腹部の各節基部は灰白色を帶ぶ。脚黒色。翅透明。平均棍は大にして、白色。體長四分内外。家畜

二七 牛蠅科 Oestridae

ウシバへ……………(三三七)

*Hypoderma bovis* Dege.



體黑色、軟毛を寄生す。顔灰黄。胸背に黒色の四條を具へ、綠黄又は白色の長毛を裝ふ。稜状部黄色、後胸背及び腹部は黒色。後者基部の兩側は白色又は黄色、尾端赤褐色。

觸角は甚だ小にして溝中に位し、第三節には端刺あり。口吻及び小腮鬚は退化す。頭大、複眼は小、三個の單眼を具ふ。腹部六節。鱗状部は大にして、平均棍を掩ふ。幼蟲は何れも家畜の體内に寄生す。

ウマバへ……………(三三六)

*Gastrophilus equi* F.



體黄褐色、頭、觸角、脚及び腹部は黄色。胸背に軟毛を寄生す。稜状部に刷様の長毛あり。翅灰白、半透明、中央の大紋及び翅端の二小點は暗褐色。雄の腹端下方に彎曲す。雌にては最後の二節膝状に曲折す。體長四分内外。この幼蟲は馬の體内(胃)に寄生す、俗にこれを筒蟲と云ふ。成蟲は暗んで山頂に住す。本邦にては成蟲は捕へ難し。

分布 北海道、本州、歐洲。



二八 蝨蠅科

Hippoboscidae

體平たく、革質にして強靱。複眼を有す。前翅を缺くものあり。常に平均棍を装ふ。觸角は一節、甚だ短かくして、溝中にあり。脚は短大。静止の時は翅を體上に置く。何れも禽獸に寄生し、その血液を吸収す。本邦學名を有するも數種あり。

イヌシラミバへ……………(三八)

*Hippobosca expensis* Olf.

體は光澤ある黄褐色。前頭は黄白、その前頭は分叉す。胸背の中央及び兩側に黄白紋を装ひ、稜狀部は黄白。翅透明、黄褐を帯ぶ。脚は太く、後肢腿節の末端及び脛節の兩端は淡褐。體長一分五厘。これは犬に寄生し、ダニの如く、その血液を吸収する時は腹部著しく肥大す。



分布 世界共有。  
附言 これをウマシラミバへの變形とする學者

あり。

ウマシラミバへ……………(三九)

*Hippobosca equina* L.

體黒褐。稜狀部の中央及び前頭は黄白。胸背の中央及び兩側に黄白紋を装ふ。翅は透明脈黒褐。體長三分内外。これは馬の外體に寄生し、その血液を吸収す。これは嘗て歐洲より本邦に輸入せられたるも、目下産せざるが如し。



分布 世界共有。

ヒツジシラミバへ……………(四〇)

*Melophagus ovinus* L.

體上黄褐、體下淡色。體毛及び爪は黒色。單眼、稜狀部及び翅を缺く。腹部



は袋狀に肥大す。脚太し。體長一分五厘内外。これは羊の外體に寄生し大害を加ふ。これは嘗て米國より本邦に羊と共に輸入せられたるも、今日はその數多からず。

分布 世界共有。

ハトシラミバへ……………(四一)

*Orthomyia aolatoris* Mits.

體扁平、暗黄、光澤あり。觸角は褐色、末端は黄色。胸背の中央に一本の縱溝を具へ、黄色なり。翅透明、黄色を帯ぶ。脚淡黄。體長一分五厘内外。これは青鳩に寄生す。鳩の死後飛去するものと見え捕へ難し。



分布 北海道、本州。

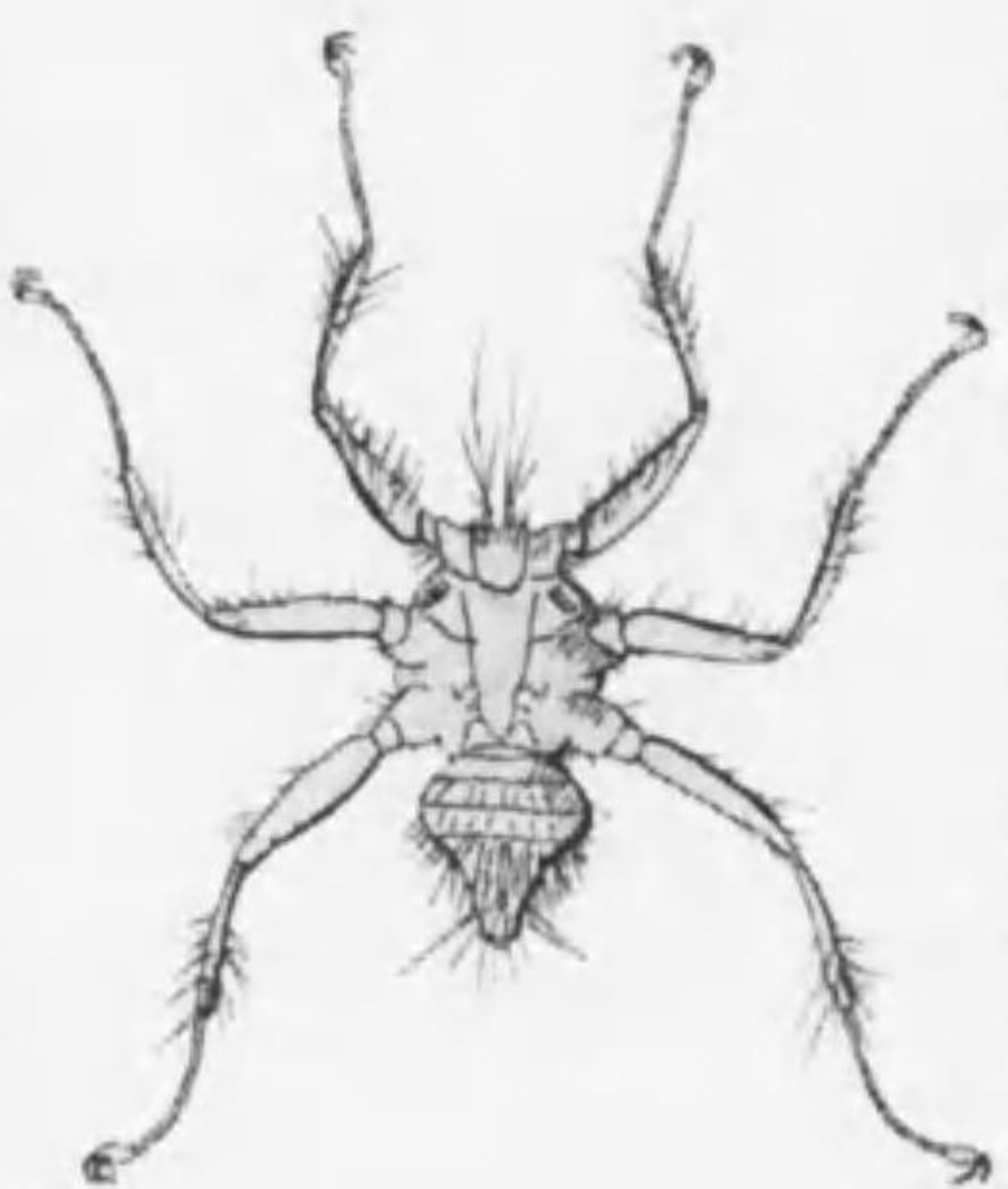
二九 蛛蠅科 Zyetarhiidae

普通腹眼及前翅を缺けども、稀に兩者を有するものあり。常に平均棍を有す。頭小さく、觸角は二節にして甚だ小。脚長く、其狀一見蜘蛛の如し。本邦に産するもの六種ありと雖ども何れも臺灣産なり。總て蝙蝠に寄生す。

エニンスクモバへ……………(四二)

*Pentellidia jenyasi* Scott

淡黄色にして、長楕圓形を呈す。體肢共に褐色



の長毛を密生し、細長の脚を放射狀に開張する

三〇 大蚊科 Tipulidae

觸角長く、六節乃至十三節稀に十九節を有するものあり。普通糸狀なれども、時に雄に限り筒筒狀を呈す。口吻突出し、小腮四節、稀に五節あり。胸背は穹形に膨大し、中央に横皺あり。翅には第六脈及び中室を有す。脚は細長なり。腹部七節又は八節。幼蟲は地中若くは泥中に棲息し、植物根を食し、時に大害を加ふる事あり。本邦學名を有するもの數十種あり。

クモガタガガンボ……………(四三)

*Chirona araneoides* Dalrn.

體褐色乃至黒褐。體肢共に黒色の長毛を密生す。脚、平均棍及び尾端の附屬物は黄色。翅を缺く。其脚長きを以つて一見、蜘蛛の如し。札幌地方にては十一月中旬頃、家屋内に發見せらる。時に手洗鉢の水上に落ち、浮上するものあり。體長一分三厘内外。



分布 北海道、歐洲。

フタホシクシヒゲガガンボ……………(四四)



*Ctenophora biguttata* Mats.

體淡黃褐。頭黑色、觸角間にV字形、其の下方



♀

に八字形の黒紋あり、顔及び小腮鬚は黄色。中胸背前片の三條及び後方のV字形紋は黒色、後胸背の後縁に大黒紋なり、後胸片は橙黄色。翅半透明、黄褐、翅端に淡褐の大紋あり。平均棍淡褐。腹背黒色、黄帯あり、腹面黄色。脚淡黄褐、暗褐紋あり。體長七分内外。これは札幌地方に産するも少なし。

分布—北海道。

イツシキクシヒゲガガンボ……………(三四五)

*Ctenophora ishikari* Mats.

體黄色。頭に褐毛を裝ひ、頭頂に太き暗褐の廣



♀

斑紋は暗褐。體長五分内外。これは本州大和地方に採集せられたるも少なし。

分布—本州。



♀

ノヒラクシヒゲガガンボ……………(三四六)

*Ctenophora a nohirae* Mats.

體黒褐、光澤なし。顔黄色、黄色の細毛多し。觸角は暗褐、灰白毛多

條あり。翅黒色、不透明、但し翅底及び翅端

♂



の三分の一は透明にして、黄色を帯ぶ。平均棍黄色。腹部の中央は黄色。脚黒色、黄色紋あり。體長五分内外。これは中國地方に普通なり。

分布—北海道、本州、歐洲。

ホリカハクシヒゲガガンボ……………(三五〇)

*Dicentidia horikawae* Mats.

體は黒色。前頭及び顔には橙黄紋あり。顔には



♂

橙黄毛を具へ、小腮鬚は黄色、黒色毛を裝ふ。觸角は橙黄色、その羽狀枝は暗色。胸背は橙黄色、稜狀部黒色、黄

し。小腮鬚黄色。胸部に黄色紋あり。翅透明、大なる暗色紋を具へ、翅底及び縁紋の部分は黄色。平均棍黄色。腹部橙黄色、黒褐紋を具へ、黄色の短毛を密生す。脚橙黄色、黒紋を有す。體長五分内外。これは京都にて採集せられたるが少なし。

分布—本州。

マルモンクシヒゲガガンボ……………(三四七)

*Ctenophora yuzumai* Mats.

體黒色。顔に黄色の二條紋あり。口吻及び觸角



♀

は黒褐。中胸背の前縁、兩側、中央の二紋並に後胸背の四紋は黄色。翅透明、黄色。翅端に近く黒色の一大圓紋あり。平均棍は褐色。腹基部の二紋、第二節の兩側、第三節の二小紋及び第四節以下の各節後縁は黄色。脚黄色、黒褐紋あり。體長七分五分内外。札幌地方に普通なり。

白毛を粗生す。翅暗色、不透明、電甲様の黄色紋あり。平均棍暗黄。腹橙黄色、黒紋條あり。尾節は淡黄褐。脚橙黄色、褐色部あり。體長五分内外。これは長崎地方に發見せらる。

分布—九州。

シロホシガガンボ(モドキ)……………(三五二)

*Ectoera alboguttata* Mats.

體黒褐。觸角十節、第三節は最長。肩は灰色、中



♀

胸背は天鵞絨様の光澤を帯ぶ。前翅暗褐、半透明、中央に白色透明帯あり。平均棍暗色。腹部の各接合部は淡色。脚褐色、後肢太し。體長六分内外。これは何れの地方にも多からず。北海道には産せざるが如し。

分布—本州、四國、九州。

クロガガンボ(モドキ)……………(三五三)

*Ectoera morosa* O. S.

ダイメウガガンボ……………(三四八)

*Daimiotipula daimio* Mats.

體灰黄、白粉を裝ふ。頭暗色、頭頂に球狀の突起あり。觸角灰黄。複眼は金光を放つ。胸背に暗色の三縱條を具へ、稜狀部及び後胸背は灰黄。翅透明。平均棍灰黄。腹部灰色、黄紋あり。體長一寸内外。これは札幌地方に産するも稀なり。



分布—北海道。

ベツカフガガンボ……………(三四九)

*Dicentidia fasciata* Coq.

體は光澤ある黒色。胸背の中央に細き黄色の二



雌 體黑色。口吻、觸角及び小腮鬚は暗褐、頭頂に一隆起を具ふ。胸背に暗色の四條あり、稜状部



は三角形に突起す。翅暗色、半透明、光線の工合により紫色を現はす。平均根暗色。腹部黒色、黒毛を装ふ。脚は黒褐。體長六分内外。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

♀

ヒロウドガガンボ

Formotipula holoserica Mats.



體天鵝絨様の黒色、黒色の微毛を装ふ。觸角黒褐。複

眼は銅褐色。翅は透明。平均根は黒色。腹部は橙黄色、黒毛を粗生し、第一及び終りの三節は黒色。脚は長く、暗褐。體長四分。これは魚池地方にて發見せられたるが餘り稀ならざるが如し。

分布—臺灣。

タケキガガンボ

Taquinia takei Mats.

體栗色。腹部橙黄色。頭灰褐。觸角黄色。胸側



灰黄、白粉を装ふ、中胸背に濃色の三縱條あり、黄毛を粗生す。翅黄褐、半透明、暗褐紋を散在す。平均根暗黄。第四腹節以下は褐色を帯び、基部の兩側に一黒條を縱走す。脚太く、黄褐、黄白紋を有す。體長九分内外。これは埼玉地方にて捕獲せられたるが少なからず。

分布—本州。

ヒゲナカガガンボ(モドキ)

(三五五)

雌 體暗褐。頭淡黄褐、球形の突起あり。觸角六節



體長の四倍あり。胸背に灰黄毛多く、中胸背の前片に灰色の三縱條あり、胸背に灰白粉を装ふ。翅透明。平均根灰黄。腹灰黄、第三節以下に褐色を帯び、灰色毛多し。脚灰黄。體長三分五厘。これは盛岡地方に發見せられたるが少し。

分布—本州(盛岡)。

ナミガタガガンボ(モドキ)

Taboetes undulatus Mats.

體灰褐。觸角灰色。後頭の中央に黄色の一縱條あり。翅は透明。平均根灰

片に逆八字形の褐紋あり。翅は透明。平均根灰

♀

マダラガガンボ

Nippotipula nubifera Coq.

體灰黄。口吻の兩側は褐色。頭頂、前胸、胸側



及び胸面は灰白、胸側の太き一縱條並に中胸背兩側の縱條は黒色、後胸背に褐紋を散在す。翅灰色、半透明、透明紋あり。平均根暗色。腹部淡黄褐、暗色の縱條を有す。脚暗色、黄色部あり。體長一寸五分内外。これは何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、四國、九州。

マキキスチガガンボ

Pachytrina nakella Mats.

體橙黄色。觸角黒色、基部黄色。口吻に暗褐毛あり。中胸背の前片に暗褐の三縱條を具へ、後



キスチガガンボ

Pachytrina virgata Coq.

黄。第一腹節の基部並に第二乃至七節の後縁は黒褐。脚灰黄。體長五分五厘内外。これは臺北にて採集せられたるが、その幼蟲は桑の根を害す。

分布—臺灣。

♀



セグロクシヒゲガガンボ

Mesodietenidia macraeformis Mats.

體光澤ある黒色。小腮鬚及び觸角は黄色。但し



後者の基部は黒色。胸背の前縁、兩側の一縱條並に稜状部の兩側は黄色。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。腹部及び平均根は黄色、背線暗褐。脚黄色、後脛節末端の半部は淡色。體長五分五厘内外。これは札幌地方に普通なり。



節の末端及び第二節は黄色。胸背に三個の光澤ある黒縦條あり。稜狀部黒褐。翅透明、暗黄を帯び、前縁は黄色。腹背の背線は黒褐にして太し。體長八分五厘内外。これは本邦に於ける普通種なり。

分布—北海道、本州。

モイハガガンボ……………(二六一)

*Platytipula moiwana* Mats.

體黄色。頭及び胸部は灰黄、白粉を裝ふ。口吻



に黄毛を有す。中胸背の前片に黄色の三縦條あり。翅黄色、半透明、縁紋は褐色。平均棍黄色。腹部黄色、初三節の兩側に暗色の一縦條を具、背線は褐色。脚黄色。體長八分内外。これは札幌地方に産するも少なし。

分布—北海道。

キハラクシヒゲガガンボ……………(二六二)

*Pesiliphora etenophorina* Reich.



體は天鵞絨様の黒褐。頭及び觸角は褐色、羽狀枝は暗灰色。顔に褐色多し。胸背に灰色の短毛を粗生し、稜狀部に灰色毛と黒褐毛とを混生す。翅は褐色。

半透明、各室に透明の一縦條あり。平均棍褐色。腹部橙黄色、尾端の三節黒褐。脚褐色、各節の基部は白色。體長六分内外。これは埔里にて捕獲せるが少なし。

分布—臺灣。

ホツボクシヒゲガガンボ……………(二六三)

*Pesiliphora hojyo* Mats.



體は天鵞絨様の黒色。頭及び觸角は黒褐、羽狀枝は暗灰色。顔に褐毛多し。胸背に褐毛を粗生し、稜狀部に淡褐の長毛多し。翅不透明、暗褐、中央及び

翅底に近き各二紋は黄色。平均棍褐色。腹橙黄色、終りの五節は黒色、黄色部に黄毛、黒色部に黒毛と黄毛を混生す。脚黒色。體長五分五厘内外。これは埔里にて捕獲せるが稀ならざるが如し。

分布—臺灣。

オホキリウジガガンボ……………(二六四)

*Tipula longicauda* Mats.

體灰色。口吻、小腮脰及び觸角は黄色、但し第二及び三節の末端は黒褐。胸背に灰褐の四縦條を裝ふ。稜狀部暗黄。翅透明、暗色を帯ぶ。平均棍黄白。腹部黄色、黒褐の一縦條あり。脚黄

色。黒褐紋あり。體長七分内外。幼蟲は稻夢等の



根を切り大害を加ふ。何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、四國、九州。

ヨスチガガンボ……………(二六五)

*Tipula quadrifasciata* Mats.

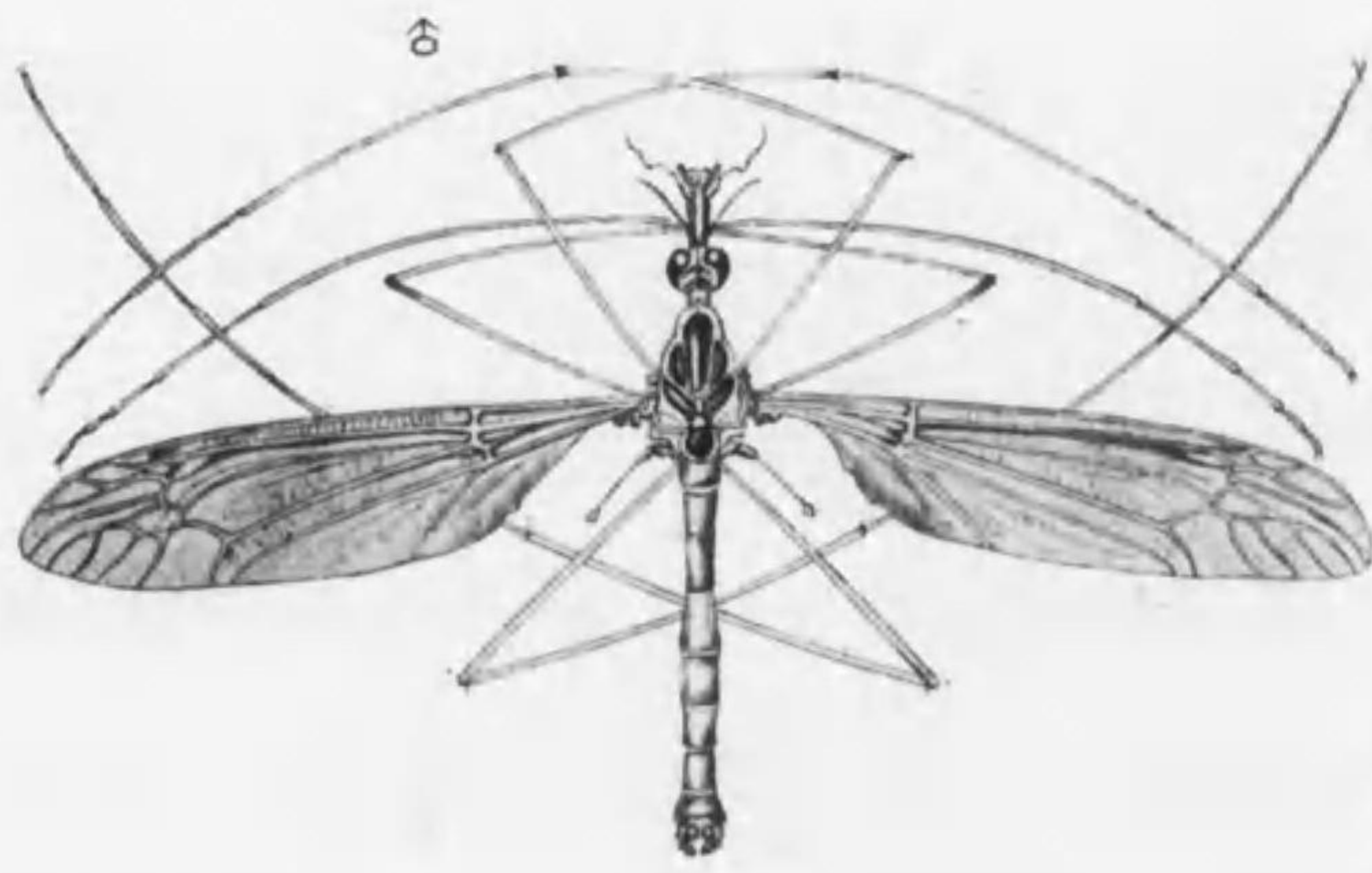
體灰色。觸角は暗褐、基部の三節は黄色。小腮脰黒褐。中胸背に暗色の一縦條を有し、兩側に暗色の小點を散在す。翅透明、中央の三帯並に



翅端は黒色。平均棍暗褐。腹部灰褐、各節の後縁は灰色。脚黄褐、黄紋あり。體長五分。これは京都地方に産するが少なし。

分布—本州。

ミカドガガンボ……………(二六六)



體暗黄。觸角黄色。頭の兩側は黄褐。胸部は黄色、胸背に褐色の三縦條を具へ、その後方にも二褐色紋あり。翅は大にして、暗黄。腹部暗褐。脚黄褐、跗節端は褐色。體長一寸内外。これは本邦最大のガガンボなるが少なし。

分布—本州、九州。

コフキガガンボ……………(二六七)

*Togotipula pulverosa* Mats.

體黒色、白粉を密布す。口吻の上方に鼻狀突起あり。觸角に褐毛を裝ふ。頭頂に橙黄紋あり。



中胸背は稜狀部の兩側に於て白粉なし。翅灰色半透明、翅底淡黄褐。平均棍褐色。腹橙黄色、第一、二節は黒色、白粉あり、第五節以下は黒色、腹面黄色。脚長く、灰色、基部黒色、白粉を裝ふ。體長七分内外。これは京都にて發見せられたる



が稀なるが如し。  
分布—本州。

チヤウザンクシヒゲカガンボ……………(三六八)

*Xiphusa jozana Mats.*

體光澤ある黒色。觸角褐色。頭に黒毛を有す。



前胸背及び中胸側片は黄色、後胸背基部は褐色、兩側に灰色粉を裝ふ。翅透明。平均根黄色。腹部長く、第一、二節は黄色、黒縦條あり。脚黄色。

分布—北海道。

ノヒラガカンボ……………(三六九)

*Yamatogaha nobira Mats.*

體灰褐色。頭、胸側、胸背、後胸部並に後胸背は

三二 腰大蚊科  
*Psychopteridae*

*Psychoptera*



灰色。觸角黄色。胸背に濃色の三縦條あり、稜状部及び後胸背は絹様の光澤を有す。翅暗色、半透明、透明紋あり。平均根灰褐色。腹部の背線は灰黄、第三乃至七節の前後兩縁に暗色帯を具ふ。脚灰黄。體長八分内外。これは京都にて捕獲せられたるが少なし。

分布—本州。

三三 大蚊科  
*Cutheidae*

コシ(ボソ)カガンボ……………(三七〇)

*Psychoptera scutellaris Mats.*

體は光澤ある黒藍色。觸角黒色。小腮黄黄色。



頭黒色。稜状部黄色。翅半透明、外半は暗色。平均根淡黄。腹部黒色、第二節の基部は褐色、各節の後縁に淡黄毛を具ふ。脚黄色、暗褐紋あり。體長三分内外。札幌地方に稀ならず。

三二 偽大蚊科  
*Petauristidae*

*Petaurista*

大蚊科に似れども、前胸背は小、前楯板はV字形の溝によりて分離せらる、第一腹節は短、第二節長、雄の鍬子の基部は發達す、雌にては圓柱形、翅は細く、臀瓣を缺く。幼蟲は蚊蠅科に似たり。本科のものは細形なり。本邦學名を有するもの數種あり。

ガガンボタマシ……………(三七二)

*Petaurista (Trichoera) japonica Mats.*



體灰褐色。中胸背の中央に褐色の細き三縦條あれども餘り判然せず。翅透明、少しく黄色を帯び、縁半透明。平均根は黄色。腹端及び脚は黄色、脛節及び脛節端は少しく暗色を帯ぶ。體長三分内外。これは本邦に普通なり。

ハマダラカ……………(三七三)

*Anopheles (Myzozhynchus) sinensis*

Wied.



體暗灰色。觸角暗褐色。胸背に褐色の五條を縱走す。翅は透明、少しく暗色を帯び、前縁に黒褐の二鱗毛紋あり。平均根灰色。腹背は雌にては暗黄、背線黒褐。雄にては暗褐、觸角甚だしく旋毛状を呈す、脚暗黄。體長二分内外。これは播州地方に多く、マラリヤ病の傳播をなす。幼蟲は流水中に住す。



分布—日本全土、臺灣、支那。

ウスカ

*Culex pipiens* L.  
パレンス形  
*f. pallens* Coq.



體黃褐。口吻黄色。觸角褐色。第一及び第二節の基部は黄色。稜状部は灰色。平均棍、腹部及び脚は黄色。翅透明。體長二分内外。これは夏日家屋内に侵入し來る普通種なり。

分布—世界共有。

クロカ

*Desoidya ohirians* Wk.

體暗褐。複眼の後方及び觸角は暗黄。胸背の中央に褐色毛を裝ふ。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。平均棍淡黄。脚暗色、後腿節基部の大半は



白色。體長二分内外。夏日山地の家屋内に普通なり。

分布—北海道、本州、四國、九州。

トワダオホカ

*Megurhinia townsendensis* Mats.

體黑色。腹背は青藍色。觸角黑色、灰黄部あり。後頭に青色鱗を裝ふ。口吻暗色、基部黄



色、末端に金毛を有す。胸背に青色鱗を具へ、脚側及び脚の基部に金色鱗を有す。翅透明、後

半金色。平均棍黄色。腹部に金白紋を具へ、第五及び六節の中央に灰白鱗、第七節に紫褐の羽状毛、第九節には長き橙黄毛を簇生す。脚暗褐。體長四分内外。これは青森地方にて發見せられたるが少なきが如し。

分布—本州。

ヤブカ

*Stegomyia japonica* Theob.

體は黒褐。頭頂、觸角の基部、後頭の三紋、胸背の三縱



條、胸側紋、各腹節基部の

白。翅は半透明、脈上及び周縁線の細毛は暗灰色、眞珠様の光澤を帯ぶ。脚は體と同色、腿節基部、末端、脛節の兩端及び各跗節の基部は白色、但し前中の跗節にては第一跗節基部のみ白色。體長五分。これは何れの地方にも多き種類にして、山間にあつて家屋に入り來らず。

分布—日本全土、支那、印度。

三四 搖蚊科

Chironomidae

シロスタヤブカ

*Stegomyia scutellaris* Wk.



體は暗褐。小眼盤の末端、頭頂の二紋、後頭及び胸背の一縱條、後胸及び胸側の數紋、

各腹節の兩側紋、腹面の四節、腿節の末端、各跗節の基部(前中跗節にありては第一節の基部のみ)雪白。各腹節の基部に白色帯あるも、條り判然せず。腿節の基部は廣く灰白色。體長一分二厘—一分五厘。これは本州には普通なるも、北海道には産せざるが如し。これに類せられる場合には普通蚊よりも痒味甚だし。

分布—本州、四國、九州、比島、印度、濠洲。

觸角六節乃至十五節、雄にてはこれに刷毛状の細毛を密生す。口吻短し。小眼盤は四節、前方に突出し、末端節は少しく長し。胸部は膨起す。腹部は八節、細長なり。脚細し。静止の時前肢を動搖するもの多し。翅の前縁脈は翅端に達す。幼蟲は水中に住す。本邦學名を有するもの約四十種あり。

ヌカカ(糠蚊)

*Ceratomyia jezoensis* Mats.



體は暗灰色。觸角及び小眼盤黄色、觸角節は暗色。胸背の中央は瘤起し、兩側にある縱條は淺くして判然せず。翅は半透明、少しく暗色

を帯び、縁紋は暗褐、その兩側は灰白、外縁及び後縁は灰白、脈に沿ひ暗色を帯ぶ。平均棍は白色。腹部は黄色。脚は黄色、腿節の末端に暗色紋あり。體長三厘内外。これは樺太及び北海

チビユスリカ

*Chironomus teguhineti* Mats.



角暗色。雄にては旋毛は中央にて最長。胸背に細き三縱溝を具

へ、灰色の短毛を粗生す。翅透明、少しく灰色を帯び、虹色を現はす。平均棍は暗灰色。腹部暗褐、灰色毛を疎生す。雄尾端の銚子は基部にて太く、絲状の末端節は黄褐。脚は灰褐、黒毛を裝ふ。雄にては觸角絲状、七節、腹部灰黄、各節の後縁黒色。體長七厘—八厘。これは時々水



道に發生す。幼蟲は細長、白色、第一節に一個尾端に二個の脚狀突起あり。

分布—北海道。

イネユスリカ.....(二八〇)

*Chironomus oryzae* Mats.

雄、體黒色。雌にては觸角絲狀、雄にては旋毛狀



を呈す。翅は暗黄色。體長七厘。幼蟲は草莖を以つて巢を造りその内に住す。水田に棲息し、稚苗の細根を浮上せしめ大害を加ふることあり。これは札幌地方に少なからず。

分布—北海道。

スズキユスリカ.....(二八一)

*Chironomus suzuki* Mats.

雄、體灰色。觸角及び小腮鬚は褐色。肩及び兩側は灰黄、灰白の細毛を粗生す。翅灰白、稍々透明、平均體長六厘。腹部暗色、各節の後縁及び

三五 蝶蠅科 Psychodidae

觸角十六節より成り、長く、彎曲し、連鎖狀にして、細毛を有することあり。口吻短し。小腮鬚は四節乃至五節。複眼は腎臓形を呈す。胸背膨起す。腹部は六節乃至七節。體肢共に綿狀毛を密生す。翅の先端細く、翅脈は略ぼ相平行す。幼蟲は植物性の腐敗物を食す。本邦に産するもの三種あり。

ホシテフバ.....(二八二)

*Psychoda sexpunctata* Curt.

體灰褐。灰色長毛多し。觸角灰黄。翅は灰色にして、黒褐の長毛多し、翅縁に六個の黒點を列ぬ。各腹節の後縁は細く灰白。脚は黄色、跗節



端は少しく暗色を帯ぶ。體長六厘内外。これは夏日使所その他下水の近邊に普通なり。

分布—北海道、本州、歐洲。

三六 瘦蠅科 Cecidomyiidae

*Cecidomyia*

觸角は長く、十三節乃至三十六節より成り、鞭狀若くは絲狀を呈し、旋毛狀の細毛を有す。口吻は短。小腮鬚は四節。眼には毛を缺く。胸背に横溝なし。腹部は八節、圓柱形、産卵管の長きものあり。脚細長、跗節端に距を缺く。翅は割合に大、前縁は少しく弓狀に漸曲し、翅底は細く、有毛なるものと、虹色を有するものとありて、三乃至五縱脈を有す。幼蟲は普通植物に一種の蟲癭を生ず。多くは微小なる種類にして、本邦學名を有するもの數種あるに過ぎず。

ヨモギタマハ.....(二八三)

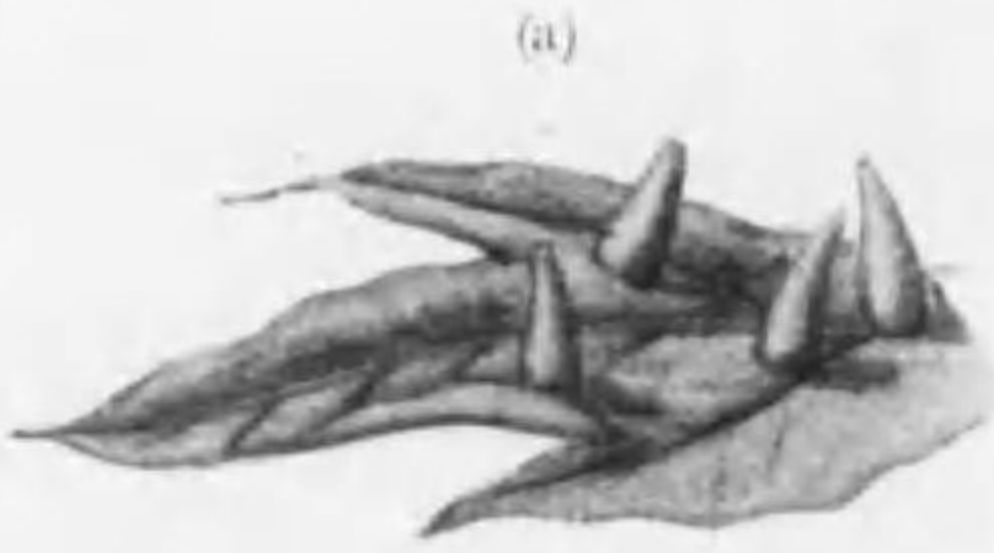
*Asynapta yomogiicola* Mats.

雌、體は黄色。胸背は少しく白粉を帯び、三條



第五 雙翅目

ヨモギ葉上の蟲癭



の褐色線を縱走し、中縁は長く、その前縁は黒褐。複眼は黒色、内側は弓狀に列らる。觸角は連鎖狀にして、拾五節より成り、末端にて細まる。後脚は球狀に隆起す。翅は半透明、少しく灰黄を帯ぶ。平均體長は灰白。脚は淡黄。腹部は少しく橙黄色を帯び、産卵管は長く、少しく淡褐色を帯ぶ。體長六厘。これはヨモギの葉上に圓錐形の蟲癭を造る普通種なり。

分布—北海道、本州。

附言—次ぎの屬と異なる所は、第四脈は第三脈の基部より分支するにあり。

クハタマハ.....(二八四)

*Diplosis moricola* Mats.

雌、胸背は暗褐、肩の一條は灰白、中央に灰黄の細き二條を縱走す。觸角、體下、脚及び腹部は黄褐。複眼は黒色。觸角は絲狀、十三節より成り、基部にては各節長きも、末端に至るに隨ひ短

雌



(a) 桑の蟲癭



分布—北海道。

節す。翅は半透明、少しく暗色を帯ぶ。平均體長は白色。跗節の末端は褐色を帯ぶ。幼蟲は桑の葉柄に稍々紡錘狀の蟲癭を生ず。六月下旬札幌地方の桑園に普通なり。



三七 草蠅科 Fungivoridae (Mycetophilidae)

觸角は普通、胸よりも長く、少し弓曲せるもの多し。十二節乃至十七節、絲状若くは鞭状を呈す。口吻は短小。單眼は二個乃至三個あり。小腮鬚は三節乃至四節。胸部は圓柱形にして、時に側扁なるものあり。腹部は六節乃至七節にして脛節に距あり。翅は割合大にして、中室を缺く。幼蟲は有頭にして、主として草に棲息すれども亦植物性の腐敗物をも食し、時に其群居するものあり。本邦學名を有するもの十數種あるも何れも微小なり。

ヨツモンコシボツキノコバへ……………(三六五)

Coelostia (Boletina) funiculata Mats.



體は光澤ある黒色、黄毛多し。觸角は暗褐色。肩及び中胸背の後角は灰黄、兩側に黄色の長毛あり。翅は透明

前後、横脈紋及び翅端の二帯は暗色。平均棍は黄色。腹面及び尾端黄褐色、腹部には長き黄毛を裝ふ。脚黄色。體長三分五厘内外。これは札幌地方に稀ならず。

分布 北海道。

モイハコシボツキノコバへ……………(三六六)

Hesperotina moiwana Mats.



體黒色。觸角暗褐色。頭頂に灰白粉を裝ふ。胸背に太き灰白粉の一縱條を具へ、更に三黒條あれども判然せず。翅は灰褐色透明。平均棍は黄白。腹部は黄色黒紋を有す。脚黄色、基節は黒色、

分布 北海道。

ヒゲナガキノコバへ……………(三六七)

Microcera maculosa Mats.

體淡黄褐色。觸角暗褐色、黄色の二縱條を具ふ。觸



角は體より長く、暗褐色、基節黄色。翅透明、中央の大紋及び外縁は廣く暗褐色、その暗褐色部に白紋あり。腹部及び脚は黄色。體長一分七厘。これは札幌地方の森林内に捕獲せらるるも少し。分布 北海道。

アシマダラキノコバへ……………(三六八)

Fungivora maculipes Mats.



體黄色、灰白短毛を密生す。觸角暗褐色、基部は黄色。翅透明、少しく灰色を帯び、横脈上の一紋及び外縁に近き一帯は暗色。腹部は側扁、各節の後縁は黄白。脚は黄色、黒色紋を裝ふ。體長二分内外。札幌地方には普通なり。

〔附註〕 北海道。

ツマグロキノコバへ……………(三六九)

Myomyia panorpatorum Mats.



體暗褐色。翅透明、少しく黄色を帯び、中央の一紋及び翅端は廣く暗褐色。二個の單眼ありて、白。脚は暗褐色、轉節及び脛節の基部

部は黄白。體長四分。これは一見舉尾蠅に酷似する大形種なるが稀ならず。分布 北海道。

セアカキノコバへ……………(三九〇)

Lycoria (Setiana) thornatica Mats.



體黄褐色。觸角暗褐色、基部は黄色。

三八 毛蠅科 Eristhiidae

觸角は九節乃至十二節にして、短大、側扁なり。小腮鬚は三乃至五節、その長きものと又短くして關節の判然せざるものとあり。單眼を有す。胸部は卵形、多少隆起す。腹部は長く、尾端は少しく上方に向く。脚太く、特に前脛節は發達す。翅大にして、中室を缺き、静止の時は翅を腹上に置く。雌雄大にその色彩及び形態を異にす。幼蟲は塵芥下に棲息し、普通群居す。本邦に産するもの十數種あり。

クロシケバへ……………(三九一)

Isbio johannis Lr.



雄の體は黒色、黒毛を密生す。眼の周圍は黄褐色。翅透明、前縁の中央に黒褐色の一紋を裝ふ。脚黒色、黄褐色あり。雌にては前胸背は淡黄、翅は黄色を帯び、脚は黄褐色、黒褐色あり。體長二分内外。これは普通なり。



分布 北海道、本州、歐洲。

メスアカケバへ……………(二九三)

*Bilio hortulanus* L.

雄、體は光澤ある黒色、黒色の長毛を簇生す。ヤボニカ形。 *f. japonica* Duda 翅は半透明



少しく暗黄色を帯ぶ。脚黒色、後肢長し。雌にては前胸背及び腹部は淡黄褐色。體長四分内

外。これは春時普通にして、その飛翅するものは遅鈍なり。分布 北海道、本州、西比利亞。

キアシケバへ……………(二九三)

*Bilio japonicus* F.

雌、體は黒色。小鬚は觸角よりも長く、兩者は長毛を裝ふ、胸背に黒毛を粗生す、翅は透明、光澤の工合により紫色を現はす、平均根は暗褐色、腹部に黒毛多し、脚黒色、腹前赤褐色。



の頭は大、後腿節は頗る長く、體に黒毛多し。體長三分内外。これは札幌地方に普通なり。分布 樺太、北海道。

ヒメセアカケバへ……………(二九四)

*Penthetria japonica* Wied.

雄にては體黒褐色、天鵝絨様の光澤を帯び、胸背に毛少なく、翅は半透明、暗色を帯び、平均根は黒褐色、脚は黒色。雌にては中胸背に橙黄色の大紋を具へ、頭頂には一突起を裝ふ。體長三分五厘内外。これは天鵝絨様の光澤を有するを以て他種と容易に區別し得べし。早春草上に普通なり。分布 北海道、本州。



三九 蚋科 Simuliidae

觸角十節、短大、多くは扁平なり。小鬚は四節、第四節は甚だしく延長す。單眼を缺く。胸背は球形に膨起し、横溝を有せず。腹部は七節乃至八節、第一節の後縁は延長し、縁毛を有す。腿節太し。静止の時は翅を腹上に置く、翅は廣し。雌は人畜の血液を吸收し、大害を加ふ。幼蟲は流水中において、石上若くは倒木の上に附着し、藻の如きものを以て食となす。本邦に産するもの數種あり。

キアシフユ……………(二九五)

*Simulium jezoense* Mats.

體は暗色、金色の短毛多し。觸角は暗褐色、紡錘狀、十節より成る。前胸は稍々球形、五條の黒條を縱走し、最も外側にあるものは短。翅は透明、少しく黄色を帯び、前縁は暗褐色、前縁の太き二脈は黄褐色、他脈は淡黄褐色。平均根は褐色。脚は黄褐色、



四〇 網蚊科 Blepharoceridae

體形は蚊に似れども、翅に網目状をなせる脈様の斑紋を有するを以て容易に識別することを得べし。三個の單眼を具へ、複眼は二分せらる。觸角は糸狀、五節より成る。幼蟲は流水に住す。本邦に産するもの數種あり。

クロハアミカ……………(二九七)

*Liponeura infusca* Mats.

體黒褐色。第一、二觸角節の末端は少しく黄色を帯ぶ。頭に暗黄色の短毛を密生す。胸背の兩側に黄褐色を具へ、胸側は黄褐色。翅は暗色、不透明。雄にては淡色、半透明、網狀様の斑紋は灰白。初めの四腹節の後縁は黄褐色。腹面は淡黄褐色。脚黄色、暗色紋を裝ふ。體長四分内外。幼蟲は稍



々瓢虫形にして、急流の河中に住し、岩に附着す。その數多からず。分布 本州。

エゾアミカ……………(二九八)

*Liponeura jezoensis* Mats.

體は黒褐色、光澤を缺く。頭は黒色、顔の兩側は黄色。第三觸角節は太く、第四節の基部は黄褐色。小鬚の末端二節は赤褐色。複眼に褐色多し。胸側紋及び翅の基部は赤褐色。翅は透明、少しく暗色を帯び、脈は褐色、擬脈は淡色なるも判然せり。平均根は灰白、末端は黒色。腹部は黒色、白粉を裝ひ、兩側縁は赤褐色。脚は赤褐色、腿節の末端及び跗節は暗色。體長三分五厘。これは札幌地方に産するもの少なし。分布 北海道。



にては腿節及び跗節稍々膨大す。體長九厘、一分二厘。これは札幌地方に普通なり。分布 北海道。

アシマダラフユ……………(二九六)

*Simulium japonicum* Mats.

體黒色。黄色の短毛を裝ふ。觸角の基部は黄色。轉節、腿節の基部、腿節の大部並に第一跗節の基部は白色。平均根は黄白。體長九厘内外。本邦何れの地方にも普通なり。これに類されたる時は一種の腫瘍を生ず。分布 北海道、四國、九州。





四一 蚊蠅科 Phryneidae

觸角十六節、稍々胸部と同長、圓柱形にして短毛を有す。小腮鬚は四節にして、長し。單眼を有す。胸部は卵形に近し。腹部は七節、圓柱形を呈す。脚細く、跗節及び前基節は甚だ長し。翅には中室を有す。幼蟲は植物性の腐敗物を以つて食となす。成蟲は一見蚊に似たり。本邦に産するもの數種あり。

キバラマダラカバへ……………(二九九)

*Phryne (Klyptus) fuscatus* F.

體は淡黃褐。觸角暗褐。胸背に三個の褐縱條あり。



♀

り。翅半透明、黄色を帯び、脈黄色、前縁の二紋及び横脈紋は暗褐。第一、二腹節の中央に暗色の一縱條を具へ、第四乃至第七節は暗褐、各節の後縁は黃褐。脚は黄色、暗色部あり。體長一分八厘。これは何れの地方にも普通にして、

群生するの傾きあり。

分布 北海道、本州、歐洲。

マダラカバへ……………(三〇〇)

*Phryne japonicus* Mats.

體灰色にして少しく綠色を帯ぶ。觸角及び兩鬚は暗褐。口部黃褐。胸背に黒色の三縱條あり。



♀

翅半透明、暗色を帯び、暗色の淡き斑紋を散在し、翅端に近き三角紋及び内縁紋は黒褐。脚黄色、暗色紋あり。各腹節の後縁及び腹面の基部は黄色。體長二分内外。草間に稀ならず。

分布 北海道。

スズキカバへ……………(三〇一)

*Phryne suzuki* Mats.

體黃褐、黄白毛を装ふ。頭、觸角及び小腮鬚暗褐。胸背に暗褐の四縱條を具へ、後胸背は褐色。翅暗色、半透明、白紋を散在す。平均體は黄色。腹部暗褐、基部及び末端の兩側は淡黃褐。脚黄



♀

色。體長二分内外。これは京都地方に稀ならず。分布 本州。

四二 水虻科 Stratiomyidae

頭短く、半球形を呈す。第三觸角節には輪環を具へ、端刺又は角片を装ふ。口吻短く、二個(稀に四個)の剛毛を装ふ。單眼三個。普通稜狀部に刺あり。爪間に三個の吸盤を具ふ。鱗狀部は小、又はこれを缺く。幼蟲は多く水中にあり。成蟲は花蜜を吸取す。幼蟲は俗にナメウジと稱し、汚水に蕃殖し、時に水田の稚苗根を浮べ、大害を加ふる事あり。本邦學名を有するもの二十數種あり。

ネグロミツアブ……………(三〇二)

*Acanthionotes lasalis* Mats.



♀

體黑色。口吻は黄褐。觸角黑色、白粉を装ふ。胸背光澤あり。翅底は暗色。脚黑色、跗節黄色、腿節端は褐色。體長二分五厘内外。これは花上に捕へ得べき普通種なり。分布 北海道。

ヒロウドミツアブ……………(三〇三)

*Acanthionotes albopilosus* Mats.



♀

體は黑色、白短毛を密生するを以つて灰色を呈するが如し。觸角褐色。口吻黃褐。複眼に褐毛多し。胸部に直立せる暗褐毛と灰白剛毛とを裝ひ、稜狀部に灰白長毛を具へ、その末端白色。翅透明、暗色の二紋あり。平均體淡黄。初めの二腹節に灰白毛を具へ、天鵝絨様の光澤を帯び、第三節の兩側に白色の毛紋を有す。體長二分五厘内外。これは臺灣に普通なり。分布 臺灣。

トゲナシミツアブ……………(三〇四)

*Allognosta saiporensis* Mats.



♀

體黑色。複眼は銅褐色。顔には灰白粉を具へ、黒毛及び白毛を装ふ。口吻褐色。胸背は光澤を帯び、暗褐の短毛多し、稜

狀部に齒狀突起を缺く。翅暗色、半透明。平均體褐色。腹部褐色、黒毛を具へ、基部の兩側に白毛を生ず。脚暗褐。體長一分七厘内外。これは札幌地方に稀ならず。分布 北海道。

エゾルリミツアブ……………(三〇五)

*Beria jezoensis* Mats.



♀

體暗綠色。胸金綠色、黒褐の長毛及び灰色の短毛を装ふ。頭及び觸角黒褐、顔に灰白粉を装ふ。脚は光線の工合にて紫藍色を現し、側面及び胸片に灰白毛あり。平均體黄白。腹に灰白の長毛多し。脚褐色、黄白部あり。體長三分五厘内外。これは札幌地方に普通なり。分布 北海道。

ハラキンミツアブ……………(三〇六)

*Chrysochroma ajacale* Mats.

頭暗褐。複眼の上半は赤褐、下半は暗色。觸角は橙黄色。顔に白毛を装ふ。口吻黄色。胸部は







して、稻の稚根を浮上せしめ、大害を加ふるこ  
とあり。

分布 北海道、本州、九州、支那。

四三 鵝虻科 Rhagionidae

(Leptidae)

頭半球形。顔に細毛を装ふ。觸角長く、第三節  
に一端刺を有す。口吻太し。小腮鬚は二節。腹  
部細長、七節を有す。鱗状鬚は小なり。脚細  
長、基節は延長し、爪間に三個の小吸盤あり。  
静止の時翅を半開す。成蟲は小蟲を捕食して農  
林業に有益なり。幼蟲は地中若くは水中に住し、  
細長、圓柱形にして、尾端に二個の呼吸管あり。  
蛹は被蛹なり。本邦學名を有するもの十數種あ  
り。

ハマダラシギアブ

Atherix his F.



體黑色。眼は銅色にして、光澤あり。觸角黑色、黒  
毛を簇生す。胸背に  
黄白の二縱  
條を装ふ。  
翅透明。四  
五個の暗色  
斑を散在す。腹部黄色、第一、第二乃至第四節  
の中央にある一紋、第五節の横帯及び尾端は黒

色脚黄色。體長三分。これは水邊に普通なり。

分布 本州、支那、西比利亞、歐洲。

サツマモンシギアブ

Atherix tsushima Mats.



體黑色。頭灰白、前頭天鵞絨様の黒色、顔灰色、觸  
角黑色、口吻  
暗褐、黒毛多  
く、顔に白毛  
あり。肩及び  
胸背の後縁  
に灰白粉を具  
へ、胸背に黒  
色短毛を粗生し、後縁及び兩側に白毛あり。翅  
透明。平均棍黑色。腹部に黒毛を具へ、斑紋灰  
白、灰白毛を装ふ。脚に黒毛及び灰白毛を混生  
す。體長三分五厘内外。これは鹿兒島には少な  
からず。

分布 九州。

アラカハシギアブ

Dalysia arakawa Mats.



節は黄  
色、殘  
節は黒  
色、稀  
に第三  
及び第  
四の兩節に黒紋を有するものあり。脚黄色。體  
長二分五厘内外。これは東京地方に稀ならず。

分布 北海道、本州。

ヤマトシギアブ

Rhagio japonicus Mats.



體暗褐、灰色を帯び、胸側に灰白粉を装ふ。顔  
は灰色  
口吻、  
觸角及  
び小腮  
鬚黄色  
顔の兩  
側及び  
頬に灰  
白毛を具ふ。複眼栗色。胸背に灰白の短毛を粗  
生し、肩黄色、胸背に二灰色條あり、中胸背の  
後縁角は黄褐、稜状部に黄褐毛多し。翅透明。

して、稻の稚根を浮上せしめ、大害を加ふるこ  
とあり。

分布 北海道、本州、九州、支那。

四三 鵝虻科 Rhagionidae

(Leptidae)

頭半球形。顔に細毛を装ふ。觸角長く、第三節  
に一端刺を有す。口吻太し。小腮鬚は二節。腹  
部細長、七節を有す。鱗状鬚は小なり。脚細  
長、基節は延長し、爪間に三個の小吸盤あり。  
静止の時翅を半開す。成蟲は小蟲を捕食して農  
林業に有益なり。幼蟲は地中若くは水中に住し、  
細長、圓柱形にして、尾端に二個の呼吸管あり。  
蛹は被蛹なり。本邦學名を有するもの十數種あ  
り。

ハマダラシギアブ

Atherix his F.



體黑色。眼は銅色にして、光澤あり。觸角黑色、黒  
毛を簇生す。胸背に  
黄白の二縱  
條を装ふ。  
翅透明。四  
五個の暗色  
斑を散在す。腹部黄色、第一、第二乃至第四節  
の中央にある一紋、第五節の横帯及び尾端は黒

なるが如し。體長二分五厘内外。これは札幌地  
方の林道に少なからず。

分布 北海道。

マヘグロシギアブ

Rhagio costinaculus Mats.



體黑色。顔に灰白粉を装ひ、口吻淡褐、褐色毛  
を有す  
觸角黄  
色。胸  
背に黄  
褐毛を  
具へ、  
灰色の  
二條を具へ、兩側に灰白粉を装ふ。翅透明、二  
黒條あり。平均棍黄白。腹部の初三節は黄白、半  
透明、黒毛を有す。脚黄色、黒色部あり。體長  
三分内外。これは京都地方に稀ならず。

分布 本州。

キイロシギアブ

Rhagio flavinodius Corp.

體黄色。頭黑色。胸背黒褐。翅透明、末端の三  
分の一は暗色を帯ぶ。平均棍は黄色。初めの四腹

♂



體暗褐。眼赤褐。觸角及び口吻は暗黄。胸背の  
兩側に  
黄色毛  
を装ふ  
稜状部  
の後縁  
に灰白  
毛を簇  
生す。翅透明。平均棍暗色。腹部暗褐、第一節  
は灰白。脚は黄色、黒色の短毛多きを以て暗色

ネウスシギアブ

Rhagio (Leptis) luscus Mats.



は灰白。脚は黄色、黒色の短毛多きを以て暗色



平均棍は淡黄。腹黄色、斑紋黒褐、第五節の腹面、第六及び七節並に生殖器は暗褐、灰白毛多し。脚黄色、黒毛及び黒紋を有す。體長五分内外。これは播州地方に稀ならず。

分布 本州。

カラフトシキアブ……………(三三二)

*Huangio karafutonis Mats.*

體暗褐。顔に灰白粉を裝ひ、白毛を生ず、口吻褐色。觸角暗褐。胸背に灰白粉を裝ひ、黄褐毛を粗生す。肩及び中胸背の後



縁角並に稜狀部は黄褐。翅透明。平均棍灰黄色腹黄色、黒紋あり。脚黄色、黒色部ありて、黒毛を具へ、灰白粉を裝ふ。體長二分内外。これは大泊地方に稀ならず。

分布 樺太。

サンデウダケシキアブ……………(三三三)

*Huangio sandakehonense Mats.*

體灰黄。胸側黄白。頭黒色、口吸及び小腮鬚黄白。觸角は灰黄。胸背の中



褐色條を具へ、黄白毛を裝ふ。翅透明。平均棍暗褐。腹灰黄、黒毛を具へ、兩側に黄白毛を混じ、斑紋は暗褐。脚黄白、白毛を具ふ。體長二分内外。これは大和地方に稀ならず。

分布 本州。

四四 臭虻科

*Coenomyiidae*

頭部は胸部よりも小。觸角は頭と同長若くは短小、第二節は末端にて尖り、判然せざる輪環を有す。稜狀部に二刺あり。これは一種固有の臭氣を發す。幼蟲は朽木中の小蟲を捕食す。本邦學名を有するもの一種あり。

ネクロクサアブ……………(三三四)

*Coenomyia luscus Mats.*

體黄褐、雄は黒色。胸背に濃色の三縱條を裝ふ。翅は半透明、黄色を帯ぶ。稜狀部に黄色の二齒を



裝ふ。腹部は光澤を帯び、第二節は兩側を除き黒色、第二節に三角形の黒褐紋を裝ひ、雄にては第二腹節の兩側に大なる黄紋を裝ふ。脚黄色。體長五分七分。これは札幌地方に産する。

體長四分内外。これは大谷地方に少なからず。分布 樺太。

シマキアブ……………(三三六)

*Odontosabula gloriosa Mats.*

體は黒色。頭頂は褐色、顔は灰黄、金色を帯ぶ。口吻は褐色。觸角は頭より長く黄色、第一節及び末端は黒褐、第三節は更に七副節より成る。胸背に四個の灰黄縱條ありて、金色を帯ぶ、稜狀部は黄色、二個の長き棘刺あり。翅は藍甲様の黄色。腹部黄色、末端の三節は黒色、第三節に黒紋あり。間張六分五厘。これは本州及び九州に産するも稀なり。



キアシキアブ……………(三三七)

四五 木虻科

*Xylophagidae*

頭は胸と同幅、頭頂は少しく凹陥す。觸角は頭より長く、第一節は第二節より長、第三節は頗る長く、これに八個の輪環を具へ、端刺を缺く。口吻は突出し、小腮鬚は二節、楔狀をなして上方に向く。腹部は七節。前縁脈は翅の周圍を走れり。成蟲は他蟲を以つて食とす。幼蟲は樹皮下その他朽木中にありて、小蟲を捕食す。本邦學名を有するもの數種あり。

カラフトキアブ(モドキ)……………(三三五)

*Arthropaea sachalinensis Mats.*

體灰色。頭に絹様の光澤を帯び、淡黄褐毛多し。複眼赤褐。觸角、口吻及び小腮鬚は黄褐。胸背に黒褐の短毛を裝ひ、暗色の三條なり。翅黄褐、半透明。平均棍は橙黄色。腹黒色、各節の後縁は黄褐、第五節の全部は黄褐。脚橙黄色。





*Xylomyia flaviventris* Mats.

體黑色。觸角の中央は黄褐。胸背に灰白毛の三縦條を裝ひ、その兩側に細き黄縦條あり、稜状部黄色。翅透明、暗黄を帯ぶ。平均棍黄色。脚黄色、後肢に暗色部あり。體長三分内外。これは札幌地方に少なからず。  
分布 北海道。



**ヒゲナガキアブ**.....(三三八)

*Xylomyia longicornis* Mats.

體黑色。口吻黄色、第二節黄褐。胸背に灰白毛の三縦條を裝ふ。翅透明、黄色を帯ぶ。平均棍白色。腹部は光澤を帯び、斑紋を缺く。脚白色、後肢黑色、黄紋あり。體長三分内外。これは定山溪地方に少なからず。



分布 北海道。

**ミツボシキアブ**.....(三三九)

*Xylomyia motwana* Mats.

體は黑色。胸背に灰色の二縦條を裝ふ。各翅底の一點及び稜状部は黄白。翅透明黄色を帯ぶ。腹部は光澤を帯び、第二乃至第四節の兩側に黄白の小紋を裝ふ。脚黑色、黄色紋あり。體長四分内外。これは札幌地方に少なからず。  
分布 北海道。



**ホシキアブ**.....(三三〇)

*Erinna (Xylophagus) maculata* Mats.

體は黑色。頭は光澤を帯び、頭頂に灰色粉を裝ふ。觸角黑色。口吻褐色。胸背に灰色粉多く、中央及び兩側に光澤ある黒縦條を具へ、胸下は灰黄。翅は透明、灰黄を帯び、一暗色紋を具へ、縁紋の内側に一黄白紋あり。平均棍淡黄褐。腹部は光澤を帯び、黒毛を裝ふ。觸暗褐、黄紋黄



白、黄褐の短毛を裝ふ。體長四分内外。これは日光地方に稀ならず。  
分布 本州。

四六 虻科 Tabanidae

觸角大、第三節は短枝を出し、これに輪環あり。頭は胸と同幅。口吻は太く、肉状にして、四乃至六個の剛毛を具へ、小腮鬚は二節、長し。稜状部に刺を缺く。爪間には三個の小吸盤あり。雌は人畜の血液を吸收し、時に大害を加ふる事あり。雄は花上にありて花蜜を吸收す。幼蟲は地中若くは汚水中に棲息す。蛹は裸蛹。卵塊はゼラチン質物を以て覆はれ、岩石又は朽木上に産下せられ、時に葉上にあることあり。本邦學名を有するもの數十種あり。

**キイロアブ**.....(三三一)

*Tabanus (Ocularia) fulvus* Meigs.

體黄褐、赤黄の短毛を密生す。複眼及び顔は淡黄、少しく綠色を帯ぶ。觸角黄色。翅透明。鱗状部及び平均棍は淡黄。腹背は赤黄、金色の短毛



多く、中央の短縦條及び尾端の四節は黒褐、雄にては中央の黒縦條は基部に達せず。脚は黄色、脛節端及び跗節は黒褐。體長五分。これは播州地方に普通なり。  
分布 北海道、本州、九州、支那。

**タイワンメクラアブ**.....(三三二)

*Chrysops dispar* F.

體暗褐。頭に黄白短毛を裝ふ。觸角は淡黄褐。顔黄色。口吻褐色。胸側及び後縁に金色毛多し。翅透明、前縁及び中央の太き一帯は暗色。平均棍暗褐。腹部黄色、暗褐紋を具へ、黄白短毛を裝ふ。脚黄色。體長三分。これは臺灣には普通なり。  
分布 臺灣、支那、印度。



**クロメクラアブ**.....(三三三)

*Chrysops japonicus* Wied.



體は光澤ある黑色

斑紋なし。翅は透明、前縁の翅底に接する三分の二及び中央の大三角紋は黑色。體長四分内外。これは中國地方に普通なり。  
分布 本州。

**カラフトメクラアブ**.....(三三四)

*Chrysops nigricornis* Mats.

體黑色。口吻及び小腮鬚暗褐、後者の下面に淡黄の長毛を粗生す。胸に黄毛を裝ひ、兩側は灰色、中央に濃色の三縦條あり。翅透明、基部前縁及び中央の一帯は暗色。平均棍暗褐。第一及び二腹節の兩側并に各節の後縁は淡黄褐、各節後縁の中央に灰白の三角紋と具へ、黒毛を裝ひ、紋上には黄毛あり。體長三分。これは大泊地方には普通なり。  
分布 樺太。



**メクラアブ**.....(三三五)

*Chrysops nivosus* Loew





體は光澤ある黒色。頭黄色、黒紋あり。觸角黒褐、第一節は黄色。胸背に黄白の二縦條を裝ひ、兩側は黄色。翅透明、黒紋あり。腹背黄色、黒

紋を具ふ。中後脛節及び跗節の大部は暗黄。體長三分内外。これは本邦何れの地方にも普通なり。人これに近づくも、遁飛せざるを以て盲蛇の名あり。  
分布—樺太、北海道、本州、四國、九州、支那、比島、馬來。



ゴマアブ (三三六)  
*Haematopota jalu curvipes* L.  
體灰黒。頭に光澤ある二黒紋あり。觸角の第一及び二節は灰黒、第三節の基部は黄色。胸背に灰白の

三縦條を裝ふ。翅暗赤、半透明、灰白の小紋條を散在す。各腹節の後縁は灰赤、雄にては灰色の三縦條を裝ふ。脛節に二個の黄色環あり。體長四分内外。これは北海道には最も普通なる種類にして、北見網走地方にありては人畜に大害を加ふ。  
分布—北海道、本州、歐洲。



フトスチアブ (三三七)  
*Tabanus (Ochrops) bivittatus* Mats.  
體黒色、灰色粉を裝ふ。顔灰黄、白毛あり。觸角橙黄色。口吻暗褐。胸に黄白毛と黒毛とを裝ひ、兩側には灰白毛を密生す。翅透明。平均根は淡黄褐。腹に淡黄の短毛を密生し、中央に暗赤の二縦條を具へ、第一及び第二節に黄褐紋あり。脚黄色。體長四分五厘内外。これは京都地方に稀ならず。

アカウシアブ (三三八)  
*Tabanus akagashira* Yasui

體は淡褐色を帯ぶ。腹部は赤褐、中央に一黒條を縱走し更にその中に灰色の一縦條あり。脚黒褐。脛節は黄色。體長七



體は黒褐。頭、顔、觸角、小臑、胸背の二縦條及び兩側は黄色。翅は透明。腹部各節の後縁は黄色。脚は黒褐。

腹部の第六節以下及び跗節は黄色。體長八分内外。これは北海道に普通なる種類にして、胡蜂に似たり。  
分布—北海道、本州。  
シロフアブ (三三九)



體は灰黒。觸角及び口部は黒褐、前者第三節の基部は赤褐。胸背に灰白の三縦條を具へ、兩側も灰白。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。腹背黒色、各節の後縁及び三角形の中央紋

アカアブ (三三〇)  
*Tabanus sapporensis* Zett.

體暗灰赤、灰赤の短毛を密生す。顔は淡黄。觸角は黄褐、第三節に黄色部あり。口部は黄色、口吻は黒褐。胸背に暗色の三縦條あり。翅透



分内外。これは札幌地方に普通なり。  
分布—北海道、本州。

シロアシアブ (三四一)  
*Tabanus niyujima* Ric. *Calbotriialis* Mats.)

體黒色。顔灰白、白色の短毛多し。第三觸角節



は暗褐。口吻暗褐、下面に黒毛を裝ふ。胸背に灰白粉を裝ひ、黄毛を混ず、肩部は褐色。翅透明。平均根褐色。腹部に黒毛を密生し、第一、二及び三節の兩側に白色の毛塊を具へ、第四及び五節には白毛帯あり。脚黒色、黄白紋を裝ふ。體長五分七厘内外。中國地方に稀ならず。  
分布—本州。

キハラアブ (三四三)  
*Tabanus (Theriopterus) distinctus* Verr. *guenini* Verr.

體灰黒。複眼間に黒紋あり。觸角黄色、第三節に黒褐紋を裝ふ。胸背は光澤を有し、灰白の三縦條あり。翅透明、褐色を



分布 北海道、本州、九州。

帯ぶ。腹部の初三節乃至四節の兩側は橙黃色、各節の後縁は黃色。脚黃褐、腿節は黒褐、跗節褐色。體長五分五厘内外。これは札幌地方には普通なり。

分布 北海道、西比利亞、歐洲。

ウシアブ……………(三四三)

*Tahanns trigonus* Coq.



體暗色。顔灰黃。觸角の第一及び第二節は黃褐、第三節は黃。胸背に灰白の五縱條を裝ふ。翅透明、褐色を帯ぶ。腹背及び脚は黒褐。各腹節の後縁及び中央紋は淡黃、下面は褐色。腿節は黃色。體長八分内外。これは何れの地方にも普通なり。

四七 擬虻科

*Nemestrinidae*

體は短く且つ太く、細毛を密生す。頭は胸幅と稍々等し。複眼は大。觸角は短く、端刺なく、口吻は稍々延長す。翅は長大、糊棟の脈を存す。成蟲は花蜜を吸收す。一見虻に似たり。卵子は針葉樹の幹に産附せられ、孵化すれば地中に入りて、甲蟲の幼蟲若しくは蛹を食す。本邦學名を有するもの四種あり。

アブモドキ……………(三四四)

*Hirnoidea orientalis* Licht.



體淡褐、黃褐毛を密生す。觸角黃色。顔に球形の一突起あり。口吻及び小腮鬚は長毛にて蔽はる。胸部に長毛を簇生すれども、稜狀部にはなし。翅褐色、半透明。平均棍淡黃。腹部の側面に長毛、中央に短毛を粗生す。脚黃。體長四分。これは熊本地方に少なからず。

分布 本州、九州。

四八 小頭虻科

*Acrocercidae*

頭部球形、甚だ小。口部には退化せるものと、發達せるものとあり。複眼は相接す。觸角短く、二節若しくは三節あり。胸部稍や球形を呈す。腹部穹狀に膨起し、鱗狀辨は甚だ大、爲めに平均棍見えす。脚に刺毛を缺く。静止の時は翅を半開し、水平に置く。成蟲及び幼蟲共に食肉性にして、何れも蜘蛛に寄生す。これは葉裏若しくは枝端に静止し、又水邊の草間に棲息するも、小形なる爲め注意せざれば捕獲困難なり。本邦に産するもの約十種あり。

シバカハコガシラアブ……………(三四五)

*Oncodes shibakawae* Mats.

體綠銅色。口部は退化す。複眼に暗褐毛を密生す。觸角黒褐。口吻褐色、淡黃褐毛を密生す。胸部及び腹部に淡黃褐の短毛を密生す。翅透明。平均棍淡褐。脚淡黃。體二分七厘内外。これは大阪地方に産するも少なし。



分布 本州。

セタカコガシラアブ……………(三四六)

*Thylis nigroaenea* Motsch.

體光澤ある黒綠、頭球形。眼に軟毛を裝ふ。觸角小、長き端刺を具へ、その直上の突起は黃白。口吻黃色。鱗狀辨は介殼狀にして、半透明。各腹節の接合膜は黃色。脚黃色、腿節は末端を除き黒色。翅は淡黃、透明、脈赤色。體長三分内外。これは札幌地方に稀ならず。





四九 長吻虻科

Bombyliidae

頭は前胸より小。口吻は角質にして、長く、水平に突出するもの多し。鱗状鱗は退化す。腹部は圓く、多くは長毛を装ふ。觸角長く、第三節に角片又は端刺あり。これは空中を飛行し、一定處に飛び居るの狀、恰も自體を空中に吊りあるの觀あるを以つて吊籠の名あり。幼蟲は多く寄生的生活をなす。成蟲は花蜜を吸收す。これは長吻を有するを以て他種と區別すること容易なり。その飛行の迅速なるこれに及ぶものなしと稱せらる。本邦學名を有するもの十數種あり。

エゾクロツリアブ Anthrax jezoensis Mats. (三四七)



體黑色、黒色の短毛多し。後頭及び胸背は暗褐色、兩側に灰白毛を混生す。翅は黒色外縁並に後縁透明、後縁には二黒紋あり。平均棍暗

褐色。腹基部及び第七節の兩側に白毛を装ひ、尾端には暗褐色毛を簇生す。體下灰色を帯び、灰白毛を混す。體長四分内外。これは山間の日當りの良き路上に普通なる種類にして、時には石上若くは直接地上に靜止するを見る。幼蟲は葉切蜂、泥蜂等の巢に寄生す。

分布 北海道、本州、臺灣。

コウシユンツリアブ Anthrax koishinensis Mats. (三四八)



體黒褐色、黒毛を装ふ。顔及び後頭は灰色、灰白の鱗毛を有す。胸背に短き灰白毛と黒毛を混生し、兩側のものは長し。翅透明、翅底の半部は黒色。平均棍は暗黄。腹部の兩側に黒毛多く、白毛を混じ、第一節の兩側には白毛を簇生す。體長三分内外。これは埔里地方の路上には普通なり。

分布 臺灣。

スキハツリアブ Anthrax sikkimensis Mats. (三四九)

Anthrax limbata Coq.



體黑色。口吻端は褐色。胸背の兩側に黄色の長毛を密生す。翅透明。第一、二腹節の後縁並に兩側に黄白の軟毛を密生し、尾端の兩側に黒毛及び白毛を混生す。雄は各腹背節の後縁に黄色毛を密生す。體長五分内外。これは札幌地方の山道に普通なる種類なり。

分布 北海道、本州。

ヲガサハラツリアブ Anthrax ogasawarenis Mats. (三五〇)



體黑色、金色の短毛多し。口吻並に觸角は褐色。胸背に黒色の長毛を粗生す。翅は灰黄、透明。腹部の兩側及び尾端に黒色の軟毛を混生す。脚は黄色。體長四分五厘内外。これは本州及び九州に産するも少なし。

分布 本州、九州、支那、歐洲。

スズキツリアブ Anthrocephalus suzukii Mats. (三五四)



翅は灰黄、透明。腹部の兩側及び尾端に黒色の軟毛を混生す。脚は黄色。體長四分五厘内外。これは本州及び九州に産するも少なし。

分布 本州。

ヲガサハラホツリアブ Argyromochia honinensis Mats. (三五五)

體黑色、灰色を帯ぶ。頭頂に黒毛を具へ、顔及

透明、前縁に於ける翅底の半部は廣く黒色。腹部に金色の鱗毛多く、少しく黒毛を混生す。腹面の基部に黄色の長毛を粗生す。脚黒褐色。體長三分内外。これは父島の道路に少なからず。

分布 小笠原島(父島)。

ツマアキツリアブ Anthrax pitealis Mats. (三五二)



體黑色。頭に黒色の短毛を密生す。第三觸角節及び端刺は黄色。胸背は天鵞絨様の黒色、兩側に黄白の長毛、前縁に黒褐色及び暗黄の長毛を簇出す。翅黒色、末端及び縁紋は透明、末端及び中央に黒紋ありて、黒色部に連る。平均棍白色。第一及び四腹節には各一白帯あり。體長三分内外。これも山間の路上に稀ならず。

分布 北海道、本州。

ヤマシロクロツリアブ Anthrax albipennis Mats. (三五三)

Anthrax yamashiroensis Mats. (三五三)



體黑色、黒毛を装ふ。複眼の内側は褐色。翅底の半部及び前縁は黒色、第三腹の内側に一黒紋あり。平均棍暗褐色。第一腹節の兩側には白毛塊あり。體下に灰白毛を装ふ。脚に黄褐色あり。體長二分内外。これは近畿地方に稀ならず。

分布 本州。

トラツリアブ Anthrocephalus nitidulus F. (三五三)



體灰色。天鵞絨様の長き灰黄毛を簇出し、頭頂には黒毛を混生す。觸角黒色。胸背の中央に暗黄の二縱條を具ふ。前





♀  
 び前頭に白毛を混ず。觸角黒褐。胸背に白毛を混生す、殊に兩側に多し。翅透明、翅底暗色。腹部に白毛の鱗毛を混じ、第一節の兩側に白毛を密生し、尾端には金色毛を簇生す。脚褐色。體長二分五厘内外。これは父島に産するも少なし。  
 分布—小笠原島(父島)。

♀  
**コビロウドツリアブ**……………(三五六)  
*Bombylius atriceps* Loew



♂  
 體黑色、絹様の光澤ある黄白長毛を密生す。頭頂、顔の兩側及び觸角の初二節に黒毛を装ふ。翅透明、翅底及び前縁の半部は暗色。腹部中央の兩側に暗褐色の一毛束を具へ、後縁にも暗褐色を混ず。脚黄色、褐色紋を装ふ。



♂  
 體長三分内外。これは札幌地方に普通なり。  
 分布—北海道、本州、歐洲。  
**ヒロウドツリアブ**……………(三五七)  
*Bombylius major* L.

體黑色、天鷲絨様の黄褐色毛を密生す。頭黄褐。觸角は黒褐。胸背の兩側に黒毛を混ず。腹面中央に黒褐色毛を装ふ。脚黄色。體長五分内外。これは形前種に酷似するも大形なるを以て容易に區別せらる。札幌地方の花上に普通なり。  
 分布—北海道、本州、四國、九州、西比利亞、歐洲。



♀  
 シハカハツリアブ……………(三五八)  
*Bombylius shikakawae* Mats.

體黑色、金色の光澤ある黄褐長毛を密生す。頭には黒毛を装ひ、顔は灰黄、金色毛を具ふ。胸側には黒毛を混ず。翅透明、翅底の半部暗色、外半は少しく灰色。平均根黄色。腹部兩側の二ヶ所に一塊をなして黒毛を混生す。脚淡黄褐。體長三分五厘内外。これは大阪地方に産するも少なし。  
 分布—本州。



♀  
**ワタナベツリアブ**……………(三五九)  
*Bombylius watanabei* Mats.

體は黑色、淡黄褐の長毛を密生す。觸角は黒褐色。基部に黒色の長毛



♀  
**カウヤツリアブ**……………(三六一)  
*Spogostylum distigma* Wied.

體黑色。顔には金色の短毛を装ふ。第一觸角節に黒毛を生ず。口吻鞘は黄色。胸背の前縁及び兩側に黄毛を密生す。後部褐色。翅黑色、少しく藍色を帯ぶ。第一腹節に黄毛を密生し、第三節及び尾端に太き白色帯あり。腹面の中央に銀白毛を密生す。胸下にも金色及び銀色毛を生ず。體長六分五厘内外。これは暖國には普通なり。花上に捕へべきも北海道には産せず。  
 分布—本州、九州、支那、印度。



♀  
**ホツポハラホツリアブ**……………(三六三)  
*Syrtopus hojipo* Mats.

節の兩側には黄白の長毛を密生し、第三、四節に細き白毛帯あり。これは本州に普通なるが北海道に産せず。體長三分内外。  
 分布—本州、九州。



♀  
**マヘグロツリアブ**……………(三六〇)  
*Hyperalonia similis* Coq.

體黑色。觸角の末端は褐色。胸背の兩側に黄褐色毛。中央には黒毛を装ふ。翅は透明、灰色を帯び、翅底及び前縁の半部は黒色。平均根暗褐色。腹基節の兩側に黄褐毛多く、初めの三腹面節に銀色毛を装ふ。脚に黒毛を密生す。體長四分内外。これは本州に産するも多からず。  
 分布—本州。

♀  
**クロハネツリアブ**……………(三六一)  
*Hyperalonia tantalus* F.



♂  
**ホツポハラホツリアブ**……………(三六三)  
*Syrtopus hojipo* Mats.











毛は黄白、口吻の末端、基部及び小臍に金色毛あり。胸背に金色粉を装ひ、灰黄の二縦條あり。翅透明、翅底黄色。平均混黄色。腹は淡黄褐、黒毛及び黄毛を具へ、第二節の兩縁、第三及び四節の後縁並に第五及び六節は黒色。體長五分内外。これは札幌地方の山道に少なからず。

分布—北海道。

タカサゴアシナガムシヒキ

*Dasylogon takasagoense* Mats.

體淡黄褐。頭は金色、同色毛を具ふ。口吻黒褐。觸角に黒毛あり。胸部金色粉を装ひ、胸背



に灰色の四縦條を具へ、兩側に黒毛を装ふ。翅透明、翅底の半分は黄色。平均棍は淡黄褐。腹部に黒色及び黄色の短毛を装ひ、兩側に黄毛、第一節の

四節の前後兩縁、第五及び六節に黒毛、第七及び八節に黄毛を装ふ。胸部に黒毛及び黄毛を具ふ。體長八分内外。これは播州高砂地方に少なからず。

分布—本州。

シロイシアブ

*Diclonus argutatus* Mats.

體暗褐、灰色粉を密布し、白毛を密生し、光線の工合により銀白色を呈す。頭灰白、頬及び顔に銀色の長毛を密生す。觸角は灰色。胸背の兩側に各三本の黄



白剛毛あり。翅透明。平均棍は暗黄。腹部の兩側及び各節後縁に長毛あり。脚には灰白の剛毛及び軟毛を装ふ。體長四分内外。これは九州に少なからず。

分布—九州。

ナカノホソムシヒキ

*Baetis nudimentus* Mats.

體黒色。頭頂に黒毛、前頭に黄毛、顔に短き黄毛と黒色の長毛とを密生す。口吻には灰白毛を簇生す。肩には色粉を装ひ、胸背には



黒毛多く、中央には灰色の二縦條を具ふ。翅暗色、半透明。平均棍は褐色。初めの二腹節に金色毛を密生し、第三及び四節の後縁に金色毛紋を具へ、黒毛を有す。脚には黄毛及び黒毛を装ふ。體長四分五厘。これは北埔にて捕獲せるも少なし。

分布—臺灣。

クロイシアブ

*Laphria dispar* Coq.

體黒色。顔に黄白の長毛を密生し、頭頂には黒毛を装ひ、口吻の末端及び基部に



は黄毛あり。胸背は光澤を有し、黒毛を具へ、肩



胸背に灰色の三縦條を具へ、暗黄の短毛を密生す。翅は半透明。黄褐を帯ぶ。平均棍は淡黄褐。腹部の斑紋は淡黄褐、暗黄毛多し。脚は淡黄褐褐色部あり。體長三分五厘内外。これは東京地方に普通なり。

分布—本州、九州。

チャイロムシヒキ

*Entolus (Casus) brevistylus* Coq.

體は灰色。顔は灰黄色。頬、口吻の兩端及び小臍には黄白毛を具ふ。觸角は暗褐。胸背の中央に暗褐の一條あり、黒色の



短毛及び長毛を装ひ、兩側に黄色剛毛あり。翅暗黄、半透明。平均棍は黄褐。腹部に黄白毛を装ひ、各節の後縁に剛毛列あり。雌の尾端は光

に褐色粉を装ひ、暗黄の短毛を混生す。翅は黄褐、半透明。平均棍は褐色。腹部は光澤を帯び、黒毛を装ひ、終りの三節に金色毛を密生す。體長六分五厘内外。これは餘り多からず。

分布—本州、四國、九州。

セキイシアブ

*Laphria flavidorsum* Mats.

コムライシアブに酷似すれども、體は遙に大、顔の兩側は金色、金色毛を装ひ、胸背及び稜狀部の毛は金色にして密、腹部の兩側は平行し、初めの三節に金色



毛、第四節以下に黒毛を具へ、腹面に黄色毛を装ひ、脚は黒色、黒毛及び灰白毛を混生するによりて區別せらる。體長五分内外。これは札幌地方に普通なり。

分布—北海道。

タイワンイシアブ

*Laphria formosana* Mats.

體黒色。顔に黄白の長毛を密生し、頭頂には黒毛を装ひ、口吻の末端及び基部に

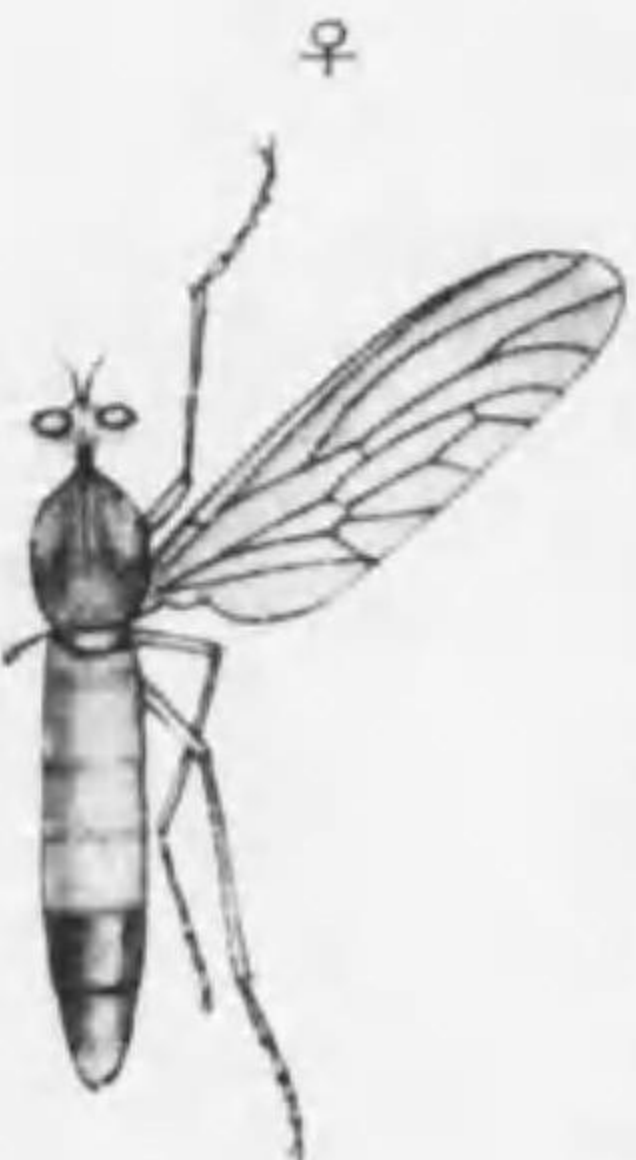
毛は黄白、口吻の末端、基部及び小臍に金色毛あり。胸背に金色粉を装ひ、灰黄の二縦條あり。翅透明、翅底黄色。平均混黄色。腹は淡黄褐、黒毛及び黄毛を具へ、第二節の兩縁、第三及び四節の後縁並に第五及び六節は黒色。體長五分内外。これは札幌地方の山道に少なからず。

分布—北海道。

タカサゴアシナガムシヒキ

*Dasylogon takasagoense* Mats.

體淡黄褐。頭は金色、同色毛を具ふ。口吻黒褐。觸角に黒毛あり。胸部金色粉を装ひ、胸背



に灰色の四縦條を具へ、兩側に黒毛を装ふ。翅透明、翅底の半分は黄色。平均棍は淡黄褐。腹部に黒色及び黄色の短毛を装ひ、兩側に黄毛、第一節の

澤あり。脚暗褐、黄白毛を装ふ。體長七分五厘内外。これは山間の道路に少なからず。多く石上若くは倒木上に静止して他蟲の飛來するを待ち伏せ、これを捕食す。

分布—北海道、本州、四國、九州。

ルリイシアブ

*Laphria azurea* Herw.

體黒藍色。顔に金色長毛を簇生す、口上毛は黒色、口吻の基部及び頬に灰白の長毛を装ふ。觸角は黒褐。中胸の後縁及び後縁角は褐色。翅は



暗色、半透明、各室の中央淡色。腹部に黒毛を具へ、兩側に灰白毛を装ふ。脚に白毛多く、少しく黒毛を混生す。體長六分内外。これは魚池地方に少なからず。

分布—臺灣。

クロハネイシアブ

*Laphria linnæi* Wulp.

體黒色。顔に黄白の長毛を密生し、頭頂には黒毛を装ひ、口吻の末端及び基部に



雌、體は黒色。顔に黄色の長毛を具へ、口上毛



及び頭頂毛は黒色。觸角黒褐色。胸背に黄毛を密生し、

前半にては暗褐色を混す。翅透明、翅底は黄色。平均棍は褐色。腹部は褐色、金色毛を具へ、兩側に黄毛、尾端には黒毛を粗生す。體長七分内外。埔里にて捕獲せるが少なし。

分布—臺灣。

ハキイシアフ……………(三八八)



生し、口上毛及び顔毛は黒色、口吻の末端に橙黄の短毛あり。



觸角は暗褐色。背に黄毛多く、兩側には黒毛を粗生す。翅黄褐色、半透明。平均棍は褐色。腹部の中央に黒毛を粗生し、兩側に黄毛を混生し、第三節の後縁及び以下各節に長き黄毛多し。脚は黒褐、黄毛、黄褐色及び黒毛を混生す。體長七分内外。これは樺太に稀ならず。

分布—樺太。

コムライシアフ……………(三九三)

Laphria komurae Mats.

體黒色。頭に褐色粉を裝ひ、黒毛多く、顔の兩側



は銀白、白色毛を裝ふ。胸背及び稜狀部に黄白の短毛多く、黒毛を粗生す。翅黄褐、半透明。平均棍は黄褐。腹部光澤を帯び、黒色の短毛を粗生し、兩

Laphria lukienensis Mats.

體黒褐。顔灰色、黄毛、黄褐色及び黒毛を混生す。觸角の第二節及び三節に灰色粉を裝ふ。胸背に金色毛を密生す。翅は黄褐、半透明。腹部に金色毛多く、末端は黄白を帯び、第三節以下に毛少なく、光澤あり、黒毛を裝ひ、第六節に黄白の長毛あり。脚黒色。體長八分内外。これは熊本地方に稀ならず。

分布—九州。

イツシキイシアフ……………(三八九)

Laphria ishikii Mats.



體雌は褐色、金色の短毛を密生す。頭頂及び口上に黒毛を具へ、口吻の基部及び頬に黄毛を裝ひ、前者の末端に黄褐色あり。觸角黒褐。肩部に灰黄粉を具へ、胸背の中央に黒毛を裝ふ。翅は暗色、半透明。平均棍は黄褐。腹部は少しく藍色を帯び、黒毛を有す。脚は黒色、黒毛と黄毛を裝ふ。雌にては全體黒褐色を密生す。體長六分内外。これは紀州地方に少な

側に白色の長毛を有す。脚に黒毛多し。體長四分内外。これは久春内地方に少なからず。

分布—樺太。

オホイシアフ……………(三九三)

Laphria misukurii Oog.



體は光澤ある黒色。頭に長黒毛を裝ひ、顔には黄色長毛を具ふ。觸角は黒褐色。胸背の前には短黄褐色毛を、後半には橙黄色の長毛を密生す。翅透明。腹背の前半は光澤ある黒色、後半には黄色の長毛を密生す。脚に赤黄毛多し。體長七分五厘内外。これは最大の石蛇にして、何れの

からず。

分布—本州。

ヒメキンイシアフ……………(三九〇)

Laphria japonica Mats.

體黒色。顔には金色の短毛を密生し、中央には黒色の長毛を簇生し、下方には灰白の軟毛を密生す。胸背に黒色短毛を密生し、前縁には黄毛を混生す。翅暗色、半透明。各腹節の後縁に金毛帯を裝ひ、第一節にはこれを缺く。體長五分五厘内外。北海道にては普通なり。

分布—北海道、本州、九州。

附言—千蟲二、七七頁に *L. auriflucta* Wals. として發表せるも、新種なれば *L. japonica* Mats. と命名せり。



カラフトイシアフ……………(三九二)

Laphria karatonsis Mats.

體は光澤ある黒色。顔は灰色、黄色の長毛を密

地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、九州。

モトマリイシアフ……………(三九四)

Laphria motomariensis Mats.

體黒色。頭に黒毛、顔の兩側に黄白毛を具へ、口吻の基部及び頬に白毛を裝ふ。胸背に黄白毛を具へ、長黒毛を混じ、後縁には金色毛あり。翅は半透明、翅底は透明、脈は暗色。平均棍は黄褐。腹部藍色を帯び、黄毛を密生し、尾端に黒毛を裝ふ。脚に白毛及び黒毛を混生す。體長五分五厘内外。これは元泊地方にて捕獲せるが少なからず。



分布—樺太。

クロスチイシアフ……………(三九五)

Laphria nigrovittata Mats.

體黒色。頭に黒毛、顔に灰黄粉を裝ひ、白毛を簇生し、口上毛は黒毛、白毛を混じ、口吻の基



部及び頬に白毛を具ふ。觸角は暗褐。胸背及び



稜状部灰色、灰白毛多く、中央に一黒條ありてこれに黒毛を有す。翅半透明、平均根黄白。腹部

に黒色短毛を具へ、各節の後縁及び兩側にあるものは灰白、尾端に白毛あり。脚に黒毛及び白毛を混生す。體長四分内外。これは札幌地方に普通なり。

分布—北海道。

ワガサハライシアブ……………(三九六)

*Laphria ogusawarumensis* Mats.



體黑色。顔に金色毛を密生し、中央の剛毛及び口上毛は黒色。口吻の基部並に頬に灰白毛あり。觸角は黒褐。肩に灰黄粉を裝ひ、胸背の中央には灰色の二

縱條を具へ、黒毛多く、兩側に黄褐毛あり。翅暗褐、半透明、翅底は黄白。平均根は暗褐。腹部

に絹光を帯び、黄褐毛を密生す。脚に黒毛及び暗黄毛を裝ひ、前基節に黄白毛あり。體長四分五厘内外。これは父島にて捕獲せるが少なし。

分布—小笠原島(父島)。

ラグマイシアブ……………(三九七)

*Laphria ogunae* Mats.



體黑色。頭に黒毛、顔の兩側に灰白の長毛を裝ひ、口上毛は黒色、口吻の基部及び頬に白毛を具ふ。胸背に金色の短毛を具へ、黒毛を混生す。

肩に灰黄粉を裝ひ、稜状部には黄白毛を有す。翅暗褐、半透明。平均根は黄褐。初めの四腹節に黄毛、終りの三節に黒毛を裝ひ、尾端に灰白毛あり。脚に黒毛及び白毛を混生し、後腹節並に脛節は赤褐。體長四分内外。これは樺太に産するも少なし。

分布—樺太。

オキナハイシアブ……………(三九八)

*Laphria okinawensis* Mats.

體黑色。頭及び胸背に黄褐毛を密生し、同色粉を裝ひ、口上毛は黒色、黄色の短毛を混生す。



口吻の基部は赤褐、末端に金色の短毛を裝

ふ。觸角は黒褐。胸背の後縁及び稜状部後縁に黄褐長毛あり。翅半透明、黄褐。平均根は淡黄褐。腹部黒毛を裝ひ、褐毛を混生す。脚黄褐、黒色部あり、金色毛を具ふ。體長六分内外。これは沖縄にて捕獲せるが少なし。

分布—沖縄。

ヲタネガハイシアブ……………(三九九)

*Laphria otanegawana* Mats.



體黑色。頭に灰白粉を裝ひ、黒毛あり。頭頂及び頬には灰白の長毛を裝ふ。口吻黄褐、短毛を有す。胸背に灰

稀ならず。

分布—樺太、北海道。

タイピンイシアブ……………(四〇二)

*Laphria taipinensis* Mats.



口吻の基部は黄色、灰白及び黒色毛を粗生し、第三腹節の分叉せる部分に短き附屬脈を具へ、胸

背は光澤を缺き、黒毛は一層密なるによりて區別せらる。體長五分内外。これは大坪にて捕獲せるが稀なるが如し。

分布—臺灣。

ヤマトイシアブ……………(四〇三)

*Laphria yamatensis* Mats.

體黒褐。顔に白毛を裝ひ、口上毛は黒色、黄毛を混じり、口吻には白毛を具へ、その末端には黄褐の短毛あり。胸背に金色毛多く、後縁には白毛を裝ふ。翅は半透明、暗色、光線の工合にて

セアカオホイシアブ……………(四〇〇)



白の三縱條を具へ、肩部及び兩側に灰白粉を裝ひ、黒毛を粗生し、所々に灰白毛を混生す。翅透明。平均根は暗褐。腹部は光澤を帯び、黒毛を粗生し、兩側に灰白毛を裝ひ、斑紋は灰白。脚に白毛を具へ、黒毛を混生す。體長四分五厘内外。これは定山溪地方に普通なり。

分布—北海道。

サツホロイシアブ……………(四〇一)

*Laphria satsuponensis* Mats.



體黑色。頭に黒毛、顔の兩側、口吻基部及び頬に白毛を裝ふ。觸角は暗褐。胸背に黒色の三條縦を具へ、黒毛を密生す。翅は透明、翅端の半

部は半透明、暗色を帯ぶ。平均根は黄褐。腹部には第一及び尾節を除き金色毛を密生し、第一及び二節の前縁に灰白毛あり。脚に白毛及び黒毛を混生す。體長六分内外。これは札幌地方に







を帯び、第一及び二節の兩側に黄褐色を簇生



し、尾端に十数本の剛毛あり。脚太く、腿節に剛毛を装ふ。雄は胸背に灰白粉を装ひ、體天鵝絨様の黒色、腹に黒毛多し。體長一寸四分内外。これも恒春地方に多く、蜻蛉及び甲蟲類等を捕食す。昆蟲類中の鷹に相當するものなり。

分布—臺灣。

ヒゲナガイシアブ……………(四二)

*Myelaphus jozanus* Mats.

體黒褐。頭に光澤を帯び、口上毛は黄色、頭頂に黄褐色を具へ、口吻は黒褐、灰白毛を装ふ。觸角は黒色、側扁。胸背に暗黄毛を密生す。平均體長は雄、黄褐。翅は灰色、半透明、中央は

タイワンシホヤブ……………(四一四)

*Promachus formosanus* Mats.

體暗褐。顔灰白、黄毛を具へ、口上毛は黄色。



胸背に灰黄の三縱條を具へ、肩は灰黄、黒色の短毛及び剛毛を装

ふ。翅透明、灰褐を帯ぶ。平均體長は淡黄褐。腹部は黒色、各節の後縁灰白、黄毛及び黒毛を混生し、尾節には白毛を簇生す。脚黒色、黄白毛及び黒毛あり。體長七分。これは埔里地方に稀ならず。

分布—臺灣。

ホリシヤオホシホヤブ……………(四一五)

*Promachus horishanus* Mats.

體黒褐、黄褐色多し。顔の兩側に細様の灰黄粉を装ひ、口上毛は黒色及び金色。觸角は黒褐。胸に金色毛多く、黒色の短毛を粗生す。翅は黄褐、半透明。平均體長は黒褐。腹部に赤褐長毛多く、第七及び八節に黒毛を混す。脚黒褐、黄毛及び黒毛を装ふ。體長八分内外。これは埔里に



黄褐。腹部は光澤を帯び、腹面に灰白毛、脚に黄白毛多し。體長五分内外。これは札幌地方に産するも少なし。

分布—北海道。

アラメアブ……………(四二二)

*Omurathus chinensis* F. (Fulvidius Wied.)

體褐色、金色短毛多く、同色粉を装ふが故に黄褐色の



褐色の觀あり。頭は金色、同色毛多し。觸角淡黄褐。胸に黒毛を具へ、肩及び兩側に黄毛を具へ、中央に褐色の二縱條を有す。翅は灰褐、半透明。平均體長は黄色。各腹節の後縁及び尾節は橙黄色、金色毛多く、尾端には黒褐の剛毛を装ふ。翅は黒

毛を具へ、肩及び兩側に黄毛を具へ、中央に褐色の二縱條を有す。翅は灰褐、半透明。平均體長は黄色。各腹節の後縁及び尾節は橙黄色、金色毛多く、尾端には黒褐の剛毛を装ふ。翅は黒

褐、淡黄褐色あり。體長七分五厘。これは中國地方に普通なるも、北海道及び北日本には産せざるが如し。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

シロツヒメムシヒキ……………(四二三)

*Philoniscus albiceps* Meig.

體暗褐。顔は白色、同色の長毛を簇生す。觸角は黒色。胸背の中央に光澤ある灰黄の二縱條を装ひ、



黒色の長毛を粗生す。翅は透明、暗色を帯ぶ。腹背は暗褐、各節の後縁は灰色。脚刺は灰白、腿節及び跗節には金色の短毛を密生す。雄の尾端に鉤子様の附屬物を具へ、黒色を呈す。體長五分内外。札幌地方に稀ならず。

分布—北海道、本州、歐洲。

す、顔及び後頭に黄色の長毛を装ふ。胸背は褐色、前半に太き淡色の縱條を装ひ、雌の後胸に



黄色毛を粗生す。翅透明。雌にては初六腹節の後縁に黄色の長毛を装ひ、尾端は藍色、雄にては尾端に白色の長毛を簇生す。腿節黄色。體長八分五厘内外。これは何れの地方にも普通なり。雄は尾端白色にして、これより灰白液を滲出するを以てこの名あり。

分布—北海道、本州、九州。

附言—幼蟲は地中に於て金龜子の幼蟲を捕食して有益なり。

ツマグロヒゲボソムシヒキ……………(四二七)

*Pycnogon apicalis* Mats.

體黒褐。頭に灰白粉を装ひ、顔に白毛と黒毛と



シホヤアブ……………(四一六)

*Promachus sonicus* Trg.

體黒色。複眼は半卵形、頭頂は著しく凹陥



を混生す。觸角は暗褐。胸背に灰白紋を散在し、中央に灰白の一條を具へ、黒毛多し。翅は透明、翅端は暗褐。平均根は黄褐。腹部に灰白毛多く



第二、三及び五節に灰白粉を装ひ、

第二及び三節に黄白毛、第四節に黒毛を混じ、以下は黄色。脚黒色、灰白毛及び黒色毛を混生す。體長三分六厘内外。これは播州地方に稀ならず。

分布—本州、九州。

ハタケヤマヒゲホソムシヒキ……………(四一八)

*Pycnogogon hatakeyamae* Mats.

體黒褐、黒褐及び暗黄の長毛を密生す。頭に暗黄の長毛を具へ、顔には黒毛を混生す。胸背にある長毛は黒褐なれども、後脚部及び兩側に



あるものは暗黄。翅は半透明。平均根は黄褐。腹背に暗黄の長毛、腹面に黒褐の長毛を具へ、後

の中央に太き暗褐の一縱條を具へ、兩側に暗褐の三紋を有し、黒毛を装ふ。平均根は黄褐。翅は透明。各腹節の後縁は淡黄褐、同色毛を装ふ。脚は淡黄褐、同色毛を具へ、黒褐紋あり。體長九分内外。これは北埔地方に少なからず。分布—臺灣。

者の中央には黄毛を装ふ。後腹節及び跗節の下面に金色毛あり。體長四分五厘内外。これは越後地方に稀ならず。分布—本州。

ニツクワウヒゲホソムシヒキ……………(四一九)

*Pycnogogon nikoensis* Mats.

體黒色。頭頂に黒色の長毛多く、顔は灰白、同色の長毛多し。觸角は暗褐。肩及び胸側に灰色粉を装ひ、黒毛を密生し、兩側



には同色の剛毛あり。翅は透明灰色を帯ぶ。平均根は橙黄色。

腹部は光澤を帯び、灰白毛多く、第二乃至五節の後縁に灰白粉を装ひ、尾端には赤褐の棘状突起あり。脚に黄白の長毛多し。體長四分五厘。分布—本州(日光)。

タイワンフサヒゲムシヒキ……………(四二〇)

*Stenommatius formosus* Mats.

體暗褐。顔は細線の白色、白毛あり。觸角は黄色。胸は灰黄、胸背は暗褐、肩及びその一致は

五二 舞蠅科 Empididae

頭は球形にして小。觸角は細く、第一、二節は小にして、一節なるが如く、第三節に角片若くは端刺を有す。顔に掃状毛を有せず。口吻は革質にして、長く、多くは垂直なり。静止のときは翅を腹上に置く。暗んで水上を疾飛するの性を有し、甚だ活潑なり。時々花上に捕へ得べし。多く群集して一定の處に飛翔するの性あるを以てこの名あり。成蟲は食肉性なり。幼蟲は地中若くは朽木中に棲息し、小蟲を捕食す。本邦學名を有するもの數種あり。

アシプトラドリバ……………(四三三)

*Empidomorpha plumipes* Mats.

體暗色。觸角黒色。胸背に黒褐の四縱條を装ふ。翅透明、少



しく暗色を帯び、翅底黄色。脚黄色、黒色の羽状毛を装ひ、後肢は黒色、腿節著しく膨大す。體長二分五厘。これは山間の小河のある道路に普通なり。

灰黄、黒毛を具へ、兩側及び後縁に黄毛を混



ず。翅は透明。平均根は黄白。初四腹節の兩側及び後縁は灰黄、黄褐毛を装ひ、腹面は灰黄。脚黄色、黄褐

毛を具へ、黄毛を混す。體長四分。これは埔里にて捕獲せるが稀ならず。分布—臺灣。

ホツホムシヒキ……………(四三一)

*Stilpnogaster luyponis* Mats.

黄灰色。頭灰白。口上毛は黄白。口吻は黒褐、黄



白毛を具ふ。觸角は淡黄褐、同色毛あり。胸背

分布—北海道。

ネウスラドリバ……………(四三二)

*Empis flavobasalis* Mats.

體黒色。第一觸角節に黒毛を散在す。口吻は頭



の二倍長ありて、下向す。胸背に灰白の四條を縱走す

翅暗色、半透明、翅底黄白、前縁の前外半は黒色。平均根は黄色。腹部の兩側に黒毛多し。脚は黒色。體長三分内外。これは小川の近邊に普通なる種類にして、他處を捕食す。分布—北海道。

セタカマダラドリバ……………(四三四)

*Hilarimorpha maculata* Mats.



體暗褐。複眼赤褐。觸角黄白、初二節に暗褐毛を



装ふ。胸背は球形に膨起し、暗褐色を具へ、灰白粉を装ひ、肩及び後縁角は黄褐。翅は灰黄、半透明、暗褐の一紋あり。平均根は暗褐。腹に淡黄毛多し。脚は黄色、暗褐紋を具へ、暗褐及び黄褐毛を装ふ。體長一分内外。これは京都地方に多からず。

體は橙黄色、暗褐色を装ふ。觸角は橙黄色。胸背に三黒條を縱走し、肩及び後縁角は淡黄褐、黒毛を粗生す。翅は透明平均根は黄白。腹部淡黄褐、暗色の一條を具へ、黒毛多し。脚黄色、黒毛を密生す。體長二分三厘内外。これは札幌地方の小河上に群飛する普通種なり。

アラカハラドリバへ……………(四三五)  
*Rhamphomyia arakawa Mats.*

體灰黒色。胸背に三條の黒線を縱走し、之れに沿ふて黒毛を列ぬ。翅大、半透明、暗色を帯び、翅底は黄色。腹部に斑紋なし。雄の尾端に一剛毛を直立す。脚黒色。體長一分五厘内外。これは小川の水上に疾飛する普通種なり。

體は普通金綠色。第三觸角節に普通、二副節ある端刺を具ふ。第三翅脈は分支せず、大なる中室を具へ、翅端は圓く、長尖状をなさず。脚は細長。雄の尾端は下方に彎曲し、時に大なる抱握器を有す。多くは金綠色の小形種にして、水邊に多く、小蟲を捕食す。幼蟲は地中、朽木中に生息し、時に水中に住するものあり。多くは食肉性なり。本邦に産するもの多しと雖ども、その學名を有するもの僅に數種あるに過ぎず。

セグロホソヲドリバへ……………(四三六)  
*Rhamphomyia suboperculis Mats.*

體灰色。顔は光澤ある黒色。口吻は暗褐、小眼

アシナガキンバへ……………(四三七)  
*Dolichopus nitidus Fall.*

體金綠色。顔は黄色、雌にては灰色。觸角は黒色。胸背は卵形、剛毛を装ふ。翅は透明、少しく暗色を帯ぶ。雄腹部の尾端には下方に屈曲せる大なる附屬物を有す。脚は長形、黄色。體長二分内外。夏日水邊の葉上に普通なり。時に花上に捕へ得べし。



マダラアシナガキンバへ……………(四三八)  
*Psilopus nebulosus Mats.*

體光澤ある金綠色。顔及び後頭に白粉を密布す。觸角黒色。口吻は黄色。胸の前縁に白粉を装ひ、剛毛を粗生す。翅透明、外縁の外半部は暗色を帯び、第三室には透明紋あり。平均根は黄色。腹部は金綠色、第二節の後縁、第三及び四節の前後並に尾端の二節は黒色、黒毛を有す。脚淡黄。體長二分内外。これは小河のある山道に多く、花上に捕へ得べし。



五三 長脚蠅科

*Dolichopodidae*



第六 鱗翅目 LEPIDOPTERA



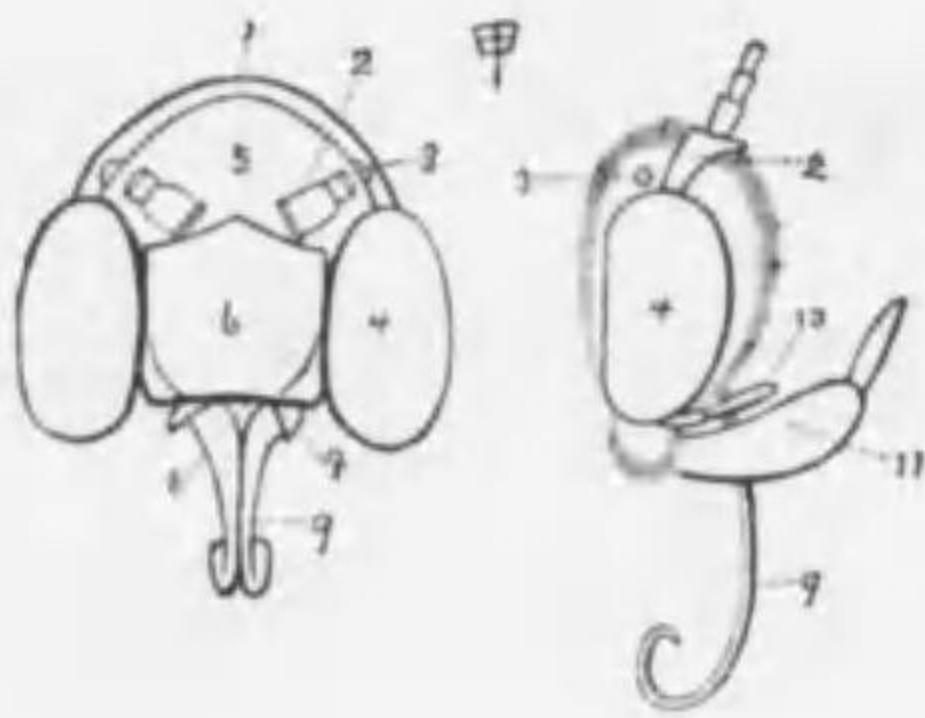
第六 鱗翅目

Lepidoptera

二双の翅は膜質同様にして、細鱗を密装し、これによりて美麗の彩色を現はす。口吻は吸収に適し、管状の長吻となり、平時は螺旋状に回旋す。前胸は癒合して動かす。變態は完全なり。幼蟲は五双乃至八双の脚を具へ、稀に九双の脚を有するものあり。今これを分つて蝶及び蛾の二亞目となす。

其一 蝶亞目 Rhopalocera

觸角は糸状を呈し、末端にて杓子状若くは棍棒状に膨大す。晝間飛翔し、静止の時は翅を直立せしむ。幼蟲は八双の脚を具へ、多くは裸にして、時に毛を有するものあれども、その毛は短かし。本邦に産するもの五百餘種あり。



(甲) 蛾の頭部

(1) 後頭 (2) 觸角 (3) 複眼 (4) 單眼 (5) 額片 (6) 大腮 (7) 上唇 (8) 小腮 (9) 小腮 (10) 下唇 (11) 下唇

(乙) 蛾の前後翅

(a) 前縁 (a') 前縁脈 (b) 副前縁脈 (c) 中脈 (d) 後縁 (e) 外縁 (f) 外縁脈 (g) 中室横脈 (h) 抱刺 (Prenthum) (i) 後縁角 (j) 翅底

(1-12) 第一脈...第十二脈  
 (I-XII) 第一室...第十二室

一 鳳蝶科 Papilionidae

後翅の内縁脈は一個、中室は圓形に近く、前脛節に葉狀の附屬物あり。脚爪は分支せず。後翅は往々尾狀をなして延長す。多くは大形の種類なり。幼蟲は第一節に肉質の二黄角を有す。蛹は帶蛹なり。本邦の領土に産するもの四十種ありて、臺灣に最も多し。

ギフテフ (ダンダラテフ).....(一)

*Euclithorha japonica* Loew

これはヒメギフテフに酷似すれども、その異なる所は前翅の黒帯太く、外縁の黄帯の上部は斑紋となり、透内方に位置し、後翅の外縁紋



は橙黄色、尾狀突起の遙長きにあり。開張二寸一二分内外。これは本州に稀ならず。幼蟲

ヒメギフテフ.....(二)

*Euclithorha puzioi* Erschl.

エンエンシス形

*E. jussocensis* Korthsch. ♀



インエキスベクタ形  
*E. inexpecta* Shuf. ♂



黄色、斑紋黒色、後翅第一乃至第四室の中央に紅色紋を列ね、肛角紋淡紅。前翅の黄色の外縁線は第八室にて内方に曲る。開張一寸九分内外。幼蟲は前種同様にウスバサイシンを食す。

北海道、本州、朝鮮、アムール。附言一尚、ギフテフと異なる所は雌の尾端に線形の附屬物を有し、幼蟲の氣門の橙黄色なるにあり。

キシタアゲハ.....(三)

*Papilio acraeus* Feld.





前翅黄色、各脈の兩側は白色、後翅黄色、紋  
條は黒色。頭、頸及び胸側に紅色部あり。腹側  
及び腹面の大部分は黄色。開張四寸六分—五  
寸内外。これは恒春地方に産し、主として仙丹

フオルモサーヌス形 ♀

*f. formosanus* Rothsch.

花に集まり来るを以て容易に捕へ得べし。臺灣  
の中部にも産すれども少なし。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。

コモンタイマイ……………(四)

*Papilio aganemnon* L.

翅黒色、斑紋は黄緑、胸側には桃色毛を有す。  
開張三寸内外。これは香港地方には普通なれ  
ども、臺灣には稀なるが如  
し。

分布—臺灣、支那、馬來、  
印度。



♀



カハシタアゲハ……………(五)

*Papilio agestor* Gray

前翅は黒色、紋列は緑灰色。後翅は褐色、翅底  
の半部は緑灰色、縦條は黒色、中室外の四紋は  
緑灰色、外縁に近き弦月紋は白色。開張三寸四  
分内外。これは阿里山の如き高山に少なから  
ず。一見アサギマダラテフの如し。

分布—沖繩、臺灣、支那、馬來、印度。

マツムレー形 ♀

*f. matsumurae* Fruhls.



♀



*Papilio aristolochiae* F.

得べし。雌にては兩翅灰白、前翅の前縁、外  
縁、縦條及び後翅の外半は暗黒。後翅の弦月紋  
は灰白。體は黒色、兩側は暗紅色。尾端の總毛  
は紅色。開張三寸内外。幼蟲はイケマ、ガガイ  
モの葉を食す。中國地方に普通なり。

分布—本州、四國、九州、琉球、朝鮮、支那。  
ベニモンアゲハ……………(七)

ジャカウアゲハ(ヤマチヨラウ)……………(六)

*Papilio alcinous* Klug.

雄はヨナガアゲハに酷似すれども、外縁に白縁  
毛を缺き、後翅の各室に暗紅色の弦月紋を装  
ひ、體に暗紅色の部分あるを以て容易に區別し



フォルモセンシス形 ♂  
*f. formosensis* Rebel



カラスアゲハ……………(八)  
*Papilio banor* Graun.

デハーニー形 ♀ *f. deharani* Feld.



四五〇 外。幼蟲は柑橘、キハダ、サンショ等の葉を食す。札幌地方に普通なり。

翅は黒色、金緑の小鱗を密布す。前翅の斑紋は青藍色。後翅の弦月紋は朱色。裏面外半の廣帯は灰白。開張三寸五分内

分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那。

チナシモンキアゲハ……………(九)  
*Papilio castor* West.

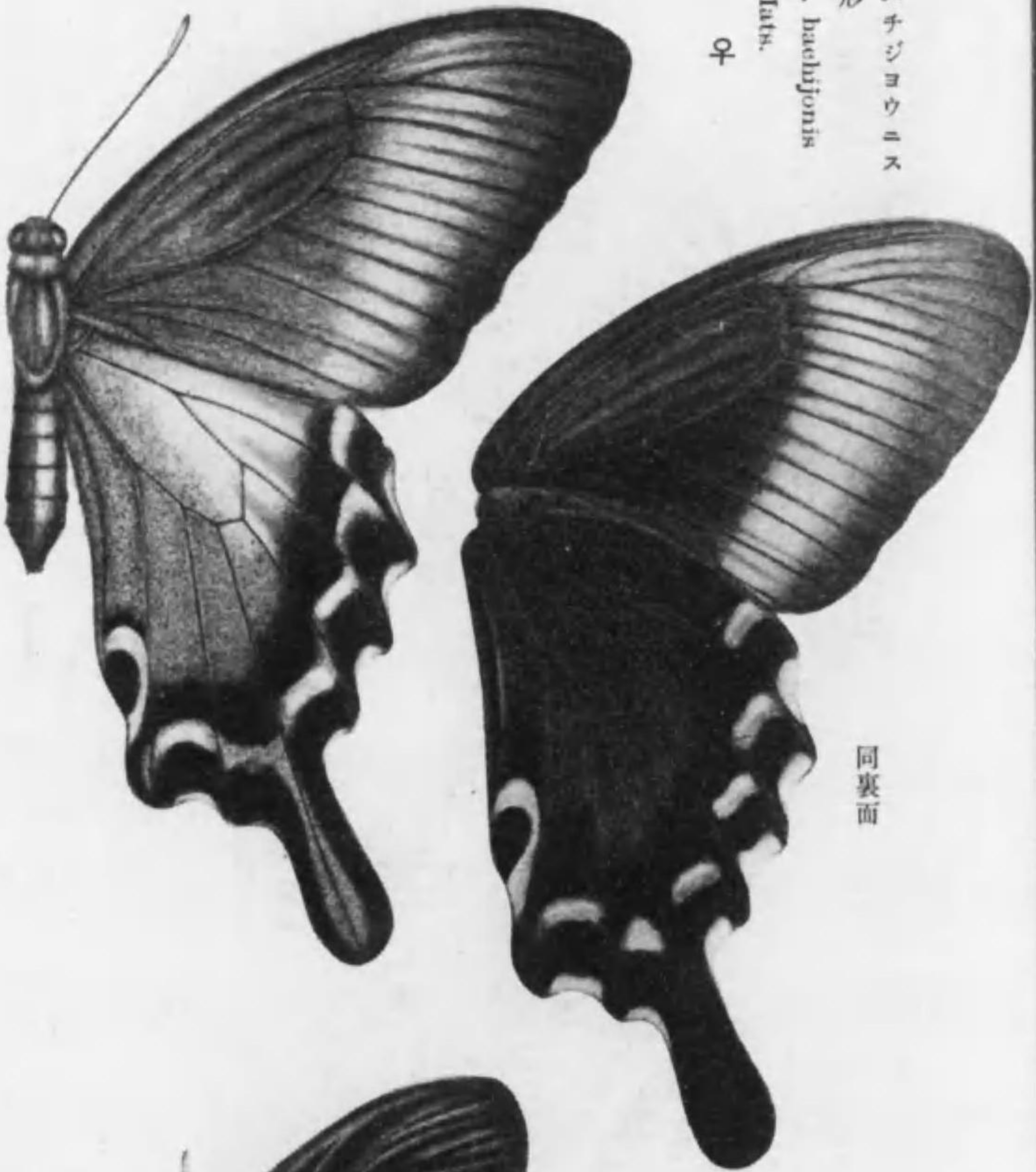
翅は黒色、金色鱗を散在す。前翅中室の縦條は淡色。後翅の斑紋は黄色。開張三寸五分内外。これは埔里地方の高原に少なからず。分布—臺灣、支那、印度。

フォルモサネルス形 ♀  
*f. formosanelus* Mats.



同裏面

ハチジョウウニス形 ♀  
*f. hachijonis* Mats.





タイワンモンキアゲハ……………(一〇)

*Papilio chaon* West.

翅は黒色、金色の小鱗を疎に散在す。前翅中室の縦條は金色の小鱗よりなる。後翅の斑紋は黄色。開張三寸六分内外。これは埔里の高山地帯カオヌールス形。♀

*P. chaonulus* Fruhs



タイワンタイマイ……………(一一)

*Papilio elanthis* West.

翅は黒色、中央の廣帯は碧色、半透明。後翅外縁の五紋は碧色、内縁に白紋を具へ、翅底及び中央に紅色紋を裝ふ。開張二寸四分内



クイゲ形 ♀  
*P. kuge* Fruhs.

に少なからず。

〔分布〕 臺灣、支那、馬來、印度。

外。これは埔里地方の高原に少なからず。幼蟲はイマダスの葉を食す。

〔分布〕 臺灣、支那、印度。

キベリアゲハ……………(一二)

*Papilio clyta* L.

前翅は黒色、縦條は黄白、後翅の縦條は少しく

青味を帯ぶ。後翅の大半は黄白、脈及び各室の斑紋は黒色、肛角紋は橙黄色、弓狀紋は黄白の斑を成す。開張三寸内外。これは臺灣に産すれど



オンバーヘ形  
*P. onyx* Moor.

も極めて稀なるが如し。幼蟲はクスの葉を食す。

〔分布〕 臺灣、支那、印度。

クロアゲハ……………(一三)

*Papilio demetrius* Grun.

前翅は暗色、縦條は黒色。後翅は黒色、環紋及び弦月紋は橙黄色。開張四寸内外。この幼蟲は柑橘の葉を食す。北海道に産せず。臺灣に産すれども稀なり。

〔分布〕 本州、四國、九州、沖縄、臺灣。





ヲナシアゲハ

.....(一四)

*Papilio de-*  
*molens* L.

翅は暗黒色、斑紋は黄白乃至橙黄色、前翅底の小波状線は黄色、翅端



同裏面

紋は白色。後翅の眼状紋は黒色、其中央部は青藍色。開張二寸五分内外。此幼蟲は柑橘の葉を食す。これは恒春地方に普通なれども埔里地方には稀なり。

分布—臺灣、其他東洋の熱帯地方。

タイワンカラスアゲハ

.....(一五)

*Papilio thais* Leech

翅は天鵝絨様の黒色、金縁の鱗毛を散在し、第一乃至第四脈上に天鵝絨様の黒毛を裝ひ、縁毛は白色と黒色の斑をなす。後翅の弦月紋は青



メラノレウクス形 ♀ *P. melanoleucus* Newm.

印度。

色、肛角紋は朱色。開張四寸二分内外。これは埔里地方の高原に稀ならず。

分布—臺灣、支那、印度。

ミカドアゲハ

.....(一六)

*Papilio doson* Feld.

翅は黒色、斑紋は緑色、後翅の前縁に白紋を裝ふ。開張三寸六分内外。この幼蟲は柑橘の葉を食す。九州には稀なるも、臺灣には普通なるが如し。

分布—九州、沖縄、臺灣、馬來、印度。

ミカテルス形 ♀ *P. micatellus* Mats.



キボシアゲハ

.....(一七)

*Papilio cypris* Haw.

翅は暗色、紋線は黄白。後翅の肛角紋は橙黄色。開張二寸五分内外。これは臺灣の高原地に稀ならず。

分布—臺灣、支那、



アサクラアゲハ

.....(一八)

*Papilio euronus* Leech

翅は黄白、紋線は黒色。後翅の眼状紋は橙黄色、其下方の一紋は藍色、後縁は黒色にして、藍色の三紋を具へ、尾状突起の末端、其中央の縦條及び内縁は白色。開張二寸六分内外。これは埔里地方に稀ならず。

分布—朝鮮、臺灣、支那。

アサクレ形 ♀ *P. asakurae* Mats.



タイワンジャカウアゲハ……………(一九)

*Papilio febanus* Fruhs.

前翅は灰黒、縦條は黒色、後翅は天鷲絨様の黒色、半月紋は朱色。頭、頸、胸側及び腹側の大部は紅色。開張三寸五分内外。これは臺灣の高山地方に普通なり。  
分布—臺灣。



♀

ニコニコレンス形 ♀ *P. niconicolens* Fruhs.

四五六



モンキアゲハ……………(二〇)

*Papilio helorus* Fr.

翅は黒色。後翅第四、五、六、七室の大紋は黄白、内縁角の弦月紋は暗紅色。開張四寸三分内外。幼蟲は柑橘の葉を食す。九州には普通なれども本州には少なし。  
分布—本州、四國、九州、琉球、臺灣、支那、南洋諸島。

ホツボアゲハ……………(二一)

*Papilio hojyo* Mats.

翅は黒色、青藍色の細鱗を密布す。後翅第七室の一紋は黒色、第二乃至第五室の黒紋の外側は朱色の新月紋にて堺せられ、弦月紋は朱色、青藍色鱗を混じ、楕圓紋は朱色。開張三寸四分内外。これは臺灣の高原地に稀ならず。  
分布—臺灣。



♀

アケボノアゲハ……………(二二)

*Papilio horishanus* Mats.

兩翅は灰色、前翅の前縁、外縁及び中室の四縱條並に各室の一紋は黒色。後翅の外半は朱色、黒紋を裝ふ。後翅裏面の外半は紅色。開張四寸内外。これは埔里の高山地帯に稀ならず。  
分布—臺灣。



♀

ミヤマカラスアゲハ……………(二三)

*Papilio maackii* Mén.

翅は黒色、青色若くは青藍鱗毛を密生す。前翅の後縁に近く天鷲絨様の黒紋あり、外縁は白色。後翅の外

縁は黒色、弦月紋は青藍色、内縁角の黒紋の内側は赤色、外側は白色。開張三寸五分内外。これは札幌地方に普通にして、暗んで水邊に集まるを以てその捕獲容易なり。幼蟲はカンキツ、キハダの葉を食す。  
分布—日本全土、朝鮮、滿洲、支那、アムール、馬來。



日本昆蟲大圖鑑  
チタース形式 ♀ *P. tithonus* Font.



キアゲハ……………(三四)  
*Papilio machaon* L.

前翅は黒色、紋列は黄色、後翅の内半は黄色、翅脈黒色、外半は天鵝絨様の黒色、其中に藍色及び黄色斑紋を装ひ、内縁角の上紋は赤褐。開張三寸五分内外。幼蟲はニンジン等の葉を食す。何れの地方にも普通にして、殊に山頂に多し。

分佈—日本全土、臺灣、朝鮮、滿洲、支那、歐洲、亞弗利加、亞米利加。

ヨナガアゲハ……………(三五)  
*Papilio maelfantus* Jans.

黒色、前翅の外縁毛は白色。後翅内縁角の環紋及び日月紋は暗紅色。開張三寸二分内外。この

ヒツボクラテス形式 ♀  
*P. hypocoerates* Feld.



四五八

幼蟲はコクサギの葉を食す。これは中國に普通なれども北海道には稀なり。  
分佈—北海道、本州、四國、九州。

コウトウキシタアゲハ……………(三六)  
*Papilio mugiflans* Feld.

キシタアゲハに酷似すれども、その異なる所

ソナニー形式 ♀ *P. sonani* Mats.



の少なきにあり。開張(雄)五寸、(雌)六寸。これは紅頭嶼に産すれども未だ臺灣本島に發見せられず。  
分佈—臺灣(紅頭

嶼)、比律賓。  
チスタンチアース形式 ♀ *P. distantianns* Rothscl.

は、雌にては、前翅の灰白條は廣く、後翅の中央に太き黒帶を具へ、外側にて五齒を出し、外縁紋は大、雄にては灰白にして、眞珠様の光澤を放ち、頭の赤色部

第六、鱗翅目(蝶亞目)



四五九



ナガサキアゲハ……………(三七)

*Papilio nemora* L.

前翅灰色、周圍脈、中室の縦條及び翅底は黒色、各室の縦條は暗色、中室の基部は朱色。後翅は黒色、斑紋は灰白、第一室の下半は朱色、其中央に一黒紋を裝ふ。開張四寸六分内外。幼蟲は柑橘の葉を食す。これは九州の南方及び沖縄に普通シコクアーナ形 ♀ *P. shikokuana* Mats.

通なり。

分布—九州、沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

附言—これには種々の變形あり。雌には有尾形あれども、雄には有尾形なし



ツンベルギー形 ♀  
*P. thunbergi* Sieb.

ブライエリー形 ♀  
*P. pygmaea* Rothschild



タカムクイ形 ♀ *P. takamukui* Mats.



♀

ヘルモサームス形 ♀ *P. hermosanus* Rebel



アラモンアゲハ……………(三八)  
*Papilio paris* L.

翅は黒色、綠色鱗を散在す。前翅外縁の一帶は綠色、第二及び第三脈上に天鵝絨様の黒毛を裝ふ。後翅菱形紋は青綠色、肛角の眼狀紋は朱色、藍色鱗を混す。開張三寸内外。幼蟲は柑橘の葉を食す。これは臺灣に普通なり。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。



♀ テルメツスス形  
*Papilio ternessus* Fruhls.



ウラシメーデ  
ス形  
*P. thersymedes* Fruhls.



四六二

♀ シロオビアゲハ  
*Papilio mandane* Koehsch. (三十一)



♀ マンダーネ形  
*Papilio polyctor* Boisat.



四六二

オホベニモンアゲハ  
*Papilio phloxenus* Gray (三九)

前翅は暗褐色、翅底及び縦條は黒色。後翅の内縁は灰黒、斑紋は白色及び朱色。頭頸並に胸腹兩側の大部は紅色。開張四寸内外。幼蟲は紫褐色、黒紋を裝ひ、ウツボカツラの葉を食す。これは臺灣に普通なり。

♀ ルリオビアゲハ  
*Papilio polyctor* Boisat. (三〇)

兩翅は黒色、外縁の廣帯は黄緑。前翅後半の脈上に天鷲絨様の黒毛を裝ふ。後翅の肛角紋は黒色、周圍は紅色、外縁の斑紋は紅色。開張三寸三分内外。これは臺灣紅頭嶼に少なからず。  
分布—臺灣、支那、印度。

分布—臺灣、支那、印度。

♀ パンモン形  
*Papilio panamon* L.



♀ アマウルス形  
*Papilio ananurus* Aord.



*Papilio polytes* L.

翅は暗黒、前翅末端の弦月紋は白色。後翅の七紋は黄白、内縁角の弦月紋は橙黄色。開張二寸五分内外。幼蟲は柑橘の葉を食す。これは沖縄及び臺灣に普通なり。

分布—沖縄、臺灣、支那、南洋、馬來、印度。  
附言—これには種々の變形あり。

翅は暗色、縦條は黒色、後翅は黒色、前縁は雄にては黄白色。クロアゲハに酷似すれども、後縁に尾狀突起を缺くことに依りて區別せらる。

開張四寸内外。幼蟲は柑橘の葉を食す。これは臺灣に普通なれども、本州には稀なり。  
分布—本州、臺灣、支那、馬來、印度。

♀ ヲナシクロアゲハ  
*Papilio protenor* Grann. (三三)

*Papilio protenor* Grann.

♀ アカネアゲハ  
*Papilio rumanzovia* Erschl. (三三)

*Papilio rumanzovia* Erschl.

翅は灰黒、翅底は紅色。後翅の斑紋は紅色、何れも其中に圓形の大黒紋を藏し、第三乃至第七室に白色鱗毛ありて、稍々縦條を呈す。開張四寸八分内外。これは臺灣ガラランビにて捕獲せられたり。  
分布—臺灣、比律賓、馬來。  
附言—これは比律賓に普通なれども、臺灣には稀なり。ザウターはこれを臺南にて捕獲せるが、



テイキチアヌス形  
*f. teichanus Mats.*



ニッポノヌス形  
*f. nipponus Fruha.*



スルスミ形 ♂  
*f. surusumi Mats.*

蟲は樟の葉を食す。北海道には産せず。  
分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、朝鮮、支那、比律賓、馬來、印度。

ワタナヘアゲハ……………(三五)

*Papilio thaisanus Rothschi.*  
翅は大鷲紋様の黒色、外半に黄色及び藍色の小

その標本は獨乙ダールム博物館に貯藏せられあり。

クロタイマイ(アサスチアゲハ)……………(三四)

*Papilio sarpedon L.*  
翅は黒色、中央の紋列及び後翅各室の末端に存する弦月紋は青色。開張二寸七分内外。この幼



面裏同



ワタナヌー形  
*f. watanabei Mats. ♀*



♂

ナミアゲハ(アゲハ)……………(三六)

*Papilio xuthus L.*

兩翅は黄色乃至淡黄、紋は黒色。後翅の外縁は黒色、各室に青藍色の鱗毛を装ひ、肛角上の橙黄紋の中央には黒點あり。開張三寸三分内外。こ



♀

の幼蟲は柑橘、サンショウ、キハダの葉を食す。これは樺太に稀なれども、北海道には可なり普

鱗を散在し、各室の縦線は濃色。後翅外縁の凹陥部は白色、少しく藍色鱗を散在し、眼狀紋は朱色。開張三寸五分内外。これは臺灣北埔地方に普通なり。  
分布—臺灣。



通なり。

分布—日本全土、沖縄、小笠原島、臺灣、朝鮮、満洲、支那。

アカボシウスバシロテフ……………(三七)

*Parnassius bremeri* Feld.

オホアカボシウスバシロテフに酷似すれども、

インオルナータ形 ♂

*f. inornata* Mats.

ハクトウザーナ形 ♂

*f. hakutozana* Mats.

ウスバキテフ……………(三八)

*Parnassius evers-*

*manni* Mén.

色彩は淡色。前翅後縁の中央に黒圓紋を缺き、後翅の赤色紋は遙かに小形なることに依り區別せらる。開張二寸三分内外。幼蟲は黒色、黄紋ありて、ベンケイサウの葉を食す。朝鮮の白頭山には稀ならず。

分布—朝鮮、支那、満洲、西比利亞。

兩翅は黄色、紋條は暗色。後翅に三個の赤色紋ありて、其周圍は暗色。開張一寸八分内外。これは石狩國旭岳(大雪山)にて始めて發見せられたるものなるが、他には未だ發見せられず。

分布—北海道(大雪山)、アムール、バイカル。

オホアカボシウスバシロテフ……………(三九)



テウセンシス形 ♂  
*f. chosensis* Mats.



*Parnassius homion* Fisch.

翅は淡黄色、紋條は黒色及び暗色。後翅に大なる赤色紋ありて、其周縁は黒色、而してその中央に白點を藏す。開張二寸八分内外。これは朝鮮の高山地帯に發見せらる。

分布—朝鮮、満洲、アムール、西比利亞、アラスカ。

ヒメウスバシロテフ……………(四〇)

*Parnassius stubendorfii* Mén.

體背部の長毛は黄白。兩翅白色、少しく綠色を帯ぶ。開張二寸二分内外。これは樺太に最も普通なる種類にして、北海道にては少なし。幼蟲はエンゴサクの葉を食す。

ヘーネー形 ♀

*f. hoenei* Schweitz



分布—樺太、千島、北海道。  
附言—これには種々の

變形あり。或は別種なるやも知れず。

エゾエンシス形 *f. jousensis* Mats.

キツリナリウス形 *f. citrinarius* Motsch.



ホソヲテフ……………(四一)

*Sericinus telamon* Leech

コレアーナ形 ♂ *f. coreana* Fix.



フイキセニール形 ♀ *f. fixseni* Stgr.





雄翅は暗色、黄色紋を装ふ。後翅に紅色帯及び同色紋あり。雌黄白、斑紋黒色、後翅第一室より第二室に亘りて紅色紋を装ふ。開張二寸五分内外。これは朝鮮に産すれども餘り多からず。幼蟲は黒褐の斑紋を装ひ、ウマノスズグサの葉を食す。

分布—朝鮮、滿洲、西比利亞。

二 粉蝶科 Pieridae

後翅に二個の内縁脈ありて、中室の横脈は甚だしく斜傾し、脚爪は分支す。多くは黄色若くは白色の種類なり。幼蟲は細長にして、短毛を密生す。蛹は帶蛹なり。鳳蝶と異なる要點は後翅中室の角張りたること、幼蟲の第一節に臭角を有せざることにより。本領土に産するもの四十三種あり。



イツスキー形 ♂  
f. ishiki Mats.

(信州産)

柿色。裏面には緑色の斑紋ありて保護色をなす。開張一寸五分内外。これは信州の高山地帯に産すれども稀なり。幼蟲はハタザホ、クヂラグサの葉を食す。

分布—樺太、本州。

朝鮮、滿洲、支那、西比利亞、歐洲。

アンガールシロテフ……………(四三)

アルテンヌ形 ♀  
f. ardens Butl. Applus ada Grav.



翅は白色。前翅前縁、翅端及び外縁は黒色、第六室の楕圓紋は白色。開張二寸三分内外。これは南洋

クモマツマキテフ……………(四二)

コムヤシイ形 ♀  
f. kohayashii Mats. Anthocaris curda-



(樺太産) 翅は白色、横脈上の一及及び翅端黒色、翅底灰色。雄にては前翅外半は

クモガタシロテフ……………(四五)

Applus Indra Moor.



翅は白色、翅端及び外縁は黒色、翅底は灰色、少しく綠色を帯び、横脈上の一紋は黒色。開張一寸九分内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならず。

アリストクセムス形 ♂  
f. aristoxenus Fruh.



分布—臺灣、支那、印度。



ガール)。

アンガール島に産すれども餘り多からざるが如し。南洋(アン

カハカミシロテフ……………(四一)

Applus albina Boiscl.



翅は雄にては白色、雌にては斑紋は黒色、第五室及び第六室に斑紋を装ひ、後翅少しく黄色を帯び、

第六 鱗翅目(蝶亞目)



ヤエヤマシロテフ.....(四六)

*Appias hbythca* F.

ヤエヤマシロテフ

*f. yagoyamama* Mats.



フォルモサーナ形  
*f. formosana* Wall.



♀

タイワ  
ンシロ  
テフ.....  
(四七)

沖、支那、  
比律賓、  
印度。

*Appias Iyinda* Grun.

♂



ツルイー形 雌  
*f. tsurui* Mats.



ナミエテフ.....  
(四八)

暗色、少しく紫色  
を帯び、縦線は白  
色及び灰白色。開  
張二寸一分内外。  
これは恒春地方に  
普通なり。幼蟲は  
ギョボクノ葉を  
食す。  
分布 臺灣、支那  
馬來、印度。

*Appias melania* Frihs.

♀



ミナト形  
*f. minato* Frihs.



二室の處にて白色部は深く入り込む。後翅少し  
く黄色を帯び、外縁の黒色部は前翅のそれに似

雌翅は  
白色。  
前翅基  
部及び  
前縁は  
灰色、  
翅端及  
び外縁  
は黒色  
各室の  
斑紋白  
色、第

たり。雌にては白色、前翅の前縁及び外縁は細  
く黒色。開張二寸一分内外。これは沖繩石垣島  
には稀ならず。  
分布 沖繩、支那、比律賓、馬來、印度、漆  
洲。

エゾシロテフ.....(四九)

*Appias crataegi* L.

アドヘルバル形 雌

*f. adherbal* Frihs.



翅は白  
色、翅脈、  
外縁及び  
翅底は黒  
色。體黒  
色、灰白  
毛を密生  
す。開張  
二寸四分  
内外。こ  
れは北海  
道には普  
通なり。  
幼蟲はリ

シゴ、サクラ、サンザシ等の葉を食す。  
分布 樺太、北海道、歐洲。

♂



ウスキテフ.....(五三)

*Catopsilia crocale* Grun.

白色。前翅前縁、横脈上の一紋、翅端及び外縁  
は黒色。  
翅端の  
二三紋  
白色、  
翅底黄  
色。後  
翅外縁  
は黒色。  
雄にて  
は黄  
白、翅



雌翅は  
白色。  
前翅基  
部及び  
前縁は  
灰色、  
翅端及  
び外縁  
は黒色  
各室の  
斑紋白  
色、第

蟲はヘビノボラズノ葉を食す。  
分布 本州、朝鮮、臺灣、支那、滿洲、西比利  
亞。  
タカムクテフ.....(五一)  
*Battiporia multirecti* Oberth.



翅は暗色、斑紋黄白。後翅の斑紋は橙黄色。開  
張二寸三分内外。これは臺灣の高山地帯に産す  
れどもその數多からず。  
分布 臺灣。



♀



これは恒春地方には普通なり。幼蟲はハブサウの葉を食す。

底は黄色、前縁、翅端及び外縁は細く黒色、後翅は黄色。開張二寸内外。

♀



分布 臺灣、支那、印度、南洋諸島、漆洲。

ミツアラシロテフ……………(五三)

色。開張二寸一分内外。これは恒春地方に普通

♀



ウスキシロテフ……………(五四)

翅は白色、水色様の青味を帯び、翅端及び外縁は細く黒色、外縁及び前縁の基部は少く緑色を帯び、第三乃至第七室に黒斑を列ぬ。開張二寸二分内外。これは恒春地方に普通なり。幼蟲はハブサウの葉を食す。  
分布 臺灣、支那、印度、亞弗利加。

ウスキシロテフ……………(五四)

*Catopsilia pomona* F.  
カチラ形 合 *f. cutilla* Cram.

ウラナミシロテフ……………(五五)

♀



比利亞、歐洲。  
雄にては翅は黄色、前縁及び外縁黒褐。雌にては白色、斑紋雄と異ならず。開張九分内外。これは本州の高山地帯に産すれども、餘り多からず。北海道に未だその産するものあるを知らず。樺太には稀ならず。幼蟲 コレアコウラ形はクロマメノキの葉を食す。  
分布 樺太、本州、朝鮮、滿洲、歐洲。  
附言 コレアコウラ形 *f. coreacola* Mats. *reaocola* Mats. はサカリネンシアイアス形 合 *f. aias* Fruha.

ヤマモンキテフ……………(五七)

*Colias palaeno* L.

アカネテフ……………(五八)

*Delias aglaja* L.

翅は黒色、斑紋白色。後翅の内縁は黄色、中央の大紋は少く藍色を帯ぶ。裏面基部の帯は紅色。開張二寸四分内

クラセナ形 合 *f. curusena* Fruha.

モンキテフ……………(五九)

*Colias hyale* L.

翅は雌白色、雄黄色。前翅の外縁は黒褐、黄紋ボリオグラーフス形 ♀  
若くは白紋を帯び、中室紋黒褐、縁毛桃色。後翅底灰色、外縁黒褐、中室末端紋橙黄色。開張一寸八分内



外。これは最も普通なる蝶にして、成蟲にて越年す。幼蟲は豆科の植物を以て食とす。  
分布 日本全土、沖繩、臺灣、朝鮮、支那、西



外。これは臺灣高山地帯に少なからず。幼蟲はハナダマノキの葉を食す。  
分布—臺灣、支那、印度。

ゴマダラシロテフ……………(五九)

*Delias heliodorata* L.

兩翅黒色、紋條白色。後翅内縁は黄色、肛角黄  
タイワナ形 *f. taiwana* Wilem. ♂



色。開張二寸五分内外。これは臺灣埔里地方に産すれどもその數多からず。

分布—臺灣、支那、印度、南洋諸島。

ベニモンシロテフ……………(六〇)

*Delias hyarctes* L.

白色。前翅末端黒色、灰白の五紋を横列し、前縁の縦條は黒色。後翅の後縁は灰黒、裏面にて  
ペーレーネ形 ♀ *f. peirene* Fruhs.



は各室の末端に近く六個の赤紋を列ぬ。開張二寸五分内外。幼蟲は黄色にして、頭及び脚は黒色。ハナダマノキを食す。

分布—臺灣、支那、比律賓、印度。

タイワンヤマキテフ……………(六一)

*Gonepteryx amantha* Blanch.

翅は雄橙黄色、前翅翅端の下方の外縁は褐色。後翅少しく淡色、外縁の紋列は黄褐、中室紋は

フォルモサーナ形 ♀  
*f. formosana* Fruhs.



なり。開張二寸四分内外。  
分布—臺灣、支那。

アタミナータ形 ♀  
*f. acuminata* Fald.



スチボ  
ソヤマ  
キテフ  
……………(六二)  
*Gonepteryx aspasia*  
Mén.  
兩翅淡黄

分布—本州、四國、九州、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

タイワンコヤマキテフ……………(六四)

*Gonepteryx zaneke* Moor.

ヤマキテフに酷似すれども翅淡色、翅底半部濃色、横脈上の橙黄紋大形、後縁に尾狀突起を缺き、六個の齒狀突起を有することに依りて區別せらる。開張二寸一分内外。これは臺灣の高山地帯に産すれど

リウキウエンシス形 ♂ *f. hinkuensis* Fruhs.

ツマベニテフ……………(六五)

*Helomola ghaucipe* L.

翅は白色、翅縁暗黒、翅端黄赤、斑紋暗黒。雌に



ヤマキテフ……………(六三)

*Gonepteryx rhamni* L.

淡黄色、少しく青味を帯び、前後兩中室の横脈に橙黄色の  
マキシマ形 ♀ *f. maxima* Brull.



の小點を裝ふ。開張二寸内外。これは前種より少なきが如し。幼蟲はクロウメモモドキの葉を食す。



タイワナ形 ♂ *f. taiwana* Par.



フォルモサーナ形 雌 *f. formosana* Fruhs.



ては黄色若くは暗灰色。後翅外縁暗色、各室に暗色紋を装ふ。開張三寸内外。これは何れの地方にも普通なれども、捕獲困難なり。幼蟲はフウテフボクの葉を食す。  
分布 沖縄、臺灣、支那、馬來、印度、瓜哇、ボルネオ。

ウスムラサキシロテフ……………(六六)  
*Hoplitis naluha* Tate.

インシゲニス形 雌 *f. insidiosa* Butl.



央の斜帯は白色、後翅は白色、外縁及び後縁は黒色。開張一寸五分内外。これは臺灣埔里地方には普通なれども、他には少なきが如し。幼蟲はフウテフボクの葉を食す。幼蟲は緑色、氣門の

第六 鱗翅目(蝶亞目)

タイワンスチグロテフ……………(六七)  
*Huphina nerissa* F.



雌の兩翅暗色、紋條は白色雄にては翅は白色、外縁は黒色。幼蟲は綠色にしてフウテフボクの葉を食す。これも臺灣の高山地帯に多し。開張一寸八分内外。  
分布 臺灣、支那、印度。

キビラ形 雌 *f. clytra* Fruhs.  
メスジロキテフ……………(六八)

*Ixia pyrene* L.  
雌、翅黄色、少しく綠色を帯び、前翅中央の三角



雌翅暗色、少しく紫色を帯び、斑紋白色。後翅中室の末端、第三及び第四室の基部は黄白。  
ニオヘ形 雌 *f. niobe* Wall.

部分は赤色を呈す。  
分布 臺灣、支那、馬來、印度。

ヒメシロテフ……………(六九)  
*Leptidia amurensis* Mén.



兩翅白色、基部は灰白。前翅端に暗色紋あり。開張一寸一分内外。これは札幌地方に普通なる蝶なるが、本州には少なし。幼蟲はレンリサウの葉を食す。  
分布 北海道、本州、朝鮮、滿洲、支那、アムール。

ニオヘ形 雌 *f. niobe* Wall.



タイワンヒメシロテフ……………(七〇)  
*Leptostia xiphina* F.  
翅は白色、前翅前縁の基半部には黒線を

ツマキテフ……………(七二)  
*Midea scolymus* Butl.



具へ、翅端は少しく灰色、第三室の大紋は黒色。開張一寸三分内外。これは臺灣の高山地帯に普通なり。幼蟲はギョボク、フウテフボクの葉を食す。  
分布 臺灣、支那、印度、南洋諸島。

テウセンシロテフ……………(七一)  
*Leucochloe daphnice* L.



翅は白色、翅底灰色。前翅端は黒色、白紋を列ぬ、第一室の中央紋は黒色。後翅の斑紋は暗色。開張一寸五分内外。これは朝鮮には普通なれども、北樺太に稀なるが如し。幼蟲は十字花科植物の莢及び葉を食す。  
分布 北樺太、朝鮮、滿洲、支那、歐洲。

ツマキテフ……………(七二)  
*Midea scolymus* Butl.

翅は白色、翅底、翅端及び中室外側の一紋は黒





色。雄は翅端に橙黄色紋を装ひ、雌にては翅端緑色。開張一寸五分内外。これは地方的の蝶にして、餘り多からず。幼蟲はコンロンサウの葉を食す。  
分布—北海道、本州、

四國、九州、朝鮮、支那。

タイワンモンシロテフ……………(七三)

*Pieris candida* Sparr.

ソルチダ形 〇十

*f. sordida* Eruls.



翅白色、外縁及び斑紋は黒色。後翅の外縁に一黒紋列あるを以てモンシロテフと異なる。開張一寸八分内外。これは臺灣に最も普通なる蝶なり。幼蟲は普通の蝶蛉の如き緑色にして、十字花科植物の葉を食す。

分布—朝鮮、沖縄、臺灣、支那。

ウスモンシロテフ……………(七四)

*Pieris nulele* Mén.

アグラオーベ形 〇

*f. aglaoye* Motsch.



翅は白色、前縁及び翅脈の一部灰黒、斑紋暗色。開張一寸七分内外。これはスチグロテフに酷似すれども、その異なる所は、後翅裏面の基部に橙黄色の帯を有するにあり。幼蟲は緑色にして、十字花科植物の葉を食す。  
分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、アムール、西比利亞。

スチグロテフ……………(七五)

*Pieris nupta* L.

翅は白色、前翅端及び翅底は暗色、脈上に暗色

ネシス形 〇

*f. nesis* Eruls.



の縦條を装ふ。開張一寸六分内外。これは北海道に最も普通なり。ウスモンシロテフに酷似すれども形小にして、後翅裏面の基部にある黄色紋は小、翅脈に沿ひ黒條を有するにあり、然れど種々の變化ありて、その種と區別すること困難なり。幼蟲は同じく十字花科クルシゲオラ形 〇  
*f. crucivora* Boiscl.



分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、アムール、歐洲。  
モンシロ

テフ……………(七六)

*Pieris japonica* L.

翅は白色、前翅底の半部及び前縁は灰白、斑紋黒色。開張一寸八分内外。これは最も普通にして、至る所に見ることを得べし。幼蟲は有名なる十字花科植物の害蟲にして、これを蝶蛉と云ふ。  
分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、歐洲、亞弗利加、亞米利加。

マダラシロテフ……………(七七)

*Prioneris thestylis* Dtl.

フォルモサーナ形 〇十 *f. formosana* Eruls.



分布—臺灣、印度、瓜哇。

タイワンキテフ……………(七九)

*Terias blanda* Boiscl.

アルサキヤ形 〇

*f. araskia* Eruls.



キテフに酷似すれども、前翅の縁毛黒色、少しく黄色を混じ、裏面に三條の黒帶を有するにより區別し得べし。開張一寸六分内外。これは臺灣の山地に少なからず。幼蟲はキテフと異なりて、黒色の大頭を具へ、荳科植物の葉を食す。  
分布—臺灣、支那、印度。

ウスイロキテフ……………(七八)

*Terias andersoni* Moor.

キテフに酷似すれども、前翅前縁は基部まで黒色、外縁の黒色部は第二、第三の外縁にて細く、第三脈の處にて内方に突出せず、後翅の外縁は細く黒色、



同裏面



兩翅の縁毛は黒色、尙、前翅裏面の中間に一黒環紋を装ふことによりて區別し得べし。開張一寸四分内外。これは臺灣の高山地帯に稀なら

キテフ……………(八〇)

*Terias hecaloe* L.



マリツシー形 ♀

*f. mariessi* Butl.



翅は黄色、翅端及び外縁は黒色。本邦に最も普通なる蝶なれども、北海道に産せず。開張一寸五分内外。幼蟲はクサネム及びメドハギの如き荳科植物の葉を食す。

分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

ツマゲロキテフ……………(八二)

*Terius laeta* Koist.

スブフェルムシス形 ♀

*f. subferrens* Butl.



キテフに酷似すれども、その異なる所は、前翅の末端は鋭角をなして突出し、後翅第七脈の末端に一黒褐紋を装ひ、微に表面の二褐色帯を透視し得べし。裏面

點を散在す。表面、前翅中室に黒點を具へ、横脈上に二黒點あり。開張一寸二分内外。これは臺灣埔里地方に産すれどもその數多からず。

分布 臺灣、支那、印度。

附言 近來粉蝶科と鳳蝶科とを合併して鳳蝶科となし、粉蝶科をその亞科となすものあり。然れど鳳蝶科の幼蟲は第一節に臭角を有するを以て別科として取扱ふを穩當とす。

ベテスバ形

*f. betheba* Jans.



同裏面



は黄褐、褐色の二帯を装ひ、下方にあるものは短かし。開張一寸一寸二分。これは中國地方に普通なる種類にして、成蟲にて越年し、幼蟲は荳科植物の葉を食す。北海道に産せず。

分布 本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

フトヘリキテフ……………(八三)

*f. taiwana* Mats.

タイワーナ形 ♀



Hopf.

翅は黄白、前縁及び外縁は黒色、前翅の縁毛は黒色、後翅の

三 斑蝶科 Danaidae

觸角は絲狀にして末端少しく太く、翅縁に切目なく、中室は閉ぢ、雄の後翅には性標を具へ、前肢には葉狀の附屬物あり。大部のものは頭及び胸部に小白紋を散在す。幼蟲は滑にして、胸部及び尾節に肉狀の長附屬物を具へ、美麗の彩色を有す。多くは群生し、靜に飛翔す。本邦の領土に産するもの二十二種あり。

ヒメコモンアサギマダラ……………(八四)

マガイバ形 ♀ *f. magihaba* Fruhs.



同裏面



ふ、後翅の黒帯は廣し 開張一寸七分内外。これは臺灣の高山地帯に産すれども稀なり。

分布 臺灣、比律賓、セレベス。

ホシボシキテフ……………(八五)

*Terius ibytha* F.

翅は黄色、前翅端は黒色、翅底及び前縁に小黒

フォルモサーナ形 ♀ *f. formosana* Mats.

*f. punctissima* Mats.



*Danaus naxos* Butl.

翅は黒褐、斑紋青白、縱條黒色。開張二寸内外。これは臺灣埔里地方に普通なり。幼蟲はタウワタの葉を食す。

分布 臺灣、支那、比律賓、馬來、印度。

オホカハマダラ……………(八五)

*Danaus archippus* F.

柿色、周圍及び脈は黒褐、斑紋白色、第四、五





及び第六室に存するもの黄色。後翅第二脈中央の突起黒褐。開張三寸四分内外。これは世界の暖國に廣く分布するの種類の、世界共有と稱し得べし。幼蟲は橙黄色にして、黒帯を有しタウワタの葉を食す。

分布—沖繩、小笠原島、臺灣、支那、比律賓、馬來、印度、南洋諸島、濠洲、米國。

カハマダラ……………(八六)

*Danaus chryseippus* L.

赤黄。前翅前縁、翅端及び後翅外縁並に後縁黒



♀

柄、紋列白色、後翅中室の木橋及び外側に存す

るものは黒褐。開張二寸九分内外。これは臺灣にて最も普通なる蝶なり。幼蟲はタウワタの葉を食す。

分布—沖繩、臺灣、南方支那、比律賓、馬來、印度、濠洲、亞弗利加。

コウトウマダラ……………(八七)

*Danaus isaurus* Grun.

翅は黒色、紋條は白色、少しく紅色を帯ぶ。前

コウトウシヨウニス形 ♀  
*E. kotolonis* Mats.



の白紋を装ひ、外縁には一対の紋列あり。後翅の外縁に前翅同様の紋列あり。開張二寸六分内外。これは臺灣紅頭蝦に産すれども稀なり。

分布—臺灣(紅頭蝦)。

ウスコモンアサギマダラ……………(八八)

*Danaus himitea* Grun.

黒褐、紋條青白、コモンアサギマダラに酷似す

♀



れども、紋は大形にして淡色、後翅第一室の白條は基部にて合する事に依りて區別せらる。開張三寸二分内外。これは臺灣に普通なり。幼蟲黄緑にして、黒帯を具へ、タウワタの葉を食す。

分布—臺灣、支那、比律賓、馬來、印度、瓜哇。

ルゾンマダラ……………(八九)

*Danaus hozomeis* Fchl.

翅は黒色、斑條は黒色、紅色を帯びず。ウスコ

フォルモサナ形 ♀  
*E. formosana* Mats.



の外縁には一紋を有するに過ぎず。開張二寸五分内外。臺灣に産すれども、稀なるが如し。これは故高棉佛古氏の採集せるものなり。

分布—臺灣(埔里?)。

クロアサギマダラ……………(九〇)

*Danaus melampus* Grun.

翅黒褐、斑紋少しく青白を帯べる灰白。前翅中室の大部灰白、暗色條を具ふ。後翅外半暗褐、判然

せざる二白紋列あり。開張二寸八分内外。これは

スキンホイイ形 ♀ *E. swinhoei* Moor.



は臺灣に普通なり。幼蟲はアキカブラの葉を食す。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。

コモンアサギマダラ……………(九一)

*Danaus melissa* Grun.

黒褐、紋條は黄白。臺灣にて最も普通に見受けらるる種類なり。開張三寸内外。幼蟲はウアラレリスの葉を食す。

分布—臺灣、支那、比律賓、馬來、印度、瓜

セブテツワリオニス形 ♀  
*E. septentrionalis* Butl.



哇。

バラウカハマダラ……………(九二)

*Danaus pfulene* Grun.

赤褐。前翅の前縁、翅端及び翅脈黒褐、斑紋白色。スチゴロカバマダラに酷似すれども、前翅中室の外側及び前縁室に白紋を缺く。開張二寸三分内外。これは南洋の諸島に分布す。稀ならず。



ルブリカ形 ♂ *E. rubrica* Eruls.



分布—南洋(パラウ)、濠洲。



♂

スチグロカハマダラ……………(九三)

*Danaus plexippus* L.

赤褐。前翅前縁、翅端及び脈は黒褐、斑紋白色。開張二寸六分内外。これも濠洲に最も普通なる蝶にして、至る所にその群集し居るを見る。幼蟲はタウワタの葉を食す。

分布—沖縄、臺灣、支那、比律賓、馬來、印度、濠洲、南洋諸島。

リウキウアサギマダラ……………(九四)

*Danaus similis* L.

黒褐、紋條淡青色。後翅内縁灰色。開張二寸九分

♀



分内外。これは暖國に普通なり。幼蟲はカモメブルの葉を食す。

分布—沖縄、臺灣、支那、比律賓、馬來、印度。

アサギマダラ……………(九五)

*Danaus siva* Kohl.

前翅黒褐、中央部淺黄色、斑紋白色若くは淺黄色

ニッポニカ形 ♂ *E. nipponica* Eruls.



シロオヒマダラ……………(九六)

*Euploea cratais* Butl.

♀ オルモサーナ形

*E. formosana* Mats.



黒褐、斑紋黄白。後翅前縁灰白。開張二寸七分内外。これも沖縄及び臺灣に産れども餘り多からず。

分布—沖縄、臺灣、比律賓。

ムラサキマダラ……………(九九)

*Euploea dufresnei* Gault.

濃藍色、斑紋青色。前翅外縁の二紋列は多く白點を有す。後翅紋列白色。開

ホナベウスグロマダラ……………(九六)

*Euploea alpecta* Butl.

暗褐、斑紋白色。雌にては斑紋を缺き、唯だ前翅

♂



第十室に灰色紋を有するを見る。開張二寸六分内外。これはパラウ島の一圓に普

通なり。分布—南洋諸島。



張二寸八分内外。これは南臺灣に普通なり。

スキンホイ形 ♂  
*E. swinhoei* Wall. et Moor.



分布—臺灣、比律賓。

サイバンマダラ ..... (100)

*Euploea cleanthes* Quoy

黒褐、斑紋白色。開張二寸二分内外。これは漆  
洲よりグワム島に普通分布する蝶なるが、サイ  
パン島にも少なからず。

♂



分布—南洋諸島、漆洲。

ホリシヤルリマダラ ..... (101)

*Euploea*  
*loxingia*  
Gmel.



翅濃藍色  
斑紋は青  
白、光線  
の工合に  
依り紺色  
を表は  
す、紋列

白色。開張二寸三分内外。これは南臺灣に普通  
なり。

分布—臺灣。

ヤエヤマムラサキマダラ ..... (102)

*Euploea leucostictos* Gmel.

濃藍色、斑紋紫色、翅端に近き紋は白點を有  
ホブソニ形 ♀ *E. holsoni* Butl.



す。開張二寸九分内外。これはグワム島分布せ  
る蝶にして、何れの地方にても餘り多からず。

分布—沖繩、臺灣、比律賓、南洋諸島。

ツمامラサキマダラ ..... (103)

*Euploea muliebris* Graen.

黒褐、外半青藍色、白點を散在す。後翅暗褐、  
前縁灰色、紋列白色。開張三寸内外。これは廣  
く東洋に分布する斑蝶にして、何れの地方にも  
多し。幼蟲はキョウチクトウの葉を食す。

分布—臺灣、南方支那、比律賓、馬來、印度、  
パルシネ形 ♂ *E. laraine* Fruhe.



南洋諸島。

オホゴマダラ ..... (104)

*Hestia leucoroe* Kricks.

クララ形 ♀ *E. clara* Butl.



白色、外縁黒色、前翅底は淡黄、翅脈及び斑紋  
黒色。開張三寸九分内外。これは甚だ遅鈍なる  
種類にして、臺灣にては馬鹿蝶と呼べり。幼蟲  
はカモメツルを食するもの如し。

分布—沖繩、臺灣、  
支那、比律賓、馬來、  
印度、南洋諸島。

クロイハマダラ...

..... (105)

*Euploea swain-*  
*soni* Gohl.

暗褐、紋列白色。開  
張一寸六分内外。こ  
れは沖繩地方八重山  
に産すれども、その  
數多からざるが如  
し。

分布—沖繩(八重山)、  
比律賓、セレベス、  
パラグアン。



クロイウエー形 ♀  
*E. kuraiwa Mats.*



四 蛇目蝶科 Satyridae

前翅の基部に肥大せる前縁脈を具へ、前後兩翅の中室は閉塞し、觸角は次第に太き棍棒状を呈し、下唇鬚は側扁、前肢は發達す。幼蟲は紡錘形を呈し、頭は圓く、角狀突起を具へ、體には顆粒突起を裝ふ。蛹は垂蛹なり。これは多く日蔭に飛翔するを以て日蔭蝶の名あり、又蛇目狀の斑紋を有するを以てこの科名あり。本邦産するもの約六十四種あり。幼蟲は何れも禾本科植物の葉を食す。

テウセンジヤノメ……………(108)

*Aphantopus hyperantus* L.

翅は暗色、眼狀紋の外圍は黄色、白點は列然す。雄は雌に比して色彩は濃色なり。開張一寸六分  
オセラウース形 ♀ *E. ocellatus* Butl. 同裏面



内外。これは朝鮮に産すれども稀なり。幼蟲はナガハグサの葉を食す。  
分布 滿洲、支那、西比利亞、アムール、歐洲。

キイロヒメジヤノメ……………(107)

アツクレセンス形 ♀ *Coenonympha*

*E. acreseus* Stgr. *amaryllis* Urum.

翅は黄色、外縁少しく暗褐色を帯び、斑紋は黒色、縁毛は灰白、外縁は暗綠色。裏面に黄紋あり。開張一寸二分内外。これは朝鮮には稀ならず。  
分布 朝鮮、滿洲、支那、アムール。



シロオビヒメヒカゲ……………(108)

*Coenonympha hero* L.

翅は暗黄褐、眼狀紋の周圍及び中央の一點は黄褐。裏面は淡色、前翅の外縁に近き一帯は灰白。開張一寸一

ラチフアシアター形 ♀  
*E. latiuscula* Mats.



ネオヘルセー  
ス形  
*E. neopers-*  
*eis* Fruhs.



アニユリフェル形 ♀  
*E. annulifer* Butl.



張一寸四  
分内外。  
これは臺  
灣の高原  
地帯に稀  
ならず。  
幼蟲はヤ  
シ、トウ  
等の新芽  
を食す。

フォルモサリーナ形 *E. formosana* Fruhs.



分内外。これは北海道に産するも地方的なり。幼蟲はハネムギの葉を食す。

分布 樺太、北海道、朝鮮、滿洲、西比利亞、歐洲。

附言 これに色々の變形あり。

ヒメヒカゲ……………(109)

*Coenonympha oedippus* F.

翅は暗褐、後翅の斑紋は暗色。裏面は暗黄、外縁の一帯は鉛色、其外側は黄色、眼狀紋は黒

ルリモンジヤノメ……………(110)

*Elymnias nigrescens* Butl.

雄、翅は黒藍色、前翅の外縁紋は藍色、前縁の縁紋は白色、後翅の外縁は赤褐。雌にては紫褐色、外縁紋は帯紫白色、中室下方の斑紋は赤褐、後翅の斑紋は白色、赤褐の廣帯を具ふ。開

クモマベニヒカゲ……………(111)

分布 臺灣、支那、印度。



サカリネンシス形 雌 *L. sachalinensis Mats.*



タカノリス形 雄 *L. takanoris Mats.*



ニフオニカ形 雌 *L. nipponica Mats.*



の是一個の白點を裝ふ。後翅の外縁に近き小紋は赤色。開張一寸四分内外。これは高山地帯に産すれども、前種よりも低地に多し。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。

分布 樺太、北海道、本州。

タイワンクロヒカゲモドキ……………(一一三)

*Letho butleri Leech*



これはクロヒカゲモドキに酷似すれども、形小、前翅に淡色斜帯を缺き第五室の

同裏面

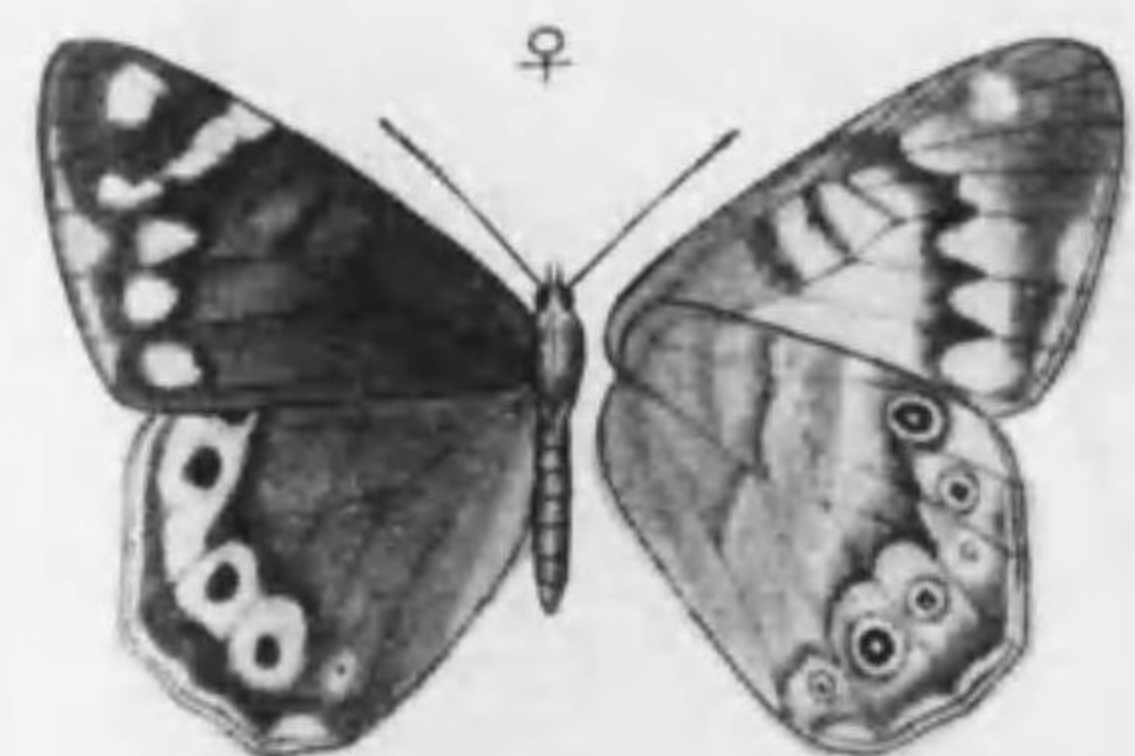


高山地帯に發見せらるるもの數多からず。ミニマ形 *L. minima Esak. et Nak.*

分布 臺灣、支那。

ヒメキマダラヒカゲ……………(一一四)

*Letho eul. hyperis Bndl.*



翅は暗黄褐、斑紋は黄色。前翅の中室に暗色の二横紋あり。後

ヘニヒカゲ……………(一一二)

*Erebis zedakovii Evgen.*

翅は黒褐。前翅の外縁に近き一縱紋は柿色、之れに二黒紋ありて、上方のもの二個、下方のもの

*Erebis ligea L.*

翅は暗褐、天窓絨様の光澤を帯び、兩翅の外縁に近き一帯は柿色、これに四黒紋を列ね、四陷部の縁毛は白色。開張一寸四分内外。これは高山地帯に産するを以て採集困難なり。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。

分布 樺太、北海道、本州。



♀

翅に暗色の四紋列ありて、紋は黄色にて圍繞せらる。開張一寸七八分。こ

れは寒國産のもの見え、樺太及び北海道に普通なり。幼蟲は笹の葉を食す。

分布 樺太、北海道、本州、九州。

メスチャヒカゲ……………(一一五)

*Letho chandica Moor.*

翅は赤褐。前翅中央の斜條は白色、斑紋は白色、暗色及び灰白。開張二寸二分内外。これは臺灣に普通なり。

分布 臺灣、支那、印度。



同裏面



ラトナクリ形 雌 *L. ratnaeri Evans.*

ミヤマヒカゲ……………(一一六)

*Letho christophi Leech*

翅は褐色。前翅の三帯は濃色。後翅の紋列は暗褐。開張一寸四分内外。これは臺灣の高山地帯

に發見せらる。

分布 臺灣、支那、馬來、印度。

クロヒカゲ……………(一一七)



同裏面



ハナコ形 雄 *L. hanako Evans.*



*Lethe dana Butl.*



翅は暗褐色。前翅の中央に暗色帯を具ふ。後翅第二室に暗色紋あり。開張一寸八分内外。これは何れの地方にも普通なる種類にして、幼蟲は笹の葉を食す。  
分布 日本全土、朝鮮、支那。

ウラマタラシロオビヒカゲ……………(二八)

*Lethe drypta Feld.*

前翅灰褐色、斜帯は黄白、その第二室に當る部分に灰色紋を具へ、第一室、第五室及び第六室に黄白紋あり。後翅の各室に眼狀紋列あれども判然せず、但し裏面にはこの紋列判然す。開張二寸二分内外。これは臺灣の高山地帯に普通なり。

デモニアアカ形 ♀ *f. daemoniacus Erms.*



同裏面



分布 臺灣、支那、印度、ラシロクロヒカゲ……………(二九)

バウイダ形 ♀ *f. jayida Erms.*



同裏面



アリサンチヤイロヒカゲ……………(二三)

*Lethe gemina Leach.*

體翅は黄褐色。前翅の横脈は暗褐色、眼狀紋は黒色、其中點は白色、周圍黄色。後翅の楕圓紋は黒褐色。

*Lethe dura Feld.*



前翅天竺絨様の黒褐色、外縁は淡色。後翅の外半は灰色、紋列は暗色、其周圍は淡色、第四脈のネフクリデス形 ♀ *f. neoclides Erms.*

キマダラモトキ……………(一〇)

*Lethe epimenides Men.*

翅は暗褐色。前翅の横線は暗色、斑紋は黄色、第五室にある紋の中央は暗色。後翅の紋列は暗色、其周圍は黄色。開張二寸一分内外。これは青森

キイダ形 ♀ *f. zaita Erms.*



其周圍は黄色、外縁は黄色、灰色、及び暗色帯あり。開張二寸一分内外。これは臺灣の高山地帯に産するも稀なり。  
分布 臺灣、支那、印度。

ミヤマシロオビヒカゲ……………(二三)

*Lethe insana*

*f. formosana Erms.*

Koll.



體翅は暗褐色。前翅中央の斜帯は灰白、斑紋は灰白及び暗色。後翅の紋列は前翅と同色。開張一寸九分内外。これは臺灣の高山

♀



地方に普通なれども、他には少なきが如し。幼蟲は笹の葉を食す。

分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、アムール、西比利亞。

シロオビヒカゲ……………(三一)

*Lethe encrota K.*

體翅は灰褐色。前翅の中帯は白色。後翅の暗色紋は判然す。開張二寸一分内外。これは臺灣の高山地帯に普通なり。幼蟲は笹の葉を食す。  
分布 臺灣、支那、印度。



地帯に産すれども稀なり

分布—臺灣、支那、印度。

クロヒカゲモドキ……………(一二四)

*Lethe marginalis* Motsch.

翅は暗褐。前翅の淡色帯は判然せず。後翅に



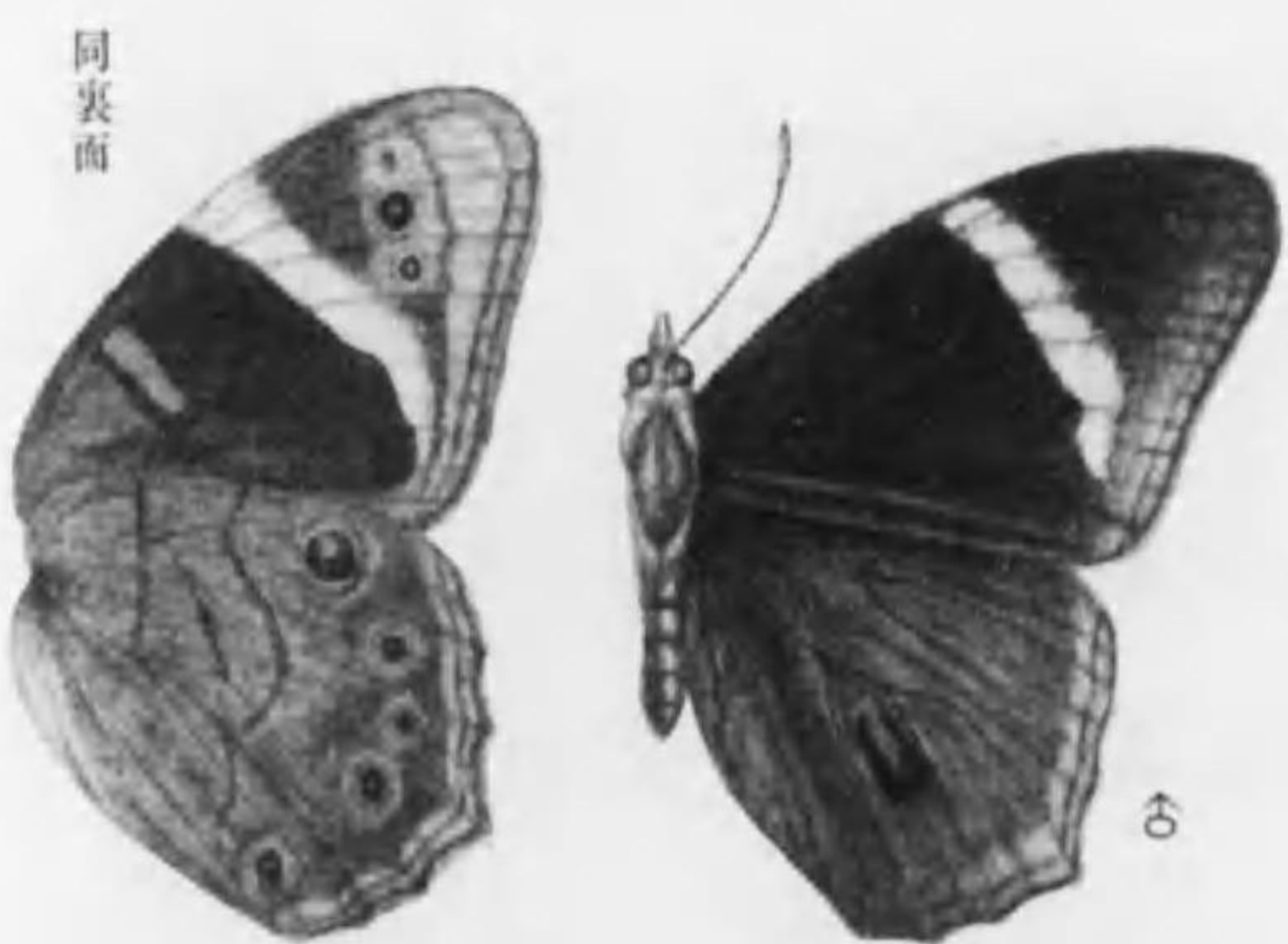
♀

は四個の眼状紋を具へ、淡色。裏面、前翅には三個、後翅にては六個の眼状紋あり。開張二寸

一分内外。これは地方的の蝶にして稀なり。  
分布—北海道、本州、臺灣、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

オホシロオビクロヒカゲ……………(一二五)

*Lethe nakaja* Fruh.



同裏面

翅は暗黒、斜帯及び斑紋は白色、裏面は淡色、赤褐の二帯あり。開張二寸三分内外。これは臺灣の高山地帯に産するも餘り多からず。  
分布—臺灣。

イハマヒカゲ……………(一二六)

*Lethe mihakana* Mats.



♂

翅は暗褐、少しく綠色を帯び、斑紋は黄白。後翅の五紋は黒褐、其周圍は黄白。開張一寸四分内外。これは臺灣の高山地帯に發見せらるる種類なるが、新高山には稀ならず。  
分布—臺灣。

オホヒカゲ……………(一二七)

*Lethe schrenckii* Mén.

翅暗褐、斑紋は黒色。裏面は淡色にして、眼状紋は大なり。此種は札幌地方に普通なり。開張二寸五分内外。これは北海道には普通なれど

メナルカス形 ♀ *L. mundana* Fruh.



も、他國には稀なり。幼蟲は笹の葉を食するものの如し。

分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲、西比利亞。

ナミヒカゲ(ヒカゲテフ)……………(一二八)

*Lethe siseculis* Hew.

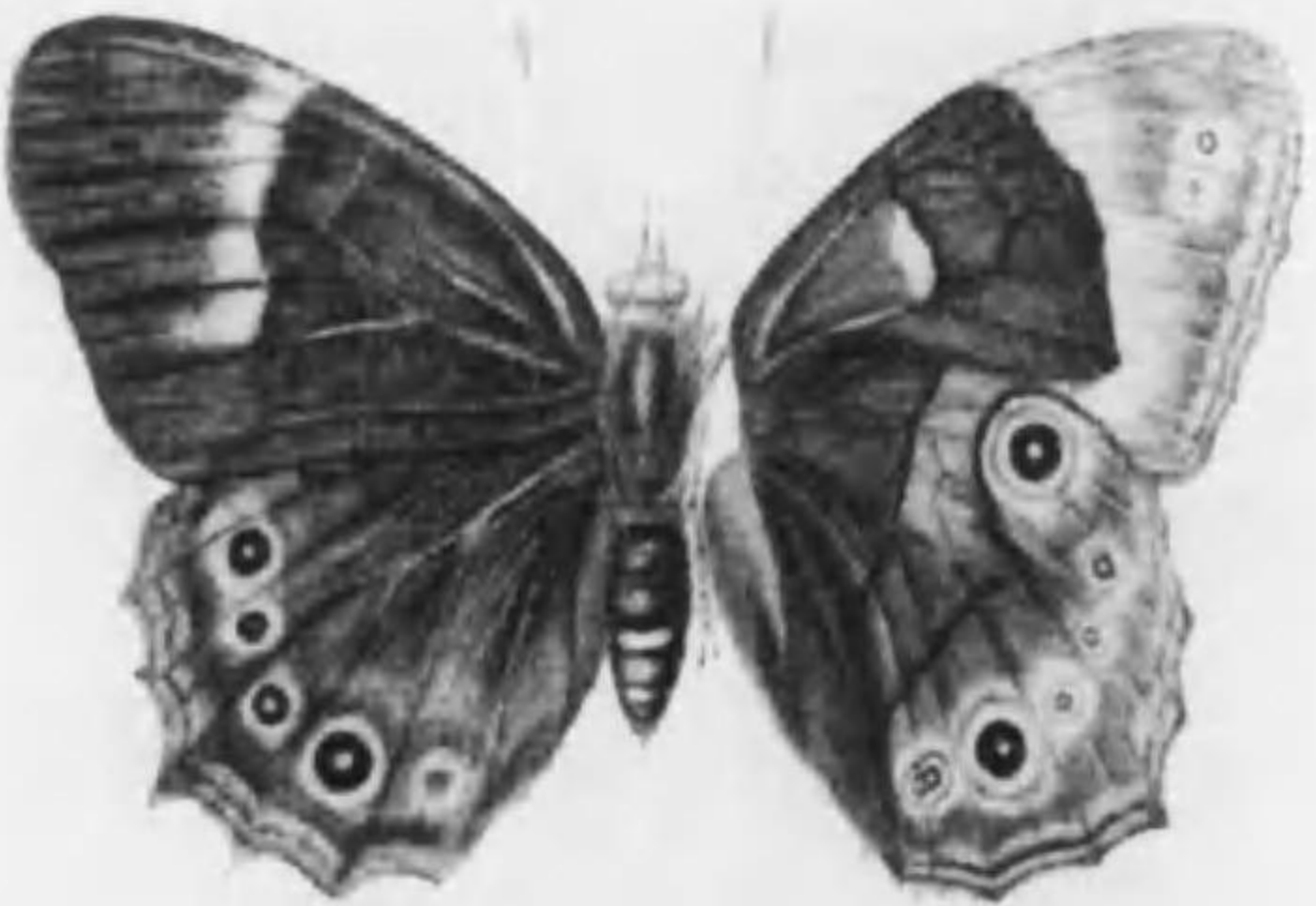
體翅暗褐。前翅の中央帯は淡色、第五室の一點は黒褐。後翅の斑紋は黒褐、第二室のものは白點を具へ、縁毛は大部白色。開張二寸内外。これは北海道に産せざるも、何れの地方にも普通なり。幼蟲は笹の葉を食す。

分布—本洲、四國、九州。

シロオビクロヒカゲ……………(一二九)

*Lethe verma* Kohl.

體翅暗褐。前翅の白帯少しく黄色を帯ぶ。兩翅共裏面に眼状紋を具へ、後翅には淡紫色の四波



♀

シントラニー形 ♂ *L. erichsonii* Fruh.



るもその數多からず。  
分布—臺灣、支那、印度。

シロジヤノメ……………(一三〇)

メリチンナーリス形

*L. meritionis* Feld.



四九五

*Melnburgia halimede* Mén.  
體翅白色、翅脈暗色。前翅の末端及び前後縁は暗色、斑紋白色、黒帯を裝ふ。



後翅の外縁は暗色、斑紋及び縁毛は白色。開張七分内外。これは朝鮮に稀ならず。幼蟲は黄緑にして、禾本科植物の葉を食す。  
分布—朝鮮、滿洲、歐洲。

コノマテフ……………(一三一)

*Melanitis leda* L.

體翅暗褐。前翅の第三室に黒紋、其内側に黄色イスメーネ形。♀ *f. ismene* Grmn.



ども、本州には少なし。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。

分布—本州、四國、九州、琉球、臺灣、比律賓、馬來、印度、濠洲、亞弗利加、亞米利加。附言—これには種々の變形あり。

クロコノマテフ……………(一三二)

*Melanitis phedima* Grmn.

體翅暗黒。前翅の中紋は濃色、中室外の黒色部の外側に二個の紫白紋を具へ、翅端は赤褐。開張二寸五分内外。これは何れの地方にも餘り多からず。

ポリシヤーナ形 ♀ *f. polishana* Fruhs.



同裏面



アサクレイ形 *f. asakurae* Mats.

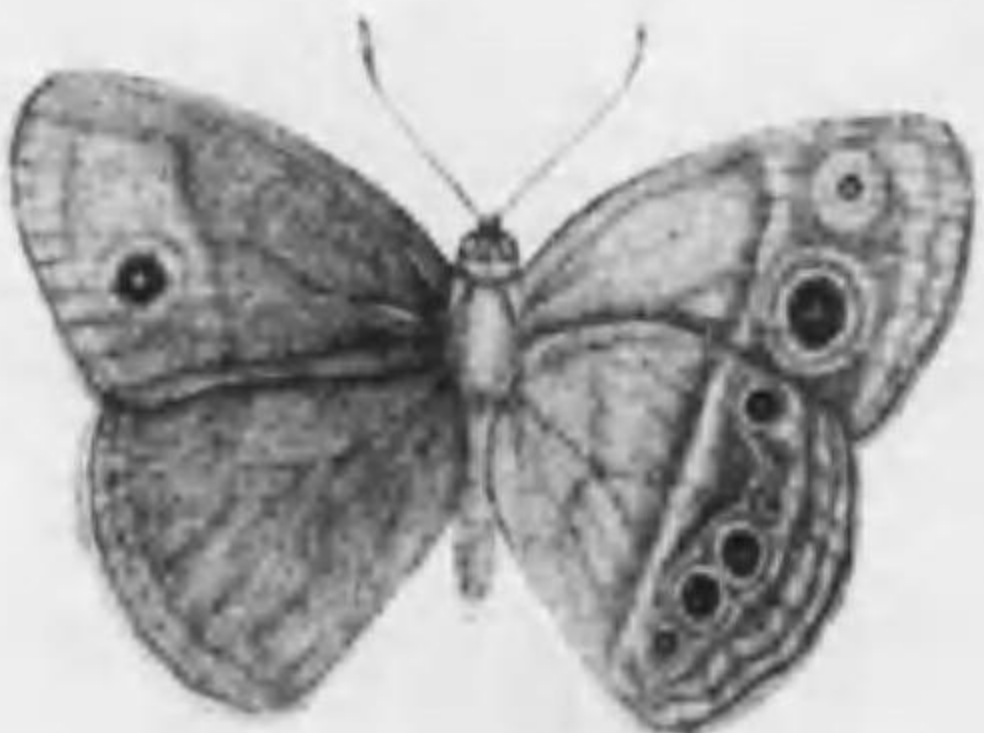


分布—九州、臺灣、支那、印度。附言—これにも種々の變形あり。

コシヤノメ……………(一三三)

缺く。開張一寸六分内外。これは臺灣地方に普通なり。

パンターカ形 ♀ *f. panthaka* Fruhs.



*Mycalesis panthaka* Grmn.  
メルツツカス形 ♀ *f. pediceus* Hew.



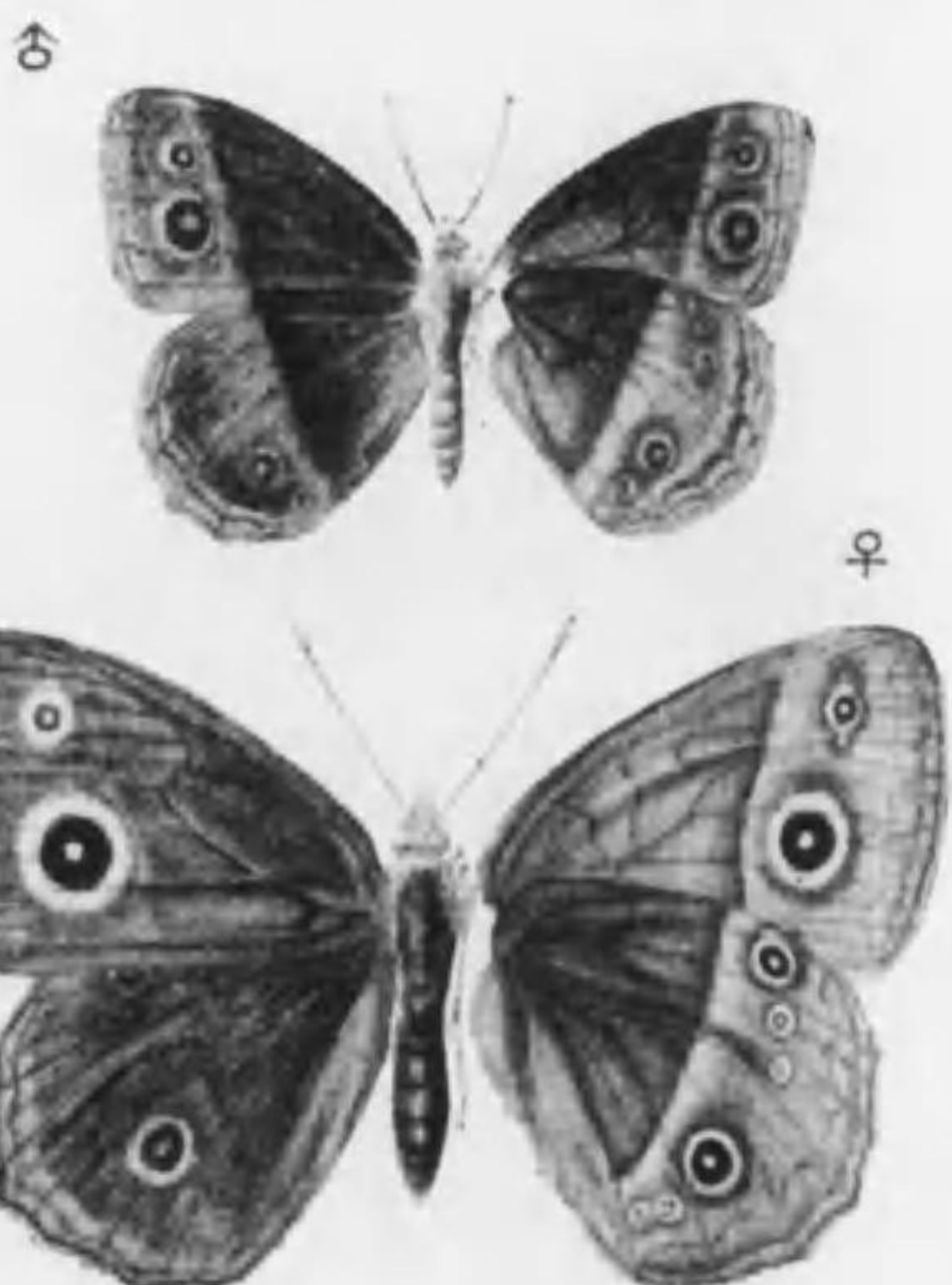
翅は暗色、眼狀紋は黒色。後翅に一個の大眼狀紋を具へ、外縁に灰白帯を装ひ、其外側に暗色の裏面に七個の眼狀紋を具ふ。開張一寸六分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲は禾

本科植物の葉を食す。  
分布—本州、四國、九州、臺灣、支那、印度。

ヒメジヤノメ……………(一三四)

*Mycalesis gotama* Moor.

翅は暗色、中央帯は不明にして、淡色。前翅の眼狀紋は黒色、周囲は黄色、中央は白色。後翅の裏面に六個の眼狀紋及び二條の暗色帯あり。



ヒメヒトツメジヤノメ……………(一三五)

*Mycalesis horsfieldi* Moor.

翅は暗色、眼狀紋は判然す。雄にては後翅の基部に黄白の筆狀毛を具へ、中室の前縁に黒毛を

ヒトツメジヤノメ……………(一三六)

*Mycalesis mineus* L.

體翅は暗色。前翅第二室の眼狀紋は大形、其内側の一帯濃色、外縁淡色、其中の亞外縁線は濃色。裏面に黄色の廣帯及び暗色の波狀帯を具へ、眼狀紋は判然す。開張一寸六分内外。これ





同裏面

♀



は臺灣地方に最も普通なる種類なり。幼蟲はヒメクダその他植物の葉を食す。  
分布—臺灣、支那、馬來、印度。

ムモンジヤノメ *Mycalesis perseis* F. (一三七)



ヒトツメジヤノメに酷似すれども、前翅裏面第二室の眼状紋は頗る大形、中室の暗色帯を缺



き、横線は外縁に近く、後翅の眼状紋は一直線上にあることによりて區別せらる。開張一寸八分内外。これは臺灣に普通なり。幼蟲は禾本科植物の雜草を食す。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。



同裏面



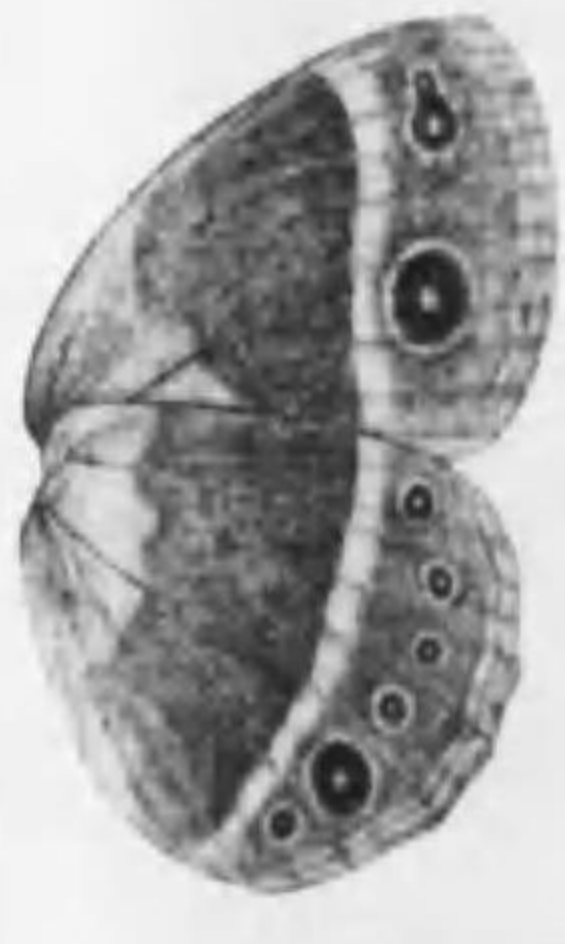
コヒトツメジヤノメ *Mycalesis sangatica* Butler (一三八)

綾状紋を具へ、眼状紋は判然し、中帯白色、波状線は灰白、少しく紫色を帯ぶ。開張一寸六分内外。これは臺灣に稀ならず。  
分布—臺灣、滿洲、支那。

カギコジヤノメ *Mycalesis sinveolens* W. Mas. (一三九)



同裏面

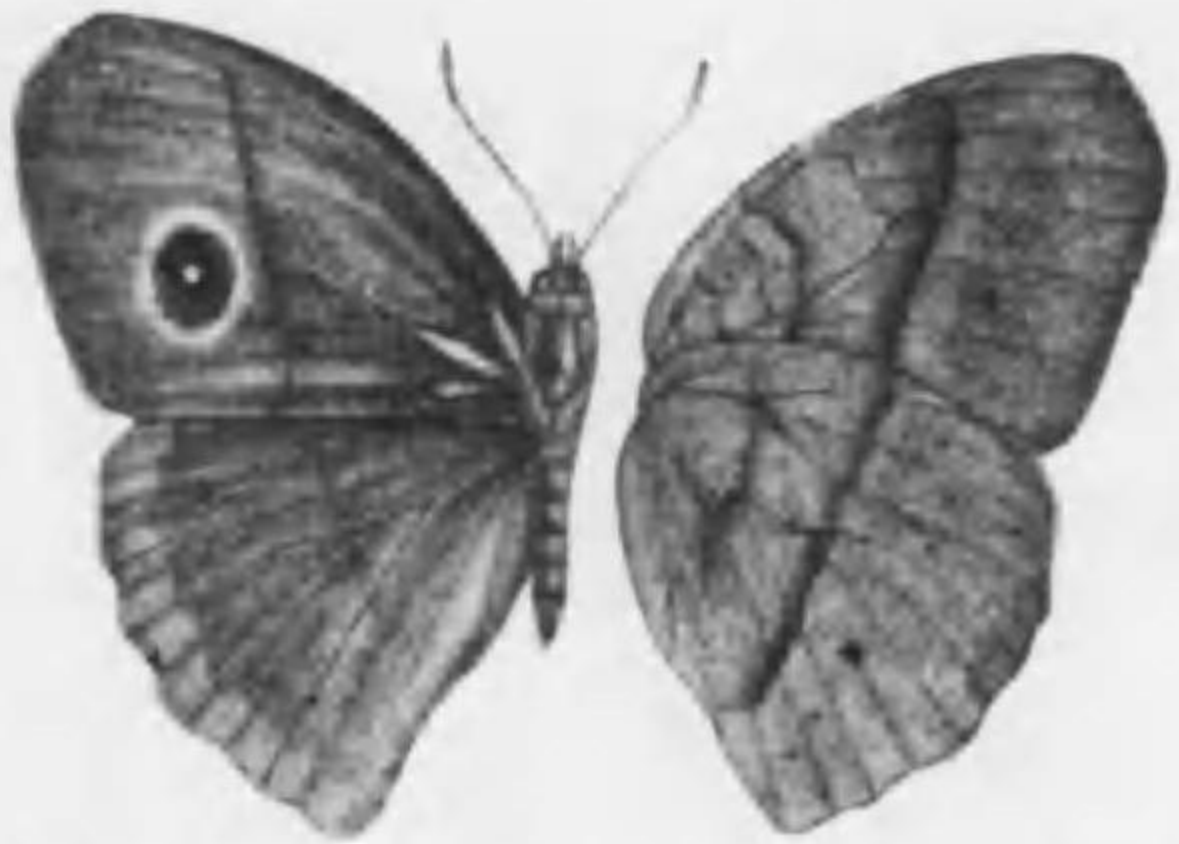


翅は暗色、中央の一帯は淡色、眼状紋は黒色、中帯は白色。雄は後翅前縁の基部に近く黄色の筆状毛を有す。開張二寸内外。これは臺灣の高山地帯

に産するも多からず。  
分布—臺灣、印度。

フタオヒコジヤノメ *Mycalesis visala* Moor. (一四〇)

ゾナータ形 ♀  
*f. zonata* Mas.



ヒトツメジヤノメに酷似するも、前翅の眼状紋は大形、周囲は黄色。後翅前縁の鏡面は長く掃状毛の約二倍長、肛角は鋭角をなすこと等に依り區別せらる。開張一寸七分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。

分布—臺灣、支那、印度。

タイワンキマダラヒカゲ……………(一四一)

翅は暗色、頂紋は黄色、其中に黒紋を有するも  
タイワナ形 ♀  
*f. taiwanensis* Mas.

分布—臺灣、支那、チベット。

キマダラヒカゲ……………(一四二)

體翅は暗黄。前翅中央の脈は黄色、斑紋は黄色  
ヤゴニカ形 ♀  
*f. japonica* Butler



若くは黒褐。後翅の各室に黄紋ありて、その黄紋中の小紋は暗色。開張二寸一分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲は笹の葉を食す。  
分布—樺太、北海道、本州、四國、九州。



シロキマダラヒカゲ……………(一四三)

*Neope lacticolora* Fruh.

體翅暗褐。前翅基部は少しく綠色を帯び、外



縁の紋列は黄白、斑紋は黒色と黄白。後翅黄白、翅底及び外縁は暗褐、四角部の縁毛は白色。開張一寸六分内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならざるも、その捕獲困難なり。

分布—臺灣。

ウラキマダラヒカゲ……………(一四四)

*Neope multicolora* Fruh.

二寸四分内外。これは臺灣の高山地帯に産する



同裏面

翅は暗褐、斑紋は暗色、其周囲は淡色、四角部の縁毛は灰黄。裏面は暗灰色、斑紋は暗色。開張

ナガサワエ形 ♀

*f. nagasawae* Mats.

も稀なり。

分布—臺灣、支那。

アリサンキマダラヒカゲ……………(一四五)

*Neope pulchra* Moor.

チチア形 ♀

*f. didia* Fruh.



同裏面

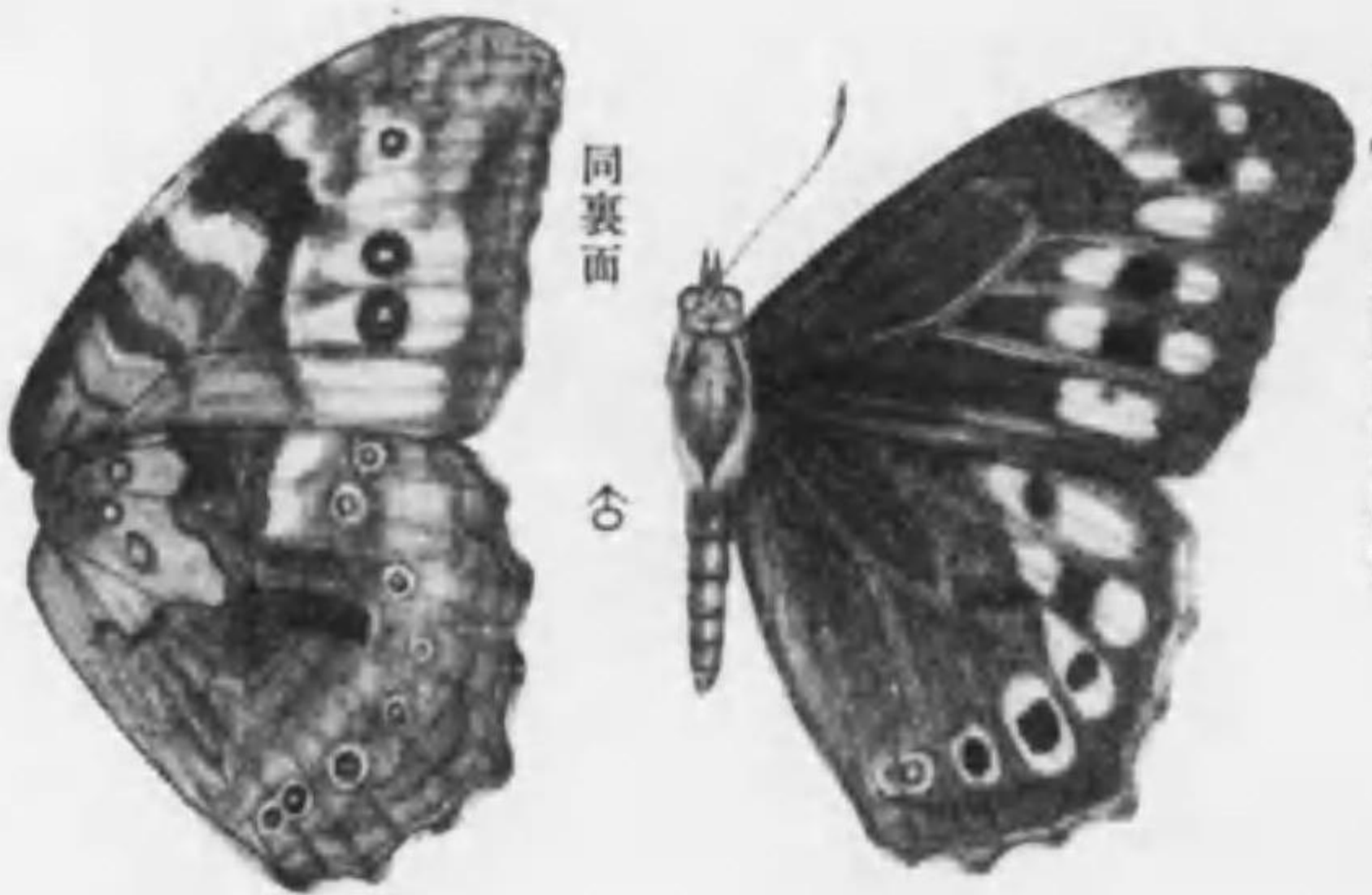
體翅は暗褐。前翅黄紋は小、第二及び第三室の黄紋中の暗色紋は長形。後翅の黄紋中の褐色紋は大形、

其兩側に黄點を有す。開張二寸内外。これは臺灣高山地帯に産すれども稀なり。

分布—臺灣、支那、印度。

ワタナベキマダラヒカゲ……………(一四六)

*Neope watanabei* Mats.



同裏面

♂

體翅は暗色。前翅の黒紋は大にして、黄紋小。後翅の黄紋は小にして、其中にある黒紋は大なり。開張二寸三分。これは臺灣北埔地方に稀ならず。渡邊龜作氏の始めて採集せるものなり。

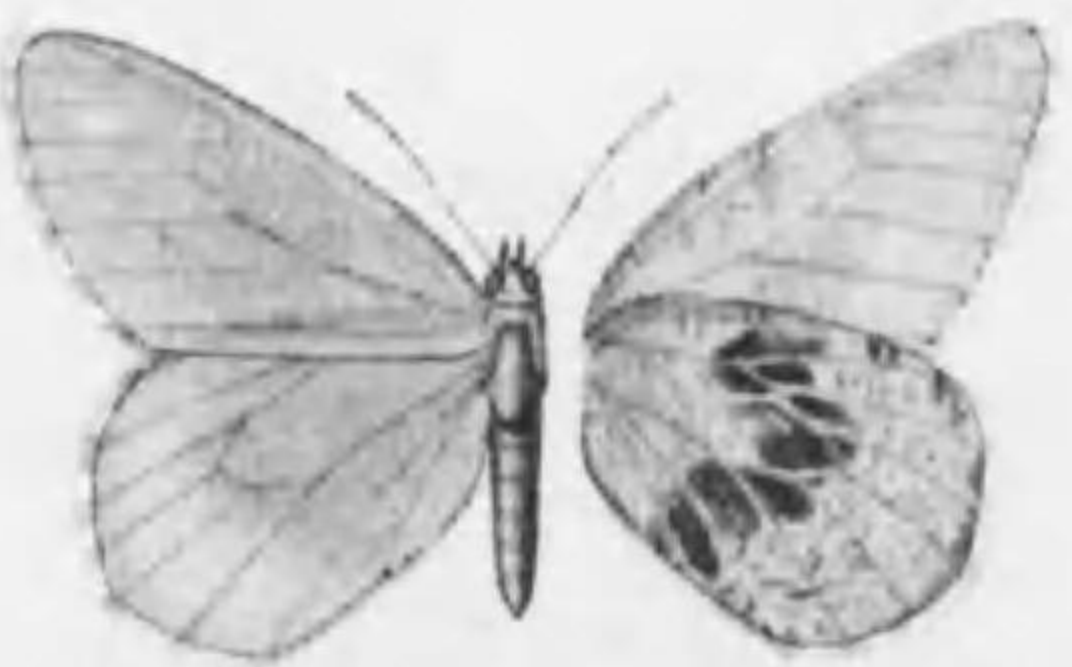
分布—臺灣。

ダイセツタカネヒカゲ……………(一四七)

*Oeneis daisetsuzana* Mats.

翅は暗色、外縁に近き廣帯は暗黄、前翅にては

此中に黒紋列を裝ひ、縁毛は白色と暗色の斑をなす。開張一寸七分内外。これは石狩國旭岳(大雪山)にて採集せるものなるが、同山にては普通なり。次ぎの



♂

タカネヒカゲと異なる所は主として雄に性標を缺くにあり。

分布—北海道(大雪山)。

タカネヒカゲ……………(一四八)

サカリネンシス形 ♀

*f. sakarinensis* Mats.



*Oeneis jutta* Hb.

體翅は灰黄。前翅の前縁は灰白小短線は黒色。紋列は暗黄。後翅の外半は暗黄。兩翅の外縁は暗色、縁毛は暗色と灰黄色の斑をなす。開張一寸六分内外。これは信州地方の高山に普通なり。

分布—本州。

附言—これに多數の變形あり。



アサマナ形 ♀

*f. asamanna* Mats.



同裏面

ヤザワエー形 ♀ *f. yuzawae Mats.*



同裏面



朝鮮、滿洲、支那、アムール。附言—この變形に別種と思はるゝものあり。  
キンジャノメ……………(一五〇)

*Palaemonia opalina Butl.*

體翅は褐色。前翅中室外の一帯は濃色、眼狀紋内は銀色の二點を具へ、其外圍は金色、波狀帯は濃色。後翅の紋條は前翅に同じ。開張一寸七分内外。これは臺灣の高山地帯に産すれども稀なり。

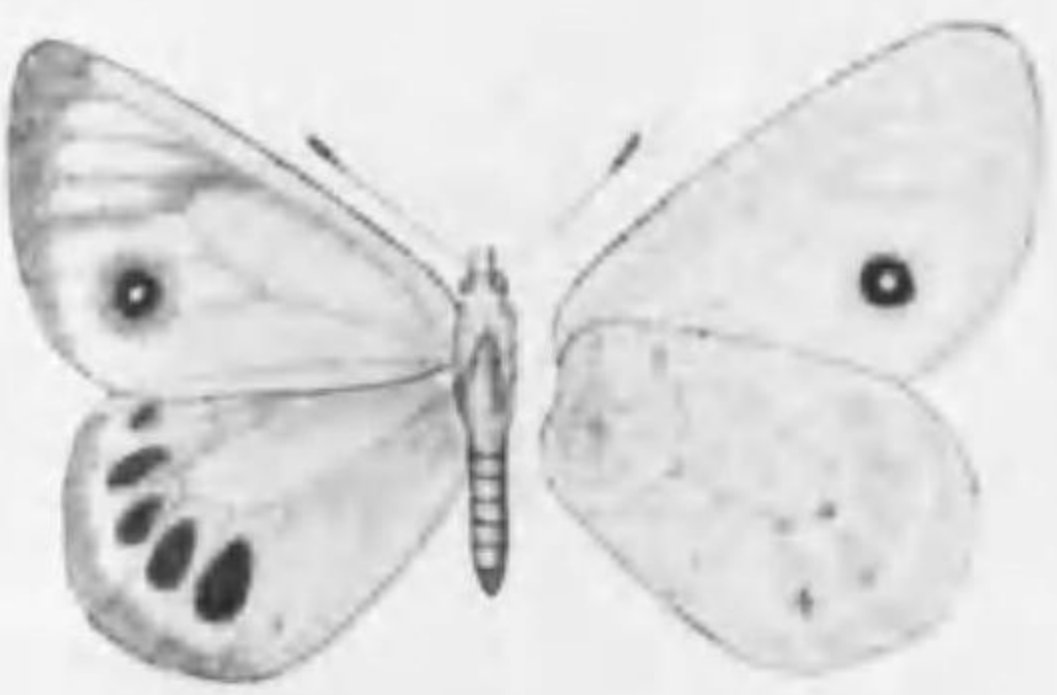


ワルキリア形 ♂ *f. walleyia Fx.*

マツクロフタルマ形 *macrophthalma Erhn.*

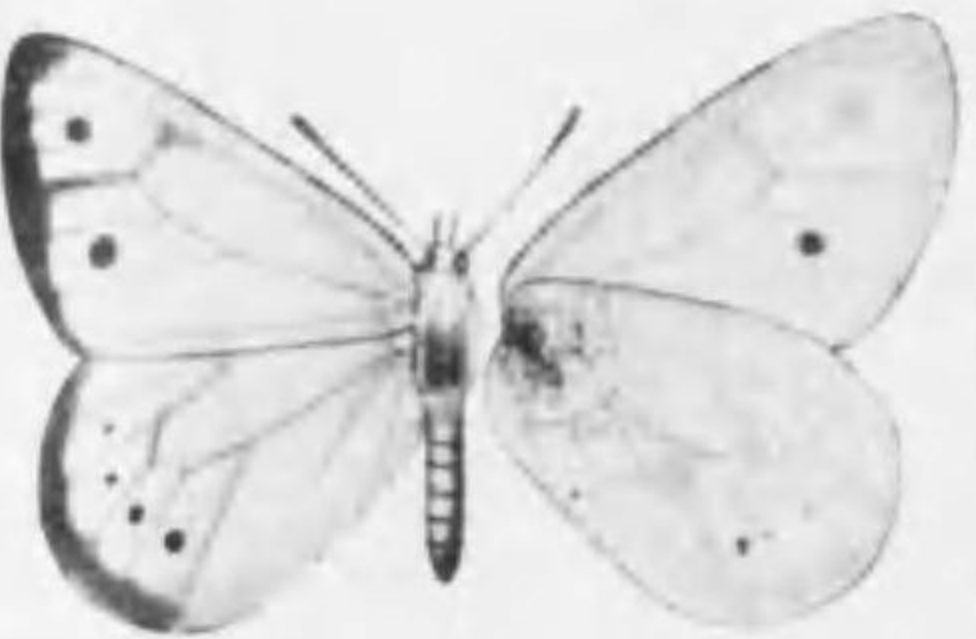


狀紋は何れも白點を有す。開張一寸七分内外。これは朝鮮地方に産する普通種にして、變化多シヨウニス形 ♂ *f. shonis Mats.*



テウセンタカネヒカゲ……………(一四九)

*Oeneis nana Mén.* 翅は黄褐、翅底の半部及び外縁暗色を帯び、眼オカモトウニス形 ♂ *f. okamotois Mats.* コレアーナ形 ♂ *f. coreana Mats.*



同裏面

洞、支那、チベット。



*Panurge dolabaria Ev.*

エレビナ形 ♂ *f. erebina Butl.*



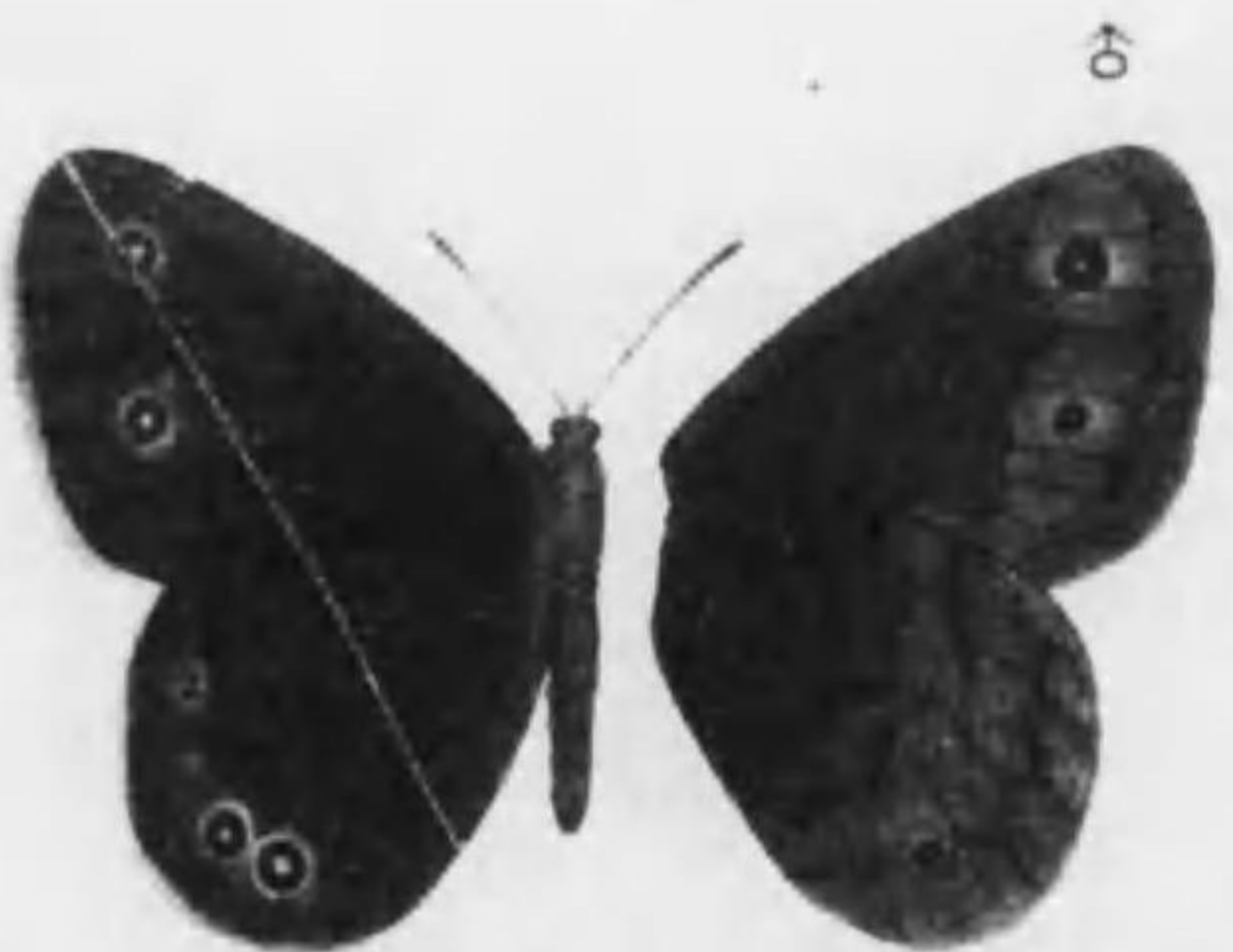
體翅は暗色。前翅の第五室に黒色の眼狀紋ありて、その内側に白帯を装ふ。後翅眼狀紋の中央に白點あり。開張一寸六分内外。これも前種同様に稀なる種類あり。分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。  
ナミシヤノメ(ジャノメテフ)……………(一五三)

*Pieris japonica Mats.*



ナガサハシヤノメ……………(一五四)

*Satyrus nagsawae Mats.*



翅は暗褐乃至黒褐、眼狀紋は暗色、中央は青白、外縁に近く列然せざる暗色帯あり。開張一寸八分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。分布—日本全土、朝鮮、西比利亞、歐洲。

ウラジヤノメ……………(一五二)

*Panurge aeline Scop.*

アキノイデス形 ♀ *f. achinoides Butl.*



翅は暗色、斑紋は暗黒、其周圍は黄色。前翅の裏面に五個、後翅の裏面に六個の眼狀紋あり。開張一寸四分内外。これは何れの地方にても餘り多からず。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。分布—北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

ツマジロウラジヤノメ……………(一五三)

第六 鱗翅目(蝶亞目)



分佈—臺灣(新高山)。

ワモンウラナミシヤノメ……………(一五)

♀ *Ypthima areolata* Mats.



翅は暗灰色、眼状紋は黒色、其中に藍色點を具ふ。開張一寸二分内外。これは臺灣の高山地帯に産すれども稀なり。

分佈—臺灣。

コウラナミシヤノメ……………(一五六)

♂ *Ypthima haddus* F. *Y. zodiaca* Fruhs.



翅は暗褐、斑紋は黒色、中央に青色點を具へ、此紋の周圍黄色、更に其外側は少しく淡色。裏面に多数暗褐の波状線を襲

同裏面



ふ。開張一寸二分内外。これは臺灣には稀ならず。

分佈—沖縄、臺灣。

ヒメウラナミシヤノメ……………(一五七)

♀ *Ypthima argus* Burtl. *Y. jezoensis* Mats.



翅は暗灰色、眼状紋は黒色、中央の二點は青白、周圍は黄色。開張一寸三分内外。これは何れの地方にも普通なれども、樺太には産せざるが如し。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。

分佈—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

オホウラナミシヤノメ……………(一五六)

♂ *Ypthima conjuncta* Leech



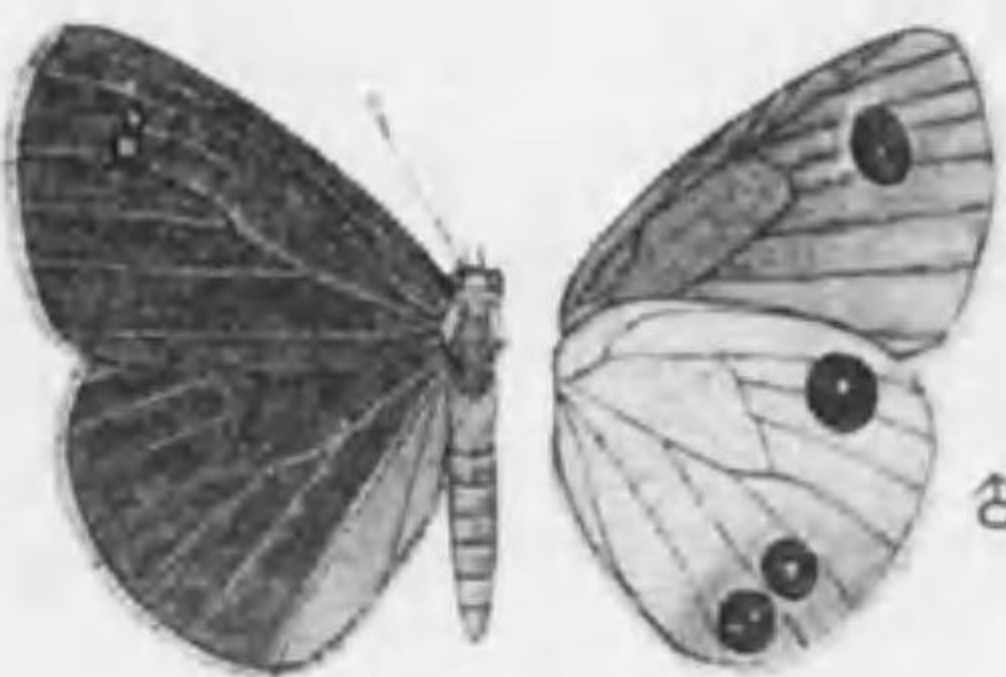
同裏面

これはタイワンウラナミシヤノメよりも大形、眼状紋は楕圓形。後翅には三個の眼状紋を有するによりて區別せらる。裏面にては前翅眼状紋の黄色環の下方幅廣し。後翅には第四室を除き各室に一個の眼状紋を具ふ。開張一寸七分内外。これは臺灣の高山地帯に稀ならず。

分佈—臺灣、支那。

ナガウラナミシヤノメ……………(一五九)

♂ *Ypthima elongata* Mats.



これはウラナミシヤノメに酷似すれどもその異なる所は左の如し、前翅の末端に二眼状紋を具へ、縁毛は翅と同色、後翅には一眼状紋を装ひ、前翅の眼状紋は楕圓形にして長く、前角に近き眼状紋は前翅のものより大、圓形、肛角に二眼状紋ありて、同大。體長一寸五分。これは朝鮮に産すれども稀なるが如し。

分佈—朝鮮。

ウラナミシヤノメ……………(一六〇)

♂ *Ypthima notschulskyi* Brein. et Grey

これはヒメウラナミシヤノメに酷似すれども、後翅に眼状紋一個を有すること、前翅裏面の眼状紋の大形にして、後翅裏面に三個の眼状紋を

♀



有することに依り區別せらる。開張一寸四分内外。これは北海道に産せざるも、中國には普通なり。

分佈—本州、九州、臺灣、朝鮮、支那、西比利亞。

タイワンウラナミシヤノメ……………(一六一)

♀ *Ypthima multistrata* Burtl.



これはウラナミシヤノメに酷似すれども、前翅眼状紋は大形、周圍の黄色帯は幅廣く、外半は淡色濃色帯は不明、後翅の縁毛の白色なること等によりて區別せらる。開張一寸四分内外。こ

同裏面



これは臺灣にては何れの地方にも普通なり。幼蟲は禾本科植物の葉を食す。

分佈—臺灣。

タカムクウラナミシヤノメ……………(一六一)

♂ *Ypthima perfecta* Leech



同裏面

翅暗色、外半は淡色、斑紋は黒色、縁毛は灰白。裏面は暗灰色、波状線は暗色、眼状紋内の二點は藍色、後翅は灰色。開張一寸四分内外。これは臺灣の高



山地帯に普通なり。  
分布 臺灣、支那。

ムモンウラナミジヤノメ……………(一六三)

*Ypthima postrealis Mats. (minuta Mats.)*

これはタイワンウラナミジヤノメとは後翅の眼状紋を缺くことに依りて區別せらる。開張一寸内外。これは臺灣の高山地帯に發見せられたるも稀なり。

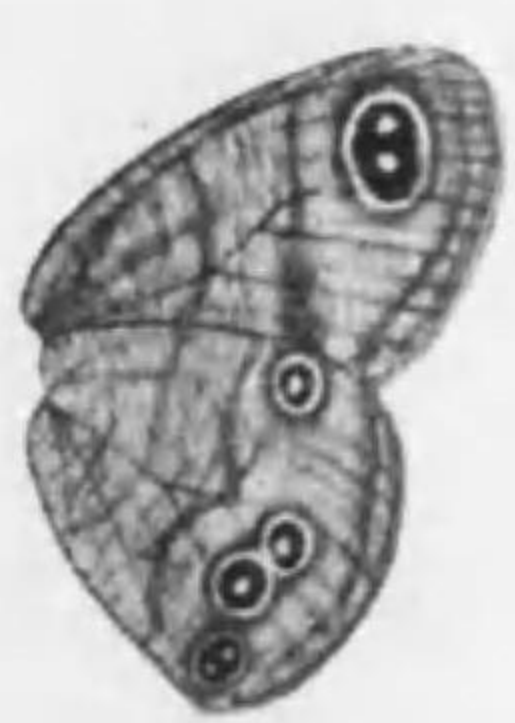


同裏面

分布 臺灣。

カノウラナミジヤノメ……………(一六四)

*Ypthima praenobilis Leech*  
翅は暗褐。前翅の翅端紋は大、二藍色點あり。後翅に三個の眼状紋ありて、中央にあるものは大。裏面は灰白、少しく紫色を帯び、波状線は帯状をなさず、後縁の中央に横状の暗色紋

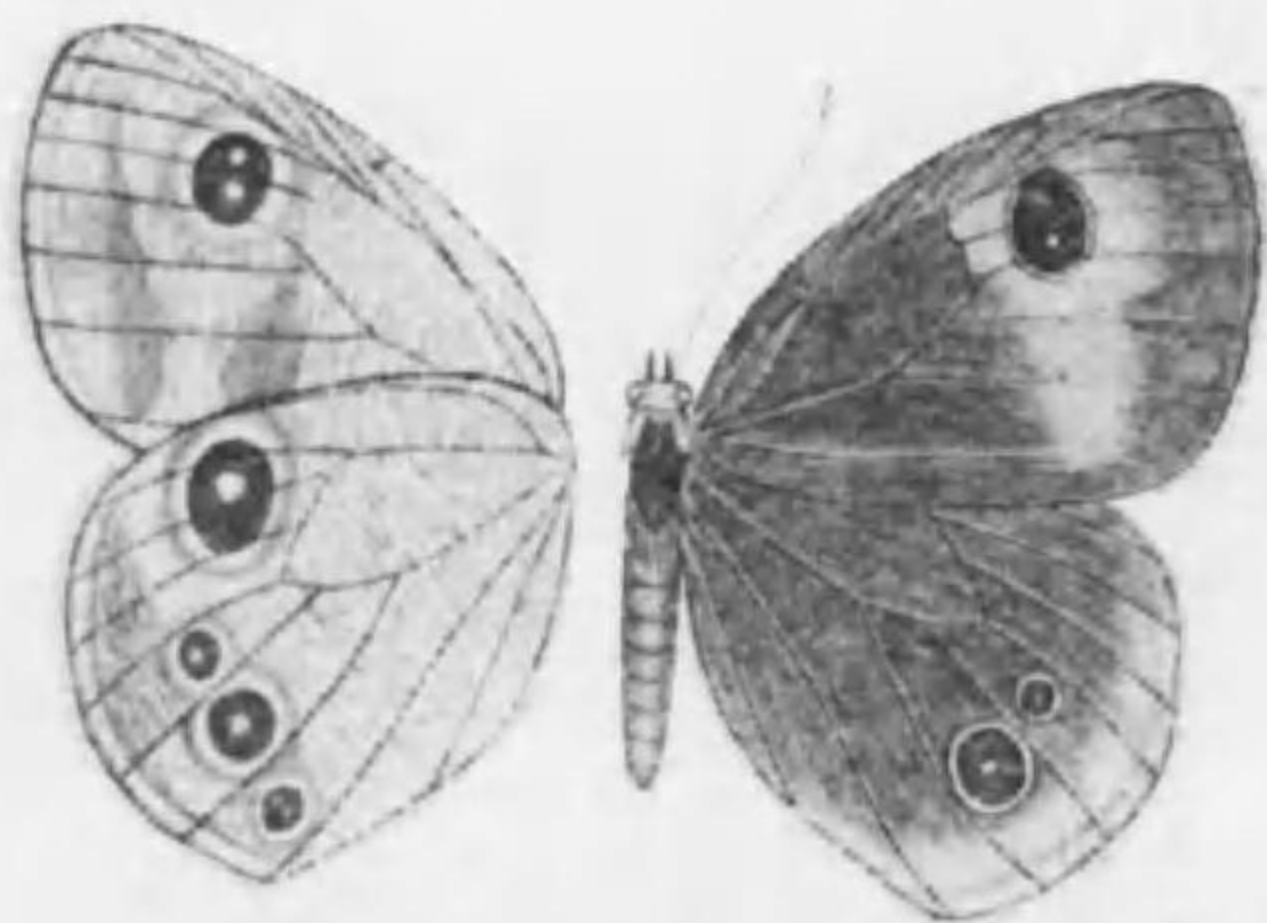


同裏面

る方なり。  
分布 臺灣。

裏面には濃色帯及眼状紋あり。開張一寸五分内外。これは臺灣達邦社にて發見せるを以て斯く命名せり。稀なり。

カノウニス形 ♀ *F. kanonis Mats.*



あり、後翅の肛角に三眼状紋ありて、内側紋は二藍色點を有す。開張一寸七分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。  
分布 臺灣、支那。

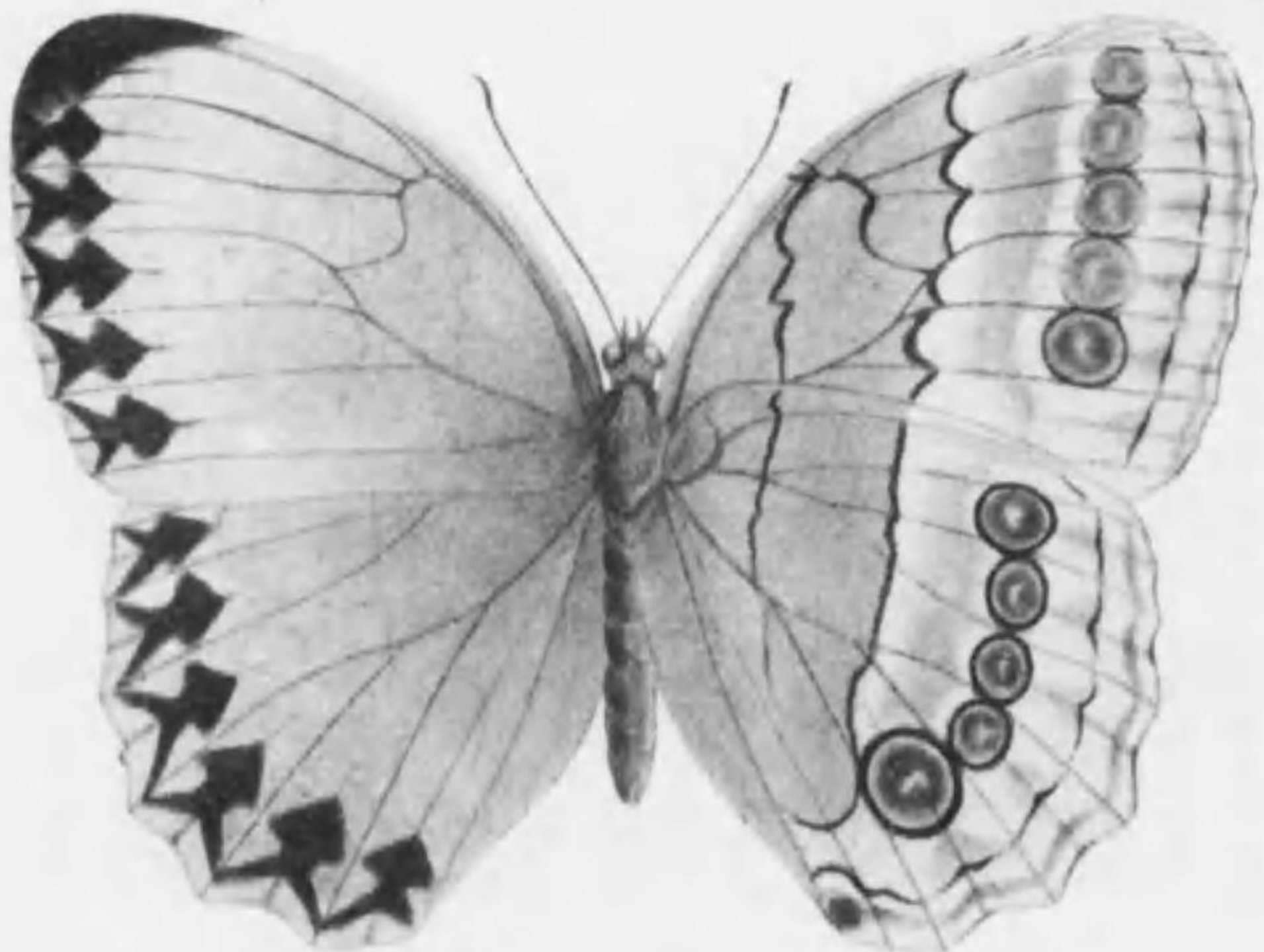
リウキウウラナミジヤノメ……………(一六五)

*Ypthima riuiana Mats.*

翅は暗灰色、眼状紋は黒色。後翅裏面の大部は灰色にして、少しく青色を帯び、前縁及び外縁は暗色、後縁角に暗色の一帯あり。開張一寸六分内外。これは沖縄地方に産すれども稀なり。  
分布 沖縄。

五 環紋蝶科 *Amathusiidae*

フォルモサーナ形 ♀ *F. formosana Fruha.*

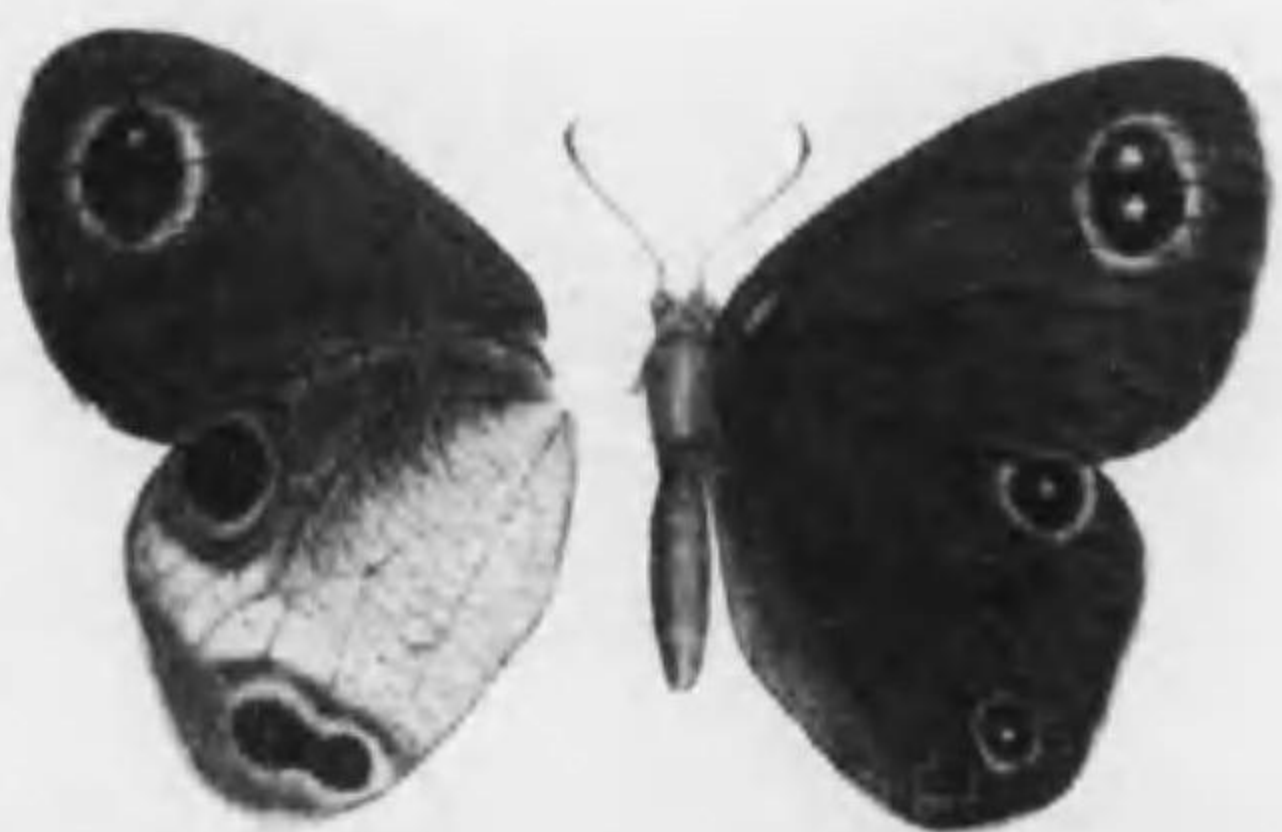


これは蛇目蝶科に似れども、前翅前縁の基部は肥大せず。觸角は細長、細き棍棒状を呈す。雄の前肢は退化す。前翅の中室は閉塞し、後翅のものは開口す。これは大形の種類にして、蛇目蝶の如く大なる眼状紋を有す。幼蟲は圓筒形にして、短毛を裝ひ、尾端には叉状突起を出し、頭には二個の角状突起あり。蛹は垂蛹なり。本邦に産するもの一種あり。

ワモンテフ……………(一六七)

*Stichophthalma howqua West.*

暗黄、外縁淡色、稜状紋列及び弦月形紋は暗褐。開張三寸五分内外。これは臺灣の高山地帯に産すれども、その數多からず。多くは笹藪の間を飛行するを以て、その捕獲困難なり。  
分布 臺灣、支那。



♀

タツバンウラナミジヤノメ……………(一六六)

*Ypthima taperna Mats.*

翅暗灰色、淡色のものあり。前翅中央の一帯は濃色、外縁に近き濃色帯は弓状をなし、眼状紋は圓形に近し。



♀



六 蛺蝶科 *Nymphalidae*

前肢は退化して、爪を欠き、前翅に十二脈を具へ、後翅にある第六、七の兩脈は中室より出で、内縁は廣くして、腹部を掩ふ。多くは中形の種類にして、幼蟲は多く分枝せる剛毛若しくは棘刺を有す。蛹は垂蛹なり。日本領土に産するもの百十七種あり。

ラスアカミスチ *Abrota pratti* Leach (二六八)

翅は雄、柿色、斑紋は暗褐、翅端及び外縁は暗フオルモサーナ形 〇 *f. formosana* Friess.



暗褐、帯條灰白、斑紋白色及び暗色。開張二寸三分内外。これは臺灣埔里地方の高原に産すれども、その數多からず。  
〔分佈〕 臺灣、支那。



褐、外縁近くは黄、第一及び第二室に暗色紋あり。雌にては

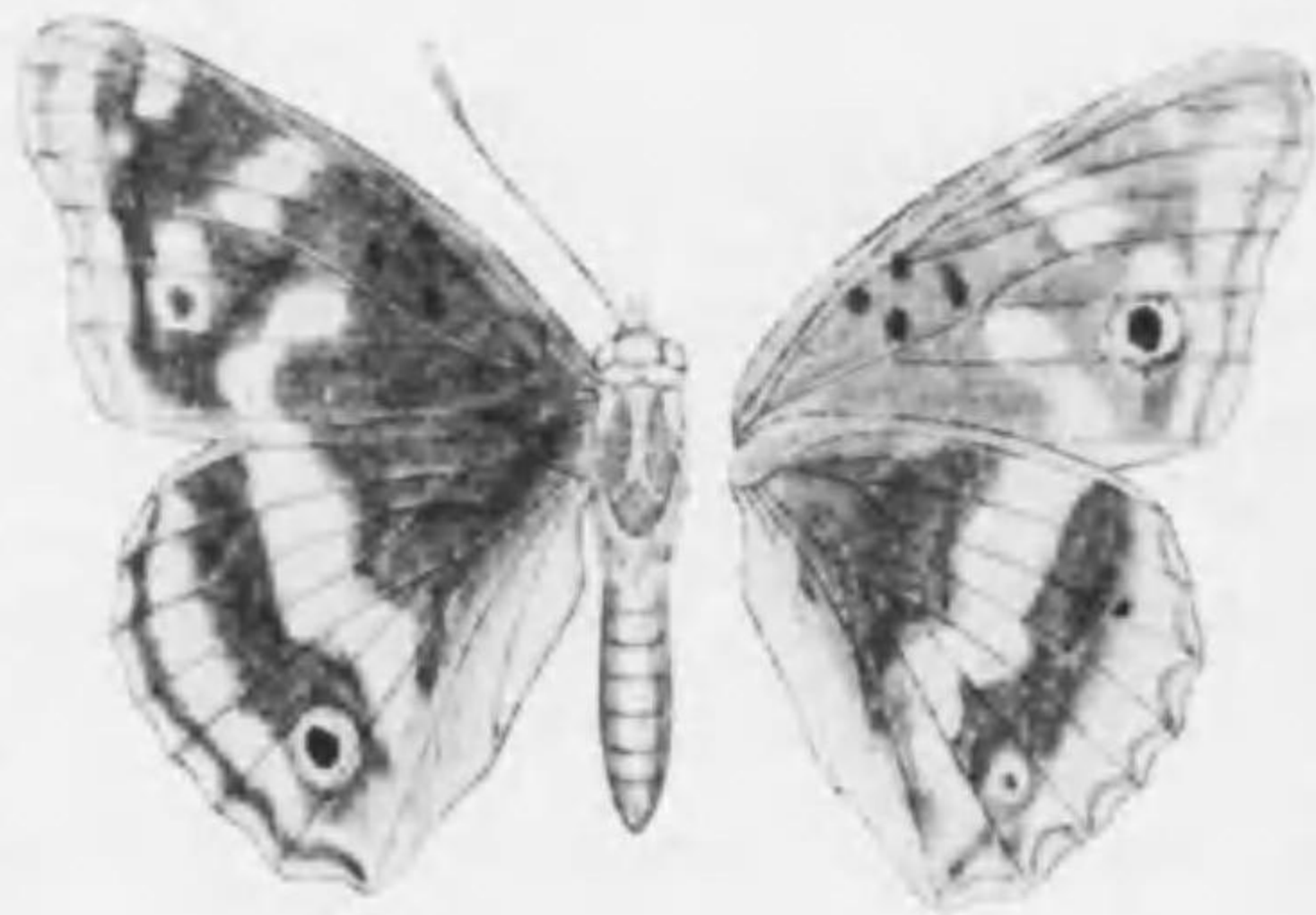
テウセンコムラサキ *Apatura here* Feld. (二六九)

コムラサキに酷似すれども、その異なる要點は、後翅の外縁に近く黒色の一紋列を列ぬるにあり、尙、前翅の中央帯及び外縁の前縁に近き三紋は白色。開張三寸—二寸二分。これは朝鮮には稀ならず。  
〔分佈〕 朝鮮、支那、滿洲。

*Apatura here* Feld.

ウスグロコムラサキ *E. takanonis* Mats. (二七一)

他黒褐及び黒色の斑紋を披ひ、光線の具合に依り、紫色を現はす。開張二寸二分内外。これは本邦何れの地にも普通なり。幼蟲はヤナギ、ドロノキの葉を食す。  
〔分佈〕 日本全土、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。



タカノニス形 〇 *f. takanonis* Mats.

シロオビコムラサキ *Apatura nycteis* Mén. (二七二)

コムラサキと異なる所は、暗色にして、黄色部を欠き、前翅の各室に一白紋を具へ、第六室には二紋あり、第二室の黒紋の外側は橙黄色、後翅の外縁に近く黄色の一紋列ありて、雌にては灰白、中央帯は白色。開張二寸二分—二寸四分。これは岐阜地方に稀ならず。  
〔分佈〕 本州、九州、朝鮮、滿洲、歐洲。

*Apatura nycteis* Mén.



翅は暗褐、前翅中室の縦條は灰色、紋列は白色。裏面は紫褐色、表翅の白紋に對する部分は白色、眞珠様の光澤あり。一見ナガサキイチモンジに似たり。開張二寸三分内外。これは朝鮮



コムラサキ *Apatura here* Feld. (二七〇)

スブスチツタータ形 〇 *f. substituta* Hntl. *Apatura* *hla* *Se-* *hiff.* *et* *Den.* 翅は黒褐、中室及び斑紋は柿色の

に産すれども少なし。幼蟲は暗緑、ヤナギの葉を食す。  
〔分佈〕 朝鮮、滿洲。

アサクラコムラサキ *Apatura* (二七三)



同裏面





*Aythya plesseii* Eruls.

翅黒褐、前翅の中帯は白色、斑紋は白色及び灰白。裏面は青白色、白帯の内側は黒線を装ひ、外側は黄色にして、これに黒紋列あり。開張一寸八分内外。これは臺灣の埔里地方に産すれども少なし。

分布 臺灣。

シロモンコムラサキ……………(一七四)

*Aythya schrenkii* Men.

翅暗色、少しく藍色を帯び、紋列は白色、弦月

♀



紋は黄色、後翅中央の二紋及び後翅の外縁に近

き紋列は青白。開張二寸九分内外。これは朝鮮

地方に産すれども少なし。

分布 朝鮮、滿洲。

タイワンコムラサキ……………(一七五)

*Aythya taiwanensis* Doh.

翅は柿色、紋條及び外縁は暗色。雌は暗褐、少しく紫色を帯び、翅底の半部は綠色、中帯は白色、斑紋は白色、暗色及び黄色なり。開張二寸二分内外。これは臺灣埔里地方の高原には少なからず。

分布 臺灣、支那、印度。

クリソローラ形 ♀ プセウドパラス形 ♂  
*E. chrysolora* Eruls. *E. pseudopalas* Eruls.



ウラキンヘウモン……………(一七六)

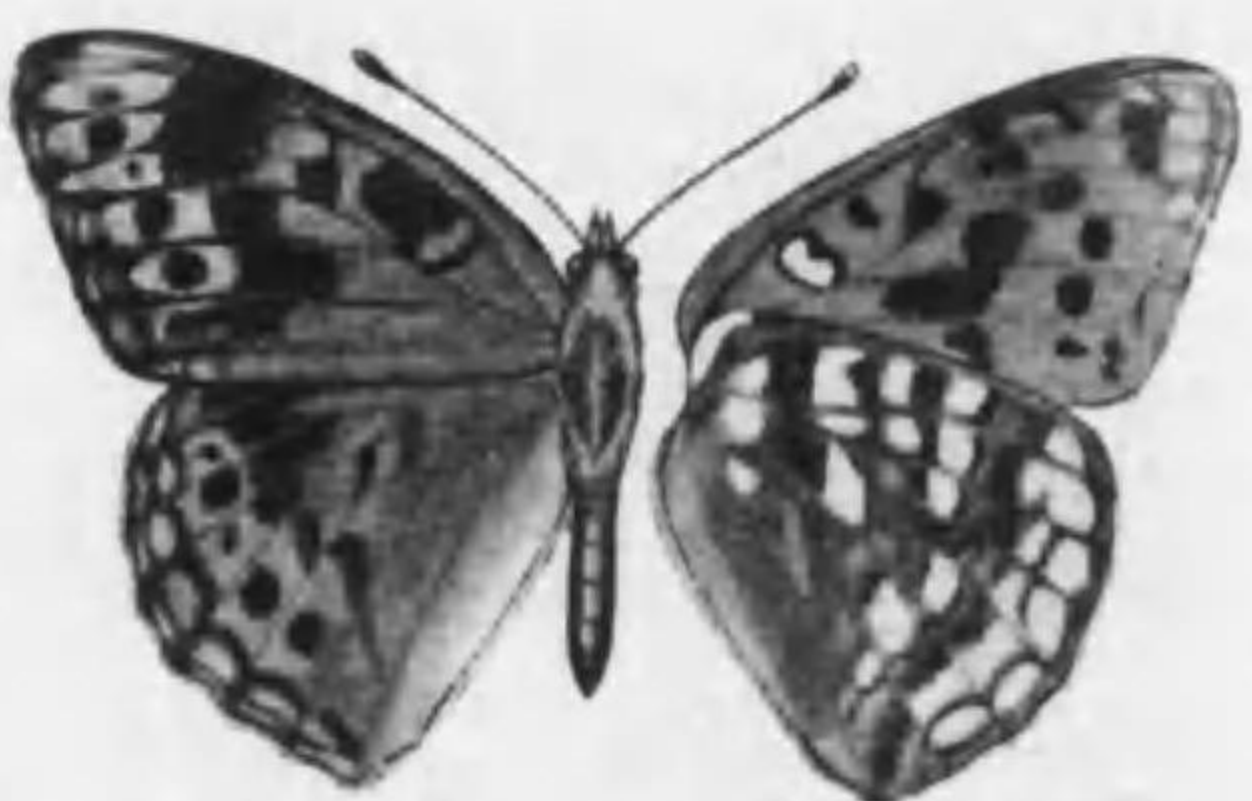


パレスンス形 ♀  
*E. pallescens* Brull.

*Argynnis adippe*

翅は柿色、斑紋は黒色、後翅外縁の紋列は

シリヤーナ形 ♂  
*E. shirayana* Kono



形小にして、後翅外縁の黒紋列は常に弦月形を呈し、相接せざるにあり。

キンボシヘウモン……………(一七七)

*Argynnis asahata* Iv.

翅は柿色、斑紋は黒色。後翅裏面の大半は暗線にして、銀色紋を散在す。開張一寸九分内外。これは最も普通なる豹紋蝶にして、幼蟲はスミ

フォルチニナ形 ♀  
*E. fortunei* Jans.



レの葉を食す。

分布 樺太、北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

ミヤケヘウモン……………(一七八)

*Argynnis amathusia* Esq.

翅は柿色、斑紋黒褐、外縁に判然せる一の双黒

ミヤケイ形 ♀  
*E. miyakei* Matu.



同裏面

クモカタヘウモン……………(一七九)

*Argynnis anadyomene* Feld.

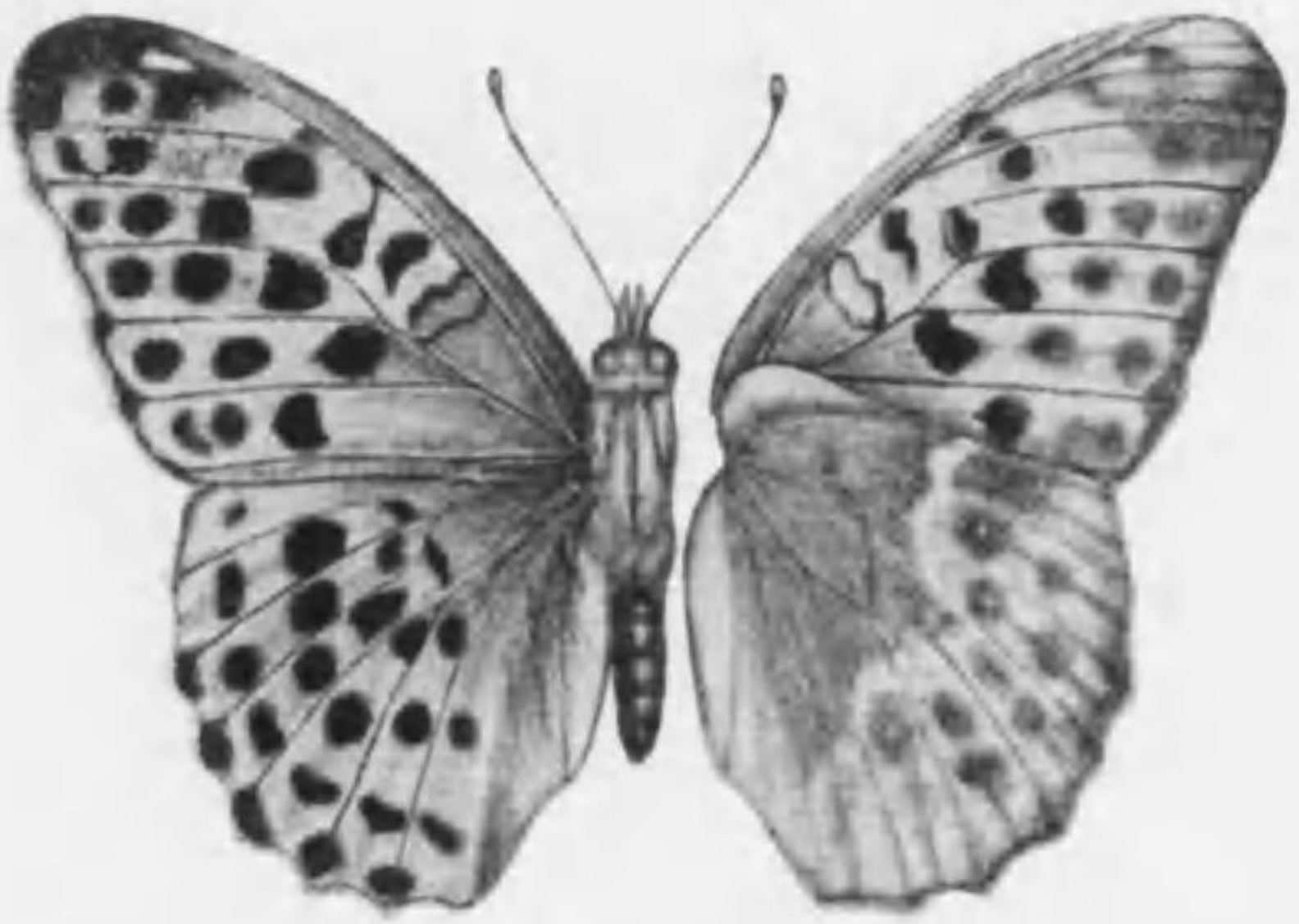
翅は雌にては黄色、少しく綠色を帯び、斑紋は黒色及び白色。雄にては橙黄色、斑紋は黒色にして、互に相分離し、癒合するものなし。開張二寸五分内外。これは札幌地方に産すれども少なし。

分布 日本全土、朝鮮、支那。

附言 これは後翅の裏面に判然せる斑紋を有せざるを以て、容易に區別し得べし。



パラソイドス形 ♀ *Parasoides Erubis*.



アサヒヘウモン *Argynnis asahihikona Mats.* (一八〇)

翅は赤黒、斑紋及び後翅底の大黒帯、雄の蝶

♂



カラフトヘウモン *Argynnis euphrosyne L.* (一八一)

翅は赤黒、斑紋は黒色、外縁は廣く暗色。後翅

の翅底及び中央の紋列は淡黄褐、但し横脈の内

サカリネンシス形 ♀

*f. sachalinensis Mats.*

色、外縁に近く小

形の黒紋列あり

て、その中點は銀

色。開張一寸七分

内外。これは北海

道には少しと雖

ども、樺太には少

なからず。

♂ 樺太、北海

同裏面



ナミヘウモン

*Argynnis*

*nippon*

*Schiff.*

(一八二)

これはコヘウ

モンテフに

酷似すれど

も、その異な

る所は、形大

にして、前翅

は延長し、外

縁は一層傾斜

し、後縁角に

て廣き角をな

し、色は淡

色、黒紋は一

層近接せる傾

きあり。後翅

裏面の基部の

黄色紋太く、

殊に第一室に

*f. palaua Burd.*

ラブチイア形

黄色紋太く、

殊に第一室に

するも、北國には産せず。幼蟲はスミレの葉を

食す。

♂



コヘウモン *Argynnis ino Kollt.* (一八五)

翅は赤黄、黒紋を散在し、前翅の中室にヨ字形

の黒紋あり。後翅の外縁は黒色。開張一寸三分

分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、

馬來、印度。

ハクトウヘウモン *Argynnis hakutozana Mats.* (一八三)

翅は赤褐色、斑紋は黒色、縁毛及び脈の終點は

白色。これはヒメカラフトヘウモンに酷似すれ

ども、その異なる所

は、黒紋は小、雄の

外縁に波狀帶あり

て、第三室にあるも

のは高く、雌にては

稍々三角形をなす。

裏面にては中室の第

二紋は長く、後翅の

基部には三銀色紋を

裝ふ。開張一寸五分

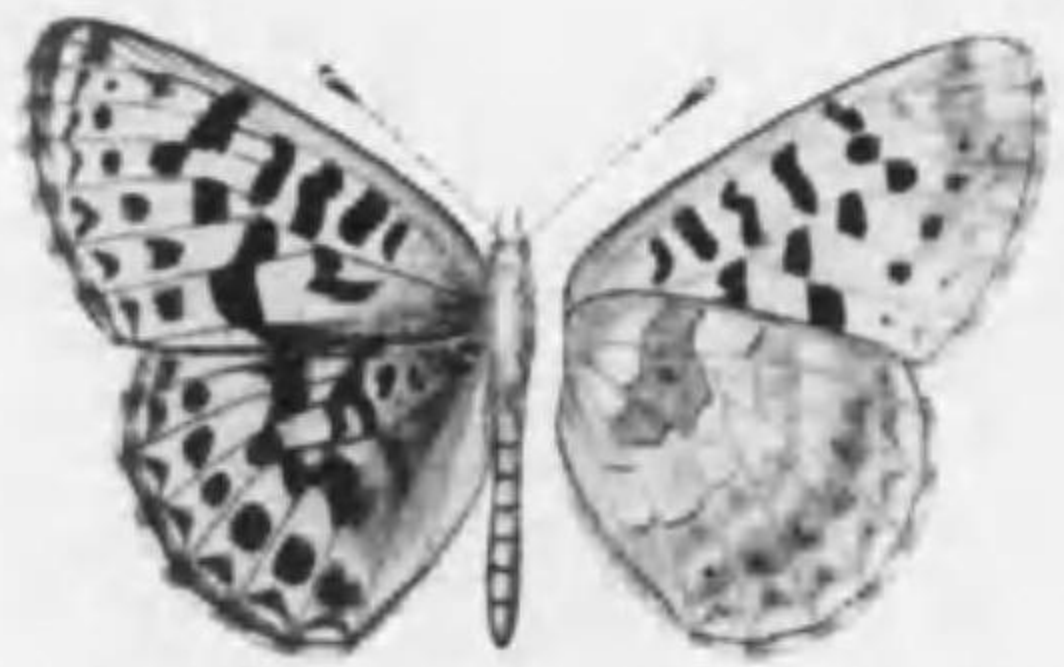
内外。これは白頭山

にて發見せられたる

ものなるが稀なるが

如し。

分布 朝鮮。



ツマグロヘウモン *Argynnis hyperbicus Joh. M.* (一八四)

翅は黄赤、黒紋を散在し、後翅の外縁は黒色、

弦月紋は灰白。雌にては翅端は黒色、中央の大

紋は白色。開張二寸四分内外。これは暖國に産

サガダ形 ♀ *f. sagaha Erubis.*





チグロイデス形 ♂ *T. tigrifolus* Fruhs.



りて區別し得べし。

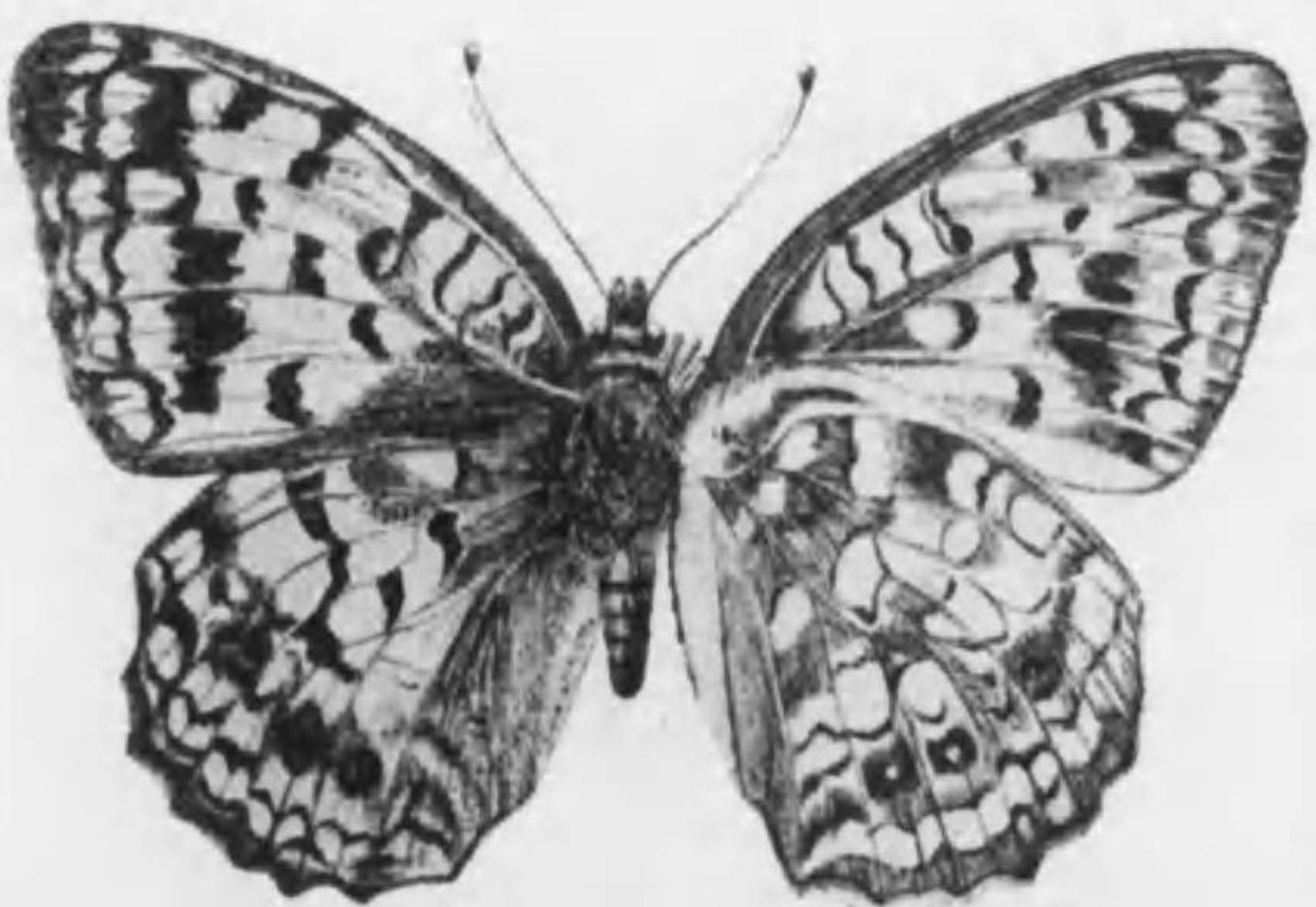
ウラギンスチヘウモン……………(二八六)

*Argynnis hodie* Pall.

オホウラギンスチヘウモンに酷似すれども、形は小、前翅裏面の前縁角は地色と同色、後翅裏面の翅底大半は黄色、前翅前縁角の廣きこと等に依りて區別せらる。開張一寸九分内外。これは何れの地方にも少なからず。幼蟲はスミレの葉を食す。

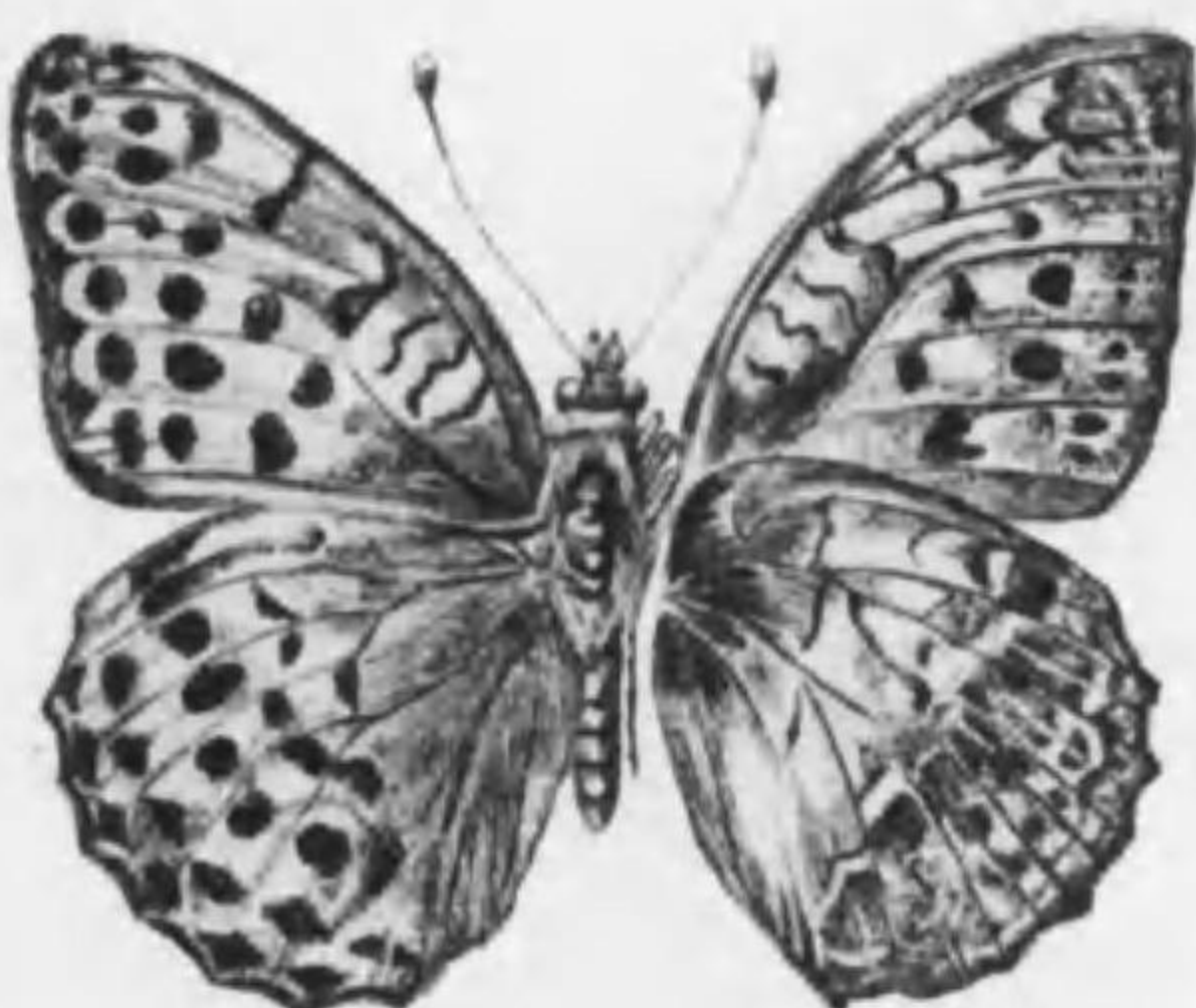
分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、歐洲。

クロロチス形 ♀ *T. chlorotis* Fruhs.



分布—樺太、日本全土、朝鮮、支那、アムール。

ヤポニカ形 ♀ *T. japonica* Mén.



オホウラギンヘウモン……………(二八七)

*Argynnis neopie* Feld.

ウラギンヘウモンに酷似すれども、後翅外縁の黒紋はm字形をなす。後翅裏面の外縁に近く褐色帯ありて、第二、三及び五室にある紋の中央は黒色、雌にては第二、三室にあるものは更に其中央に銀點を裝ひ、外縁の銀紋はm字形をなす。開張二寸四分内外。これは高原地帯に少なからず。幼蟲はスミレの葉を食するもの。の如

ヒメヘウモン……………(二八八)

*Argynnis jules* Zschiff.

兩翅は柿色、斑紋及び後翅の基部は黒色。縁毛淡色、脈の終點は黒色。開張一寸二分内外。

分布—樺太。



ネオパレス形 ♂ *T. neopales* Nak.

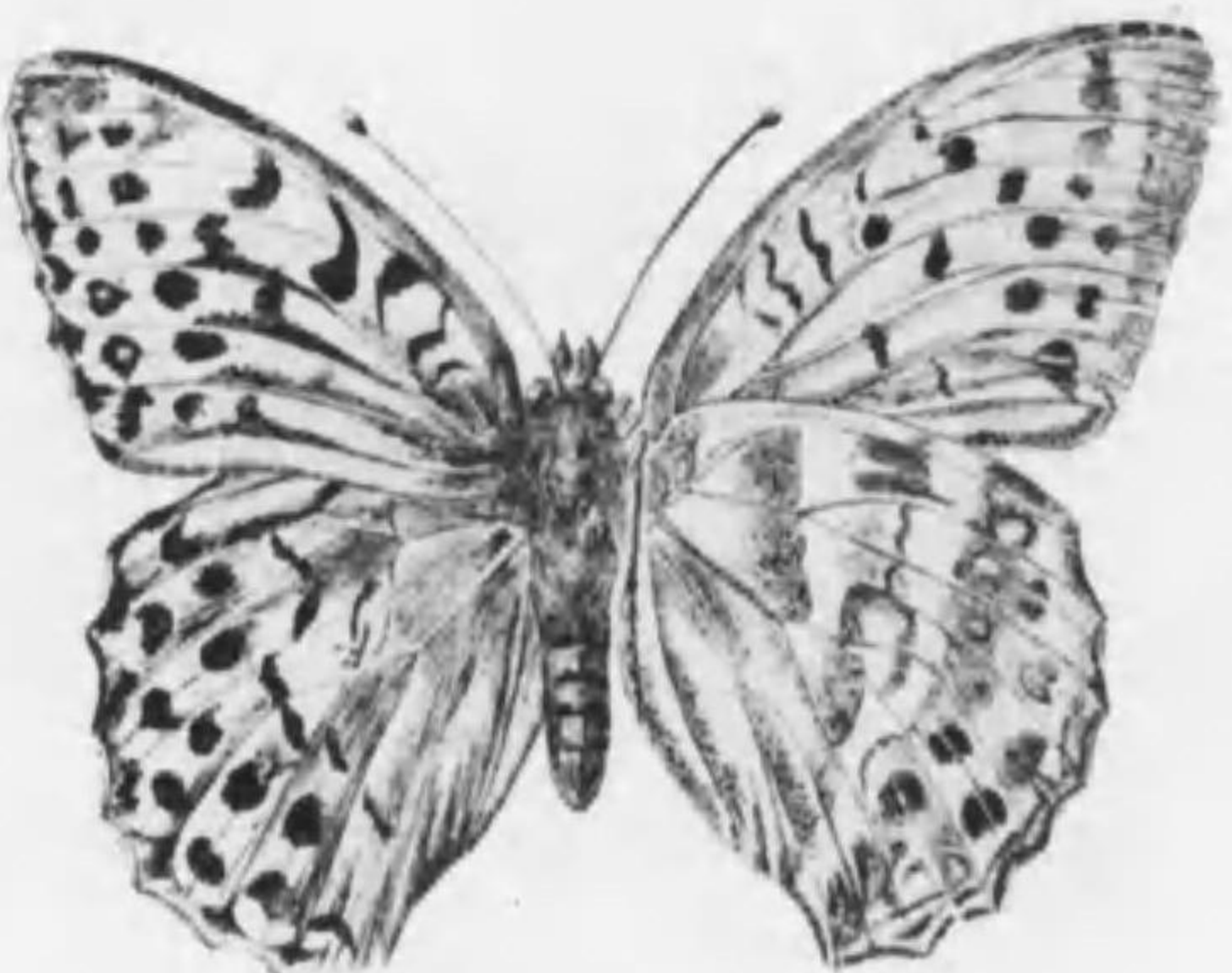
ミドリヘウモン……………(二八九)

*Argynnis taphia* L.

メスグロヘウモンと異なる所は後翅の裏面淡緑、銀色四帯を裝ひ、翅底の六帯は短く、外縁に近く淡緑紋列を具へ、更に雌にては前翅第一、二、三脈に黒條を缺くことに依りて區別せらる。開張二寸一分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲はスミレの葉を食す。

分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞、歐洲。

パフィオイデス形 ♂ (本州産) *T. paphioides* Fruhs.



オホウラギンスチヘウモン……………(二九〇)

*Argynnis rutilans* Motsch.

翅は柿色、黒紋を散在す。前翅第一、二及び第三脈の中央は太く黒色。後翅の裏面に褐色の二帯ありて、外縁の半部は暗褐、其中央に二條褐

ゲキレセンス形 ♀ (樺太産) *T. virescens* Muls.



紋列を具へ、中央には銀色紋の一帯を裝ふ。開張二寸三分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はスミレ、イチゴの葉を食す。

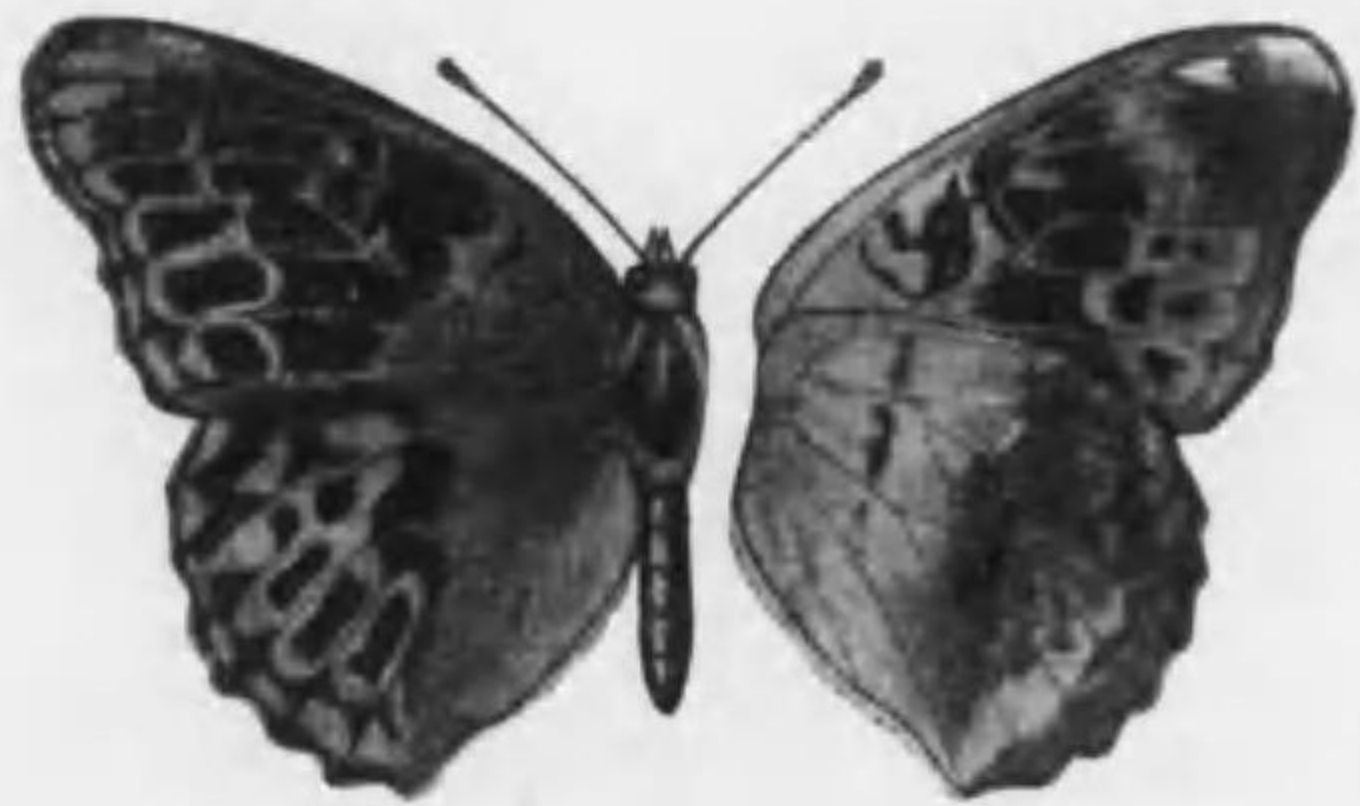
分布—北海道、本州、支那、西比利亞。附言—ウラギンヘウモンに酷似すれども、その



リシツス形 ♀ *f. lysippe Jans.*



サギレンシス形 ♀ *f. sapyrensis Kono*



リアネ形 ♀ *f. liane Fruha.*



異なる所は第一、大形なること、第二、前翅前角の狭きことによつて區別せらる。

メスグロヘウモン *Argynnis selenis Mtl.* (一九二)

翅は暗黒、黒脈、紋列は白色及び黒色、後翅の白

紋列は中央を横走し、その外側に黒色の二紋列あり。雄にては表面ミドリヘウモンの雄に酷似するも、後翅底に一條の黒線を裝ひ、黒色部少なし。雌にては後翅暗緑、帯銀色の斑紋を散在す。雄にては内半淡褐、外半淡褐、中央の銀色帯は餘り判然せず。

チルチオル形 ♂ *f. thulio, Fiss.* チビアーナ形 ♂ *f. chibiana Mats.*



オノレンシス形 ♂ *f. onorenshis Mats.* テウセンシス形 ♂ *f. teusenshis Mats.*



外。これは樺太及び千島に産すれども、その數多からず。幼蟲はスマイレ、イチゴの葉を食す。  
分布 樺太、千島、朝鮮、滿洲、アムール、西比利亞、歐洲。

附言—これはナカギンコヘウモンに似れどもその異なる所は後翅裏面の基部に一帶ありて、これは二個の小なる淡色紋より成り、中央帯は細く、その内に淡色の中室紋を有するにあり。

チビヘウモン *Argynnis selenis Griseb.* (一九三)

翅は赤褐、斑紋は黒色、縁毛は黒色と白色の斑をなす。開張一寸三分内外。これは北樺太に少なからず。  
分布 北樺太、朝鮮。

ヒメカラフトヘウモン *Argynnis thore Hll.* (一九四)

前翅は柿色、斑紋は黒色。カラフトヘウモンに似れども、前翅の外縁に近き紋列は帯狀をなしそれは第六脈の處にて弓狀に彎曲せる事に依りて區別せらる。開張一寸五分内外。これは石狩層雲溪の温泉地帯に普通なり。幼蟲はスマイレの

ナカギンコヘウモン *Argynnis selenis Schlt.* (一九一)

翅は柿色、縁紋は黒色。後翅の基部に黒鱗を密布し、縁毛は淡黄色、脈の終點は黒色。裏面は淡色、後翅に銀色紋を裝ふ。開張一寸三分内





カラフトトリス形 ♀  
*f. karafutonis* Mats.

同裏面



ふ、夏生若くは秋生のものは大部黒褐、中央にて兩翅を通して八字形の白色帯を装ふ、紋條は白色及び柿色。開張一寸二分内外。これは札幌地方に普通なり。幼蟲はイラクサの葉を食す。  
〔分布〕北海道、本州、朝鮮、支那、滿洲。  
附言 ーこれはアカマダラに酷似すれども後翅の外縁に波狀の切目を有し、第四脈は尾狀をなして延長せざることによりて區別せらる。

サカハチテフに酷似すれども、前翅の基部に環狀紋を具へ、y字形紋を缺き、後翅に四角形の大白斑を装ひ、夏生は白色の八字形紋を装へることによりて區別せらる。開張一寸三分内外。これは札幌地方に普通なれども春生は小形にして、早春に現はれるが爲め捕へ損ふことあり。幼蟲はイラクサの葉を食す。  
〔分布〕北海道、本州、滿洲、歐洲。

アカマダラモドキ……………(一九七)  
*Araschnia prorsoides* Blanch.  
レヴァノイデス形 ♂  
*f. levanoides* Blanch.



サカハチテフ……………(一九五)  
*Araschnia hircynia* Hrenn.  
春生のもは黒褐、柿色若くは黄色の斑紋を具す。  
〔分布〕樺太、北海道、朝鮮、滿洲、アムール、歐洲。

アカマダラ……………(一九六)  
*Araschnia levana* L.  
アローサ形(夏生)♂  
*f. propra* L.  
(春生)♀

アカマダラに酷似するも、前翅の黄白帯は後翅のものと同じ直線上に位し、後翅にては其外側に一赤黄帯を具し、其外側に更に太き一弓狀帯を装ふによりて區別せらる。開張一寸三分内外。これは信州追分近傍に産すれども稀なるが如し。  
〔分布〕本州、支那。

ウラベニヘウモンモドキ……………(一九八)  
*Atelia phalaena* Drury



翅は柿色、黒褐紋を散在す。前翅の中央に二個の楕圓環ありて、後方は開口し、横脈紋は前方にて細まる。裏面は少しく淡色、少しく紅紫色を帯び、斑紋は餘り判然せず。開張一寸八分内外。これは香港地方には普通なれども日本には極めて稀なるが如し。幼蟲はトゲイヌツゲの葉を食す。  
〔分布〕九州、沖縄、支那、比律賓、馬來、印度、亞弗利加。

フォルモサーナ形 ♀ *f. formosana* Fruhst.



これは高山地帯に産するものにして、阿里山地方には少なからず。  
〔分布〕臺灣、支那、印度。

フォルモサーナ形 ♂ *f. formosana* Mats.



タイワンキマダラ……………(一九九)  
*Cupha ery-*

翅は黄褐、前翅の前縁角は黒褐、其中央の一紋は黄色、中央は黄色、其中心の斑紋は黒褐。後翅に四波狀線ありて、中央に五個の黒紋を一列に連ぬ開張一寸七分。これは臺灣に普通な

クビワテフ……………(一九九)  
*Callinaga hindia* Moor.

翅黒褐、少しく綠色を帯べる灰白紋を散在す。後翅底の半は灰白、脈は黒褐。頭に褐色毛を有するを以てこの名あり。開張二寸八分内外。こ

ダイトウキスチ……………(二〇〇)  
*Cirrochroa fasciata* Peal.

翅は暗褐、紋條は淡黄。前翅の外縁に黒褐の濃線を具へ、後翅の中央に近く黒紋列を装ふ。開張一寸六分、これは臺灣臺東にて高橋佛吉氏の採集せるものなるが稀なるが如し。





る種類にして、幼蟲はトゲイヌツゲの葉を食す。

分布—臺灣、支那、比律賓、馬來、印度、南洋諸島。

イシガケテフ……………(三〇三)

*Cyrestis thyolamas* Holsst.

翅は白色又は黄白、翅脈黒色。前翅の前角及び

マハラ形 ♂ *E. mabelle* Stoll



外縁は暗色、横線暗色。後翅の中央に鉛色帯を具へ、内縁角黄色にして、黒紋及び鉛色紋を装ふ。開張二寸内外。これは本邦に少なし、然れど臺灣及び沖縄には普通なり。幼蟲はイチジクの葉を食す。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、

馬來、印度。

ゴマダラテフ……………(三〇四)

*Digora japonica* Feld.

翅黒色、少しく緑色を帯び、斑紋は青白、翅底線は白色。後翅外縁の紋列は白色。開張二寸五

♀



分内外。これは何れの地方にも普通なり、然れど高飛するを以て捕獲困難なり。幼蟲はエノキの葉を食す。

分布—日本全土、臺灣、朝鮮、支那。

スミナガシ……………(三〇五)

*Dioeris longicaucasiensis* Holsst.

ネシオテス形 ♂

*E. nesiotus* Fruhs.



翅は暗黒、少しく緑色を帯び、中央は黒色、其他の斑紋は白色。開張二寸二分内外。これは本邦には少なし。幼蟲はアツキの葉を食す。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

イハサキコノハ……………(三〇六)

*Dolichallia bisulcata* Grav.

翅は黄褐、斑紋は黒褐。前翅端及び外縁は黒褐。斑紋は白色及び暗色。後翅は前翅よりも少しく暗色を帯び、肛角に白毛を装ふ。開張二寸四分内外。これは沖縄石垣島にて岩崎卓彌氏の發見せるものなるが稀なり。

分布—沖縄、支那、比律賓、馬來、印度。

イワサキイー形 ♀ *Iwasaki* Mats.



ワイツマンニ一形 ♂ *E. weismanni* Fruhs.



フタヲテフ……………(三〇七)

*Eriboea eudampis* Dtl.

翅は黒褐、紋列は黄白及び白色。後翅黄白、弦月紋列は藍色。裏面の黄褐帯は細くして、銀色の紋條を装ふ。開張二寸八分内外。これは臺灣には稀ならざれども、飛翔迅速なるを以てその捕獲困難なり。幼蟲はネムノキの葉を食す。

分布—臺灣。

ワオルモサーナ形 ♀ *E. formosana* Kerschsch.





カバタテハ ..... (107)

*Ergolis arkaloe* L.

♀



翅は褐色、波状線及び環状紋は黒。前翅前縁の末端紋は白色。開張一寸八分内外。これは臺灣に稀ならず。幼蟲は黄麻の如き纖維植物の葉を食す。  
分布 臺灣、支那、比律賓、馬來、印度、南洋諸島。

メガツリタ形 ♂ *f. megalantata* Eruls.



に馬糞上に目撃し得べし。幼蟲は不明。  
分布 臺灣、支那。

*Pathalia phemius* Lal.

♀



ヒメフタヲテフ ..... (108)

*Erhoba harenna* Hew.

翅は黄白、紋列は黄白。後翅の外縁に近く小黑紋列を具へ、尾状突起は黒色、中軸に沿ひ藍色部あり、内縁角は黄褐、其内側の二黒紋の周圍は藍色、内側は黒褐、紋列は暗灰色。開張二寸三分内外。これは前種と同様の性質を有し、時

タカサゴイチモンジ ..... (109)

*Pathalia formosana* Eruls.

翅は帯緑暗色。前翅の中帯黄白、雄にては白色、楕圓紋暗黒、第五乃至第八室に白紋ありて、其下方の一帯及び斑紋は暗黒。開張三寸三分内外。これは臺灣の高山地帯に發見せらるも、その数少なし。  
分布 臺灣。

♂



翅は暗色、中帯及び斑紋は白色。裏面暗黄。ダイトウイチモンジに類似す。開張二寸五分内

コウゼンボトナ形 ♀ *f. kosenbotona* Eruls.



♀



外。これは沖縄石垣島に始めて發見せられたれども、極めて稀なるが如し。比島に普通なり。  
分布 沖縄、支那、比律賓、印度。

稀ならず。高山地帯に發見せらる。  
分布 臺灣、支那、印度。

ダイトウイチモンジ ..... (111)

*Pathalia schadowii* Moor.

翅は暗褐、少しく綠色を帯ぶ。環状紋は暗黒、中帯は白色、外縁の一帯は淡色、斑紋は白色及び灰色。後翅前縁は紺色を帯び、中室の短線は黒色。開張三寸内外。これは臺灣臺東地方には

ホリシヤイチモンジ ..... (112)

*Pathalia shiohira* Eruls.

翅は暗黒、少しく綠色を帯び、斑紋暗黄、第一室の弓状線黒色、波状線は暗色及び黒色。開張二寸五分内外。これは埔里地方の高山地帯に稀ならず。  
分布 臺灣。

シロタテハ ..... (113)

*Halcyra hemina* Hew.

タカムクイ形 ♂ *f. takamukui* Mats.



♀





翅は白色。前翅端は黒色、第五、六室に白紋、横脈上に黒紋あり、其下方の紋は黒色。後翅各室の紋も黒色。開張二寸二分内外。著者は埔里バイバラ地方にて其數頭を捕獲せり。稀ならざるが如し。

分布 臺灣、支那、印度、漆洲。

アカホシゴマダラ.....(三二四)

*Heschna asinthus* L.

翅は黒色、紋條は青白。後翅の第一室より第四室に至る迄、各一個の紅色紋を裝ふ。開張二寸



七分内外。これは沖繩及び臺灣に稀ならず。

分布 沖繩、臺灣、支那、チベット。

ヤエヤマムラサキ.....(三二五)

*Hypolimnys antelope* Graven.

翅は紫褐色、外縁の紋列は白色、外縁線は黒色にして、波状をなし、縁毛の凹陥部は白色、雄フアルケス形 ♀ *f. pulchra* Erhns.



にては紋列青白色、全翅紫色を帯び、光線の具合に依り變色す。開張二寸五分内外。これは沖繩石垣島に發見せられたれども稀なり。南洋パラウにも發見せらる。

分布 沖繩、支那、比律賓、南洋、瓜哇

リウキウムラサキ.....(三二六)

*Hypolimnys lojina* L.

インオルナータ形 ♀ *f. inornata* Mats.



翅は柿色、斑紋は暗褐。後翅各室の紋列は黒色。開張二寸内外。これは南洋パラウ地方には少なからず。

分布 南洋諸島、比律賓、支那、瓜哇、印度、漆洲。

コノハテフ.....(三二九)

*Kallima inachus* Boisdu.

前翅の三分の一及び後翅は黒藍色。中央の斜帯は柿色、其内側は黒色、斑紋は白色、少しく青アケエリフオリア形 ♀ *f. acerifolia* Erhns.



はスベリヒユの葉を食す。

分布 九州、沖繩、臺灣、支那、比律賓、馬來、印度。

ヨナガタテハ.....(三二八)

エギスチナ形 ♀

*f. egistina*

Quos



Issoria  
sinha  
Koll.

味を帯ぶ。後翅の外縁に鋸齒狀の黒色帯あり。開張二寸六分内外。これは沖繩及び臺灣に少なからず。幼蟲はオホケダテ、リウキウアキの葉

翅は紫黒色、斑紋は白色。後翅斑紋の周圍は青紫色。雌にては前翅に多數の白紋を散在し、後翅中央の白紋を缺き、外縁の紋列は白色。開張二寸七分内外。これは半熱帯の何れの地方にも普通なり。幼蟲はツルノゲイトウの葉を食す。

分布 沖繩、臺灣、南方支那、比律賓、馬來、印度、南洋諸島。

メスアカムラサキ.....(三二七)

*Hypolimnys misipplus* L.

翅は黒藍色、紋列は白色。雌にては柿色、前翅前縁及び翅端の大半は黒色、斑紋は白色及び黒色、脈及外縁は黒色。開張二寸五分内外。これは九州には稀なれども臺灣には普通なり。幼蟲

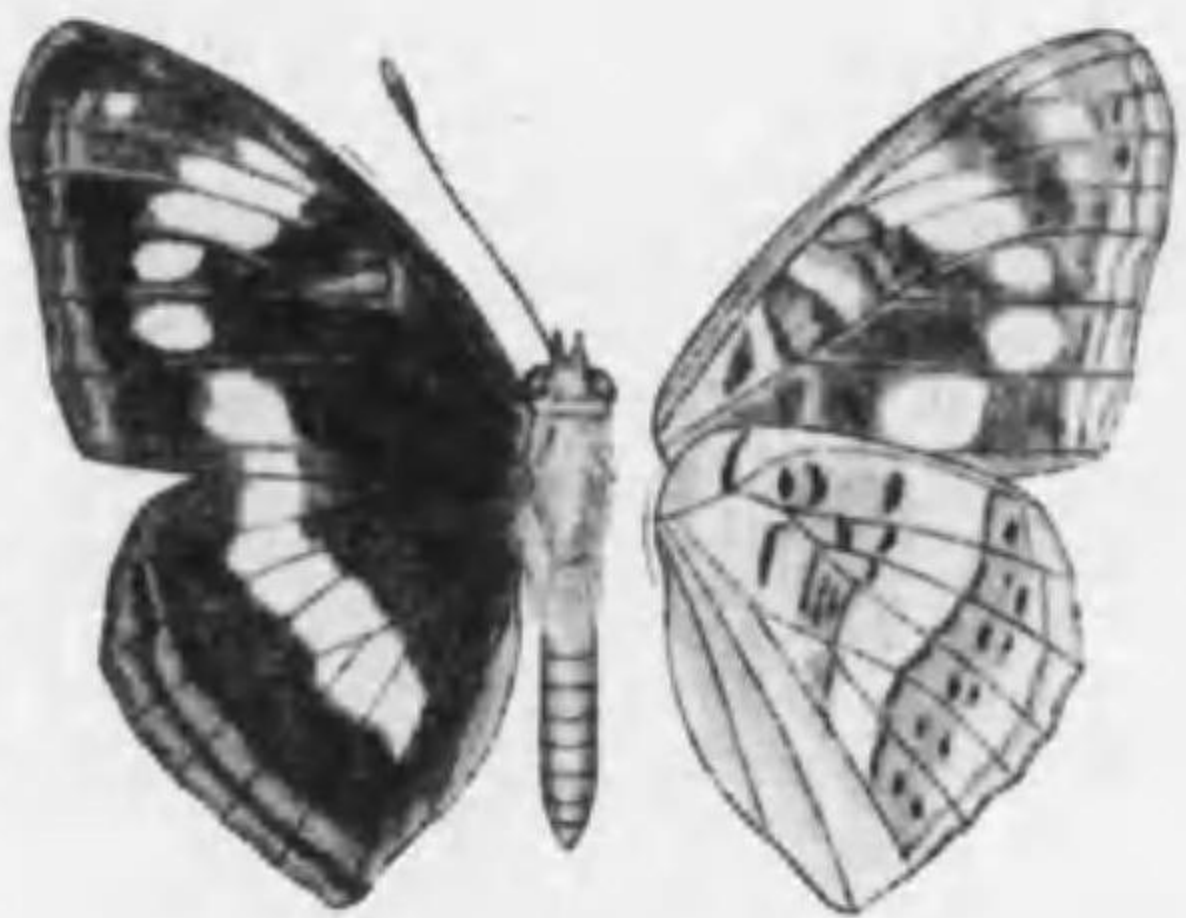




を食す。  
分布—沖繩、臺灣、南方支那、比律賓、馬來、印度。

テウセンイチモンジ……………(三三〇)

*Limenitis amphlyssa* Mén.



翅は暗褐、紋條は白色。前翅亞外縁線の内側に白紋列ありて、これは第五及び第六室にて赤褐を呈し、尙、中室に黒色の長楕圓紋ありて、その内側に赤褐紋を裝ふ。後翅の外縁に近く灰白紋を列ね、何れもその中央に黒點を有す。開張二寸三分。これは朝鮮に産するも餘り多からず。

分布—朝鮮、滿洲、支那、アムール。

イチモンジテフ……………(三三一)

*L. japonica* Mén.



翅は黒色、斑紋及び中帯は白色。開張二寸内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はスヒカツラ、ヘウタンボクノ葉を食す。  
分布—日本全土、朝鮮、支那、西比利亞、歐

洲、亞弗利加。

附言—これに白帯の遙に廣くして、前翅の中室に長方形の白紋を有するものあり、これをフトオウイ形 *L. fulcoohii* Mats. と云ふ。

フトオウイ形 *L. fulcoohii* Mats.

ムラサキイチモンジ……………(三三二)

*Limenitis dudu* West.



ジナミツラ形 *L. jinnamitra* Fruhls.

翅は暗褐、前翅中室の二紋は赤色、其兩側及び環狀紋は黒色、後者の中央は赤

褐、中帯白色、少しく紫色を帯び、外縁に近く黒帯及び白紋列を具へ、翅端の縁毛は白色。後翅の斑紋は黒色、中帯は白色、内縁角は赤褐。開張二寸四分内外。これは臺灣高山地帯に産するも餘り多からず。  
分布—臺灣、支那、印度。

ナガサキイチモンジ……………(三三三)

*Limenitis helmanni* Ledt.

ブライエリー形 *L. pryeri* Moor.



翅は黒色、紋條は白色、裏面の外縁に黒褐紋を散在せず。開張一寸九分内外。これは九州に稀なるも朝鮮には少からず。  
分布—九州、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

オホイイチモンジ……………(三三四)

*Limenitis populi* L.



翅は暗褐、少しく青味を帯び、斑紋及び中帯は白色。後翅の中央に白帯ありて、その外側に柿エゾエンシンス形 *L. jizoenensis* Mats.

色紋を横列し、各その前後に暗色紋を列ぬ。裏面は柿色、外縁及び内縁は淡き暗線。開張二寸七分内外。これは札幌地方に少なしと雖も、北見には普通なり。幼蟲はドロノキの葉を食す。  
分布—北海道、本州、歐洲。

ベニボシイチモンジ……………(三三五)

*Limenitis pratti* Loew's

コレアーナ形 *L. coreana* Mats.



翅は黒色、斑紋は白色及び橙紅色外縁に近く紋列は淡色にして、判然せず、外縁は白線にて縁取らる。裏面は暗色斑紋は白色と紅色。開張二寸内外。これ

は朝鮮に産するも稀なり。  
分布—朝鮮、滿洲、アムール、西比利亞、歐洲。

ヒロイチモンジ……………(三三六)



*Limenitis sydyi* Led.

翅は黒色、廣き帯は白色。イチモンジテフに近  
コレアコーラ形 ♀  
*f. coreicola* Mats.



似すれども、  
後翅裏面の基  
部に黒紋を缺  
き、その代り  
に黒短條を散  
在す。開張一  
寸九分—二寸  
二分内外。こ  
れは九州に産  
するも稀な  
り。朝鮮には  
少からず。幼  
蟲はホザキシ  
モツゲの葉を  
食す。

分布 九州、朝鮮、支那。

附言 原種に異なる所は前翅の帯は廣く、後翅  
の外縁に白紋列を缺くにあり。

コヘウモンモドキ……………(三二七)

*Melitaea arbuta* Hoff.

翅は赤黄、横條は黒色、腎状紋の中央赤黄、其

紋は黄色、周縁は綠色。開張一寸七分内外。こ  
れは樺太小沼にて玉貫光一氏の發見せるものな  
るが餘り多からず。幼蟲はヤナギ、ヤマナラ  
シ、トチノキ等の葉を食す。

分布 樺太、滿洲、アムール、歐洲。

ヘウモンモドキ……………(三三〇)

*Melitaea phaebe* Knoch

スコトシア形 ♀  
*f. scotosia* Butl.

翅は赤黄、條帶  
は黒色、斑紋は  
赤黄及び黒色。  
後翅黒色、紋列  
は赤黄。開張一  
寸八分内外。こ  
れは信州追分地  
方に稀ならず。  
幼蟲はヤゲルマ  
キタの葉を食  
す。



分布 本州、四  
國、九州、朝鮮、  
支那、滿洲、ア  
ムール、西比利  
亞、歐洲。

内方の8字形紋黒色、その内部赤黄、縁毛は白

サカリネンシス形 ♂ ニフオニア形 ♂  
*f. sachalinensis* Mats. *f. nipponia* Butl.



色の斑をなす。後翅は黒色、紋列は赤黄。開張一  
寸二分内外。これは信州追分地方に稀ならず。  
幼蟲はオホバコ、ママコナの葉を食す。

分布 樺太、本州、四國、沖繩、朝鮮、滿洲、  
マンジュリカ形 ♂  
*f. mandchurica* Stgr. 西比利亞。



テウセンヘウモン  
モドキ……………(三三八)  
*Melitaea aurinia*  
Hoff.  
翅は褐色、脈及び斑  
紋は暗褐、縁毛は灰

附言 コヘウモンモドキと異なる所は、一、大  
なること、二、前翅の中央にある黒紋集合して  
斜條にならざること、三、後翅裏面の中央に二  
黒紋列を有すること等にあり。

ウスイロヘウモンモドキ……………(三三一)

*Melitaea protomedia* Mén.

♀



これはコヘウモンモド  
キよりも遙に淡色。前  
翅の後横線は第六室に  
て外方に曲り、第一室  
にて其末端曲る。後翅  
にては中室の下方コヘ  
ウモンモドキの如く暗  
色ならず。開張一寸三  
分内外。これは本州に  
ては鳥取地方に産すれ  
ども稀なり。幼蟲はト  
ヲノヲの葉を食す。

分布 本州、朝鮮、支那。

オホミスチ……………(三三二)

*Najitis alvina* Brem. et Grey

翅は黒褐、紋條白色。前翅の中室にある白帯は

同裏面



白、少しく暗色毛を  
混ず。裏面の紋條は  
表面のものに似たる  
も、小にして細し。  
開張一寸五分内外。  
これは朝鮮地方に産  
すれども餘り多から  
ず。幼蟲はマツムシサウの葉を食す。

分布 朝鮮、滿洲、歐洲。  
コヌマヘウモンシス形 ♂  
*f. konumensis* Mats.



コヌマヘウ  
モンモドキ……………(三三九)  
*Melitaea*  
*naturua*  
L.  
翅は赤褐、翅  
脈及横條は黒  
色、淡色紋を  
散在す。後翅  
は内縁にて暗  
黄、長毛を生  
ず。裏面は少  
しく淡色、斑

前縁にて數個の切目を有せり。開張二寸七分内  
ケンブフエリ形 ♀ *f. kaempferi* Orz.



外。これは札幌地方に産すれども稍々稀なり、



信州追分地方に少なからず。幼蟲はウメ、モミ、インシュラルム形♀。f. insularum Fruhs. 等の葉を食す。

分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那。

ホリシヤミスチ……………(三三)

*Neptis aurata* Moor.

タイワナ形 ♂

f. taiwana Fruhs.



翅は暗黒、帯條は灰黄白、斑紋は白色、縁毛の凹陥部も亦白色。開張二寸二分内外。これは埔里社地方の高原地に産すれど

も餘り多からず。幼蟲は不明。分布—臺灣、支那、印度。

フタスチテフ……………(三四)

*Neptis vanillalis* Güt.

翅は黒褐、斑紋は白色。後翅中央に太き一帯

♀



は臺東花蓮港近邊にて採集せられたり。分布—臺灣(臺東)

コミスチ……………(三五)

*Neptis hylas* L.

インターメディア形 ♀

f. intermedia Burt.



翅は黒褐、紋條は白色。後翅の外縁に近く判然せざる灰色帯を具へ、前翅の中室を縦走する一帯及び後翅を横走する二帯と合計三帯あり。開張一寸六分内外。これは何れの地方にも普通なり。幼蟲はハギの葉を食す。分布—日本全土、朝鮮、支那、西比

五三一



ありて、前翅の中室を縦走する一帯と合計二帯あるを以てこの名あり。開張一寸七分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲はコゴメの葉を食す。分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

カレンカウミスチ……………(三五)

*Neptis kareukonis* Mats.

翅は黒褐、斑紋は白色。前翅中室の帯は末端にて刀狀に尖り、外側紋は大にして、三個を具へ、外縁線は前縁にて判然せず。これはシラキミスチに酷似すれども、前翅中室條の前縁斜られざるを以て容易に區別し得べし。開張二寸。これ

ニキセレンス形 ♀

f. exalians Hult.



區別せらる。開張二寸三分内外。これは札幌地方には稀なるも、中國地方の高原にては普通なり。幼蟲はモミチの葉を食す。分布—北海道、本州、九州、朝鮮、支那、アムール。

テウセンミスチ……………(三六)

*Neptis philyroides* Stgr.

♀



ミチステフに似れども、前翅第六及び第十室の基部に各一白紋を具へ、第六室の外縁は外側に細き圓錐形を呈し、裏面は一層淡色、少しく綠色を帯べることに依りて區別せらる。開張二寸三分内外。これは朝鮮に産すれども多からず。幼蟲はハシバミの葉を食す。分布—朝鮮、滿洲、アムール、ウスリ。

ホシミスチ……………(三七)

*Neptis pygma* Burt.

翅は黒褐、白色の三帯を具ふ。裏面の基部に黒紋を散在す。此の種は本邦稀ならざれども、北海道には未だ發見せられず。開張一寸七分内外。これは九州、臺灣及び中國の高原地帯には少なからず。幼蟲はシモツケの葉を食するもの

タイワンミスチ……………(三九)

*Neptis nandina* Moor.

フォルモサーナ形 ♀

f. formosana Fruhs.



翅は黒褐、帶白色、少しく黄色を帯び、縁毛の白色部は黒色部よりも少し。開張一寸九分内外。これは埔

里地方の高原に少なからず。幼蟲はシモツケの葉を食するが如し。

分布—臺灣、支那、比律賓、馬來、印度。

ミスチテフ……………(三八)

*Neptis philyra* Moor.

翅は黒褐、紋條は白色。コミスチに酷似すれども、形大、外縁に近く灰色帯を缺く事に依りて



ジユクンチタ形 ♂

*E. jucunda* Fruhs.

の如し。  
分布—本州、四  
國、九州、朝鮮、  
臺灣。



シラキミスチ

..... (三四一)

*Neptis*

*shirakiana*

Mata.

翅は黒色、斑紋は白色。前翅中室の帯は前縁にて楔状に列られ、末端は刀状に尖る。後翅の外縁に帯ありて、内側のものは太く、且つ判然す。開張二寸三分。



これは埔里にて素木博士の採集せるものなるが稀なり。

分布—臺灣(埔里)。

スズキミスチ

..... (三四二)

*Neptis soma* Moor.

ルタチア形 ♀

*E. latalia* Fruhs.



翅は黒褐、紋條は白色、少しく黄色を帯ぶ。これはコミスチに近似するも、前翅の中室を縦走する一帯は太く、中央にて遮断せられ、後翅底の帯は太きにより區別せらる。開張一寸七分内外。これは臺灣埔里社地方の高原に産すれども稀なり。

分布—臺灣、支那、印度。

ヒメキミスチ

..... (三四三)

*Neptis thimata* Loewh.

雌、翅は暗褐、紋條は黄色。前翅中室條は根

♂



棒状を呈し、末端にて急に細まる。亞外縁線は兩翅共灰白色にして、その内側は黒線にて縁取らる。開張二寸二分。これは朝鮮に産すれども稀なり。

分布—朝鮮、滿洲、

キミスチ

..... (三四四)

*Neptis thimata* Men.

これはヒメキミスチに酷似すれども、前翅中室の外方に當り前縁に接して黄色の三四紋の一横列を有す。尙、稀なるが黄色の代りに全枚白色なるものあり、これをデリクワタータ形と云

デリクワタータ形 ♂ *E. deliquata* Zisch.



ふ。開張二寸二分。この幼蟲は櫛の葉を食す。黄色なるものは相當多けれども、白色なるものは稀なり。

分布—朝鮮、支那、滿洲、アムール。

ナカグロミスチ

..... (三四五)

*Pantoporia seura* Moor.

翅は暗黒、斑紋は白色。後翅の後縁に近き白紋列の中央に黒點を有す。開張二寸四分内外。これは埔里地方の高原には少なからず。

分布—臺灣、支那、印度。

ローリアア形 ♀ *E. latalia* Fruhs.



タイワンイチモンジ

..... (三四六)

*Pantoporia canna* Moor.

ゾロアステス形 ♂

*E. zoroaster* Battl.



翅は暗黒。雄前翅の帯紋は白色。後翅中央の白帯は少しく藍色を帯び、前翅端近くの一紋は橙黄色、外縁淡色、

♀



之れに濃色帯あり。兩翅共に縁毛の凹陥部は白色。開張二寸一分内外。これは臺灣の高原地には普通なり。幼蟲は不明。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。

ザウテリー形 ♂

*E. sauteri* Fruhs.



ニトヘミスチ ..... (三四七)

*Pantoporia jina* Moor.

翅は黒色、帯紋は白色、前翅中



室の棍棒帯の基部には黒鱗を散在す。開張二寸内外。これは臺灣の高山地帯に産すれども稀なり。

分布—臺灣、支那、印度。

シロミスチ *Pantoporia pernis* L. (三三八)

翅は黒褐、前後翅を通じて三白を帯具へ、後翅帯の内方に一黒點列を裝ひ、外縁各室の新月紋



♀

は白色、裏面黄色にして、黒紋を裝ふ。開張二寸二分内外。これは臺灣にては何れの地方にも普通なり。幼蟲はカンコノキの葉を食す。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。

ヤエヤマイチモンジ *Pantoporia selenophora* Koll. (三三九)

翅は暗黒、帯紋は白色、雄の翅端に橙黄紋を缺く

♂

事に依りタイワンイチモンジと容易に區別せらる。雌にては帯紋は黄色。開張二寸三分内外。これは沖繩には少なしと雖も臺灣には普通なり。



分布—沖繩、臺灣。

イシアーナ形 ♀ *f. ishiana* Fruhs.



レーラ形(裏面) ♂ *f. laela* Fruhs.



タイワンホシミスチ *Pantoporia sculpta* Germ. (三五〇)

翅は暗褐、帯紋は白色、縁毛の凹陥部は白色。ツリクラー形 ♀ *f. tricolora* Fruhs.



同裏面



後翅裏面の基部に黒紋を散在す。開張二寸二分内外。これは臺灣地方に少なからず。ランタナ

の花に採集し得べし。分布—臺灣、支那、ゲイルマ。

ホソテフ(細蝶) *Parelia vesta* F. (三五一)



♀

翅黄褐、前翅前縁、外縁、横脈上の一紋及び外半の脈は暗色、列紋は黄色。雌にては前翅中室の一紋、其外側の斜條及び斑紋は暗色。開張二寸二分内外。これは臺灣には最も普通なる蝶にして、幼蟲はチンマ、コウマ等の葉を食す。



分布—臺灣、

支那、比律賓、馬來、印度。

シロスチマダラ *Penthema formosana* Rothsch. (三五二)

翅は黒色、帯紋は緑白。後翅中室の大部は白色、♀



縁毛の凹陥部は白色。開張二寸九分 外。これは臺灣の高原地帯に稀ならざるも、小木の間を潜りて飛翔するを以てその捕獲困難なり。分布—臺灣、支那、印度。

シータテハ *Pantoporia* (三五三)



*Polygonia calburn* L.

ハミゲラ形 ♂

*f. hamigera* Paul.



ルニゲラ形 ♀  
*f. lunigera* Paul.



道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那、アムール、西比利亞、歐洲。  
キタテハ

*Polygonia caureum* L.

プライエリー形 ♀

*f. pryleri* Jans.



青森には普通なれども、北海道に産せず。幼蟲はカナムクラ、アサ等の葉を食す。  
分布 本州、四國、九州、臺灣、朝鮮、支那、アムール。

エルタテハ  
*Polygonia lalburn* L.

翅は柿色、外縁及び斑紋は黒褐、翅端に近く白紋を具へ、波状線は黄色。後翅に白紋を具へ、外縁に黒褐帯ありて、其の外側は黄白、内側に黄色紋を列し、後翅裏面に白色のC字形紋あり。

サムライ形 ♀  
*f. samurai* Fruh.



ナギ等の葉を食す。  
分布 北海道、本州、滿洲、印度、歐洲。

モムンタテハモドキ  
*Precis shanna* L.

翅は柿色、前縁及び外縁は暗褐、波状線は黒褐、横線は黒色、横紋は黒褐、眼状紋の周囲は黒色、其内縁は黄色、次ぎの内半は黄褐、外半は黒色にして、二白點あり。開張一寸八分内外。これは沖繩及び臺灣の平原に普通なり。幼蟲はオギノツメの葉を食す。  
分布 沖繩、臺灣、支那、比律賓、馬來、印

アステリー形 ♀ *f. asteria* L.



♀



度、漆洲、南洋諸島。

イハサキタテハモドキ……………(三五七)

第六 鱗翅目(蝶亞目)

*Precis hibita* Grun.

イワサキ形 ♂  
*f. iwasaki* Mats.



はリウキウアキの葉を食するもの如し。  
分布 沖繩、比律賓、南洋諸島。

クロタテハモドキ……………(三五八)

*Precis hibita* Grun.

翅は暗褐、斑紋は黒暗。後翅底の半部は濃色、縁毛の凹陥部は白色。開張二寸一分内外。これは臺灣の山間に普通なり。暗んで日蔭に生息するを以て一見蛇目蝶の觀あり。幼蟲はリウキウアイの葉を食す。  
分布 臺灣、支那、馬來、印度。

♂



ジヤノメタテハモドキ……………(三五九)

*Precis leucinis* L.

翅は黄褐、少しく綠色を帯び、紋列は黄色、眼状紋は黒藍色、その中央は青藍色、内方の半弧は柿色、中室の横紋は黒色。開張



一寸九分内外。これは半熱帶國乃至熱帶國には

五三七



普通蝶にして、幼蟲はオキノツメの葉を食す。  
分布 臺灣、支那、比律賓、馬來、印度。

アラタテハモドキ……………(二六〇)

*Praedicta orthopyra* L.

イソクラチア形 ♀

*P. isocratia* Hb.



翅は暗色。後翅は青藍色、眼状紋は黒色、其の周圍は柿色。雄の前翅は天鵞絨様の黒色、斜帯は灰白。後翅底は黒色、内縁は暗色、中央は黒色。開張一寸五分内外。これも前種同様に暖國に普通なり。幼蟲はオキノツメの葉を食す。

分布 臺灣、支那、比律賓、馬來、印度。

サイハンタテハモドキ……………(二六一)

*Praedicta yuhua* W.

外。これは前種同様に至る處に普通なり。幼蟲はイラクサ、ラミ等の葉を食す。  
分布 日本全土、沖縄、臺灣、朝鮮、支那、印度。

キンミスヂ……………(二六四)

*Rahinda hordonia* Stoll

イリユウツ形 ♀

*R. maligowa* Frutts.



翅は暗黒、三條の金色帯を具へ、翅端の斜紋及び外縁帯は金色。裏面は褐色、帯は暗黄、波状帯は褐色。開張一寸七分内外。これは埔里の高原に産すれども餘り多からず。幼蟲はネムノキ及びアカシヤの葉を食す。  
分布 臺灣、支那、印度。

オホムラサキ……………(二六五)

*Sasakia charonda* Hew.

翅は黒褐、斑紋は白色及び黄色、翅底の大半は

第六 鱗翅目(蝶亞目)

タイチカ形 ♀

*P. taitica* Zettz



翅は灰褐、斑紋は柿色。前翅横脈外の三紋及び第七、八室の小紋は黄白、外縁の波状線は灰白、縁毛の凹陷は灰黄白。開張一寸四分内外。これは南洋パラウ、ボナベ等に少なからず。幼蟲は不明なり。  
分布 南洋諸島。

ヒメタテハ……………(二六三)

*Pyraucis cardui* L.

ヤボニカ形 〇 *P. japonica* Stsch.



前翅前縁角の三分の一は黒褐、これに七白紋を藏し、中央は柿色、斑紋は黒色。

翅底及び後縁は暗褐。後翅底の半部は暗褐、外半は柿色、紋列は黒色、斑紋は暗褐。開張二寸内外。これは至る處に普通なり。幼蟲はアザミ、イラクサ等の葉を食す。  
分布 日本全土、沖縄、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲、亞弗利加、亞米利加。

アカタテハ……………(二六二)

*Pyraucis indica* Herbst

前翅前縁角の二分の一は黒色、これに數個の白紋を裝ひ、中央の大紋は柿色、これに三黒紋を藏



し、翅底及び後縁は暗褐。後翅は暗褐、外縁は柿色、これに三黒紋列を裝ふ。開張一寸九分内



紫藍色。後翅の内縁角に紅色紋を裝ふ。開張三寸内外。これは本邦産最大の蝶にして、何れの地方にも多からず。幼蟲はエノキの葉を食す。  
分布 日本全土、朝鮮、臺灣。

イナヅマテフ……………(二六六)

*Sasakia fulgurata* Mats.

翅は暗黒、其半部、各室の縦線及び脈は天鵞絨



同裏面

